岐路に立たされた猪木軍団、この夏で運命が変わる!

平成12年4月25日第3種郵便物認可　平成14年8月22日発行(毎月第2・第4木曜日発行)第4巻・17号・通算76号

SRS・DX

Special Ring Side

No.76
2002
8・22
毎月第2・4木曜発売
定価680YEN

ノゲイラ
藤田
小川

8.28 国立Dynamite!でボブ・サップが指名!

俺の挑戦を受けろ!

SRS・DX 8・22 No.76

マット界、真夏の興行戦争を紐解くキーワードは?

真夏の
プロ格興行戦争を
説くための
キーワードとは？

SPECIAL RING SIDE SRS・DX

マット界、真夏の興行戦争
ファンの疑問にお答えします！

●8・28『Dynamite!』の
カードはどうなるのか？

●8・8『UFO LEGEND』で
小川は本当にプロレスをやるのか？

●ノゲイラ問題はどうなるのか？

●なぜ、8・8『UFO LEGEND』の
カードはなかなか決まらなかったのか？

●桜庭VSミルコ、吉田VSホイスの
ルールはどうなるのか？

●8・28国立に猪木軍団は出てくるのか？

●なぜ、8・29新日本プロレス・武道館大会は
「藤田プロデュース」になったのか？

●なぜ、8・28『Dynamite!』をTBSは
ゴールデンタイムで放送しないのか？

●8・30全日本プロレス・武道館大会に
本当にゴールドバーグは参戦するのか？

●なぜ、8・8『UFO LEGEND』で
藤田VS安田のカードが決まったのか？

●8・8『UFO LEGEND』と
8・28『Dynamite!』に猪木はどう関わるのか？

●岐路に立たされた猪木軍は、
今後どういう方向性を歩むのか？

●真夏の興行戦争のあと、
マット界はどう勢力図を変えるのか？

●イソッチシートはいったい何枚、売れたのか？

いよいよ突入したマット界の8月興行戦争！　いったい勝ち組はどのイベントで、負け組はどのイベントなのか？　また早くもネット上などで、ファンが真夏の興行戦争に対して様々な疑問や憶測、あるいは大論争を巻き起こしている。そこで、本誌はそんなテーマについて、今号では深く掘り下げることにしてみた。8・28国立については、本誌サダハルンバ編集長、8・8UFO東京ドームについては『紙プロ』山口日昇編集長、そしてプロレス界については、作家・夢枕漠氏VSターザン山本氏の豪華対談が実現。大御所たちが皆さんの悩みにお答えする！

8・28『Dynamite!』
国立競技場 編

『あのボブ・サップがノゲイラ、藤田、小川を指名！』

大物、続々参戦はあるのか？
8・28『Dynamite!』国立大会の
様々な憶測に本誌
サダハルンバ編集長が答える！

桜庭VSミルコ、吉田VSホイスの2大カードが発表されて、チケットの売れ行きも好調の8・28『Dynamite!』国立競技場大会。しかし、本誌の締め切り時点では、まだまだ発表されていないことは多い。そんな疑問に答えるべく、本誌サダハルンバ編集長が裏情報をお伝えする。

聞き手◎小松魔裟夫

谷川 さあ、モグ！ 今日はキミの疑問、質問、なんでも答えてあげるよ。

——はぁ……、質問って？

谷川 だからさぁ、キミ、何かないのぉ。今年の夏は史上空前の興行戦争があるじゃあない？ そういう中でさぁ、今、あらゆるマスコミが、スクープを狙っているだろ？ キミの場合、そういう野心というか、燃えるものはないの？

——いや、特に……。

谷川 はあ……まあ、いいや。じゃあ、ネットとか、読者のハガキから、ファンの質問を探して、それに答えることにしよう！

——分かりました。じゃあ、まずこんなのはどうでしょう。「8・8『UFO LEGEND』の煽り番組に出ていたイソッチって誰なんですか？」。

谷川 は？ イソッチ？ 知らねぇよ、そんなの。だいたい俺がアイドルなんて知ってるわけないじゃん。しかも、8・8の情報はあんまり詳しくないんで、それは『紙プロ』のノビー（山口日昇）に聞こう！ 次っ！

——じゃあ、「サダハルンバは『SRS・DX』で藤波のG1決勝進出を予想していましたけど、はっきり言ってド素人だと思いました。僕は高山か、天山が優勝すると思います」。

谷川 えっ？ 藤波、負けたの？

——負けたも何も、リーグ戦に出るかどうかの安田との試合で、鼻を折られて大流血して負けましたよ。

谷川 えっ？ 安田も出てるの？ キミにG1予想データをもらった時は、安田なんていなかったじゃない？

——ええ。でも、そういうことすら予想

かりは完全決着ルールになるだろうね。

と思うんだ。それに対して、立ち技のミ

れを主張したのは、一族のリベンジを賭

桜庭VSミルコは完全決着ルール。吉田VSホイスのポイントは打撃！

桜庭VSミルコ戦については、体重と時間が問題になってきそうだ

吉田VSホイス戦のジャケットマッチは、お互い素手で闘うことが決定的

—ええ。でも、そういうことすら予想するのが、プロだと思うんですけど、それはいかがなものでしょうか？

谷川 うるさいよ！　だから、俺に関しては、8・28国立の質問に絞ってくれよぉ。それはまぁ、専門分野だからさぁ。ネットとかでは、どんな論争が起こっているの？

—ネットでは、やっぱり一番多いのは、ルール問題ですかねぇ。桜庭VSミルコ、吉田VSホイスのルールはどうなるか？　って感じで。

谷川 そういう質問をくれよぉ。まず、桜庭VSミルコ戦。そういう論争が来るってことは、やっぱり年末の『イノキ・ボンバイエ』ルールや、この前のミルコVSシウバ戦のルールの3分5Rがいまいち消化不良っていうか、引き分けがあるってところが良くないからだよね。でも、さすがに今回、そのルールでやったら、途端に評判が悪くなるだろう。今回ばっかりは完全決着ルールになるだろうね。

—判定があるってことですね。

谷川 そうそう。判定っていうより、時間も変わるでしょう。まずね、ポイントとして、桜庭が主張しているのが体重問題。桜庭は体重が10キロ以内の差だったら、どんなルールだって、総合の試合なら受けるだろう。ところが、ミルコは体脂肪率が5％未満しかなくて、練習をやめない限り筋肉は落ちない。それで、体重が103〜4キロあるんだよね、今。桜庭は無理して増やしても、86〜87キロだから、10キロ以上は絶対に差が出るんだよ。まぁ、だから、ミルコのほうは98キロぐらいが減量のリミットじゃないのかなぁ。

—はぁはぁ。

谷川 そうなると、桜庭はミルコを極めるための時間がより必要になってくる。桜庭としたら、「だったら『プライド』ルールで」という主張は、当然してくると思うんだ。それに対して、立ち技のミルコはより時間を短くしたいところ。そのへんの攻防を、今、詰めているところだよ。

—結構、難しい問題なんですね。

谷川 あったり前だよぉ。だから、他流試合は苦労するんだからさぁ。たとえば、時間が長かったら、体重差はあるにせよ、桜庭が有利だと思うよ。でも、短かければ、これはミルコが有利になるよ。まぁ、専門的に見ればね。

—専門的に……ですかぁ？

谷川 キミ、信用してないのかよ。

—じゃあ、吉田VSホイス戦はどうなるんですか？

谷川 これが凄く面白い！

—は？　面白い？

谷川 そう。2人の主張が面白いんだよぉ。まず、この試合は50年前の木村政彦VSエリオ・グレイシーとほぼ同じルールで行われると言われているでしょ？　それを主張したのは、一族のリベンジを賭けて柔道の金メダリストを倒したいというホイスが言い出したことなんだよね。ホイスとしては、親父の敵を討つためにも、できるだけ柔術ルールでやりたいと考えたわけ。

—はいはい。

谷川 でも、主催者としては、どうしても打撃を入れたいわけね。やっぱりバーリ・トゥードに近いルールのほうが完全決着というイメージがあるし、吉田の打撃技も見てみたいじゃん？

—『Number』の吉田のハイキックの表紙は、インパクトがありましたもんね。

谷川 そう。だから、吉田というよりも、DSEのほうから、打撃を入れてほしいと提案したわけ。ところが、ホイスの主張は〝NO！〟だった。特にオープンフィンガーグローブをつけて顔面への打撃技は止めよう、と。そうホイスは主

猪木軍団にもオファーを出してるよ。でも、プロレス界も必死だからねぇ

張してきたわけ。

—ホイスは顔面を殴られるのが嫌なんですかねぇ。もう、バーリ・トゥードはやりたくない、と。

谷川 そう思うでしょ。ホイスも随分、意気地がないなぁ、って。ところが、ホイスにはホイスの言い分があるんだよ。まず、なぜ寝技で膠着が起こるかというと、マウントパンチがあるからって言ってるわけ。マウントパンチがあると、下にいる人間は、上になっている人間をホールディングしようとする。そうやって、ディフェンスすることで、逆に膠着が生まれると言うんだ。だから、グラウンドでの打撃がないほうが、どんどん極めようとして、お互いに動き回れると言うんだよ。さすがだよなぁ、グレイシーは。

—はぁ、なるほど。でも、それはリングスのKOKルールで証明されてますよねぇ。KOKルールは、マウントパンチがないから、あまり膠着しなかったですから。

谷川 キミ、やるなぁ……。いいこと言うじゃない？ さすが、モグラ！

—はぁ……？

谷川 それでね、立ち技についても、ホイスが主張するには、オープンフィンガーグローブをつけていると、吉田も襟や袖が掴みにくいから、投げ技がやりにくくて、彼の良さが出ないって言うんだよ。やっぱり、吉田は柔道家なんで、しっかり道衣を掴んで投げたいところだろ？ そのほうが投げの確率が高くなるし、威力が増してくる。でも、顔面パンチがあると、道衣は途端に掴めなくなるからね。

—ホイスは自分に有利なルールにしようと考えてるだけじゃないんですね。

谷川 そういうことなんだよ。だから、打撃についても、極真ルールみたいに顔面パンチのみなくしたルールに調整されそうなんだ。もちろん、素手でね。キックやヒザ蹴りは顔面もOKで。

—それはホイスも納得した、と。

谷川 ただ、いくら道衣が掴めるからと言って、グレイシーは引き込んでくるだろ？ だから、金メダリストの吉田と言えども、引き込まれたら投げられない。その引き込みの瞬間、ヒザ蹴りとサッカーボールキックとか、そういう打撃技が使える。僕はそこが勝負の一つの分かれ目になるんじゃないかなぁと思うね。

—専門的に見れば……ですね。

谷川 キミ、おちょくってる？

—いえいえいえいえ（笑）。

谷川 まぁ、吉田VSホイスは大ざっぱに言えば、今、そういう方向に走り出しているね。あとは、時間の問題。ホイスとしては、長ければ長いほうがいいだろうし。

—他流試合って、ルールを決めるのが難しいんですね。

谷川 そうだよぉ。吉田VSホイス戦に関しては、完璧な木村VSエリオ戦のルールのほうが面白いという人もいるし、逆になんでバーリ・トゥードでやらないんだっていう人もいるでしょ？ でも、その中間のルールをとろうというわけでもないんだよ。つまり、他流試合のルール作りのポイントは、どういうルールだったら、面白い試合になるか？ そして、どういうルールにしたら、より勝負論が高まっていくか。この2点だと思うんだよなぁ。

—ほぉ～。

谷川 感心した？ まぁ、他流試合イコール、バーリ・トゥードというイメージもあるけど、今回の『Dynamite!』で言えば、夢のようなマッチメイクと、ルール作りがポイントになるだろうね。いやぁ～、それにしても、俺は柔道VS柔術の対決だけでワクワクするよぉ。この一戦も、この10年間言われ続けてきた柔道のアマチュアを制した男が、グレイシー柔術と闘ったらどうなるかという、答えが出るもんなぁ。

—エリオさんも来るんでしょうね。

谷川 エリオさんもだけど、ホイスはヒクソンにもセコンドとして、声を掛けているらしいよ。じゃあ、次の質問。

—え～っとですね、8・8『UFO LEGEND』はカードが決まるのが遅かったんですけど、8・28国立のその他のカードはどうなってますか？

谷川 これはねぇ、まず『Dynamite!』が次に声を掛けたのが、猪木軍

ボブ・サップ（アメリカ／モーリス・スミス・キックボクシングジム）

藤田和之（猪木事務所）

アントニオ・ホドリゴ・ノゲイラ（ブラジル／ブラジリアン・トップチーム）

ノゲイラ問題は来日してから決着！ボブ・サップがノゲイラ、藤田を指名

団なんだよねぇ。特に猪木さんが「藤田や小川も、8・28国立に出す！」と発言したよねぇ。それから、正式に猪木軍に声を掛けたと思うんだよ。それと、ノゲイラ問題！

――あっ、そのノゲイラ問題について詳しく教えてほしいっていう質問もありますね。

谷川　そうだろうなぁ。まぁ、そのノゲイラ問題はあとにして、猪木軍がどう出るか？

――どう出るんですか？

谷川　いや、これは本人から聞いたわけじゃないんで分からないけど、たとえば藤田にしてみれば、いい相手だったら出たいんじゃないかなぁ。でも、まずUFOのカードすらなかなか決まらなかったでしょ。それに新日本プロレスの抵抗が凄いじゃない？　まず、8・29新日本の武道館大会を「藤田プロデュース」にしたこと自体、新日本の『Dynamite！』潰しと言ってもいいもんねぇ。

――藤田がプロデュースすること自体、不思議ですからね。

谷川　それで相手が高山でしょう？　新日本としては、その前日に藤田が負けたり、ケガされたら困るから、もうそれは藤田に出るなって言ってるようなもんでしょう。しかも、その国立のカードが藤田VS高山より良かったら、モロに影響を受けちゃう。そういう意味で、今回の藤田は難しくなるだろうなぁ。

――藤田選手には、どんなカードをオファーしたんですか？

谷川　これはね、藤田に限らず、今、一番未知数で、どのくらい強いか噂されているボブ・サップがね、「そろそろノゲイラ、藤田、小川あたりとやりたい！　俺の挑戦を受けろ！」って言ってるらしいんだ。だから、ノゲイラや藤田に対しては、ボブ・サップでオファーしたんじゃないかな。まあ、小川はたぶんファイトマネーがメチャクチャ高いし、なかなか決まらないんで、オファーしてないと思うんだけど。

――藤田VSサップ、ノゲイラVSサップは面白いですね。

谷川　ボブ・サップというのは、メチャクチャ遠心力があるタイプからね。実際、コーチのモーリス・スミスも「ボブがどれだけ強いか分からない」と言ってるらしいし、今は連日UFCヘビー級王者のジョシュ・バーネットとスパーリングをやってて、タップを奪うほど強くなっているらしいよ。

――あのジョシュ・バーネットからタップを！

谷川　キミ、知ってるの？

――いやぁ、全然。

谷川　ちゃんと勉強しろよなぁ。UFCではセーム・シュルトが秒殺されてんだよ。

――あぁ……。

谷川　まぁ、そういう意味で、猪木軍団とか、ノゲイラの出方で、カードが一気に決まってくるんじゃないの。

――でも、その猪木軍団が難しいと。

谷川　うん、新日本の必死さを感じるよねぇ。当初、『Dynamite！』は8月の上旬に開催されるって噂だったたろ？　それでまず、新日本がドル箱のG1にぶつけられたって、凄く過敏になったと思うんだよ。それが、日程がずれるって話になって、ホッとしたのも束の間、今度は武道館大会の前日だからね。それで、新日本は先手を打って、いち早く8・29武道館大会を藤田プロデュースにして、ガードしたと思うんだ。高山も押さえてね。

――じゃあ、復活NWFトーナメントは、まず国立ありきの話だったたと。

谷川　だね。だから、藤田がどんな選択をするのか、凄く注目していた。藤田にとっても、影響が大きいからね。

――その他には、どんな選手が出るんですか？

谷川　ヴァンダレイ・シウバとか、ドン・フライ、ヒース・ヒーリング、セーム・シュルト、サム・グレコ、マーク・ハントとか、そのへんの選手が噂に上がっているんだけど、まぁ、豪華な組み合わせになるのは間違いないだろうね。

――では、先ほどのノゲイラ問題の解説を。

谷川　ノゲイラ問題ねぇ。これは契約問題というより、まず筋の問題というか、凄く難しいんだよね。まず、『プライド』は、6月にノゲイラのタイトル・マッチを予定していた。ところがノゲイラは腰痛のために、この試合をキャンセルしたんだよね。ケガはまあ仕方がないんだけど、じゃあ『プライド』としては、当然、8・28の国立に出てもらいたいじゃない？　ところがノゲイラ・サイドは、それよりも先にUFOの参戦を決めてしまった。しかも、相手が『プライド』でも闘える可能性があるパンクラスの菊田選手でしょ？　それで、『プライド』としても、納得できないんじゃないかな。UFOでしかできない、小川VSノゲイラなら別なんだけどね。

――ノゲイラと『プライド』が切れるんじゃないかとか、タイトル剥奪という噂も流れてますけど。

谷川　もちろん、『プライド』もそんなことしたくないはずだよ。だから、ノゲイラは両方のイベントに出て顔を立てるか、あるいは国立にしか出ないとなれば、『プライド』も納得すると思うけど、それも難しい。もう菊田戦も発表してるし、ノゲイラ・サイドのブッカーはUFOの川村龍夫社長と深いつながりもあるからね。そういうことで、結論はノゲイラや師匠のマリオ・スペーヒーが来日してからになりそうだけど、ウチの今号の締め切り時点では分からないんだよね。最終的には、ノゲイラ本人がどう判断するかだと思うよ。

ドン・フライ（アメリカ／フリー）

ヴァンダレイ・シウバ（ブラジル／シュート・ボクセ）

サム・グレコ（オーストラリア／チーム・グレコ）

『Dynamite!』をTBSが ゴールデンでやらないのは屋外だから

——まぁ、じゃあ今号が出る頃には、なんらかの結論が出てますね。

谷川 うん、そう。ノゲイラ問題もなんらモメなくてまとまるかもしれないし。もしかしたら、カードが一気に発表されているかもしれないしね。

——僕的には、プロレスラーは誰が出るのかってところに興味があります。

谷川 いや、そりゃあそうだよな。でもさ、8・8UFOを見ていても分かるように、要はカード次第だと思うよ。プロレスラーが出てりゃあ、客が入るなんていうのは本当に幻想だし、逆にミルコVSシウバでは横浜アリーナの新記録を作るほど、お客さんを集めたじゃない？ 小川だって、藤田だって、他のプロレスラーだって、誰と闘うかが重要だと思うな。つまらないカードだったら、格闘家同士の試合のほうがワクワクするでしょう。俺なんか、ヘタにプロレスラーを使うんなら、K—1の武蔵とか、中迫の他流試合のほうが面白いもんねぇ。

——そういうもんなんですかねぇ？

谷川 そういうもんだよぉ。次は？

——じゃあ、こんな疑問もあります。「なぜ、日テレはUFO東京ドーム大会をゴールデンで放送するのに、TBSは『Dynamite!』を遅れて放送するのか？」。これはどうなんですか？

谷川 あー、そういうことも疑問に思うんだ。

——あ、でも『週プロ』の小川直也のインタビュー読んでたら、「『Dynamite!』はPPVとか、あと好きな人が喜ぶカード。でも、日テレはゴールデンタイムで『LEGEND』をやる裏付けがあった」と言ってましたけど。

谷川 へぇ〜。桜庭VSミルコ、吉田VSホイスがマニアックなカードだってこと？（笑）。

——いやぁ〜、僕もそうは思わないですけど。やっぱり「スカパー！」との兼ね合いなんですか？

谷川 いやいやいや、それもあると思うんだけど、単純な理由が一つあるんだよ。つまり、国立競技場は屋外スタジアムでしょ？ だから、雨が降って順延になる可能性があるから、ゴールデンタイムで生中継できないじゃない。それを解決するには、雨天延期の別番組を用意しなきゃいけない。それが単純に、リスクが大きくなるってことなんだよね。

——ああ、そうか……。

谷川 いや、8月28日は過去10年間、一度も雨が降ったことはない日なんだよ。しかも、石井館長も、僕も天下無敵の晴れ男だからねぇ。僕が行く遠足とか、デートとか、一度も雨が降ったことがないんだよぉ。ちなみに、藤原紀香ちゃんは雨女でさぁ。紀香ちゃんと海外取材に行った時だけは、不思議と雨がよく降るんだよなぁ。

——ああ、うらやましいですね。

谷川 まぁ、それは関係ないんだけどさぁ。要はTBSとしては、万が一にも雨が降った場合のことを考えると、どうしてもゴールデンタイムは怖いわけ。理由はそれだけと聞いてるよ。本当は年末の『イノキ・ボンバイエ』のように、TBSもゴールデンでやりたいでしょう。

——分かりました。じゃあ、次に「8・28『Dynamite!』に、猪木さんはどう関わるんですか？」ってことですけど……。

谷川 あ〜、それは8・8UFOが猪木さんプロデュースで、8・28国立が石井館長プロデュースって感じで、対立しているみたいに見えてるところもあるからね。実際、僕も8・8東京ドームは「UFO LEGEND」じゃなくて、「イノキ・ボンバイエ」という名前でやるのかなって思ってたもん。

——そう言えば、石井館長も最初の会見で、「この大会は『イノキ・ボンバイエ』ではありません」って言ってましたね。

谷川 まぁ、だけど猪木さんが8・8UFOのプロデューサーであるはずがないし、『プライド』のプロデューサーなんで、K—1と『プライド』が合体して行う『Dynamite!』に関係ないはずがない。でも、要は猪木さんが猪木軍団の誰かを出して来るかってことだろうね。ファンが気にしているのは、そこでしょ？ 猪木さん個人としては、なんらかの形で出てくるのは間違いないと思うよ。べつに石井館長と猪木さんの仲が悪くなったわけじゃないしね。

——じゃあ、さっきの話と合わせると、猪木さんは強権発動するんですかねぇ。

谷川 それは分からない。猪木さんは全部出ちまえばいいし、全部を連動させて盛り上がればいいじゃねぇかって思ってるはずなんだけど、実際、選手はそういうわけにはいかないし、全部出たら出たで、影響も大きいからね。

——本当にバッティングしてますよね。

谷川 僕はまぁ、猪木軍団が一番岐路に立たされていると思うよ。

——そうですか。じゃあ、次に「石井館長は全日本プロレスに参戦するのか？」ってことですけど。

谷川 あ〜、なるほど。まぁ、それについても、結構マスコミで騒がれているよね。でも、俺は石井館長から「プロレス団体をやる！」って話は聞いたことないよ。ただ、石井館長はもともとプロレスの興行論を非常に勉強した人なので、プロレス界に対しても、なんらかのプロデュースをしたいって気持ちはあるだろうね。まぁ、僕もプロレスについては、あまり詳しくはないんだけど。

——〝ゴールドバーグ獲得！〟という噂はどうなんですか？

谷川 獲得って、ゴールドバーグが石井館長の所属選手になるってことはないでしょう。ただ、ゴールドバーグにせよ、

猪木は8・28『Dynamite!』にはどう関わってくるのか？

**真夏の
プロ格興行戦争を
説くための
キーワードとは？**

SPECIAL RING SIDE SRS・DX

DSEは凄い演出を考えてるみたいだよ。やっぱり一番の主役は"国立"だろうね

ボブ・サップにせよ、サム・グレコにせよ、旧WCW組が日本のプロレス・マットに上がるんだったら、それをサポートしたり、プロデュースの手伝いをする可能性はあると思うよ。僕はそういうふうに捉えてるね。

—ふ〜ん。

谷川 ふ〜んって、キミねぇ。キミは8・28『Dynamite!』のどんなところに期待しているの？

—やっぱ、残りのカードですかねぇ。まぁ、桜庭VSミルコ、吉田VSホイスだけで十分見に行きたいですけど。

谷川 まぁ。だからカードについては、8・8のUFOの無意識の影響で、ちょっと発表を遅らせたね。でも、本当に今号の発売の時に一気に決まっているかもしれない。

—そうなると、あとは演出がどうなのかなって。

谷川 演出って？

—やっぱ、東京ドームではできないスケール感あふれる演出が見られそうじゃないですかぁ。そういうのを、夏の夜空にビール飲みながら見たいっスねぇ。

谷川 キミ、仕事する気ないのかよぉ。まぁ、だけど今回はなんだかんだと言って、"国立競技場"が主役の一つだろうね。よく「10万人収容！」と言うんで、ライブで見に行っても、小さくて見えないんじゃないかという話も出るけど、俺は実際に見てきたんだけど、本当に見やすい。東京ドームより、遥かに見やすいんだよね。それはなぜかと言ったら、東京ドームに比べて客席が低いからだよ。目線がだいたい同じ位置なんで、凄く見やすいんだよね。これは、ちょっと驚くと思うよ。あと、キミが言うように、たしかに演出は楽しみだよなぁ。花火が上がったり、凄い演出考えているみたいなんで、やっぱりその空間を味わうのは貴重な体験になると思うよ。試合は歴史的なものに間違いなくなるし。

—逆に8・8UFOのほうは、どう思っているんですか？

谷川 まぁ、詳しくは分からないけど、あの迷走ぶりが逆にマスコミ的には扱いやすいと思うね、単純に。

—最初は、小川の対戦相手にタイソンやヒクソン、前田日明の名前まで挙がりましたからね。

谷川 藤田だって、長州でしょう。聞いたところによると、あれは本当にオファーしに行ったみたいなんだけど、そんなもん、実現するわけないでしょう（笑）。でも、そういう話が出て、本気でオファーするところ、しかもギリギリになっても、そういう話が出るところは凄く面白いよね。

—僕は「次は誰が出てくるのか？」って思いました（笑）。

谷川 たぶん、UFO内部だって、そうだったんじゃないの？ でも、外から見たら、凄いカン違いもたくさん起こるよね。ひょっとして盛り上がってるんじゃないかとか、いつの間にか新しいソフトが生まれるんじゃないかって。僕はね、あのイベントは無意識に業界全体のバランスを崩してるっていうのを一番強く感じるんだよね。猪木軍団やノゲイラ問題もそうだし、プロレス界だって、自分たちもこれからはK—1みたいにいろんな局で自分たちが扱われるんじゃないかという希望を持ったと思うんだよね。その根拠はないんだけど、なんとなく、なんとかなるみたいな気持ちを凄く持ったと思うんだよ。川村幻想というか（笑）。だから、それによって、どうバランスが崩れていくのか？ 藤田VS安田戦だって、NWFトーナメント戦の前にガチンコでやるって、凄い無謀だからねぇ。それが仮に『プライド』でやった藤田VS高山みたいな名勝負になったとしても、必ず影響は出るでしょ。そういう影響がどんな形で出るのか？ そのへんに凄く興味はあるよ。

—難しい話ですね。

谷川 今、ファンの間で話題になっているのは、だいたいそんなところ？

—そうですね。8・28『Dynamite!』のほうに関しては、信頼度がある分、安心しきって『UFO LEGEND』のようなスキャンダラスな話題がないところがちょっと心配なんですけど、まあそれも今後のカード次第ってところでしょうね。

谷川 たしかにそれは言えるなぁ。

—やっぱり、年末の『イノキ・ボンバイエ』は猪木軍のハチャメチャさがありましたからねぇ。まぁ、なんとかなるんでしょうけど……。

谷川 キミもなんとかなるって思うクチかもしれないけど、まずはカード発表を待とう！

—"なんとかなる"イズムは、しっかりサダハルンバ・イズムを受け継がせてもらってますから。

谷川 んあ〜。 ■

▲屋外スタジアムだけに演出が華やかそう。やっぱり国立競技場は主役のひとつだ ©東京スポーツ

小川か？ガファリか？

『8・8UFOがダイナマイトで8・28国立がレジェンドだよぉ』

8・8『UFO LEGEND』東京ドーム編

本誌の今号発売日、遂に8・8『UFO LEGEND』東京ドーム大会が行われる。まさに迷走を続けたこの大会。水面下ではいったい何が行われていたのか？　なぜ、これほどの迷走を続けたのか？　UFOの周辺に詳しい『紙のプロレス』山口日昇編集長がズバリお答えする！

TOKYO DOME

速報号よりも早い 8・8UFO東京ドーム大会総括は『紙のプロレス』山口日昇編集長に聞く！

聞き手◎谷川貞治

山口　今日は何を話すんですか？

――まずですね、僕が一番知りたいのは、8・8「UFO　LEGEND」のチケットがどれくらい売れたかってことなんですけどぉ（笑）。

山口　し、知らない。なんで俺にそんなこと聞く！（笑）。

――いやぁ、どうなのかなぁと思って。

山口　俺はイベントの主催者じゃないんだから（笑）。

――いや、そうなんだけど、僕らのところにまったく情報が入らないので（笑）。

山口　は？　もしかして取材拒否でもされてるの？

――いやぁ、取材拒否というか、されてるかどうかも確かめてもいないんですけどね（笑）。

山口　ガハハハハ、確かめる気もない（笑）。ひどいなぁ。行く気もない、と？

――いえいえいえいえ、そうじゃなくて、確かめる気はないことはないんですけど、誰に確かめていいのかが分からないんで（笑）。

山口　でも、確かに大会前には語りにくいよね、「LEGEND」は。ネガティブな方面しか語りようがないし（笑）。

――僕、語れますよぉぉぉ。

山口　じゃあ、語ってよ。サダハルンバの「LEGEND」論。はい、ドーゾ！（笑）。

――僕はオーちゃんが可哀想だなと。今回に限りっ！

山口　いきなり結論。しかも、「今回に限り」（笑）。なんで今回に限り可哀想だと思ったんですか？

――だって、小川選手が東京ドームでUFOの興行をやろうなんて考えていないと思うし、基本的にいわゆるガチンコの試合を進んでやりたいとも思ってないだ

と。

――まあ、誰でもいいですよね（笑）。

真夏のプロ格興行戦争を説くためのキーワードとは？

ろうし、対戦相手も絶対に満足してないでしょ。そんなのに出なきゃいけないのは可哀想だなと。会長（山口日昇のあだ名）は？ え〜っと、まず知ってる情報を教えてください！

山口　だから、なんの！（笑）。具体的に聞いてくださいよ。

——あっ、そっか。じゃあ、あの興行を会長はどう捉えてるんですか？

山口　いや、近来、希に見る大ダッチロールぶりでしょう（笑）。

——えっ……ダッチロールってなんでしたっけ？

山口　は？ これは『小学3年生』のインタビュー？（笑）。

——アハハハハハ、いやぁ、会長が言うとなんかダッチワイフみたいに聞こえちゃって……すいません（笑）。

山口　なんで『小学3年生』からいきなりエロ本になるんだよぉ（笑）。

——ダッチロールって大人のおもちゃなのかなぁと思って。むふ。

山口　………。でも、「LEGEND」は迷走ぶりを含めて面白いですよ。

——ある意味ではメチャクチャ面白いですよね。

山口　そう。だから、むしろ『Dynamite！』は、石井館長がプロデュースして、DSEが運営制作するということで、大仕掛けのイベントだけども、ファンは安定感を感じてるでしょ。「LEGEND」と比較したら。だから、逆なんじゃないかなぁと思って、タイトルが。

——はぁ〜ん。

山口　今度の東京ドームが『Dynamite！』で（笑）、8・28のほうが初物の国立やサクVSミルコや、吉田デビューなんかが揃ってて「LEGEND」になりそうだなぁという気がするでしょう。

——まず、タイトルが逆だと（笑）。

山口　だって8・8は、業界にとって、ダイナマイト、時限爆弾みたいなもんですよ（笑）。

——ホントのダイナマイトはどっちだ、と。

山口　そのダイナマイトがいい方向に爆発するのか、悪い方向に爆発するのかはまだ分からないけども、その爆発具合がファンにも読めないでしょう。で、マスコミ側や関係者側には、どう転んでもいいほうには爆発しないだろうという空気が蔓延してるじゃない、正直な話。負の求心力が働いてるよね、ある意味（笑）。

——そういう興行は面白いですよね。そこで、まず聞きたいのは、カードはなぜこんなに遅くまで決まらなかったんですか？ 誰がマッチメイクしてるんですか？

山口　いろんな人！（笑）。

——い、いろんな人ぉぉぉ？ 例えば？

山口　例えば、業界で誉れ高い元リングスのU女史を筆頭に、UFOサイドも何試合かは入れてますよね。横井とか。あと猪木さんプロデュースがあったり、日テレの意向が入ったり、川村社長の「それ、いいんじゃないか」の一言で決まったり（笑）。いろんな人の思惑が絡まってるんだけど、それに対して最終的に決めるイベント・プロデューサー的な役割の人がいないんですよ。川村社長は業界にあんまり詳しくないし（笑）。だから、同じ選手に同じイベントの違うブッカーが2人同時に声を掛けたりとかあったもんね（笑）。

——え〜っ？ それは誰？

山口　例えばドス・カラスJrにはU女史も声を掛けてたし、UFOサイドも声を掛けてた（笑）。『DEEP』の佐伯さんを通じて。

——それは誰と対戦させるために？

山口　え〜っと、U女史は……誰だったっけ？ 村上かな？ もはやそれすらも覚えてない（笑）。

——まあ、誰でもいいですよね（笑）。

山口　で、交渉が決裂した後に、ドスJrを出すポイントで日テレサイドとUFOサイドで一致して、UFOサイドで交渉し直したって聞いてる。ドスJrは、ミル・マスカラスの甥っていう部分があるから、マスカラス兄弟の映像を日テレはたくさん持ってるでしょ。パブにしてもアオリにしても全然使える。そういう意味では日テレもドスJr出場を推したかったって。ただ、ブッキングが食い合ってしまったので、どっちが先に声を掛けたとか問題が出て……まあ、モメたんでしょう（笑）。

——はぁ〜、簡単に言うとモメたと（笑）。

山口　だから、情報が入ってくる度に、いったいこれは誰のための、なんのための、どういう方向性のイベントなんだろうって考えちゃったもんね、なぜか俺が（笑）。

——で、結論は？

山口　ええっと、川村さんが第2回目の記者会見をやった時の……。

——第4回目ぇ？

山口　第2回目（怒）！ なんで「2」と「4」を聞き間違える（笑）。

——いやぁ、そんなにやったっけなぁと思ってぇ。第1回目は〝ガチンコ〟発言でしたっけ？

山口　そう。「小川選手の希望は、全てガチンコで行きたいと申しております」っていう、今年の格闘技界流行語大賞受賞は間違いないっていう発言をした時ね、川村社長が（笑）。これには大賞を上げたいんだよなぁ、俺（笑）。

——取りそうですよねぇ。

山口　あるのか、そんな賞（笑）。で、第2回目にも流行語大賞にノミネートされるような名言を吐いたんですよ、川村

（UFOの迷走は）要は主導権を握っているのが、誰だか全然分からないってことです

◀第1回目の「UFO LEGEND」の記者会見。この席上で、川村社長は「小川選手の希望で全てガチンコでいきます」と発言。後に、小川は「そんなことは言っていない」と否定した

社長が。相手をガファリと発表して「小川選手には伝えてませんが、必ずやらせます」っていう名言を（笑）。だから、川村社長の発言だけでも、まったく統率が取れてないことが分かって、ダッチロール状態を表してますよね。そういうとこを見るのは面白い（笑）。

――整理すると、まず日テレは何を期待して、このイベントをやろうとしたんですか？

山口　第2回目の記者会見で発表されたカードは小川VSガファリ、菊田VSノゲイラ、村浜VSパルヴァー。小川VSガファリはともかく、菊田VSノゲイラと村浜VSパルヴァーっていうのは総合格闘技ですよね。でも、組もうと思えば、菊田VSノゲイラは『プライド』でも組めるし、村浜VSパルヴァーは「DEEP」でも組めるわけですよ。要は新しい総合格闘技の場をつくりたいのかな？　と思うんだけど、でも、日テレ側もそう認識しているのかというと、実はそうでもないらしい。

――えええっ？　日テレは総合格闘技の大会をやりたいんじゃないんですか？

山口　どうやら日テレの内部でもいろんな意見が出てるらしいんだよね。

――ほぉーん。プロレスでもいいんじゃないかって？

山口　プロレスはダメらしいんですけどね。ノアとカブるし。この企画はそもそも川村社長が『プライド』抜きで「猪木軍VSK―1」を立案したんでしょ？（笑）。

――石井館長には、小川の相手として、最初ピーター・アーツ、その後、ミルコでオファーが来てたみたいですからね。藤田VSK―1ジャパン選手っていうオファーもあったそうですよ。

山口　で、館長は丁重にお断りを入れて、その時点で「猪木軍VSK―1」ってボツってるわけですよ、かなり前に。これはオーちゃんが言ってたけども、その時点で「イベントをやめるべきだ」って言ったらしいんですよ、オーちゃんが川村さんに。だから、小川直也の意志ははっきりしてるんですよ、イベントに対しての。「ソフトもないのにハードだけ作ってもしょうがないだろう」と。

――なるほどね。

山口　ただ、動き出した船は止められない（笑）。港があれば止められるけど、止める船頭もいないってことですよ。川村さんは外側では船頭だけど、中身の部分では船頭じゃないですからね。

――で、やってるうちにみんなが

▲第2回目の〝UFO　LEGEND〟の記者会見で、小川の対戦相手がマット・ガファリと発表。川村社長は「小川選手にはまだ言っていませんが、必ず納得させます」と衝撃的な告白をした

初めは川村さんは『プライド』抜きで猪木軍VSK－1をやろうとしてたんでしょ？

「俺は関係ないよ」と（笑）。

山口　そうそう（笑）。「俺は知らない」「あれは勝手にどこそこがやってることじゃないですか」って、またこの業界特有といってもいい、責任のたらい回しが始まったんだと思うんですよ（笑）。

――それが一番顕著に現れてるのが猪木さんだよね（笑）。

山口　そう、アントン総帥をはじめとしてね（笑）。猪木さんも最初は「今回はやめたほうがいい」って言ってたんだって。ところが、第1回目の会見の時点で猪木さんは「これからみんながあっと驚くようなことを仕掛けられたら面白い」って言って、川村さんに振られて、マッチメイクしていくことを了承した。それが今度は、川村さんが第2回会見をやってる同日の成田会見になると、猪木さんは「俺はこれまでのマッチメイクに一切関わってねぇですから」って（笑）。〝逃げたな〟って誰もが思いましたよね（笑）。だから、コンセプトなんて言葉を使うと、昔流行ったホイチョイプロの時代の業界人みたいで嫌なんだけど、ズバリ言って、今回のダッチロールは、コンセプトが決まってないから起きたんですよ。

――そもそも川村さんが、『プライド』抜きで猪木軍VSK―1をやろうとして、それが石井館長が『プライド』と組んで『Dynamite!』やるっていうほうに進んでしまったんで、そこでやめるべきだったのが、そのまま続行されたと。で、日テレも最初はそれに乗ってたんだけど、やっていくうちにいろんな意見が出てきたってことですね。

山口　日テレだって「猪木軍VSK―1」を自分の局でできるとなったら、それは乗りますよね。しかも、川村さんっていう芸能界の大実力者がやるわけだから、プレゼンの段階ではノー問題でできるんだろうって思っちゃいますよね。

――だけど、「猪木軍VSK―1」は去年の夏に日テレで開戦になったじゃないですか。あの後に石井館長は仁義を切って、日テレにも振ってるんですよ。年末にやりませんかって。その時の日テレの答えはノーだったみたいですよぉ。

山口　それを、テレビ番組&イベントとしてプレゼンし直したってことですよね。大実力者の川村さんが。でも、僕は個人的には、テレビ番組として考えても興行として考えても、『プライド』を意識する必要もまったくないし、『プライド』と同じようなことをやるのは良くない方向じゃないかと思ってたんですよぉ。重なれば、ノゲイラ問題に代表されることとかも起こるわけだし。だから、新しいジャンルというか、「エンターテインメント格闘技」っていうのをUFOでやったら面白いんじゃないかなぁって俺は思ったんです。

――ほぁ～ん。

山口　ドス・カラスJrじゃないけど、ボボ・ブラジルJrっていうのがいるらしいんだよ！（笑）。

――ボ、ボ、ボボ・ブラジルJr!!

山口　うん（笑）。これがVTをやりたがってるらしいんですよ。だから例えば、安田忠夫VSボボ・ボラジルJrでもいい。ボボ・ブラジルの映像なんて日テレには腐るほどあるんだから。力道山と闘ってるやつとか、馬場さんと闘ってるやつ、猪木さんと闘ってるやつとかね。そのボボの息子と、あのバンナに勝ったフーテンのヤスが闘うとなったら、視聴率的にはいけるかもしれないでしょ（笑）。だから、そういうドスJrとか、ボボJrとか、昔総合格闘技の世界では無名だけども、

のプロレスファンのお爺ちゃんも見たがるやつをやるとかね。いわゆるガチンコなんだけど、プロレスなことをやれば良かった気がしますね。「ガチンコなんだけどエンターテインメント」っていうのをＵＦＯ独特の色づけなりドラマづくりをしていけば、全然『プライド』と食い合わずにできたんじゃないかなぁって俺は思ったんです。例えば、チャイナが出れるというんなら、俺だったら、チャイナVS佐藤ルミナとか、チャイナVS菊田早苗を提案するけどなぁ（笑）。

――ああ、それは見たい！ 菊田VSノゲイラより見たい！（笑）。

山口 でしょ？（笑）。デカくて強い女と、小さくて技術のある男が闘ったらどうなるかというのは、人類史上にとっても、格闘技史上にとっても壮大なる実験ですよ。ルミナや菊田にオファー出して、まずは怒られるところから「電波少年」で流したりしてね。でも、試合はガチンコ（笑）。チャイナ応援団長には辻本清美を付けたり（笑）。

――んあ～。で、その中でオーちゃんの意見は実際、どう変わってたんですか？

山口 オーちゃんは、アーツかミルコとできるんだったら面白いなぁって思ってたでしょう。だけど、同じ月に国立があるっていうのは業界内で話は出回ってたし、そんなに短いスパンでK―1の選手が2つの大会には出て来れるわけがない。だから、それは無理だろうと思ってたらしいですよ、途中からは（笑）。でも、川村さんは「俺が言えばなんとかなるんだ」の一点張りだから、「ああ、そういうもんなのか」と思う時期が続いたらしいんですよね。だから、期限を区切って「いついつまでにK―1側からいい返事が貰えなかったら、やめましょう」というのはオーちゃんから川村さんに伝えたらしいですね。

――でも、やめる人がいなかったと（笑）。

山口 うん。というか、スタッフも、今度はどこに向けて動いているのか、よく分からないっていう状態ですよね（笑）。

――でも記者会見が開かれちゃいましたよね。オーちゃんはなぜ出なかったんですか？

山口 体調不良だったんでしょ、公式には（笑）。

――体調不良って言っても、その後にZERO―ONEの大会がすぐにあったじゃないですか（笑）。

山口 金網デスマッチで勝っちゃったからね。

――体調不良なわけがないと（笑）。

山口 絶好調ですよ（笑）。近年希に見るコンディションだったんじゃないですか、あの頃は（笑）。たしかに風邪をひいてたってのは聞きましたけど。

――なんで出なかったんですか？

山口 ＵＦＯと冠が付くのに、そのトップ選手である小川直也は、最初からテーブルについてないし、どういうコンセプトかも聞かされてない。だから、単純に、ソフトも決まらないのにハードだけ発表してどうするんだよっていう思いが強かったから出なかったんでしょう。

――ふむふむ。で、小川選手がやると決めた理由はなんなんですか？

山口 発表しちゃったもんはしょうがないってことじゃないですか（笑）。

――アハハハハ。それはやっぱり僕の意見と一緒で可哀想ですよね（笑）。

山口 やっぱりＵＦＯという冠を掲げてやる以上は、ＵＦＯの社長がやるんだから、断るわけにもいかねぇなぁという感

小川がバーリ・トゥードの試合を行うとすると『プライド11』での佐竹戦以来となる

チャイナを出すんだったら、チャイナVSルミナ、チャイナVS菊田をやればいいんですよ

じでしょう（笑）。もっと複雑なんだろうけど、実際は。

――でも、断ったら面白かったんじゃないですか？

山口 ダーッハッハ。でも、当日、来ないかもしれませんよ（笑）。

――僕、出ないかなぁと思ったんですよ。

山口 いや、出ないことはあり得ないなと思いましたよ、俺は。やっぱり川村さんと小川直也の奇妙な結びつきもあるし、猪木さんとの奇妙な結びつきもあるし。

――でも、「政治力には屈しない」って言ってたじゃないですか。あの意味はなんなんですか？

山口 あれはね、小川直也に直接聞いたんだけれども、やっぱり抽象的な言い方でしか表現できないんですよ、オーちゃんも。

――言いにくい？ じゃあ、オーちゃんはマット・ガファリが選ばれたことに関してはどう思っているんですか？

山口 俺は川村さんと小川直也の関係も、ガチンコの部分と戦略的な部分とが混濁した、いい意味でのプロレスに見えるんですよ。

――お互いが素のアドリブが入ったプロレス？（笑）。

山口 知らないうちに顔面入れ合ってるみたいなね（笑）。

――なるほどね（笑）。

山口 いろんなしがらみや問題が山積みで、気持ち的には2人ともイベントに対して引き気味の中で、決まってしまったことを川村さんと小川が、お互いがお互いのレベルで盛り上げようとしてるっていうか。しかも全然噛み合ってない。そこは非常に綱渡りで面白いですね（笑）。

――オーちゃんはマット・ガファリに対してどういう評価をしてるんですか？

山口 俺もそれは直接聞いたんだけど、「バルセロナのシルバーでしょ？」って言うから、「いや、アトランタです」って言ったの。それくらいの認識でしょうね（笑）。でも、小川が茅ヶ崎かなんかで会見をやった時に、「どんな大会であろうが、プロレスラーだからプロレスの試合

▲第3回目となった『UFO　LEGEND』記者会見も、またまた川村社長の独壇場。藤田VS安田の決定を発表したのはいいが、隣にいた当事者の藤田にも「初めて話す」という、前回に続いて衝撃的な記者会見となった

をやる。嫌だったら呼ばなければいい」って言いましたよね。これが重要ですよ。

——そこがポイントですよね。その言葉をどう捉えてるんですか?

山口　オーちゃんが「ガチンコだけども、エンターテインメント」っていう意味でのプロレスをやると言っているのか、純粋にプロレスの試合をやるのかは憶測の分かれるところですよね（笑）。

——それは一番の焦点ですよね。会長はどっちだと思います?

山口　僕はガチンコだと思いますよ。今の時点では。むしろ藤田VS安田のほうがプロレスの可能性が高いっていう憶測もあるよね。あるいは藤田VS安田がガチンコで、小川の試合がプロレスだっていう業界内の見方もあるし。

——発言を聞いていると、ファンもそう思ってるんじゃないですか?

山口　どうなんだろうなぁ。そこらへんをひっくるめて楽しめるファン層は育ってないから、「全てガチンコじゃなかったら許さない!」っていうファンのほうが多いんじゃない?

——会長はプロレスの試合をやったほうがいいのか、ガチンコをやったほうがいいのかどっちがいいですか?

山口　「ガチンコだけどエンターテインメント」を望みますね、僕は（笑）。

それが僕の考える「プロレス」の軸ですから（笑）。オーちゃんは「例えば1R中に3回は必ずパフォーマンスやらなきゃいけないルールをつくるとか、ルール設定から考えてやりたかった」って言ってたんだけど、俺もせっかく『プライド』と違う場を作ってUFOという冠を付けてやるんであれば、純VTじゃなくてもいいと思うんですよ、よく考えれば。だから、無名の選手とやって「ガチンコのエンターテインメント」を小川が見せられるかどうかが試されると思いますけどね。

——ああ、なるほどねぇ。そういう焦点で見ればいいのね。

小川はガチンコなんだけど、エンターテインメントという試合をするかどうかでしょう

山口　それができれば、ある意味で現在のプロとしての小川の成長ぶりが測れるんじゃないですか?　ZERO—ONEでやってることの意味合いも含めて。

——なるほど、なるほど、そこが最大のポイントなんだ。

山口　だから、小川に対して、『プライド』のリングに上がってノゲイラとやれよっていう声もいまだに根強いけど、『プライド』のリングだったら俺も小川VSノゲイラは絶対見たい。でも、UFOという冠を付けてやる以上は、純VTにこだわる必要は全然ないんじゃないかなっていう気はしますけどね。オーちゃんもたぶん川村さんたちに言いたいのはそこなんだと思うんですよ。

——でも、マット・ガファリ相手だとできそうだなぁ……（笑）。

山口　ガハハハハ。アスリートとしては確実に強いじゃないですか、ガファリは。今の体型を見たら、あれ?　と思うけど。

——見た目だけ見たら、『THE　BEST』でジャイ落の対戦相手に呼ばれそうな感じですよね（笑）。

山口　ダハハハ。だけどrAwチームから分かれたチーム・クエストだっけ?　ランディ・クートゥアーとかダン・ヘンダーソンたちがいるチームで練習してるじゃない。で、クートゥアーたちが得意とする首根っこを押さえてのスタンドでのアッパーとか、あるいは上になってのパンチとか、ベーシックなものだけでもマスターしてたら……その上、あの体重で、しかもオリンピックの銀メダリストで、あのカレリンと渡り合ってたってなったら、怖いのは怖いですよね。まったくどう転ぶかは分かんないけど（笑）。

——ズバリ、小川は勝ちますか?

山口　逆にサダちゃんは、どう思います?

——負けたら最高の形ですよね。

山口　僕は最大限の評価をしたいですけどね。もし、負けたら。

——イベントとしては最高ですよね。

山口　うん。プロレスラーとして出るから、「どんな勝ち方」「どんな負け方」をするのかが一番問われるだろうけど。

——小川選手は勝ち負けはどうでもいいと思ってますかね。

山口　アスリートの部分では勝たなきゃダメだって思ってるでしょ、当然。

——小川選手が一番勝ち負けにこだわってるプロレスラーという気がするんですけど。

山口　万が一、負けた場合にどう克服していくかっていうのは見てみたいですよね。田村だって、シウバとボブ・サップに負けてからだいぶ毛色が違ってきましたからね。

——開き直ってますよね（笑）。

山口　だけど、ドン底の局面からでも「見たい」と思わせるのがプロレスラーですからね。僕個人は、小川を応援するし、小川に勝ってほしいけど、今のイベントの状況からしてみたら、負けたほうが面白いかもなぁという気もしますね（笑）。

——藤田と安田に関してはあおりを食ってる感じがしますよね。

山口　う～ん、でも藤田、安田に限らず、オーちゃんの「俺はプロレスをやる」発言や高山や高阪とかも含めて、はからずも「プロレス回帰現象」っていうのが無意識のうちに共通認識として出てるような気がするんですよ、最近。だから、『プライド』が高田VSヒクソン戦で始まって、もうすぐその高田も引退するっていう時期で、ある意味でプロレスラーの〝ミソギ〟みたいなものは、この前の高山VSフライで打ち止めになったのかなぁという

真夏のプロ格興行戦争を説くためのキーワードとは？

気はしますけどね。既存のプロレスラーが『プライド』に出る役割は、なんか高山VSフライで終わったような気がしないでもないですね。

――ただ、それが難しいんだよなぁ。藤田なんかを見てると、どんどん厳しい状況になっていくような気がするんです。やっぱ成功するのは全日本とかの純プロレスなんでしょう。典型的な例が復活NWF王座決定戦なんて、主催者は成功すると思ってるんでしょうけど、VTの緊張感を見た今、あんなに難しい企画はないですよ。

山口　でも、ネットでは「プロレスのリングで行われるからと言って、このトーナメントがプロレスだとは限らない」っていう意見が出てきて紛糾したりとか、そういう部分では面白いなと思いますけどね（笑）。

――でも、プロレスですからね、やっぱり！

山口　だから、どうやって新たなビジネスモデルを作るかってことでしょう。『プライド』やK－1がやってること、『Dynamite!』がやってることには、今のプロレス界じゃ、かないようがないんですよ、500％。それこそオーちゃんが「ソフトが決まらないのにハードだけ決めてどうするんだ」って言ってたのと逆で、ソフトだけ決めて、ハード面がまったく改善されてないわけでしょ、プロレス界は。だから、どんなソフトをやっても一緒という部分はありますよね。ハードの改革をしない限りは変わり様がないという部分はある。

――ビジネス構造が違うんですよね。

山口　外部の人間と接点を持ってどうビジネス構造を汲み上げていくかっていうことなんだけど、今のプロレス界の体質じゃそれができるところはほとんどないでしょ。新しく生まれ変わる全日本とかには可能性、あくまでも可能性は見えるけども。

――なるほどぉ。

山口　だから、「プロレス回帰現象」っていうのは、凄く重要なポイントだと思いますね。ちょっと考えなきゃなあと思いますよ。プロレスラーたちがこれから何を見せていくのか？　それは小川の「LEGEND」での闘いも一緒だと思いますよ。「俺は8・8でもプロレスをやるだけだから」っていうのは、またネットの住人たちにとってみると、「これは新たなカミングアウトが始まる予感がする」っていう憶測を呼ぶわけでしょ（笑）。そういう意味ではファンが勝手に重層的に見てくれるから。もう昔の興行のレベル、昔のビジネス構造で言えば「LEGEND」なんて大成功ですよ。NWFトーナメントも。

イソッチシートが50枚完売で、日テレの事業も大喜びだったらしいですよ（笑）

▲この女の子が噂のイソッチこと磯山さやかちゃんだ。写真集 Nectarine（撮影◎山岸伸）もアクアハウスより好評発売中！

藤田、安田に限らず、プロレス回帰現象が凄い勢いで進んでいると思うよ

――でも今は難しいですね。国立さえも難しいですもんね。

山口　時代性が圧倒的に違うからね。だからこそ、コンセプトをハッキリしなきゃいけないんですよ。コンセプトって、ハードルの高さをどこに置くかを決めるかってことですからね。

――そっかぁ。

山口　そんな中で藤田、安田、高山が小川に噛みついたり（笑）。そういうことだけじゃなくて、なんか得体のしれないものがうごめいてるよね。8月の興行戦争が終わったら、な～んかハッキリしてくるだろうけど。ホント、秋以降はどうなるんだろう。表現しづらいものがうごめいてるような気がするなぁ、ホント、このところ。

――磁場が狂ってますよね。

山口　狂ってる。「UFO LEGEND」が狂わせたね（笑）。『プライド』が独走態勢だったのが、「LEGEND」が出てくることによって、まだ新しい場ができる可能性があるんだっていうのは、「プロレス回帰現象」にもある種、拍車をかけているような気もするけどね。「LEGEND」は、磁場を狂わせたなりに、面白いものを生み出してくれればいいんだけどねぇ。

――それにしても今回は、みんななんとかなるだろうって感覚が凄くありますよね（笑）。

山口　うん。あ！　先週の土曜日かなんかの夜中に「LEGEND」の煽り番組が夜中にあったんだよね。ターザンも出てたやつ。そこでやってたイソッチシートって知ってる？

――イソッチっていう芸能人と見に行こうっていって、50名限定で販売したってやつでしょ？

山口　あれ、番組が終わるまでに全部完売しちゃったらしいよぉ。

――え～～～～～っ！　ほんとぉぉぉぉぉぉ！

山口　うん。集客力のまったくないギャラの高い選手を呼ぶより、費用対効果の率が全然いいぞって（笑）。「さすがアイドルの力は凄い！」っていう。そういう発見はあったみたい（笑）。

――（絶句）。

山口　完売なんだって。で、日テレの事業部も「凄いなぁ、3万円の席が50枚完売かぁ」って感心してるらしいの。でも、その時点でもうダメだよね。イベントとしての磁場が狂ってる（笑）。

――だって、番組の半分くらい使ってやってたじゃないですか、イソッチシート50枚って（笑）。

山口　その50枚が完売したことで、「売れた!!」っていう感覚になるくらい麻痺してるみたいね、事業部は（笑）。

――それは笑えるなぁ。

山口　でもイソッチシートはやられたよ。盲点！（笑）。だから、今回の問題はイソッチでしょうね。イソッチが「LEGEND」を見てどう感じるかっていうのに、俺は凄く興味がある（笑）。そういうことです！

――んあ～（笑）。■

8月、プロレス界編

UFO、K−1&PRIDEに挟まれ、プロレスはどこへ行く……対談

ターザン山本 VS 夢枕獏

『馬場さんが死んで、プロレスまで、天国にもってちゃったんですよォォォ!』

8月、『UFO LEGEND』と『Dynamite!』に挟まれ、プロレスはどういう影響を受けて、どうなってしまうのか？ プロレス界の8月、そして、それ以降の行くべき道について、ターザン山本と作家の夢枕獏氏に熱い緊急対談を行ってもらった。

撮影◎丸山剛史（対談写真）

——今回、8月にUFOが東京ドームで、K—1と『プライド』が国立競技場でビッグイベントを開くわけですけど、それがプロレス界にどう影響を与えるか、お2人に語ってもらいたいんですが。

山本 獏さんっ！ まずぅ、僕は30年以上もプロレスを楽しんできたけど、今は本当に純な気持ちで、プロレスをもう、楽しめなくなってしまったんです。プロレスをプロレスとして楽しめなくなってしまったという状況に来ているんですけど、それは獏さんどうなんですか？ 僕はそこが知りたいんですよ。

夢枕 今、実は僕はプロレスを見に行ってないんですよ、この何年間か。よく考えると、馬場さんが亡くなってから、見に行ってないんですよね。1回か2回ぐらいですよ。今行くのは格闘技の試合だけになっちゃって。この前、せっかく来たんで、ロック様は見に行ったんですけど。

山本 WWE!

夢枕 あれはまあ、チェックしておかなきゃなぁっていうつもりぐらいで、見に行ったんですけど。

山本 でも、そのチェックされたロック様が、馬場さんの代償行為になりましたかぁ、なりませんでしたかぁ？

夢枕 ならないですよ。

山本 なりようがないですよォォォ！

夢枕 なんないんですよねぇ。僕らが好きだったプロレスとは全然違うんですから、ロック様のは。あれはあれでいいんですけどね。

山本 あれはアメリカ流のエンターテインメントで、ディズニーランドとか、要するにユニバーサルスタジオみたいなもんですよぉ。

夢枕 これは山本さんもどこかで書かれ

ていたと思うんですけど、プロレスすら捨ててしまったショーなんだと言ってたじゃないですか。ショーとしては面白いんだけど、僕はプロレスとしてはダメなんですよ、あれ（笑）。

山本 プロレスを放棄して、何か別の物になったということですね。

夢枕 そうですね、ロック様がやっているのはね。じゃあ、日本にプロレスがあるかって言うと、僕が見たいようなものはもうないんですよね。

山本 僕らは猪木さんから始まって、佐山選手と前田選手のUWFになって、シューティングができて、で、その他様々なアルチメットとか、格闘技化の方向にドーッと流れていったのを見ているわけですよぉ。獏さん、僕らアメリカまでUFCを見に行ったじゃない？

夢枕 行きましたよぉ、モスクワにも行ったし（笑）。

山本 僕も獏さんも格闘技化の方向に傾いていってしまったんだけど、結局キーワードが馬場さんだったというのはどうなんでしょう。「プロレスとは、ジャイアント馬場である」という、結論に達していません？　僕たちは。

夢枕 う～ん、でも山本さん、最後に馬場さんだったのは僕らだけじゃなくて、アントニオ猪木だってそうだったわけですよ。だって、馬場さんがいなくなってから、アントニオ猪木がどうなったかというと、なんか糸が切れたタコのようじゃないですか（笑）。なんか愛せない分野に入ってっちゃったんですよね。

山本 猪木さんが猪木さんらしくなくなっている、もの凄く変貌していっているんですね！　非常に即物的なアントニオ猪木像が見えてくるんですよォォ！

夢枕 だから、両輪だったんですよね、僕の中でも猪木と馬場っていうのは。

山本 ということは馬場さんは、亡くなった時に、プロレスそのものを全部独り占めにして、天国へ持ってっちゃったんですか（笑）。

夢枕 そうなんですよ（笑）。持ってっちゃったから、今ないんですよねぇ。今、新日本がゴチャゴチャしながらいろんなことをやったり、他の所もあれこれやったりしてるけど、それはプロレスの芯がないところに、まだ馬場さんが持っていけなかったものを見つけて、拾っている感じですよね。

▲現在のプロレス界の迷走はジャイアント馬場の死去で決定的なものとなった

馬場さんが亡くなってから、猪木は愛せない分野に入ってしまった〈夢枕〉

山本 もしかしたら、馬場さんが天国へ持っていったんだけども、どっかに落ちていないかと、落ち葉拾いをしてるんですね。それは傑作だ（笑）。

夢枕 そうそう（笑）。結局、馬場さんがいないとダメなんですよね。UWFも結局そうだったんですね。なんだかんだ言っても、片っぽにプロレスの世界があったから、初めてUWFっていうのは光ったわけですよ。

山本 獏さん、馬場さんが亡くなった時、まさか全部のプロレスを地上から天国に持っていくと思ってました？

夢枕 思ってなかったですよ（笑）。猪木がもっと違うアクションをするかもしれないと思っていましたねぇ。でも、やっぱり馬場さんが亡くなった時に、猪木のプロレス的なテンションも一緒に下がっちゃったみたいなところがあったんで、僕はそれが寂しかったですね。

山本 獏さん、そういう馬場さんの生き方というか、そういう人って、他のジャンルの中にいるんですか、日本人の中に？

夢枕 いないんじゃないですかね、たぶん。思いつかないですねぇ。

山本 だって、他にそういうタイプの人を探そうとしても馬場さんタイプの人はいないんですよォ。猪木さんは風車に向かって突撃するドン・キホーテみたいなもので、馬場さんは何もしない人であるんだけども、もう存在が宇宙みたいなところがあるんですよ。

夢枕 だって、ミスタープロレスなわけですから、なんかコセコセしたことをしないで、存在だけでOKなんですよね。

山本 でも、何もしないことでプロレスを表現できるって、これって禅問答みたいなものじゃないですか？（笑）。

夢枕 晩年の馬場さんの試合を見に行ったら、本人はほとんど動いてないんですから。だって、ロープに寄りかかって足を上げたり、相手の背中をパッと叩くだけで、相手が全力疾走して戻ってきたりで。でも、馬場さんがやると、みんな拍手するわけですよ（笑）。

山本 それはもう、アンタッチャブルの世界なんですよ。神々しい神の世界なんですよ。どうなんですか？

夢枕 僕は神々しいというより、古典芸能の世界だと思ったんですね。古典芸能って型の世界なんですよ。だからその、何十年後かに、古典芸能っていうのは名前も襲名していきますから、馬場とハーリー・レイスの試合とか、馬場とブッチャーの試合とか、今でもお面被って再現可能だと思うんですよね。

山本 非常にゆったりとした流れの中で行われますからね。

夢枕 だから、古典芸能っていうのが昔、プロレスを揶揄する言い方で使われたと思うんですけど、馬場さんに限ってはそのまんまだと思いますよね。

山本 あのう、今話題になっている狂言師の和泉元彌さん。あの人が言っているんですけど、自分は子供の頃からお父さんから狂言の型を教えられたと。全部型を教えられることによって、型の中に心があるということが分かってくるんだと言っているんですよ。だから、型は絶対に崩してはいけないんだと。

夢枕 それはね、古典芸能の世界は全部

そうですね。今、玉三郎さんなんかが踊っている「雪」っていう踊りなんですけども、これは元々、竹原はんっていう死んだおばあちゃんが踊っていた踊りなんです。そのおばあちゃんが凄い人で、子供の頃から型で踊りを覚えていくわけですよ。それで、「やっと心と体が一つになりました」っておばあちゃんになって、初めて言うわけですよ。それをある評論家が誤解をして、心のままに体が動くようになったって言うんですけど、違うんですよ。体のままに心が動くようになったんですよ。

山本　体のままに心が動くぅ?!

夢枕　最初は、型から覚えていくわけですよ。悲しいっていう気持ちが分かるわけないじゃないですか、子供の頃は。何が悲しくて、何がつらいかって分からない。3歳と4歳の頃に悲しかったら、袖をこうして、首をこうしなさいって教わるわけですよ。で、年を取って、恋をして男が逃げちゃったりなんかして、初めてこの型の意味が分かってくるんですよね。だから、型に対して、心が追いついていくんですよ。だから、その伝統で決められた型に、「ようやく心が追いつきました」って言わなきゃいけないのを、ある評論家は逆に言っているわけですよ。

山本　初めに型ありきなんですねぇ!

夢枕　心は教われないですよ。型を教わることによって、心を教わるんですから。

▲本気になったら、本当にやったら、プロレスラーは強いという幻想をファンたちに抱かせるには、レスラーたちはやはりバーリ・トゥードに出て行くべきなのか?

山本　でも、今のプロレスは伝統芸能と言われるのが嫌なので、プロレスというフォルムを全部崩す。崩すことがリアリティがあることだって、突っ走ってきたでしょう、この10何年間!

夢枕　そうしたら、『プライド』まで行かなきゃいけないんですよね。

山本　そこにあるのは『プライド』なんですよォォォ!

夢枕　だから、プロレスやっててもいいんだけど、バーリ・トゥードが来たら、出て行って、ブラジルの柔術家をぶちのめす!　それでまたプロレスをやんなきゃダメなんですよ、今は。そうしないと、僕らが好きだった頃のプロレスの世界は守れないんですよ。僕らはプロレスラーが本気でやったら、強いんだって思っていたんですからね。

山本　本当にやったら、本気になって出て行ったら、プロレスラーは絶対に強いんだっていう幻想が僕らの中で最大の幻想だったわけでしょう?

現在のプロレスはフォルムを崩すために突っ走ってきた〈山本〉

夢枕　そうなんですよ。でも、今はその場があるのに、一部の人を別にして出て行かない。それはいつも山本さんが言っていることですよね(笑)。

山本　と言うことは、今はプロレスというフォルムを保持できないというか、継続できない、維持できないということだよねぇ。ということはプロレスがない。僕たちがプロレスをかつて楽しんでいた土壌がないんですよぉ。

夢枕　だから、若い人たちが好きなプロレスはあるのかもしれないけれども、僕の好きだったプロレスはないわけですよ。

山本　でも、獏さん、僕はマスコミなので、あるように見せるために、綻びたところを言葉で何回もつぎはぎして、あ～でもない、こ～でもないとやり続けているわけですよォォォ!　この何年間も!

夢枕　偉いですよ、それは。

山本　僕はいったいなんなんだろうって思いますよォ!

夢枕　でも、山本さんの寄って立つ場所として、プロレスは見捨てたって言えないでしょう?　心の中でどんなに縁を切りたいと思っても、それは山本さんが絶対に言っちゃいけないセリフだから、死ぬまでやってください、覚悟決めて(笑)。

山本　僕は見捨ててはいないんだけど、僕が好きだったプロレスはないということは言ってしまうんですよォォォ!　その逆説の中から、また新しいものが生まれるんじゃないかという期待感が、自分の中に1%ぐらいあるわけですよォ!

夢枕　でも、面白いのは、山本さんがそういうことを書くことが面白いんですよ。僕にとってプロレスというのは、今は山本さんがどういうことを言うのかとか、どう書くのかっていうのが面白いんです。試合じゃないんですよ、プロレスで面白いのは(笑)。山本さんが文章を書くために、存在しているんですよ、今のプロレスは。

山本　それは邪道ですよォォォ!(笑)。

夢枕　極端に言えば、僕にとってのプロレスは才能のある人が語るためのものになっちゃっているんですよ。だから、今のプロレスの状況について、誰がどんな言語で語ってくれるかっていうのが今の僕の興味なんですね。

山本　綱渡りか、それとも綻びを縫っている裁縫師みたいなもんですよぉ。僕としたら錬金術に挑戦しているようなもんですよォォォ!

夢枕　でも、高山選手はいいと思いますよ。もっと、高山選手みたいな人が出てくるべきですよ。

山本　でもね、僕はあれで満足してほしくないんですよ。結果的にはドン・フライに勝ってほしいという気持ちがあるんですよォ。でも、今さら勝ってもらっても、もう遅いという気持ちまであるんですよ、どう思います?(笑)。

夢枕　だから、ヒクソンとかグレイシー柔術が出てきた時に、UWFがあったために日本では対応ができたわけじゃないですか。僕らはそういう選手にヒクソンとかグレイシー柔術とかやって、勝ってもらいたかったわけなんですよね。それで、悔しいことに結局勝てなかったわけじゃないですか。で、桜庭選手がグレイシーに勝ったんだけども、僕にとって桜庭選手は引き出しが違うんですよ。総合格闘家の引き出しに入っている。だから、僕のプロレスラーの引き出しには桜庭選手は入っていないんですよ。だから、プロレスの引き出しに入っている選手に勝っ

てほしかったんですね。

山本　違う札が出て来ちゃったわけですね！（笑）。

夢枕　高田選手とか船木選手とか、前田日明に勝ってほしかったわけですよね。逆に言えば、今、ヒクソンが愛おしいわけです。そういうUの戦士に勝ったヒクソンを今度は守りたいわけですよ。

山本　今度は守りたいわけ？

夢枕　勝ってほしくないです、ヒクソンに。

山本　小川でもダメですか？

夢枕　だから、ヒクソンに勝つんだったら、昔の純粋培養のU系の選手に勝ってもらいたいですね。

山本　だから僕は、UWFが出てきた時に、佐山聡も前田日明も船木誠勝も、馬場さん的なプロレスは自分たちでは表現できないということを分かったからこそ、あそこに行くしかなかったということが見えてきたんですけど、どうでしょうか？

夢枕　行くしかなかったでしょうね。それはしょうがないですよ。山本さんだって、辞めるしかなかったでしょう（笑）。でも、会社を辞めて良かったでしょう？

山本　良かった。

夢枕　生き生きしてますもん。

山本　組織に所属したことによる、いろんな保守的なものを捨てることができたからですよォォ、ブワーンッと！

夢枕　だって、自分の看板だけ背負っていればいいわけですから。本当に大変だと思いますけど、そのほうが自由でいいですよ。自分が明日、何時何分どこにいるかって、自分で決めるわけですから。それはもう、最高のことだと思いますよ。

▲今年、指導する子供たちに闘う姿を見せたいということで、現役に復帰した大道塾の長田賢一と、現在はハリウッドで自分が主演する映画の撮影を目標としている、元極真の八巻建弐

そうしたら、『プライド』まで行かなきゃいけないんですよ〈夢枕〉

山本　うん、僕の人生の中で一番最高のことは、24時間が全部自分のためにあるということですよぉ。

夢枕　勤めていると、そうじゃないでしょう。

山本　その3分の2を取られちゃうから。そうすると、獏さん、僕たちは馬場さんのいなくなった後の世界で、要するに「プロレス難民」ということになるじゃない？（笑）。

夢枕　どこへ向かったらいいですかね？

山本　夜空に南十字星を見てさ、どこの島に漂着すればいいんですか？（笑）。

夢枕　それにはまず地図がないとダメですよ（笑）。

山本　もう、イカダですよ、イカダ。

夢枕　イカダですからね（笑）。地図もないしね、磁石もないし。ただ風と波に任せて流れているだけですよ。

山本　でも、向こうからK—1とか『プライド』みたいな光は、見えてくるんじゃないですかぁ。島の光が。

夢枕　それはそれで、そん時だけ、K—1行きの船に乗り換えているわけですから、僕は（笑）。プロレスファンとしては難民。でも格闘技ファンとしては船に乗っている。

山本　ああ、K—1行きという船にね（笑）。今の若い人たちは、僕たちほど猪木さんの現役時代、馬場さんの全盛時代を知らないので、そこにK—1や『プライド』があるから、楽しんでいますよね。僕たちは、馬場さんと猪木さんの時代を引きずってきたというか、背負ってきたというか、記憶があるので、果たしてK—1や『プライド』が僕たちの記憶を満足させる代償行為になっているのか、なっていないのかという、この究極の問いかけはどう思います？

夢枕　それは、問いかけが間違っている。もう、プロレスとは分けて考えないと。

山本　問いかけすること自体、おかしい？

夢枕　別の宇宙の出来事だと思わないと（笑）。

山本　でも、記憶が邪魔してくるでしょう？　記憶との闘いになるでしょう？

夢枕　そうなんですよね。

山本　で、人間って、記憶が全てでしょう？

夢枕　でも、僕は逆にね、猪木さんが昔の猪木さんでなくなることによって、記憶のインパクトが一緒に薄れてくれているので、多少ありがたいですよね。

山本　じゃあ、獏さんは猪木さんの記憶から、多少自由になっているわけですか？

夢枕　多少、自由になっていますね。というのは、僕の場合は、大道塾の影響が大きいと思うんですよね。僕はあそこがリアル格闘技を生で見る一番の大きな窓だったんですよね。

山本　もっと言うなら、深く関わっている第2の故郷みたいになっているわけでしょう？　と言うより、僕は駆け込み寺だと思うんですよォ。

夢枕　いやいや、駆け込み寺と言うよりは、故郷ですね（笑）。僕はこのご時世の中で、なんでこんなにピュアな団体があるのかなって思ってますから。

山本　でも、獏さん、そのピュアだというのはクローズした世界の中にしかないという感じはあるんですよ。

夢枕　まさしくそうですよ。大道塾は世間に対して、閉じられている部分があり

ますね。基本的には、東師範がアマチュア団体というスタンスをきっちり持ってますので、それがピュアなものを作り出しているんです。

山本 でも、グローバルスタンダードはクローズした世界を開放しろという波があるじゃない！

夢枕 だから、僕は一時、大道塾が世間の価値観の中へ出て行って、僕の好きな選手がいろんな世界で活躍する姿を見たかったんですけど、最近は少し考えが変わってきて、大道塾という価値観の中で生きていくのもいいんじゃないかという気がしてきたんです。

山本 じゃあ、長田選手みたいなクローズした選手の輝きを見て、獏さんは非常に快感に浸っているわけですか？

夢枕 本音はやってほしいなっていうのがあるんですけど。

山本 ワハハハハ（パチパチ）。あるでしょう？ 長田VS佐竹とか見たいでしょう？

夢枕 今、長田選手は、凄く調子がいいんですよ。でも、彼は、K—1とか、キックとかはやる気はないんですよね。今、子供たちを教えているので、子供に自分の闘う姿を見せたいというので、仙台でやる大会だけは出るわけですよ。

山本 じゃあ、獏さんにとって、ファイターは、実力測定の場所に出ていくのか。それともクローズした生き方そのものに興味を持って生きるのか、どちらですか。この問いかけはあるでしょう？

夢枕 う～ん、それは非常に難しい問題なんですよ。それはね、自分のスタンスが変わると答えが変わっちゃうから。

山本 ワハハハハ。

夢枕 だって、K—1とか『プライド』のような価値観に対して、本当に興味がない選手っているんですよ。例えば、それは極真の世界チャンピオンの八巻選手もそうなんですけど、僕は彼がK—1に出るのを見たいわけですよ。

山本 見たいですよぉ！ これはミーハーとして見たいよォォ！

夢枕 見たいわけだけど、知り合いとして言うと、彼が違う価値観の世界にいて、違うことを目指しているということが、よく分かっているので、本人に出ろって無責任に言えないわけです。でも、出れば応援しますよ。だから、答えが違うんですよ、立っている場所で（笑）。

▲下手をすると、試合以上に盛り上がってしまう、猪木の「ダァーッ！」。夢枕獏氏は、絶対に周りの観客がいくらやろうとも、絶対にやらないと言う

小川選手は人の敷いたレールに乗るのは嫌がっていますからね〈夢枕〉

山本 でも、男の生き方から言ったら、どうなんですか？ 何を問われているんですか？

夢枕 今の八巻選手の生き方も男の生き方だと思うんですよ。八巻選手の価値観の中では、極真の世界大会で優勝することが一番だったわけですから、その一番価値あるものを手にしてしまった以上、他の価値観っていうのは低いわけなんです。だから、別の世界に行って、本人はハリウッドで、自分主役の映画を一本撮りたいっていうことが、今の一番のモチベーションになっているわけですから。

山本 でも、自分がいたジャンルを越えて、『プライド』みたいなものがあったら、そこに新たにチャレンジしていこうという選手もいっぱいいますよね？ 外国人には山ほどいますよ。

夢枕 それは彼らが自分をアピールして、それでお金をいっぱい儲けたいとか、いろんなモチベーションがありますからね。

山本 新たなる人生のチャレンジになるわけですよね。

夢枕 八巻選手の場合はそれが違う世界へ行っているんですよ。長田選手は長田選手で違う価値観があるわけです。

山本 それを見ている獏さんは贅沢ですよ。両手に花じゃないですかぁ！ でも、今の話で一番分かったのは、一番この世の中に彷徨っていて、ボートピープルなのは猪木さんってことですよォ！

夢枕 どこに行くんですかね？ 馬場さんという重しを失ってしまったために、猪木さんは本当に風のままに（笑）。

山本 それが美しければいいんですよ。だからハッキリ言って、猪木さんは借金して、お金がない状態じゃないとダメなんですよォ。借金していた時の猪木さんは、もの凄い猪木さんらしいフィクションを構築できたわけだけど、お金ができると色気のあるフィクションを構築できないもんねぇ。

夢枕 そうですよね。僕ね、今でも「1、2、3、ダァーッ！」ってやってる時には周りの人が立っても、僕だけ立たないですから。

山本 偉いねぇ～（パチパチ）！

夢枕 だって、やりたくないでしょう？ あんなの。「元気ですかーっ！」なんて言っている猪木を見たくないですよ。たしかに見ていると気持ちいいんですよ。気持ちいいんですけど、僕は参加しないって決めているんですよ。

山本 偉い！ あれはもう過去のものなんだよね。それは獏さんの中で、拒否しているわけですね。

夢枕 だって、あんなことしちゃいけないですよ、猪木が。昔「プロレスを舐めるな」って、お客ですら殴りそうな勢いだった猪木ですよ。僕の大好きだった猪木が心の中にいるんです。それがね、リングで詩を読んでるのは哀しいですよ。

山本 ワハハハハ。猪木さんは詩を必要としていなかったですもんね。俺たちが詩を感じてたんだから、無言の詩を。

夢枕 詩は読まないで自分の日記帳に付けて、奥さんに見せて「俺の詩はどうだ？」っていう世界でいいと思うんです。

山本 死んだ後に出てくる。

夢枕 そうですよ。あの大山総裁の熱いラブレターのように、亡くなった後に発見されて、猪木もピュアなところがあったんだなってね（笑）。

山本 獏さん、僕たちはプロレスにのめり込んで、プロレスが好きだっていうことが一つの大きな糧になっていたんだけ

ど、時代を総括するより、自分を総括することのほうが大事だと思うんですよ。どう思います？　時代なんかどうでもいいわけですよォ。

夢枕　カワイイのは自分ですからね、自分を肯定しなきゃいけない（笑）。だから、プロレスでやってきた作業っていうのは、初めは真剣勝負だと思っていたんですね。だんだん、分かってくると、最後の拠り所は本気でやれば強い、だったわけじゃないですか。

山本　そうそう。その一言ですよ。

夢枕　それすらも消えそうな時に、どんな理論武装がありますか？

山本　そう言われても、決して諦めてないんだよね、僕は。

夢枕　でも、スター選手が出ないとダメですね。だから、小川選手はプロレスの救世主になり得る素材だと思うんですよね。でも、小川選手本人は自分について、どういう存在を理想として設計図を描いているんですか？

山本　一言で言うと、僕はこういう考え方があるわけですね、人のアングルに、人の敷いたレールに乗っていくのが、最も贅沢な人生であると。そのほうが僕にとって、素晴らしいものなんだけど、そういう発想ができないんですよ、彼は。

夢枕　小川選手は人の敷いたレールを嫌がっているんですか。

山本　「それは僕は聞いてません」と言うんだもん。聞いていなくても、乗らなきゃいけないんですよ。

夢枕　御輿は担がれないとダメなんですよね。

山本　御輿として担がれる喜びがないとダメですよね、男は。

夢枕　小川幻想って、人の敷いたレールに乗っからなかったことによって、逆に残っているのかなって気もするんですよね。もし、本当にプロレスだけやっちゃったり、『プライド』だけをずっとやっちゃってたら、幻想は消えていたかなっていう気がしますけど。どうだったんでしょうね？

山本　小川選手には北尾選手みたいになったら、誰も自分を救ってくれないという発想があるんだよね。でも、それは違う。どんなことがあろうと、誰かが救ってくれるという価値観を持ってほしいんだよォ。プロレスファンが救ってくれるという。

夢枕　ファンが小川選手に乗りたかった状況ってあったと思いますよ。でも、それはZERO―ONEじゃないような気がしましたけどね。橋本選手を蹴っ飛ばしちゃって、あそこから、今の場所じゃない別の場所へ行っていたらね。今より凄い小川がいたかもしれない。

山本　彼は手形が形として見えなきゃダメだと思うんだよ。見えない手形は彼は分からないと思うんだよ。

夢枕　小川選手は柔道衣で出てきて、「俺は柔道の技で簡単に勝てるんだ」って言って、相手をドンドンやっつけちゃえばいいんですよ。柔道の技で。たすき反りでも、天狗投げでも、山嵐でもなんでもいいから。

山本　でも、ということは小川はポイントですよォ。これからのプロレス界に期待する上では。

夢枕　僕らが期待するプロレスを唯一、見せられそうなのが、小川選手なんですけどね。でも、それもどっかに馬場プロレスがないと光らないんですけど。

山本　かぁ〜、貘さん。ということは、僕らはずっと2人でイカダを漕ぎ続けなきゃぁ、ダメってことですよ。2人で漕ぎ続けましょう！

夢枕　んあ〜。■

▲プロレスファンが乗ろうとした小川は、ZERO－ONEで金網デスマッチをやる小川ではなかった？

「聞いてません」って、聞いていなくても、乗らなきゃいけないんですよ〈山本〉

『柔道部物語』も『1・2の三四郎』も大好きですよ。

吉田秀彦"8・28国立"

熱烈応援スペシャル対談

小林まこと（漫画家） VS 吉田秀彦

MAKOTO KOBAYASHI

HIDEHIKO YOSHIDA

司会＆構成◎林　毅　撮影◎中島ミノル

いよいよ1カ月を切った8・28『Dynamite!』国立競技場大会。〝吉田秀彦VSホイス・グレイシー〟の世紀の決戦を前に「ぜひ、吉田選手を熱烈に応援したい」という漫画家の小林まことさんにご登場いただき、吉田秀彦とのスペシャル対談を実現した。『柔道部物語』、『1・2の三四郎』などで、プロレス・格闘技ファンに絶大な人気を誇る小林まことさんだが、さすが、自他共に認める格闘技ファン！　なかなか聞けない質問まで、ズバリ聞いてくれたゾ！

——ちょうど10年前の昨日、吉田選手がバルセロナオリンピックで金メダルを獲ったんですよね。

吉田　ああ、7月30日だ。そうですね。

小林　もう10年経つんだ。

——小林さんも、バルセロナには行かれてたんですよねぇ。

小林　はい。

吉田　あっそうですか？

——小林さんと吉田選手は、面識はないんですよね？

小林　いやぁ、そうなんですよ、ニアミスばっかりでね。バルセロナでもすれ違ったんだけど。

吉田　えっ、そうなんですか、すみません（笑）。

小林　いやいや。あとね、徳山のインターハイでもすれ違ったんですよ。「今の選手、世田谷の吉田選手じゃないか」と思いながらね（笑）。

吉田　あん時ですね、カゼひいて熱があったんですよ。で、調子悪くてボーッとしていて。宿舎に帰ってからずっと寝ていたんですよね。

小林　そのわりには、試合ではバンバン投げていたよねぇ。

——吉田選手は、小林さんのことはご存知ですよね。

吉田　もちろんですよ、『柔道部物語』も『1・2の三四郎』も大好きですから。いろいろ名前は違ってますけど、出してもらっているんで（笑）。

小林　なんかねぇ、古賀（稔彦）選手とか小川（直也）選手とは雑誌の取材とかで知り合って、何度か飲みに行ったりとかあったんだけど、吉田さんと話すのは本当に今日が初めてなんだよね。

——そうなんですか。まあ、今日は初対面ということで、お互いにお聞きになりたいこともあると思いますので、ざっくばらんにお話いただきたいんですけど。

小林　いま、体重はどのくらいですか？

吉田　100キロくらいですね。

小林　それは意識して増やしたの？

吉田　いえ、知らないうちに（笑）。

小林　ハハハハハッ。

——バルセロナ五輪の頃は78キロくらいでしたもんね。

小林　ねぇ。今日久しぶりに見て、こんなに太かったかなぁと。

吉田　ハハハハハッ。

——小林さんが吉田選手に注目し始めたのっていつ頃だったんですか？

小林　世田谷学園の時だね。最初は、春の高校選手権の関東の予選かなんかをテレビで見ていて。

吉田　はいはいはい。

小林　準決勝で5人抜きして。こいつはホント、凄ぇやって。で、決勝でも出てきて3人くらい抜いて。それ以来、ずっと追っかけ回していたんだよね。

——マンガを描く上でもかなり参考にされたんですか？

小林　もちろん、いっぱいしてますよ。ホント、お礼を言わないとね（笑）。

吉田　いえいえ、とんでもないです（笑）。

小林　いやね、僕は今まで、柔道に不満が2つほどあったんですよ。それは柔道にプロがないということと、町道場が絶望的に少ないということなんですよ。

吉田　少ないですね。

小林　吉田選手はこの2つをいっぺんにかなえてくれたんでねぇ、有り難いんだよねぇ。

吉田　僕がやることによって、どう変わるか分からないですけどね（笑）。

小林　いやぁ、変わるでしょ。

——間違いなく変わりますよね。

小林　やっぱりねぇ、オリンピックに出た人はみんなとりあえず、道場を持つべきだよねぇ。

吉田　今まではそれがなかったんですよね。

小林　うん。学校に入っちゃったりね。

吉田　全日本柔道連盟の仕事をしたり、コーチとか。

小林　古賀選手も道場を開いたんですよね？

吉田　まだ開いてはないですけど、来年ですかね？　始めるのは。

小林　吉田選手が道場を始めようと思ったのは、やっぱり道場が少ないとか、そういう不満があったわけでしょ？

吉田　そうですね。底辺拡大ということで、全柔連で『柔道フェスタ』というイベントとかやっているんですけど、結局、そこに集まる子供たちっていうのは柔道をやっている子なんで。イベント自体は悪いことではないんですけど、それが本当に底辺の拡大なのかなというのは感じてましたね。

小林　本当だよね。学校教育にも入っちゃっているということで、あまり増やす努力をしてないって感じがするよなぁ。

——実際、吉田選手の道場を見に行って、子供たちの練習している姿を見ましたけど、本当にいい雰囲気でやっていて、あぁ、僕も近くに住んでいたら、自分も通いたいし、子供はぜひに入門させたいなと思いましたね。

小林　俺も通いたいなぁ。

『柔道部物語』も『1・2の三四郎』も大好きですよ。名前は違ってますけど、出してもらってますから（笑）（吉田）

柔道にプロがないこと。町道場が絶望的に少ないこと。吉田さんは、僕の2つの不満をいっぺんにかなえてくれた（小林）

SH vs HIDEHIKO YOSHIDA

内股で千切っては投げ千切っては投げって感じで最後は、絞めで落とすのが理想だよね（小林）

吉田　子供たちはほとんどがまったくやったことのない子ですね。一般のほうは昔やっていたりとかもいますけど。

小林　一般もできるの。

吉田　はい。一般のほうが最近は多くなってきて、練習ができなくなってきちゃって。道場が狭いんで。

小林　吉田さんが一人で教えているの？

吉田　いえ、もう一人いて、あとは明治の後輩たちが、土曜とかに来てくれたり。

小林　とてもじゃないけど一人じゃできないよね。

吉田　そうですね。小林さんもぜひ一度、道場に来てくださいよ。

小林　いいねぇ。なんかさぁ、林さんもやっていたじゃない、少し。でさぁ、このレベルの、ダメな柔道選手がさぁ、社会人になってから、会社の帰りに打ち込みでもちょっとやりたいなって思うことがあるじゃない？

――ありますねぇ（笑）。

小林　でも、そういう時に道場がどこにもないんだよねぇ。

吉田　だいたいそういう人たちが集まっていますね。サラリーマンとかバスの運転手さんとか。女性もいますしね、OLとか。

――素晴らしい！（笑）。

吉田　やっぱりやる場所がなかったって言ってますよね、みんな。

小林　ホント、そうなんだよね。

吉田　小学生は9割は初心者ですからまだ乱取りとかできない状態なんですよ。受け身から、一から教えて。

小林　それは大変だなぁ。

吉田　でも、だいたい1カ月経って、練習の流れができてきたんで、少しずつ高度にしていっているんですけどね。やっと寝技を始めたところですね。でも、吸収力速いですよ、子供は。素直ですし。

小林　やっぱり小っちゃいうちからやるというのは大事だなぁ。

――ところで、小林さんは今回、吉田選手がプロに転向するというのを知った時、どんな感想を持ちました？

小林　もう、理想の形じゃない。吉田選手がやってくれたらなぁとか思っていたら、本当になっちゃったんだもんねぇ。

――そのニュースが新聞に出た時（4月18日）はどんなことを思いました？

小林　有り得ないと思っていたんだよね。そんなわけないだろう。やってくれないだろうって。

――4月29日の全日本選手権もありましたからねぇ。新聞記事が出た時点では。

小林　あの時点ではもうだいたい腹は決まっていたの？

吉田　いや、まだそこまでは……。全日本の前だったんで、全日本のことしか考えていなかったんで。

小林　まあ、そうだろうねぇ。

――小林さんは『プライド』とかはご覧になっているんですか？

小林　うん、俺は、関東のヤツは全部見に行ってます。やっぱり今は『プライド』が一番面白いでしょう。プロレスが視聴率20％くらいとっていた時期ってのがあってさぁ、あん時、俺が高校生くらいの時なんだけど、今は、情報が出回っているからプロレスが、ショーっていうか、そういうものなんだってのを承知で見ているけど、当時の我々はねぇ、真剣勝負だと思って見ていたんですよ、ずっと。今そういう感覚で「プロレス」って呼べるのは、『プライド』なんだよね。

――その感覚は分かりますねぇ。

小林　『プライド』のほうが全然プロレスなんですよ。スゲェ連中がいっぱい集まってて。

――そのスゲェ連中の中にまた一人……。

小林　ホントにまた凄いのが入ってきてさぁ、本当に楽しみだよねぇ。

吉田　どうなるか分からないですけど（笑）。

――やっぱり感情移入っていう部分では一番ありますよね。

小林　一番ありますねぇ。今までで一番あるね（笑）。

――ルールはだいぶ、決まってきたんですか？

吉田　う〜ん、最終的にはいつ決まるんですかねぇ？

――ということは、まだちゃんとは決まっていない？

吉田　ええ。

――具体的な内容に関する話し合いは？

吉田　まだですね。最初の条件として、顔面への打撃はなしと、で、道衣着用と。そこまでしか聞いてなかったんで。

――ホイスサイドがこんなことを言ってきているというような情報というのは、入ってきているんですか？

吉田　時間を長くしろとか言ってきているみたいですけど、あとはあまり。向こうは、なんか50年前に、エリオと木村先生の試合があったじゃないですか、それをだいぶ意識しているみたいで。

――記者会見でも、あの試合に近いルールでやりたいというようなことを言ってましたよねぇ。

吉田　打撃は、なければないでいいんじゃないかと思うんですけど。

――吉田選手としては決まったルールでやるという感じですか？

吉田　まあ、そうですね。

小林　希望を言ったりはしてないの？

吉田　いや、全然。まあ、道衣が小っちゃかったら持てないんで、そのくらいは。

――ああ、道衣の袖が掴めなかったら投げることもできないですもんね。

小林　ホイスって写真で見ると、意外と大きいんだね。

MAKOTO KOBAYASHI

SPECIAL RING SIDE SRS・DX

真夏のプロ格興行戦争を説くためのキーワードとは?

吉田 大きいですよ。並んでみたら大きかったですね。

小林 いやぁ、楽しみだなぁ。無責任なようですが（笑）。

――小林さんはルール的にはどんな感じでやったら面白いと思います？

小林 今、出ているルールがベストだと思いますね。打撃なしの。

――そういうルールでやってほしいという声がある一方、打撃有りの試合も見たいという声もかなりあるんですよね、ファンの間では。

小林 まぁでも、打撃有りでやったとしても、お互いに打撃の選手じゃないわけだし、そんなには……。

――関係ないだろうと。どんな技で決めてほしいとかはありますか？

小林 やっぱり内股でね、千切っては投げ千切っては投げって感じでね（笑）。

吉田 内股で10本投げたら一本勝ちとかあればいいんですけどね（笑）。

――木村VSエリオ戦の前に、加藤行雄さんという柔道家がエリオと試合をして、その試合では一方的に加藤さんが投げ続けていたんだけど、逆に疲れてしまって。

吉田 最後、絞めで落とされちゃったんですよね。

――そうなんです。

小林 ほぉ〜。

――グレイシー柔術というのは、スキを突くのが巧いというか、投げられても投げられても、スキというか相手のミスを狙うことだけ考えていると思うんですよ。裏柔道的というか。

小林 そうだよねぇ。でも、そんなのがあったというのが、衝撃的だったよねぇ グレイシーが出てきた時には。

――衝撃的でしたよね。

小林 グレイシーが出てきてさぁ、ちょっと柔道をかじっている連中にとっては嬉しかったよね。こういう試合には柔道は向いていないと、思い込んでいた部分あったから。

――やっぱり裸の試合ならレスリング系のほうが圧倒的に強いという。

小林 うん。でも、考えてみりゃ、世界中の警察で柔道を採用しているんだから、そんだけ実戦的だってことなんだよね。

――吉田選手は今回のホイス戦だけでなく、今後も道衣を着てやられるということなんですけど。

小林 カッコイイよねぇ。

吉田 まだ、分かんないですけどね。

小林 道衣着ていたほうが断然カッコイイですよ。

――いいですよねぇ。

小林 やっぱり裸だとやりづらい？

吉田 やりづらいですねぇ。今、髙阪(剛)のところとかに行って、一応、裸でやっているんですけど、掴みどころがないんで、やっぱり、難しいっスね。

小林 難しいよねぇ。

吉田 髙阪も、慣れるまでには時間がかかったって言ってましたね。

小林 掴んじゃえばね、柔道をやっている人は強いと思うんだけど。掴めないんだもんねぇ。

――吉田選手の柔道の強さって、まず一つは、組みの強さですもんね。組んだらみんな組み負けて頭が下がってしまって、何もできなくなってしまうという。今回の試合では、ホイスも道衣を着ているんで、それができる部分もあるでしょうけど、ホイスは組み負けたらすぐに寝て、引き込もうとするでしょう。

吉田 寝てくるでしょうね、絶対に。それで組んできたと思ったら飛び関節とか、そういうのをやってくると思うんですよ。

――そのへん、いろんなシミュレーションをされていますか？

吉田 いろいろと駆け引きしなくちゃいけないですね（笑）。

小林 そういう練習はしてるの？

吉田 いや別に、普通にやってます（笑）。

――ホイスは投げられながらも、スキを見つけて、そこに付け入ろうとするでしょうね。

吉田 付け入るスキがないくらい、投げて投げて投げまくるって感じでやりたいですね。大外刈り、STOじゃない、STYとかでね（笑）。

小林 やっぱり投げて投げて、最後は絞めて落とすというのが理想だよね。

――関節技では「まいった」しそうにないですしね、グレイシーは。

吉田 でも、たぶん、いろいろ考える余裕はないと思いますよ、やりだしたら。まあ、簡単にはいかないと思っていますけどね。

小林 いま、緊張感はあります？

吉田 いや、緊張感っていうのはあまりないですかね？　でも、ホイスの実力自体がまったく未知なんで、今まで練習したこともなければ、組んだこともないじゃないですか。だから、どのくらいのレベルなのか、想像がつかないんですよね。

小林 そうだろうなぁ。

吉田 だから、自分でも練習していて、どれくらいやればいいのか、どんなことをやればいいのかっていうのが、まったく予想つかないんですよ。でも、できることは目一杯やらないといけないんで、逆に、いいですよね。

小林 早くやっちゃいたい感じですか？

吉田 いや、今はまだ厳しいですけども、とりあえず8月の終わりが試合なんで、それに合わせて調整していきます。

――小林さん、国立競技場という舞台はいかがですか？

小林 ふさわしいでしょう。世紀の一戦

ルールで決まっているのは顔面への打撃なしと、道衣着用。そこまでです（吉田）

には。最高の舞台ですよ。それにしても、プロのデビュー戦で、いきなり国立競技場で、相手がホイスっていうのも厳しい状況だよね。

――厳しいですよね、一般的に考えたら。ただ、吉田選手の場合、舞台が大きくなればなるほど光りそうですよね。

小林 そうなんだよなぁ。

――オリンピックの時も、小林さんも現地で一緒に見ていたんですけど、非常に危機的な状況だったじゃないですか。

小林 そうなんだよ、ずっと負けてきてたんだよね、日本勢が。小川が負け……。

――甲斐（康浩）選手が負け、岡田（弘隆）選手が負けて。

小林 しかも、大会直前には一緒に練習していた古賀選手がケガしちゃったり。精神的には最悪の状態だったよね？

吉田 いや、でも自分としてはあんまりそうでもなかったですよ。

――それが凄いところですよ（笑）。普通だったらプレッシャーで縮み上がっちゃうでしょう？

吉田 いやぁ、みんなが勝って自分の番になるより、負けて来られたほうが気持ちは楽ですよ（笑）。

小林 ああ。それはあるかもね。団体戦で前のヤツが負けるとホッとするみたいな（笑）。

――ハッハッハッ。でも、あの時は体調的にも、ケガで事前の練習が十分にできていない状態でしたよね。

吉田 でも、やれることは全てやったんで、練習面に関しての不安は全然なかったです。

小林 それにしても、全部一本勝ちで、圧倒的に強かったもんなぁ……。

――話は変わりますけど、小林さんのマンガって、柔道ファンにも人気ありますけど、プロレス・格闘技を好きな人にも本当に支持者が多いですよね？

小林 格闘技は世界中、どこに行っても絶対にウケるじゃないですか。絶対に面白いしね。本能的に、これが面白くないっていう人は信用できないよね。

――信用できない（笑）。吉田選手がこれからプロでやっていく上で、アマチュアとの違いという部分で戸惑うこともあると思うんですよ。

小林 ああ、それはあるだろうね。

――勝つことも重要だけど、観客を意識して、〝見せる〟ことも重要になる。

吉田 それが自然とできればいいんですけどね。

小林 吉田選手は自然とできるタイプですよ。まさにプロ向きでしょう、それは間違いない。でも、プロになったらもう柔道の大会に出ることはないの？

吉田 ないですね。実業団とかで出してくれれば出てもいいんですけどね。

小林 やっぱり規定があるんですかね？

吉田 プロに行った選手はダメだ、みたいなのがあるようです。そういうところがちょっとおかしいと思いますよね。

小林 おかしいですよね。

吉田 実業団で申し込んで、柔道のルールでやるわけだから、べつにいいと思うんですけどね。

小林 うん、そうだよねぇ。ところで今度の試合のセコンドに誰を付けるか、プランは考えていないの？

吉田 ああ、まだ考えてないです。

小林 夢の夢かもしれないけど、山下泰裕とか古賀稔彦とか、名だたる柔道家をずらっと揃えられたらいいよねぇ。

――それは見たい（笑）。

吉田 ハッハッハッハ。

――小林さんはホイスにはどんな印象をお持ちですか？

小林 うん。俺はホイスも大好きですよ。彼はプロだと思うんだよね、個性があってさぁ。プロレスラーですよ、完全に。自分の闘い方があって。入場するパターンまで持っているのは凄いよね。

――吉田選手は入場とか考えてます？

吉田 ぼくもこうやって（グレイシートレインのマネをして）。

――ヨシダトレイン！（笑）。

小林 でも今のところ、冷静というか淡々としている感じだよねぇ（笑）。

吉田 何をしたらいいか分からないんで、緊張のしようがないんですよ、まだ。そういう舞台が初めてですから、どのくらい緊張するのか、そういうことすら全然分からないですから。舞台に立って初めて分かると思うんですよね。結果としては勝つか負けるか、どちらかだと、それしか分からないじゃないですか。

小林 戦法みたいなものは、もう考えているんですか？

吉田 あまり考えてないです。相手の出方を見るか、自分から行くか、どっちかしかないですからね。キックとかしてきたら、どうしようかなとか（笑）。

――やっぱり蹴りがあると全然戦法も変わりますよね。

吉田 蹴りが来たら、蹴り返そうかなとは思っているんですけどね。やられたらやり返そうと。でも、それだと負けるんですよね。

――試合まであと1カ月を切って、コンディション的にはどうですか？

小川選手と連絡を取ったりは？一緒にやるつもりはないですか？（小林）

MAKOTO KOBAYASHI

吉田 まあボチボチです。
小林 今はどんな練習を？
吉田 いろいろミックスしてやってます。8月に入ったら柔道を一生懸命やろうかなと思っていますけど。
――取材の依頼も多くて大変じゃないですか？
吉田 全部受けていたら、練習にならないんで、申し訳ないですけど、ほとんどお断りしています。
小林 それはそうだろうなぁ。みんな注目しているもんなぁ。小川選手と連絡を取ったりは？
吉田 いや、してないです。
小林 一緒にやるつもりはない？
吉田 何かしたいなというのはありますけどね。せっかく柔道で培ったもので、同じようにプロでやっているわけですから。ただ、今はやっていることが違いますからねぇ。
小林 違いますよね。向こうは金網デスマッチとかやっているもんなぁ（笑）。
――いやぁ、でも小川選手にはガチンコの強さを見せてもらいたいですよね。
小林 ホントだよね。
吉田 強いっスよ、小川先輩は。本当に強いですよ。力が違いますもん。
小林 見たいねぇ。また『プライド』で。
――吉田選手がプロに転向したことで、これから柔道界からプロに転向したいという選手が増えると思うんですけど？
小林 うん。でもやっぱり、お金の問題がデカイだろうね。そっちの魅力がないとどうしようもないというかね。
――そういう面ではどうですか？ 答えづらいかもしれませんが（笑）。やはり魅力を感じられるくらいのものですか？
吉田 まあ、まだ旬のうちだと思うんでね。これをきっかけに、どういうふうに自分でどうしていくかということを考えていかないといけないわけですから。今は、やりたいヤツが連絡してきたりしますけど、それをいかにまとめてやっていくかということも考えてますけどね。今までは結構バラバラだったじゃないですか、柔道からプロ総合の世界に行った人間もなんか、てんでバラバラで、個人個人でやっているから、それを一つにしないというのはありますね。
――〝柔道ドリームチーム〟の結成ですよ、小林さん。
小林 それは素晴らしい！
――今日は、本当は僕が小林さんのお仕事場に伺って、吉田選手への応援メッセージをいただくという予定だったのですが……。

小川先輩とは、何かしたいなというのはありますすけど、今はやっていることが違いますから（吉田）

吉田 ああ、そうなんですか（笑）。
小林 そう。昨日の夜、林君に「明日、吉田選手に会う」って聞いて、それは面白いから俺も行くって、来ちゃったんですよ。
吉田 ハッハッハッハ。
――締め切りを2週間過ぎた原稿を抱えていらっしゃるのに、わざわざ横浜から来ていただいちゃいまして（笑）。
吉田 光栄です（笑）。
――そういうわけで急きょ、対談という形になりましたが、最後に応援メッセージをお願いします。
小林 いやぁ、もうホントに楽しみにしてますよ。
吉田 ありがとうございます。
小林 この試合を決めてくれただけでも、俺は感謝感謝だよなぁ。この夏は、もうこれだけですよ、楽しみは。あ〜、もう帰らなくちゃ、まずい。試合が終わったら、祝杯を上げましょう！ ■

本誌・柔道ご意見番 柏崎克彦氏が吉田VSホイス戦をズバリ予想！

吉田が負けるとしたら背中につかれた時だけ。恐らく投げて、最後は腕がらみで吉田が勝つだろう

最近は柔術の技術にも興味を持ち研究に余念のない、柔道の元世界チャンピオンであり、寝技のスペシャリストとして名高い柏崎克彦氏（国際武道大学教授）。ここでは世紀の一戦、吉田秀彦VSホイス・グレイシー戦がどのような試合になるのかを予想していただいた。　聞き手◎林　毅

——先生、吉田選手が今度、プロの総合格闘技の大会に出るのはご存知ですか？

柏崎 そうだってなぁ。いつやるんだ？

——8月28日に、国立競技場で。

柏崎 へぇ、凄いなぁ。相手は？

——ホイス・グレイシーという選手なんですけど。先生も見に行かれた、東京ドームで桜庭選手と90分やった相手ですよ。

柏崎 ああ、あの選手かぁ。

——どんな試合になると思います？

柏崎 まぁなぁ、立ち技だったら勝負にならないだろうけど、投げたからってなんちゅうことないルールなんだもんなぁ。勝負を決めるのは、絞めるか関節取るか、どっちかなんだよなぁ。まあ、パンチはないだろうから、吉田には（笑）。

——今回のルールは、50年前にブラジルで行われた木村政彦先生とエリオ・グレイシーの試合のルールに近い形でやることになりそうなんですよ。道衣を着て、打撃はあったとしても、顔面への攻撃はなしと。

柏崎 道衣を着るんだったら、吉田としたら投げやすいなぁ。でも、投げるのは可能だろうけども、要は寝技だよな。そのホイスって選手がどのくらいのレベルかよく分からないけど、柔術の選手は寝技の基本がきちっとしているから。そう考えると現実的には、なかなか取るのは難しいぞ。

——そうでしょうね。

柏崎 リングの真ん中あたりで投げて、投げた瞬間に頭のほうに回ったり、いいポジションを取ることだよな。

——なるほど。

柏崎 リングの真ん中で組むことができれば、いくらでも投げることはできると思うんだよ。でも、投げた後に後ろに抱きつかれるわけだよな。柔道なら、そこで一本で終わるけども。そこで、後ろにつかれた状態で寝技が始まる。キチッとした投げ方をしてなければ、裏になっちゃうから、いかに巧く投げて、いいポジションで寝技を始めるかだよな、ポイントは。

——そうですね。立ち技で有効な技っていったらどんな技がありますかねぇ？

柏崎 まぁでも、吉田が掛けるとしたら、やっぱり内股だろう。はっきり言ってどんな技でも投げれると思うんだ。足払いだろうが内股だろうが。もし、組ませてもらえたらだけどな。むしろ、相手は倒れよう倒れようとしてくるだろうから、足技でポンポンと投げるのがいいかもしれないな。大内刈りとか大外刈り、それとか足払いで、相手に背中を向けないで投げる。要するに巻かないことだよな。もし巻くなら、その後にキチッと抑える。投げて抑えることは可能だと思うんだけど、抑えたってべつに一本になるわけじゃないしな。

——そうなんですよね。でも、体重差が20キロくらいあるんで……。

柏崎 20キロも差があるのか？　じゃあ、勝つって。格闘技の20キロは大きいから。足関節は分からないけど、柔道で使っている絞めや関節でやられることはまずないよ。あっちが勝負してくるのは足関節だろうな。それ以外で吉田は負けないと思うよ。

——でも、吉田選手が勝つためには、絞めなり関節なりで極めるしかないわけじゃないですか。その点、どうなんですか？

柏崎 絞めは、よっぽどでなきゃ取れないよ。専門家から絞めで取るというのはものすごく難しい。取れるとしたら、腕がらみだろうな。力の差もあると思うし。手首押さえて、腕がらみで取るか。なんにしても吉田が勝とうと思ったら、投げた瞬間のポジションを大切にするということだな。で、背中を絶対に向けない。払い巻き込みみたいな技は使っちゃダメだな。やっぱり、後ろについたら絞めは上手だと思うよ。柔道と違って、顔に手をやって（アゴを上げ）首を空けさせたっていいわけだしな。

——そうですね。

柏崎 大外刈りなんかでポーンと投げれたら一番いいんだけどな。もう抑え込みの形に入っているようなもんだから。

——そこで袈裟固めで状態を極めて……。

柏崎 腕がらみに入る。それが理想だよ。

——木村VSエリオ戦がそんな感じでしたね。

柏崎 うん。たぶん、ある程度、寝技が強ければ、そういうふうでしか極まらないよ。十字に入るのは難しいし。専門家はそんな簡単に十字取らせないからなぁ。吉田が勝つには、まず、ボコボコ投げ捨てて、それで一番いい形で投げた時に、そのまま抑え込みに入って、ポジション取りをして、そこから腕がらみにいくと。逆に、吉田が危険な状態になるとしたら、それは背中につかれた時だよな。それだけだよ。吉田は、いくら衰えたと言ったって、本当のトップ選手だから基礎体力はあるし、勝負勘はあるし。そういうものは、ちょっとその辺の選手とは違うからな。寝技の選手じゃないって言っても、吉田は立ち技が優れているんであって、寝技が劣っているというのと違うから。まあ、大丈夫だろう。■

後輩をしごくようにできれば吉田さんが圧勝でしょう！

「吉田先輩は、僕にとってはスーパースターみたいな存在なんで、こっちの世界に来るのは、ホントに嬉しいですね。どんな試合をされるのか、とても楽しみです。この前、髙阪さんのところで一緒に練習したんですけど、裸だと今まで使っていた技術が使えないところも多くて、戸惑っているようでしたけど、それは誰もが通る道だと思います。でも、吉田先輩は身体能力がズバ抜けているので、髙阪さんも誉めていたんですけど、順応の速さが違いますね。ホイス戦は道衣を着ての試合だということですが、たぶんホイスは何もできないでしょうね。今までに味わったことのないような圧力を感じると思います。たとえ、ホイスが引き込もうとしても、簡単に立たせられてブチ投げられるんじゃないですか。桜庭さんが90分闘って極められなかったんで、ホイスを極めるのは難しいと思うですけど、ホイスも吉田さんを極めることはできないでしょう。吉田さんが後輩をしごくように、頭から投げて、また立たせて頭から投げて、道衣かぶせてオラオラ状態でやれば圧勝するでしょう」

大山峻護談

▲吉田が監督時代、明治大によく出稽古に行っていた大山。今は総合の練習を共にすることもある

真夏のプロ格興行戦争を説くためのキーワードとは？

SPECIAL RING SIDE SRS・DX

練習を見せたくないという桜庭。髙田道場をそーっとのぞいてみると……

なななにぃ？

桜庭が本気でハイキック特訓……

本誌、衝撃の独占スクープ？

撮影◎中島ミノル　取材◎中村カタブツ君(ブチ)

なぜだ？ 博士の格好で秘密特訓！

特別に許可をもらって、道場内に入れてもらうと、そこでは博士の格好をした桜庭が、助手の豊永を相手に右ハイキックの研究を重ねていた。それにしても、白衣を着たのには、何か意味でもあるのだろうか？　謎だ……

まさかミルコもこの右ハイの餌食に!?

桜庭和志の『ギミック』立ち技決定版とも言うべきビッグなボーナス企画が登場だ！

しかもまさに旬の技！　ミルコ対策として磨きに磨いた右ハイキックの特別講座なのである。

下からグ～ンと伸び上がり、ヒザを返すと同時に一転して振り下ろされる桜庭の右足。それが豊永稔レフェリーの顔面に叩き込まれるこの爽快感は、暑苦しい夏を一気に吹き飛ばす勢い！

生意気な弟、離婚を迫る妻、口答えする彼女なんかに、思い切り蹴り込むのもいいことかも。

さらに桜庭博士からはこんなアドバイスも。

「あ～あ、ローキックだったら、もっと思い切りできるのになぁ（笑）」

引きつる豊永助手の顔を見ながらさらに続けて――。

「ボディスラムで叩きつけましょうか（笑）」

非常に研究熱心な博士は読者のための技紹介にとても積極的でありがたい。

そしていよいよクライマックス、ミルコ戦の新技披露だ！

「いえ、打撃練習なんかしてません」

やっぱりね。そんなことは誰もが分かっていたのだが、このページは元気な桜庭和志の姿をお届けしたいという企画だったわけである。

さて、試合はもう間もなく。8・28『Dynamite!』の導火線に火をつけろ！ってことで、桜庭博士からの気合いで締めてみたい。

「ファイアー！（照）」　■

真夏の
プロ格興行戦争を
説くための
キーワードとは？

SPECIAL RING SIDE SRS・DX

一発ハイキック受けますんで 最終的には僕に勝たせてください（笑）

桜庭に真意を聞く——

——今日はミルコ戦に向けて素晴らしい決意を聞かせていただけるらしいと（笑）。

桜庭　はぁ～、決意も何もないですよ、こんな暑いのに。ボォーっとしてますよ、毎日。もうアセモもできてるし、夏になるとかゆくなるんですよ、肌が弱いから。僕の右ハイキックも弱いです（笑）。

——だから、先日の記者会見で「他の技を考えます」って言ってましたから、それはなんだろうなと。

桜庭　やってないですよ、そんなのぉ。さっき思いついたからヒザ蹴り（笑）。

——ハイキック対策って考えてますか？

桜庭　考えてないですよぉ。

——でしょうねぇ（笑）。でも、向こうはハイキック狙いだと思うんですよ。

桜庭　パンチあんまり強くないですか？

——強くないって言うか、キックでメチャクチャ倒そうとしてますね。先日、ミルコと闘ったレミー・ボンヤスキーが言ってたんですけど、「魔物に取り憑かれたようだった」って（笑）。

桜庭　キックしかやらない？

——はい。目の色を変えてブンブン振ってましたから。その部分では怖いなぁって思いましたね。怖くないですか？

桜庭　はぁ（笑）。

——もしかして簡単に勝てると思ってますか（笑）。

桜庭　いや、やられる時はどうせ気持ち良くなってるから。ハイキックだったらパコーンって来て、気持ちいいからいいかぁって感じですけどね（笑）。それが痛いとかだったら嫌ですよ。ボディとか、ヒザだったら凄い対策練りますけど。

——ギルバート・アイブルがK—1でやった時はローキックをバンバンもらって痛くて嫌だったって言ってましたね。

桜庭　でも、僕にローキックは止めたほうがいいですよ。

——ホォ！　なんかカッコイイですね、俺にローキックは効かないぜと（笑）。

桜庭　一回痛いの我慢して捕まえちゃえばグラウンドになるから。でも、ローキック来る感じでパコーンってハイキック食らうかもしれない（笑）。

——どこか余裕の部分ってありますか？

桜庭　ない。だって、力も強いし。

——体重も15キロぐらい上ですしね。

桜庭　え？　その体重で来ないでしょ？

——来るでしょ。だって、向こうは体脂肪率５％ですから、もう減量無理でしょ？

桜庭　いや、ウェイトトレーニングしなければいいじゃないですか？

——あの、本気で言ってますよね、それ（笑）。

桜庭　本気で言ってますよ。だって、ウエイトトレーニングやるから体重が増えるんじゃないですか、やんなきゃ減るでしょ？

——無茶を言わないでくださいよ。なんで、そんなヒドイことを真顔で言えるのか信じられないですよ（笑）。

桜庭　無茶を言わないでくださいよって、僕がミルコと試合するのが無茶なんですよ、もうぉ！　僕のこの無茶はどうするんですかぁ！

——それはカッコイイで済ませましょうよ（笑）。

桜庭　そんなカッコイイで済むわけないでしょう！（笑）。

——この男の中の男って感じで（笑）。って言うか、自分で言ったんだからしょうがないじゃないですか。

桜庭　あのコラムでしょ。試合したいなんて言ってないし。

——ミルコは釣ったらおいしいって、ちゃんと書いてあるじゃないですか（笑）。

桜庭　いや、僕が釣るとは書いてないですからぁ。

——ホント、すかしますよね（笑）。

桜庭　いや、すかしてない。僕が釣るとは書いてないのを周りでやるんだなって感じにして、僕は今、そこに追いつめられたんですよぉ！

——じゃあ、僕らの勘違いだと（笑）。

桜庭　そう（笑）。あのコラムを１００％信じないでくださいよぉ。あんなの全部ウソで書いてるんだからぁ。

——だけど、ウソから出た真で素晴らしいカードが実現しましたからね（笑）。

桜庭　真じゃないですよぉ！

——真じゃないですか。日程まで決まってるんですから！（笑）。

桜庭　たぶん、キャンセルします！（キッパリ）。交通事故に遭って。

——無理やり（笑）。

桜庭　はい（笑）。

——ということで、対策は万全という気がしましたね、僕の勝手な気持ちの中で（笑）。

桜庭　やる気ないです（笑）。

——そんなわけないじゃないですか。勝てますよ、寝技も何も知らない、デクの棒じゃないですか、人ごとだから言いますけど（笑）。

桜庭　あのですねぇ、寝技知らなくても倒すまでに何かありますから。

——まあね、実際、結構怖いんですよね、自信つけてるんで。

桜庭　いくら払ったら負けてくれるかなぁ（笑）。

——記者会見で提案してみますか（笑）。

桜庭　途中、一発ハイキック受けますんで最終的には僕に勝たせてくださいと（笑）。

——そういうこと言うと本気にする人がいるんで、その話はこのぐらいにして8・28はお願いします！

桜庭　いくら払ったらいいかなぁ～（笑）。■

桜庭が復帰する『Dynamite！』は、『スカパー！』がPPVで完全生中継！

◆放送日時/8月28日（水）、18:30から試合終了まで（雨天順延の場合は29日〈Ch.122〉、30日〈Ch.121〉）
◆チャンネル/パーフェクトチョイスCh.122
◆視聴料金/2,000円
※桜庭選手も愛用している「39Tシャツ」を５名様にプレゼント。欲しい方は、ハガキに住所、氏名、年齢、「スカパー！」に加入しているかを明記の上、「SRS・DX」編集部「39Tシャツ」プレゼント」係まで送ってください。

SRS・DX推薦課題図書
（文部省非公認）

プロレス者の夏休みの課題❶ I編集長を読もう！

プロ格興行という名の真夏の点景曲線

文◎井上義啓

夏休みといえば読書感想文の季節。優秀なプロレス・格闘技ファンの皆さんでも、感想文で頭を悩ませた人は多いでしょう。しかし、そんな皆さんにピッタリの読み物を、元週刊ファイトの"I編集長"（プロレス者は例外なく井上義啓氏をこう呼ぶ）が書いてくれました。"I編集長"なら、プロレスファンの皆さんにはお馴染みですね。夏休みだからといって、後楽園ホールばかり行っていないで、Y・I語録で頭の体操をしてみましょう。

「編集長（プロレス者は例外なく私をこう呼ぶ）、スポーツ紙の△△△に、UFOの川村龍夫社長は『8・8は全部、ガチンコで行きます』と断言したんやけど、小川直也の本心はバーリ・トゥード拒否、やるならプロレスでと考えているはずや、と書いてありましたけど、どう思はります？　あの新聞、読みましたか？」

どう思はりますも読んだかもあったものじゃない。あの記事は私が書いたのである。

けげんに思われる読者もいると思われるので、なぜ、〝大予言〟を書きとばしたかのいきさつを述べておくことにする。

6月27日の夜、前記スポーツ紙のIデスクから電話があった。要するに、この日行われた日本テレビ・UFOの共同記者会見について、原稿を書いてはくれまいかとの依頼である。

記者会見のもようは何一つ、知らされていなかったので、ただ黙って聞いているしかなかった。

私は、原稿依頼があった瞬間に、ポイントと文体感覚が決定する。その時、瞬間的に思ったのが、〈小川がガチンコでやるなんて言ったのだろうか〉であり、〈日テレの記者会見に小川が出てこなかったということは、ボイコットするということなのだ〉であった。5から2を引けば答えは3だ。出てきた数字が3ではなく5のままだったということは、引いたと見えるだけで、本当は何も引かれていないことを意味する。

〈おそらく……。川村の言った『小川がそう申しております』は、小川は社長の言うことを「分かりました」とは言わず、黙って聞いていたということなのだろう〉

だから27日の深夜、情報ゼロ、耳打ちなしの〝闇〟の中で、あの記事を書いた。

〈はずれたってオレのせいじゃない〉

しかし、あの小川がバーリ・トゥードでやりますなどと言うはずがないとの確信めいたものはあった。それが後日、日を追うにつれて当たってきたのである。当の小川が「オレはプロレスラーだからプロレスの試合をする。イヤなら、主催者の日本テレビはオレに要請しないでくれ」と。〝それを言っちゃ、おしまいよ〟となってしまったのを見て、世の中、変わったものだ、と思った。あんな事がズバッと言えるY・I流の業界になったのだ。

す　などと言うはずがないとの確信めいたものはあった

この私の取って置きの話を、冒頭の質問をしてきたWさん（京都在住）はヘェーと驚いたり、なるほどと感心したりで聞いていた。「これやから〝喫茶店トーク〟はやめられんのですワ。トンカツでも食いに行きまひょうか」。

ポイントはただ一つ。いわく、「8・8と8・28のテーマは、プロ格とは何かを問いかけ、定義することである」。

私がおまじないのように口にし続けているプロ格とは、『プロ格闘技』の略ではない。『プロレスの匂いが強く漂っている格闘技』のことであり、『総合格闘技なのだが、ドン・フライVS高山善廣のように、プロレスの要素が強烈に入り込んでいる闘い』を指す。

問題は、「プロ格も八百長だということでしょう」との、うんざりする質問が必ず、相手の口から出ることだ。〝平成のデルフィンたち〟ならともかく、何回も顔を合わせているプロレス者ですら、私の言うプロ格が分かっていない。

「プロ格にも二面性がある。プロレスめいたワークとドン・フライの言うMMA（ミックスト・マーシャル・アーツ）に近いシュートな部分と……。小川とマット・ガファリの試合は言うまでもなくワーク。藤田と長州がやるとか言って騒いでいるけど、これもワーク。橋本はシュートだと勘違いして、『オレは出ないけど、8・8に協力は惜しまない』（笑）

「吉田とホイスの柔道ジャケットマッチもワークに当たりますね。シュートはサク対ミルコだけという……」

私は7月23日から旅に出た。24日、倉敷の大原美術館で、バカみたいにロダンの彫刻に見入っていた時、谷川編集長から電話が入った。8・8と8・28について、思うところを記せ。

瞬間、私の脳裏を前記のテーマが駆け抜けた。そして26日、私は旅を終えて京都にいた。比叡山延暦寺の門前にたたずんでいたのである。前置きが長くなった。本題に入ることにする。

俗世の煩悩を拒絶した風が吹く。叡山はたたずまいを正して静かである、すぐそばの林でうぐいすが啼く。うぐいすは春の盛りに梅の小枝で啼くとは決まっていないのである。

誰もいない。私の影だけが頼りなげに揺らぐ。そうだろう。山頂に通じるケーブルカーもロープウェーもゴンドラに乗っていたのは夫子ただ一人だったのだから……。

〈橋本が「8・8に協力はするが……」と逃げ腰になったのは当然なのだ。あのブッチャーがシュートを飲むはずがない。だから、小川とのOH砲を創り上げた。小川がこの誘いに乗った時、プロレスと猪木祭りの二つで行く気だとはっきり分かったはずなのだ〉

小川はプレデターと金網デスマッチを行った。たが、シュートとは程遠いプロレス内格闘技。あの試合はプロ格ワーク。フライVS高山のプロ格シュートとは似ても似つかぬ別物との認識が要る。

〈長州が藤田とやるの、やらないの。やったとしても、猪木祭りの橋本とグッドリッジみたいに特別救済ルール。あの長州が全日プロ（8・30＆31日本武道館）を蹴って、8・8に出ようと決めたのがこれだ。Aさんの「どこを押したら、長州がバーリ・トゥードになるんだろう」は当たっていない〉

桜庭は「打撃排除の『プライド』ルールで……」だとか、「ミルコは（自分と）同じくらいの体重にまで減量してほしい」などと言って、サク神話を泥にまみれさせた。小川だって、ガファリとのウエイト差は50キロだ。真剣勝負に体が大きいの、小さいのはない。

あの小川がバーリ・トゥードでやります　な

〈しかし、だからこそ、あの試合がシュートだとの証明とはなる。ミルコの打撃が封じられたとすれば、それはもう、プロ格シュートのニセ札。子供が持って遊ぶオモチャのお札じゃないんだから、タバコ屋の留守番ばあちゃんはごまかせるだろうが……〉

ミルコは「私の体脂肪は5％しかない。どう減量しろと言うのか。私の体の一部を切り落とせということか」と怒った。

〈当然だろう。格闘技にウェイト制なるものが存在すること自体が間違いなのだ。シュートだと言うのなら、なおさらではないか。プロレスのジュニア・ヘビー級にしたって、なんで、あんなものがいつまでも存在するんだろう。小川（良成）がヘビーのチャンピオンであることの愚かしさにマスコミですら気づいていない〉

目の前を黒い影がかすめた。黒いボディに黄色い縞もようの付いている大型ヤンマだ。子供の頃に津山市の町中やお城山（鶴山城）のお堀でよく見た青い色のヤンマとは別物の、どう猛な面構えだった。

それが錐揉みをして急旋回したのである。飛び回っていた小さな虫に食いついたのだ。びっくりするような早業だった。

その大ヤンマはどこかへ飛び去ったが、また帰ってきた。近くの笹の葉に止まったのである。近寄って見た。虫をガリガリ噛み砕いていると分かった。

〈殺人鬼なんだな、こいつは……〉

前日の25日、佐渡の金山で見た青いヤ

ンマを思い出した。金山の土産店の中へ迷い込んできたのだ。出口が分からなかったと見え、何回も店内を飛び回る。気になって見ていた。どうなったか、それは知らない。

〈バリバリやってる、あの大ヤンマがシュートなのだ。昨日のヤンマはプロ格ワーク。あの赤トンボとは違うのだからな……〉

飛び回っている赤トンボ。のんびりしているというより、お人よしと見えた。武藤や秋山の純プロレスがこれなのである。それを良しとする人もいる、三木露風の「赤トンボ」が思い出された。

夕焼け小焼けの、赤トンボ
負われて見たのは、いつの日か

〈普通なら、夕焼け小焼けと赤トンボ――となるはずだ。それを、夕焼け小焼けの赤トンボ――と書いたところに、あのウタ（詩）の卓越したところがあると人は言う。そんなんじゃない。人間誰だって、夕焼け小焼けと赤トンボ――となる。露風のメモ（小さなノート）には、夕焼け小焼けの赤い空――とあった。これでは、あまりにも陳腐すぎる。そこで、赤い空を赤トンボに変えた。それだけの話なのだ。

桜庭と吉田がここへ来て、完全決着だの、打撃でも構わないだのと言い出した理由がこれだった。あるプロレス者は、あんな弱腰なら、初めから『やれません』と断ればいいんだ。『プライド』はK―1には歯が立たない」などとファーワァー言われ出したものだから、仕方なく、強気なことを付け加えた。何も言わずに、ノールールでオクタゴンの中でやれ！　フライが強いのは、それをやったからだ。「国立競技場でやるとなった時はワーッとなったけど、日にちが経つにつれて、ああだ、こうだ。もう気が抜けてしまいましたよ」と、唇をとんがらせた。

一本！　の世界はスポーツ だから、吉田の試合はプロ格ワーク

君よ、歎きは捨て給え。吉田だって裏ワザは使える。道衣のソデやエリで絞めることは反則だが、練習では、ふざけて、しょっちゅうやっているはずだ。指二本で、相手の眼球を出血させないで潰すことも……。テーズ、ゴッチといったフッカーだけがやれる恐怖技を吉田に無理強いする気はない。一本！　の世界は殺しではなくスポーツ。だから、吉田の試合はプロ格ワーク。どんな事があっても殺してやる！　との殺気が持てない吉田がどんな他流試合を見せてくれるか。

〈柔道マンって、お人よし。坂口を見ろ。小川を橋本を見ろ。ルスカだって、お人よしだから、猪木との試合をOKした。吉田VSホイスは、お人よしが勝負の分かれ目。アマレスだって同じ。ガファリにしたって、結局は人のいい中年オヤジ。40だなんて笑わせる。アメリカのWFAでキモが出場したと言うが、ホイスと闘ってから8年も経つのだ。あの時がぎりぎり限界の30歳。38歳のキモが大爆発できたら不思議だ〉

私は格闘家の年齢をやかましく言う。プロレスなら、「若い頃は還暦というと、ずい分、年寄りの話だなァと思っていたけど、いざ自分が60歳になってみると、なァんだ、まだまだやれるじゃないか」と笑わせるのも許せる。しかし、シュートまがいの試合にロートルは通用しない。プロレスのファンやマスコミは老齢者に馴れっこになっているからピンときていない。吉田だって33歳。バリバリやれなくなったから引退した。この子供にだって分かる話を無視してはならないのだ。

〈この平和な日本。プロ格シュートなど望むほうがどうかしているのだ〉

大学3回生の時、神戸の新開地で、ドスを抜いたヤクザと向き合ったことがある。幸い、人が群がってきたため、「チェッ！」と舌打ちして、そのヤクザはスタスタ行ってしまったが、そんな時代と今は違うのだ。プロ格ワークとプロ格シュートと……。

台風の余波か、強い風が吹く。見上げると、青空にでっかい雲が東へ東へと動いていた。その上に、小さな細い雲が大きな雲にさからうように、反対の向きに流れている。それがプロ格のシュートとワーク。

〈小川は、あの細い雲なのだ。人は、あの青空とでっかい雲にしか目を向けようとしない。その上、あの頼りなげな……。しかし、あの雲は確実に反抗している。あの雲の反抗と反乱。それを8・8で、とくと見極めることだ〉

いつまでたっても人の声がしない。私は立ち上がった。延暦寺の鐘の音が聞こえてきたからだ。ここは山頂。延暦寺へは険しいケモノ道を下って行かねばならない。45年前の力道山時代。私は、笹の葉の生い茂るケモノ道を辿って延暦寺まで行ったことがあった。あれから45年も

経っているのだ。もう舗装され、コンクリートで固められていることだろう。

そう思ったのが運の尽きだった。当時とまったく変わっていなかったのである。雨上がりとあって、ところどころ、赤ちゃけた粘土がむきだされて滑りやすくなっている。石がゴロゴロと転がり、木の根、笹の根が蛇のようにのたくる。一歩一歩が緊張の連続だった。踏み違ったが最後、土手から滑り落ちる。後悔したが遅かった。なんとかやれるだろうとの小川、吉田の心境と同じだった。なんとかやれるだろう。

グサッと抉れた穴があった。足の置き場所はない。仕方がないので、しゃがみ込んだ。コケに覆われた古株の根を左手で掴んだ。それは見た目だけのプロ格ワーク。手を伸ばして掴んだ瞬間、ボキッと崩れたのである。ドッと体が崩れて穴に落ち込んだ。ズボンの尻もスソも両手も泥だらけである。

あれがシュートなのだ。ちょっとでも気を抜けば死ぬ。死なないまでも大ケガを負うことになろう。

どこからかケモノの唸り声がした。熊にでも出くわそうものなら、力道山、木村政彦、馬場の所へ行く。「どうも、ごぶさたしております」。

延暦寺まで30分だなんて誰が言った。午後1時かっきりに腰を上げたのだから、延暦寺の山門が見えるまでに45分もかかった。命懸けはバーリ・トゥード。そんなものは日本には存在しない。金的を潰したり蹴ったりしてはダメ、目への攻撃は禁止……。ガス灯時代のアメリカで行われていた道ばたでの賭けの殺し合い。どちらかが死ぬか立てなくなるまで闘わせた。それがバーリ・トゥード。あれだけ制約のあるものをバーリ・トゥードなどと呼ぶな！　熊の唸り声じゃないのかと総毛たって立ちつくしたバカな男。日本は平和だが、死の匂いのする場所はある。それを求めて、格闘技ファンはシュートマッチに群がる。

死の匂いのする場所を求めて、格闘技ファンはシュートマッチに群がる

〈それもいいか。木村政彦と（ヒクソン、ホイスの父）エリオ・グレイシーのマラカナン・スタジアムの試合。エリオは38歳だった。体重は63キロ。大男の木村との差は30キロ。無茶なことをしたものだと言うヤツがいるが、ブラジルの国威と名誉のかかった果たし合いに、どうして体重差を考えるんだろう。国王も貴賓席に陣取って観戦したというから、死んでも負けられない果たし合いだったのだ〉

エリオは負けた。伝説のキムラロックで……。よく自殺しなかったものだと思う。パキスタンで猪木に敗れたアクラム・ペールワンは、その後、自殺した。今のレスラーがシュートを毛嫌いするのは当然なのだ。

〈ポイントはエリオとペールワンが死を賭して闘ったのに対し、木村と猪木には余裕があったっていうことだ。2人とも裏ワザを知り抜いていた。単なる一本屋とは違う。いざとなれば、それを使ってやるとの計算。木村と猪木に殺してやる！　はなかったけれども、今のレスラーが持っていない裏ワザが使えるとの自信が勝敗を分けた。吉田にそれがあるのか。小川に、サクに、ガファリに、藤田、長州、ノゲイラにそれがあるのか〉

某テレビ局のトークショーで、ベテラン記者のT氏が「5・2で三沢が花道に出てきたってことは、とても大きな意味を持っているんですよ」と言った。そう、試合内容ではないのだ。三沢が新日プロの東京ドームに出場したことが大事件なのである。

〈所詮、シュートもワークもファンのロマン。だから8・8と8・28はとてつもなく楽しい。あれこれ言うことはないともなる。この延暦寺。1200年前に京の都の鬼門を嫌い、最澄が根本中堂に不滅の法灯を掲げた。だから万民に与えた豊楽の願いを価値あるもの、尊いものとして受け取っていかねばならない〉

バスがやって来た。私はかつてはケモノも通らぬプロ格シュートの道を、プロ格ワークと言う名のバスに乗り、琵琶湖を横目で眺めながら、延々と続く格闘ロマン街道を京都の三条へと揺られて行った。■

読書感想文募集！

皆さん、最後までキッチリと読めましたか？　挫折した人はいないかな？　そこで、SRS・DXから皆さんに課題ですっ！　編集部宛に読書感想文を送ってください。良く書けた人には、図書券3,000円分をプレゼント。その上、読者ページで感想文を掲載させていただきます。皆さん、ドシドシ応募してください。図書券をゲットした人は、ちゃんとI編集長の本を買って、もっとY・I語録に親しもう！

◆あて先／〒101-0054　東京都千代田区神田錦町3-14-12　神田NSビル8F　SRS・DX編集部『I編集長読書感想文』係

乞う、ご期待！　プロレスか？　ガチンコか？

何が起こるか分からない？　本日、8・8UFO東京ドーム大会のカードはこれだっ！

大会1週間前に発表された8カード

選手		選手
小川直也〈UFO〉	VS	マット・ガファリ〈アメリカ/サンキスト・キッズ・レスリングクラブ〉
藤田和之〈猪木事務所〉	VS	安田忠夫〈猪木事務所〉
菊田早苗〈パンクラスGRABAKA〉	VS	アントニオ・ホドリゴ・ノゲイラ〈ブラジル/ブラジリアン・トップチーム〉
村浜武洋〈大阪プロレス〉	VS	ジェンス・パルヴァー〈アメリカ/ミレティッチ・ファイティング・システム〉
坂田亘〈EVOLUTION〉	VS	マリオ・スペーヒー〈ブラジル/ブラジリアン・トップチーム〉
村上和成〈UFO〉	VS	ヴァリッジ・イズマイウ〈ブラジル/カーウソン・グレイシーチーム〉
アントニオ・ホジェリオ・ノゲイラ〈ブラジル/ブラジリアン・トップチーム〉	VS	ウラジミール・マティシェンコ〈ベラルーシ/rAwチーム〉
横井宏考〈チーム・アライアンス〉	VS	ブルドーザー〈?〉

©内外タイムス

遂に本日、8月8日、『UFO LEGEND』東京ドーム大会が開催される。6月27日に開催発表記者会見を行ってから今日まで、迷走を続けながらファンをやきもきさせてきたUFOと日本テレビ。しかしその迷走状態も、全て今日という日のためにあったと思いたい。大会1週間前には、藤田VS安田という猪木軍同士の対戦も組まれた。果たして、この試合はプロレスとして行われるのか？　それともガチンコなのか？　小川は宣言どおり、プロレスをするのか？　それともガチンコをするのか？　マット・ガファリの実力は？　ノゲイラと『プライド』の関係はどうなるの？　当日になっても謎だらけで、何が起こるか分からない『UFO LEGEND』。危険な魅力をはらみながら、真夏のプロ格興行戦争の口火を切る！

フランス『KARATE・BUSHIDO』誌提携

SRS DX

スペシャル・リング・ガイド

No.76 8・22号

CONTENTS

夏のイベント最新情報

真夏のプロ格興行戦争を説くためのキーワードとは?

SRS・DXの注目!

特集◎9・22 K-1 JAPAN GP 決勝戦

大会レポート

格闘技パーフェクトガイド

連　載

※入稿の都合上、目次の内容と異なることがございます。ご了承願います。

プロレスについて考えることは苦しみである!!

ニッポンの夏、緊張の夏　座談会

プロデュースとは何か？

出席者◎ターザン山本（栄えある全日本の非功労者）
サダハルンバ谷川（本誌"無類の晴れ男"編集長）
小松魔裟夫（本誌"姥捨て"編集部員）
司　会◎柳沢忠之（本誌"藤波プロデュース"発行人）

山本　おい、谷川ぁ！　俺もついに地上波のゴールデンタイムに登場だぞぉ！
谷川　へ？　何に出るんですか？
山本　じつは俺、太田プロに所属してるんだけど、初めての仕事が来たんだよねぇ。日テレの「THE夜もヒッパレ」って番組。
小松　えぇっ!?　歌うんですか？
山本　そんなもん、歌って歌って歌いまくりますよぉ！
——ダハハハッ！　それは超ビッグ・ニュースだ（笑）。
山本　その番組って小川直也と橋本真也が出たんだよねぇ？
小松　「OH砲、夢の競演」とかって凄く話題になりました。知らないんですか？
——山本さん、出るのはいいけど何を歌うんですか？（笑）。
山本　いや、まだ分からん。
——ぜひ「モー娘。」とか「ミニモニ」とかを歌って、苦情電話の新記録樹立をしてほしいな（笑）。
谷川　テレビにとっては「驚異の新人芸人現る！」ですよ。
——白装束で、頭には「葉隠」って鉢巻きしていったらいいんじゃないですか。
小松　ついでに白装束の背中に『ダイナマイト！』って書いていくとか……。
山本　そんなことしたら、日本テレビに怒られちゃうじゃないかぁ！
——それにしても山本さんがテレビで歌うなんて凄い時代になったもんだな（笑）。
山本　今日の前フリは合格点かぁ？
小松　あ、まぁまぁですね。
——んあ〜！（笑）。
谷川　で、でも、このあいだ山本さんが日テレの8・8UFO『LEGEND』の煽り番組に出ているのを見ましたけど……。
小松　僕はあの収録現場にいたんですよ。どうでしたか？　オンエアは。
山本　見てないんだよぉ。俺が一人で孤軍奮闘してたのにほとんどカットされてたらしいじゃねえかぁ！
小松　はい。オンエアを見たら山本さんの発言はほとんどカットされてましたね（笑）。
谷川　どんな話をしたんですかぁ？
山本　いや、収録の時点でほとんどカードが決まってないじゃない。で、決まってないカードは何かということで、みんなでおちょくってしゃべってるわけよ。「長州VS〇〇」戦とか、想定問答なわけ。だからもう、ギャグに走るしかないわけよぉ、あそこに出ていた連中は。
小松　なんか『LEGEND』つながりだと思うんですけど「皆さんの知っている伝説をしゃべってください」っていうのがあって、それでみんな下ネタばっかり話してましたもんね。で、山本さんが「そんな下ネタはくだらん！」って怒ったんですよ。
——ぷぷぷっ！　あの中で唯一の常識人？
山本　そう！　「バカヤロー！　そんな伝説があるか!!」って怒ったんだよ。
小松　でも、見事にカットされてましたね。
山本　で、一番初めに「小川についてどう思うか？」と聞かれて、俺はフリップボードに「小川は弱い！」って書いたんだよぉ。よ〜するに「闘いの場に出てこない」ということを力説したわけですよぉ。
小松　それもカットされてました。
山本　カットぉ〜!?　で、対戦相手のマット・ガファリが150キロもあって、太ってたという話になって。あれを見た時はもうどうしようもねえと思ったもんなぁ。
——まあ、映像を見た限りでは、猪木さんと闘ったミスターX以来の衝撃でしたよ（笑）。俺は東京ドームで初めて暴動が起きるんじゃないかと思ったもん。
山本　それで、とにかく一番重要なのは俺はあの番組で『LEGEND』をちゃんと定義したんだよねぇ。
小松　そうなんですよ。でも、それもオールすべてぜ〜んぶカットされてました。
——なるほど、やっぱり山本さんは地上波向きじゃないって証明されましたね。
谷川　もったいないなぁ。じゃあ山本さん、ここでもう一回定義してくださいよ。
山本　プロレスに限らず、何が伝説になるかというたら「新しい価値観が生まれるということ」だと言ったんだよぉ。すでに確立された価値観に対してチャレンジしていくというか、異議申し立てをしていく。つまり「その価値観は違うんだよ」と表明することは、もの凄い闘いになるし、リスクも背負うし、ある意味では死を背負うことにもなるわけですよ、と。よ〜するにガリレオ・ガリレイが「それでも地球は回っている」と言ったのと同じ形で、すでに固定された価値観の中で利益を育んできた人たちに対して「勝とうが負けようが新しい価値観をぶつけることが伝説なんだ！」と俺は言ったわけですよ。
——それほどの大金言が全部カット？（笑）。
小松　ええ、なかったことのように。
山本　で、「新しい価値観はすぐ誕生するかもしれないし、やがていつかなのかもしれない。しかし、それが伝説となる！」と言ったわけよぉ！
——定義王の大定義が全編カット（笑）。
山本　俺はそんなに凄いことを言ってたわけ。

＞＞「新しい価値観が生まれるということ」だと言ったんだよぉ

▲レスリング時代はカレリンの最強のライバルと言われたマット・ガファリ（右）。アトランタ五輪では銀メダルにも輝いている。しかし、新聞などに掲載された最近の写真ではボヨ〜ンとしたお腹がキュート！？
©内外タイムス

——ダハハハッ！　ズバリ言ってそんな面白いこと言われたらウチはカットしねえですから。カットされたということは誰にも理解されなかったわけ？

山本　そーゆーことです！　だから、猪木さんの闘魂が伝説化していったのは、やっぱり馬場さんの王道の価値観や日本のプロレスが培ってきたアメリカのプロレスの価値観に対してあらゆる形で挑戦し、チャレンジした闘ってきたからだ、と。だから、今でもその闘魂は伝説化してるんじゃない。たとえテレビという一般を対象としたメディアでも、少なくともそういう基本だけはちゃんと押さえてほしかったんだよぉ。

谷川　それは基本中の基本ですよね。

——でもね、それが分からないからこそ『ＬＥＧＥＮＤ』みたいなイベントをやれるんじゃないですか（笑）。

山本　闘いの真の意味を分かっていたら、ちゃんとデザインできるわけですよぉ。何をどうデザインして、何を引っ張ってきたらいいか、どういうカードを組んだらいいか、オールすべてぜ～んぶ分かるはずなんだよ。その基本を押さえてないから、こんな体たらくになってるわけじゃない。

——体たらく……（笑）。

山本　あの時ならまだ遅くないと俺は思ってたんだよぉ。でももう遅いよぉ。俺はなんのために呼ばれたのかと思って。

谷川　そういう言葉を全部カットして、なんで山本さんを呼んだんですかね？

山本　ジョーダンズの三又という芸人が長州力の格好をして出てたでしょ。あれの当て馬みたいなもんですよぉ！　あいつが出てきた時、「長州っ！　コノヤロー、俺の家庭を崩壊しやがって！」ってケンカを売ったわけよぉ。それで俺が倒されて、ストンピングされて、サソリ固めまでやられたんだよなぁ。

小松　サソリ固めはカットされてました。

山本　あ、それもカットぉ!?

——あの30分番組で一番笑えたのは、「俺の家庭を崩壊させやがって、長州っ！」って場面でしたよ（笑）。

山本　俺はあの時だけプロレスしてたんですよぉ！

小松　でも、カットですから……。

——ダハハッ！　あと笑えたのは、「いそっちシート50席」。なんでテレビで放送してるのにたったの50席しか売らないんだよって（笑）。

小松　あの人にはビックリしましたね。「闘魂」を「とんこう、とんこう」って、漢字読めないんですよ。

——敦煌？　まあ、猪木さんは闘魂でシルクロードまで行ったけどな（笑）。

小松　へ～（笑）。

谷川　ちなみにその「いそっちシート」っていうのはなんなの？

小松　なんか、その女の子の名前が磯山だったかなんかで「一緒に応援しましょう」っていうシートらしいですけど……。

——凄く気になるよ、あれは。俺も思わずすぐに電話して買おうと思ったもん（笑）。

谷川　でも、山本さんしか視界に入らなかったですよ、あの番組は。山本さんいなかったら、もの凄く寂しい番組だったと思いますよ。

山本　あ、そう？　で、最後に「今日は俺の勝ちですよぉ！」って言ったのはあった？

小松　ありました、それだけは。

——ほとんどカットされて、いったい何に対して勝ちなんだ（笑）。

＞＞ これこそがプロレスの磁場が狂った という証明ですよぉ

谷川　でも、本当に小川直也があの舞台で伝説を作れるかですよね。そういう意味では面白いね、8・8ドームは。でも、山本さんの出た番組じゃないけど、今年の夏の興行戦争はホントにそこらじゅうで、磁場が崩れてますよね、団体やら何やらが。

山本　プロレスと格闘技界を合わせて「マット界」という言い方をしたら「マット界の天下分け目の決戦」というか「マット界夏の陣」に突入してますよぉ。

谷川　で、そこにおいてのプロレスの危機感は凄く感じますよね。

山本　その一番いい例が新日本プロレスですよぉ。年間最大の8月のイベントである「G1クライマックス」がすぐ目前に迫っているのに、なぜか10月14日の東京ドームと1・4の東京ドームのカードを発表してるんだよねぇ。もうそれ自体が異常事態だよぉ。

谷川　どう分析しますか？　それを。

山本　簡単に言うと「G1クライマックス」が盛り上がっていないということで、もう半分捨てたということですよぉ。

——プロレスファンにとって夏の一大イベントであるG1を捨ててるんですか（笑）。

山本　だからもう「10月14日に目を向けましょう」と。でも、今のファンはそんな2カ月も先のことなんて見ないわけよ。それなのに10月14日のドームのことを言われてもチンプンカンプンだよぉ。

谷川　『東スポ』は最近けっこうパンクラスに力を入れてきましたね。ビックリしましたよ、このあいだの後楽園大会で1ページやってましたから。「謙吾が鈴木健想に挑戦！」とか。

山本　それはよ～するに、パンクラスと新日本が提携するからですよぉ、鈴木みのると健介が闘うとか。もっと磁場が狂っているのは、新日本プロレスが10月14日に髙阪剛VS安田忠夫の試合をやって、その勝者と8月29日の高山善廣VS藤田和之戦の勝者を来年の1月4日に闘わせるという、もうそんなカードを今、発表したんだよね。そんな先の先の話はムチャだよぉ。今、必死になってやらなきゃいけないのは「真夏の夜の夢」と言われた「G1クライマックス」でしょ。でも、それはもう風化してしまったということじゃないか。もちろん長州も武藤も橋本もいない「G1」というのは将棋でいえば「飛車角金」落ちなんだということは分かってるけどさぁ。

——金まで（笑）。

谷川　なんか『Dynamite!』潰しの必死さが見えますよね。僕はなんで一日でやらないのかと思いますね。

山本　へ？

——「キング・オブ・グラジエーター」

という4人のトーナメントをなんで1日でやらないかって話ですよ。
小松　半年もかけてやるんですもんね。
山本　そう！　今のマット界では半年もかけたらネタが腐ってしまいますよぉ！
谷川　例えば『プライド』にしてもK―1にしてもグランプリにしたら、あのルールでさえ、一日でやるじゃないですか。なぜ、そんな半年もかけてやるのかって不思議ですよねえ。
山本　これこそがプロレスの磁場が狂ったという証明ですよぉ。人間が狂う時は凄い強い磁場を持った人とか、強烈な磁場が生まれた時なんだよねぇ。つまり今回は、8・28国立競技場というもの凄い強力な磁場が発生して、それがブワーッとプロレス界に届いたわけね。そうすると、本人たちは自覚してないけども、それが潜在意識の中に入ってくるわけですよぉ。それが無意識にポロッとミスティクな判断とかそういうものを出してしまうわけよぉ。
――『Dynamite!』が無意識のミスを誘ってるわけですか。
山本　そうそう。大きなミスを誘発してしまうんだよねぇ。その一番いい例が新日本がフライングで10・14と1・4のカードを発表したという。さらにもう一個あって、それが如実に示しているんですよぉ。
谷川　あ、もう一個。
山本　つまり、国立競技場のイベントを石井和義プロデュースでやったでしょ。つまり、「石井和義個人が国立でやるんだ！」という形で。まあ、外から見れば石井館長が国立競技場を独り占めしたんだよねぇ。そうしたら、プロレス界には今までそういう発想がなかったのに、なぜか「8・29は藤田和之プロデュース」みたいな形が表にバーンッと出てきたわけよぉ。
――ダハハハッ！
谷川　あ、全日本もそうだあ。
山本　そう！　「天龍プロデュース」とかね。俺はこれを聞いた時に、完璧にプロレス界の磁場が狂ってしまった。これを決定的な証拠品として提示したい！
谷川　証拠品（笑）。
山本　完璧な証拠品ですよぉ！　プロレスはプロレスとして8月29日は普通に新日本プロレスの夏の武道館大会のスペシャルイベントとしてやればいいわけですよぉ！　「G1クライマックス」の後を受けた形でやればいいわけだよぉ。それでいいじゃないか。よ～するに全日本プロレスも今までの体制どおり、格闘技界の動きとは関係ないクローズしたところで、日本武道館の全日本プロレスの30周年記念の2連戦をやればいいわけだよぉ。それをわざわざ「武藤プロデュースの全日本プロレス武道館大会」とか「天龍プロデュース」とか、これは全日本プロレスにあるまじき発想だよ。クローズされた全日本プロレスにまで国立競技場の磁場が届いてしまったというか。新日本だったらすぐに真似するから分かるんだけど、あの全日本まで影響を受けたかというのは凄くデカイことだよぉ。
――ホントにプロレス界全体を巻き込んでますよね。
山本　巻き込んでるんだよぉ。「石井和義プロデュース」は、石井和義が絶対的な権限を持ってトップに君臨するプロデューサーなわけ。ところが「藤田プロデュース」というのは、雇われママみたいなプロデューサーなんだよね。
――そうですよね。
山本　分かりやすく言えば……。

ニッポンの夏、緊張の夏　座談会

＞＞ 全日本まで影響を受けたか というのは凄くデカイことだよぉ

――まあ、冠ですよね。
山本　そう！　冠なんだよぉ。つまりそのバックには猪木さんがいて、猪木さんの支配下の流れがあって、新日本プロレスからやらされているという感じですよぉ。ということは、じつは藤田にプロデュースが任されてないんだよねぇ。で、「天龍プロデュース」と「武藤プロデュース」も馬場元子社長のコントロールのもとで「あなたたちやってみなさい」というね。本当の権限は元子さんにあるわけですよぉ。そうすると「石井和義プロデュース」と、「藤田プロデュース」「天龍プロデュース」「武藤プロデュース」には絶対的な違いがあるわけでしょ。それがちゃんちゃらおかしいわけよぉ。
――素晴らしい洞察力だ、山本さん。
谷川　その中でも藤田和之とかはプロデューサーというイメージがまったくない人ですからね。
――あるわけがない（笑）。
谷川　8・8『LEGEND』は誰のプロデュースなんですかね。
山本　猪木さんなんだけど、言ってみれば「主なきプロデュース」ですよ、あれ。よ～するにプロレス界はなんとかプロデュースという発想を設けたこと自体が自らのプロレスのホルモンを自分で崩しちゃってるんだよぉ。自分のスタイルを自分で崩しちゃって、それ自体が完璧に敗北への道だよ、これ。己のスタイルを崩した時はそのジャンルの敗北なんだからぁ。
谷川　それはやっぱりプロレスの危機なわけですよね。
山本　もう、危機を通り越してさ、崩壊の道へ一直線ですよぉ。
谷川　なんか新しいものを見せないと、藤田、高山、髙阪、安田というメンバーを見た時に、そのメンツだけでプロレスの強い選手が4人が闘うわけじゃないですか。だけど、片一方で『プライド』とか『Dynamite!』みたいなものがあった時に、そういう手段じゃもう勝てないと思いますけどね。
山本　底が見えちゃうんだよ。『プライド』とか『Dynamite!』と比較したら。
谷川　逆に言うと、そういうカードを組んだらもの凄く比較しやすいじゃないですか。同じメンツなんだけども、永田VS藤田みたいな試合を見た時には。高山と藤田が去年闘って、その後の永田裕志VS藤田を見た時に、「あれが新日本を救う手？」かって言ったら、絶対に逆効果のような気がするんですけど。
山本　日本武道館は最もプロレスの興行をプロレスらしく見せられる、要するに

唯一の皆みたいな会場なんだよね。だから、武道館らしくやっていればいいんですよぉ。でも武道館で東京ドームとか国立競技場に対抗してやろうとする発想があるんだよぉ。それ自体がもう寒いわけですよ。武道館は武道館らしく、1万3000とか1万4000人の人間を相手にしてやってればよくて、それを『プライド』とかそういうものと対抗する必要はないんだよなぁ。

谷川　逆に言うと、格闘技のほうはまったく関わってないんですよ。K―1だったら、国立の次はK―1ジャパンや中量級の大会をやるんですよね。

――『プライド』も次は名古屋だしね。夏に何事もなかったように（笑）。

谷川　通常の純『プライド』に戻っていくわけですからね。そういうことが、大切だと思うんですけどね。

山本　ハッキリ言うと、プロレス団体にプロデュースという概念はないんですよ。なぜかというと、プロデュースには何が必要かといったら、一つはお金なんですよ。そこで新日本とか全日本はお金がからないんですよ。なぜかというと、手持ちの駒（レスラー）で興行をやるから。新日本の8月29日、全日本の30、31日の武道館大会はお金をかけてないわけ。いわゆる給料を払っている選手をそのまま使うわけでしょ。こういうのはプロデュースとは言わないんだよぉ。

谷川　言わないですね。

山本　石井館長の国立とか8・8ドームなんかは、自分たちで選手を抱えてないし、手持ちのレスラーとか格闘家を抱えていないから、選手を呼ぶためにお金を投資して引っ張ってこなくちゃいけない。これがプロデュースだよねぇ。その引っ張る選手のためにどうしたらいいかって、頭脳を使うわけですよ。それが要するにタマになるわけでしょ。だから、プロレスの団体の場合はマッチメイクという言い方はできるけども、プロデュースという概念はないんだよ。格闘技の場合は選手を抱えてないから、お金を用意して、選手を引っ張ってこなくてはいけないから、プロデュースという能力が必要なわけですよぉ。そこを理解してないで、プロレスのメジャー団体が「藤田プロデュース」とか「天龍プロデュース」をやること自体が、もうホントにプアーだよな。

>> もう、危機を通り越してさ、崩壊の道へ一直線ですよぉ

――ダハハハッ！　プロデュースっていう意味で言えば、一番大事なことはお金がかかるというよりも、要はプロデュースをする人間はお金を回収するっていうことですよ。お金を回収するという概念がある人が初めてプロデューサーになれるんです。

山本　ああ、なるほどねぇ。

――武道館を手打ち興行でやるのはいいけれども、それを「どう回収するか」っていう発想がないわけじゃないですか。石井館長やプロデューサーの発想っていうのは、どう回収するか。回収するためにチケットをどれくらい売って、ソフトをテレビ局に売って、ライセンスをいろいろやって、どう回収するかっていうことを考えるじゃないですか。藤田や武藤や天龍が、最も持ってない概念がそれなんじゃないですか（笑）。

山本　そうだなぁ。ビジネスマンだったら見積を取って予算を出して、いくら投資して、どう回収するかという計算ができるよねぇ。で、どこまでなら採算ラインかを計算してやるけども。プロレスラーはそういう発想がないからなぁ。

――始めに「どう回収するか」っていう概念がないところが、今のプロレス界のダメで寒いところでしょう。だから「藤田プロデュース」とかにリアル感がないのは、そういうことですよ。

山本　まったくリアル感がないものなぁ。つまり年間スケジュールの中の一個を押しつけられたという感じなんだよなぁ。

――いい迷惑ですよ（笑）。

山本　年間スケジュールの中での売り上げのどれだけを占めてるか、その興行一つがプラスマイナスになるとか、これで勝負をかけるとか、これだけのお金がかかるからここまで回収はしなくちゃいけないとか。そういうのがないんだよなぁ、まったく。

――ないでしょう（笑）。

谷川　プロレスがこれから盛り返すとしたら、そういうことをできるプロデューサーが出てくるかどうかですね。

――たぶん「猪木プロデュース」っていうリアル感のなさもそれだと思いますよ。奇抜な発想とかそういうことだけ言ってれば「猪木プロデュース」っていう匂いはあるんだけど、どうしてもそこに石井館長みたいなリアル感が伴わないのは、そこで猪木さんが回収してるとは思えないからですよね。

山本　全然、ないもんなぁ。

――たとえば『LEGEND』で言えば、日テレが必死に回収しようとしているのは分かるけれども、とても猪木さんが回収しようと思ってやってるとは思えないし。

小松　「いそっちシート」ですからね。

山本　猪木さんはそんなこと、これっぽっちも思ってないですよぉ。

――それがやっぱり一番の分かりやすい例だと思いますね。

山本　だからもう、プロレス界は東京ドームとかでは興行をやっちゃいけないってことだねぇ。東京ドームというのは膨大な金が投資されて、回収しなくちゃいけないわけでしょう。そういうこと自体に、プロレス界そのものが耐えられないもんな。

――今となっては、もうまったく耐えられないですよ。

谷川　そのリアル感は重要だね、ホントに。逆に言えばそのリアル感だけでK―

1は成り立っているからね。
――でも、8・8は日テレのゴールデンで生放送だからな（笑）。
小松　しかも2時間半のナマですよね。
山本　つまり、今になって分かるのはプロレスを本当に守れたのは、やっぱり馬場さんだけだったんだねぇ。
――ホントにそうですね。
山本　馬場さんだったら守れていたよぉ、今生きてても。「それは違うんだ！」と言えるというかさぁ。昔、馬場さんが「みんなが格闘技に走るので、私プロレスを独占させていただきます！」って言ってたけど、今は「他がみんな格闘技に走るので、私たちもついでに格闘技に走らせていただきます」って、そういう感じだよなぁ。
――「その中でおいしいところをいただきます」ってね（笑）。
谷川　それはプロレスが一番、行っちゃいけない方向ですよね。
山本　とにかくエライことになったな、この時代は。先がまったく読めないというか、読みたくないよぉ。
谷川　山本さん、そういう話を総括するとプロレス界はどうなるんですか？
山本　プロレス界はもう、読めないし、俺は読みたくないよぉ。
谷川　今年の「G1クライマックス」はどういうテーマなの？
山本　………今年は新日本も全日本も設立30周年なのになぁ。その30年イベントをできなかったというかさぁ。
小松　「闘魂記念日」ってやったじゃないですか、5・2に東京ドームで。
谷川　何がメインだった？
小松　三沢光晴VS蝶野正洋。
谷川　ああ、見た見た見た。
――ダハハハッ！
山本　よ～するに旗揚げ30周年というメモリアルイベントをやって、この1年間の流れを作ろうとしていたんだよぉ。
谷川　見事に挫折しましたよね。
山本　そこで終わってるわけですよ。
――でもね、プロレス界に今まで俺らが思ってきたこととの大きな違いって、単純に猪木さんを見てたファンの時代は

ニッポンの夏、緊張の夏　座談会

＞＞　プロレス界はもう、読めないし、俺は読みたくないよぉ

「新日本プロレス」っていうブランド、「全日本プロレスの馬場さん」っていうブランドですよね。そういうブランドを見続けてきたんだけど、今、プロレスが一番しなきゃいけないことは、ブランドを捨てることですよね。新日本プロレスとか全日本プロレスっていうブランドを捨てて、法人として生き残る努力をするかどうかですよ。で、それに足がかかっているのが全日本で、そこでまだブランドに頼ろうしているのが新日本でしょう。
山本　そーゆーことです！
――で、ブランドに頼ろうとしたら法人もろとも必ず沈没しますよ。だって、そのブランドは猪木さんあってのものなんだもん。全日本プロレスっていうのも、馬場さんあっての全日本プロレスであって、武藤が来たんならばもう全日本プロレスっていうブランドを下ろせばいいんです。武藤が頑張って、立派な興行会社として残せばいいんだから。
山本　はぁ………、プロレスについて考えることは疲れるなぁ。
――ダハハハッ！
谷川　山本さんが何を言ってるんですかぁ。
山本　本当に終わったのかなという気がするよ。俺はこれまで「ああでもない、こうでもない」とやりつくしてきたんだけどなぁ。それさえも、不可能になりつつあるよぉ。
――「プロレスについて考えることは喜びである」の権化だったのに（笑）。
山本　もはや「プロレスについて考えることは苦しみである」ですよぉ！
――ターザン山本廃業ですか（笑）。
山本　もはや、メジャーといわれたプロレス団体はどんなに優れた集中治療室に持っていってもダメだよ。
谷川　そういう感じもしますよねぇ。
山本　だから最近、俺はひたすら闘龍門に逃げてるんだよねぇ。
谷川　山本さんはホントに最近は闘龍門ばかりプッシュしてますよね。
山本　いろいろ選手にインタビューしたりするんだけどね、この時代で生きていくためのプロレスを真剣に考えてるもんなぁ。
谷川　ああ、そうなんですか。
山本　非常に小さな世界で、スモール・ワールドだけどなぁ。俺ももういい加減に、メジャーをバッサリと切ってあきらめればいいのになぁ。でも記憶が邪魔するんだよねぇ。
――それが最も重要で、その記憶がやる側にとっても最大のネックなんですよ。
谷川　でも、その記憶を考えるにはK―1とか『プライド』からじっくりと考える必要が絶対ありますよね。
――だから、その記憶を呼び覚ますには、闘いの緊張感しかないんだもんね。その緊迫感とかリアル感を当時は持っていたんだから。
谷川　いやあ～、だけどホントに『Dynamite!』はプロレスにとって影

響が大きかったってことですね。

――でも、新しい流れが毎回毎回とどめを刺そうとしてますよぉ。年末の猪木軍VSK―1もそうだったしさぁ。

谷川 本当に格闘技側の影響が大きいと思いますよねえ。

山本 ただ唯一の救いはあるんだよぉ。8・28国立競技場の後にプロレスの興行が3日間あるという、それだけが。俺にとってはそれが本当に唯一にして最大に救いだよぉ。いったい『Dynamite!』の後にメジャーの2団体が何を見せるか、それだけが救いですよぉ。

――でも、国立が順延になって30日になったりして（笑）。

山本 そうなったら、もう悲惨だよなぁ。もう、プロレス側からすると、国立が順延にならないで、そのまま終わってしまって。で、人間というのはすぐに忘れちゃって、次のものを求めるから。ところがこれが逆になったら、完璧にプロレスが全滅だねぇ。全ては天気に支配されてますよぉ。

谷川 でも、お天気データを見ると……。

――ダハハッ！ お天気データ（笑）。

谷川 その3日間はここ10年間、1日も雨降ってないんですよぉ。気まぐれな台風が来ない限り、日程どおりですよ。で、僕は当日取材に行きますから。

山本 それが何か関係あるのかぁ？

谷川 僕はホントに無類の晴れ男なんですよ。子供の時、遠足とかも全部晴れなんですよ。僕が風邪を引いて休んだ時の遠足だけ大雨になったというくらいのそのぐらいの晴れ男なんですよお。

山本 とゆーことは、プロレスを救う可能性があるのは谷川ということかぁ？

――なんでだ！（笑）。

山本 俺も晴れ男なんだよぉ。「雨が降るなぁ」と思ったら、たとえば一番最初にやったFMWの汐留の電流爆破。あれ、台風が逸れてカラッと晴れたんだよねぇ。それと有明コロシアムでの新生UWFをやった時も、台風が過ぎてパッと晴れたんだよ。

――あの有明は懐かしいなあ。

山本 そういう意味では俺はプロレス界にとって表彰もんですよぉ！

小松 あ、表彰っていえば、ついこの間の7月20日の全日本の武道館大会……。

山本 あ、元子さんが「お世話になったマスコミ」って表彰したんだよねぇ。その中に俺は入ってないんだよぉ。

――ぷぷぷぷっ！

山本 『東京スポーツ』の桜井さんとか、『ゴング』の竹内宏介さんとか、菊池孝さんとか……。

――その中に入ってない（笑）。

山本 俺、取材に行かなくて良かったよぉ。もしその日に俺が行ってたら、頭が爆発してましたよぉ。俺はその日、たまたま闘龍門の博多スターレーン大会に行ってたんだよねぇ。それで東京に帰ってきたら、友だちから電話がかかってきてさぁ、「僕は腹が立った、なぜ山本さんがあそこにいないんですか！」って。だって、俺はそんな表彰があることなんて聞いてないもん。でも、そいつが言うにはSWSの時に馬場さんの全日本プロレスが史上最大の危機になって、全日本を守ったのは俺だけなのに、なんで表彰されないんだって怒ってるわけよぉ。

――そりゃ、そうでしょう。

山本 その時の記憶はオールすべてぜ～んぶ忘れさせられてしまったんだなぁ（笑）。情けないなぁ、人生というのは。あの時は馬場さんも元子さんも最大の危機に見舞われたんだよねぇ。全マスコミがメガネスーパーに付いたわけよ。でも、俺だけが馬場さんに付いたわけでしょ。凄いリスクを背負って全日本を応援したのに。殺生な世界だなぁ、プロレス界というのは。

谷川 ふんっ！ それはふざけた話だなあ。だって僕が石井館長から表彰されないというのと同じことでしょう。

――「技術論を広くファンに浸透させたザンス山田さんを表彰します」とかね（笑）。

谷川 山本さん、それは声を大にして怒ったほうがいいですよ。

――でも、俺は元子さんをかばうわけじゃないけど、元子さんも全日本から引くじゃないですか。表彰された人って元子さんが引く時に一緒にいなくなる人たちじゃないですか、全日本プロレスにとって。

山本 ああ………、なるほどねぇ。俺はまだ現役ってことかぁ。

――表彰された人たちは、武藤体制にとっては関係のない人たちなんですよ。でも、山本さんは新生・全日本プロレスになっても、たぶんそこに関わっていくということですよ。

谷川 救われましたね、今の一言で。山本さん、表彰されたらおしまいですよ。

山本 ああ、おしまいだったのかぁ？

谷川 表彰されたら、上がりってことですよ。命拾いしましたね、山本さん（笑）。

山本 よかったよぉ。危ないところだったなぁ、俺も（笑）。表彰されたらダメだったんだなぁ。

――まあ、その時に博多の闘龍門にいたのはどうかと思いますけど（笑）。

山本 でも好意的にとれば、俺は現役のバリバリなんだぁ。危うく俺は「楢山節行」になるところだったよぉ。

小松 なんなら、僕が背負っていきましょうか、8月29日から31日まで毎日、日本武道館に。

谷川 んあ～っ！ ■

ニッポンの夏、緊張の夏 座談会

＞＞ でも好意的にとれば、俺は現役のバリバリなんだぁ

8/8THU～8/22THU
CALENDAR

日付	予定
8/8 THU	★『SRS・DX』76号発売日 ■UFO『LEGEND』/東京ドーム（17:00～）⬅p47
8/9 FRI	●フジテレビ『SRS』（26:15～26:45）⬅p69
8/10 SAT	■一撃/千葉・東京ベイNKホール（13:00～）⬅p46 ◆K-1 ANDY SPIRITS 2002/チケット一斉発売⬅p46
8/11 SUN	■掣圏道/北海道・網走市総合体育館（14:00～）⬅p48 ■MA日本キック連盟/東京・北沢タウンホール（17:00～）⬅p48
8/12 MON	
8/13 TUE	
8/14 WED	
8/15 THU	
8/16 FRI	●フジテレビ『SRS』（26:15～26:45）⬅p69
8/17 SAT	
8/18 SUN	■日本キック連盟/茨城・水戸市民体育館（18:00～）⬅p49 ◆PRIDE.22/チケット特別先行予約⬅p46
8/19 MON	
8/20 TUE	
8/21 WED	
8/22 THU	★『SRS・DX』77号発売日

格闘技パーフェクトガイド
Perfect Guide

GUIDE & TICKET
大会ガイド&チケット情報

総合格闘技&ノールール系

Dynamite!

夏の興行戦争、遂に開戦!

Dynamite! SUMMER NIGHT FEVER in国立
8月28日(水) 東京・国立霞ヶ丘競技場

◆開場/15:30 試合開始/18:30
◆雨天順延日/8月29日(木)・30日(金)
◆入場料/RRS席30,000円 スタンドS席15,000円 スタンドA席12,000円 スタンドB席6,000円 桜庭和志応援シート15,000円(応援グッズ付)
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/ドリームステージエンターテインメント、PRIDEオフィシャルサイト、PRIDE携帯端末オフィシャルサイト、チケットぴあ〈Pコード:594-700〉、ローソンチケット〈Lコード:37676〉、CNプレイガイド、eプラス、サークルK/サンクス、高田道場☎03-5749-5030、グレート・アントニオ☎03-3219-9550、レッスル渋谷店、レッスル池袋店、板橋大山アメリカン、書泉ブックマート、フィットネスショッ格闘技☎03-3265-4646、チケット&トラベルT-1☎03-5275-2778、後楽園ホール☎03-3811-2111、渋谷TOKYO文庫TOWER☎03-5784-4900、公武堂☎052-241-2511、新日本プロモーション(http://www.shinnichi-pro.co.jp/)、チケットgaburi(http://www.gaburi.com/)
◆会場アクセス/JR総武線千駄ヶ谷駅より徒歩5分、または都営地下鉄大江戸線国立競技場駅より徒歩1分
◆お問い合わせ/ドリームステージエンターテインメント☎03-5775-5700

決定対戦カード

桜庭和志 vs ミルコ・クロコップ
(高田道場) (クロアチア/クロコップ・スクワッド・ジム)

吉田秀彦 vs ホイス・グレイシー
(吉田道場) (ブラジル/グレイシー柔術アカデミー)

PRIDE

PRIDE.22
9月29日(日) 愛知・名古屋総合体育館レインボーホール

◆開場/14:00 試合開始/16:00(予定)
◆入場料/VIP席100,000円(特典:専用入場ゲート、グッズ付)、RRS席25,000円、スタンドS席15,000円、スタンドA席7,000円
◆チケット発売/下記の表を参照
◆会場アクセス/JR東海道本線笠寺駅より徒歩3分、名鉄名古屋本線本笠寺駅より徒歩15分
◆お問い合わせ/ドリームステージエンターテインメント☎03-5775-5700

9・29『PRIDE.22』チケット発売情報

〈特別先行電話予約〉
8月18日(日)10:00~19:00
【特電】052-961-6341

〈一斉発売〉
9月1日(日)10:00~
有名プレイガイド

K-1

K-1ジャパンシリーズ

K-1 ANDY SPIRITS ~JAPAN GP 決勝戦~
9月22日(日) 大阪城ホール

◆開場/13:30 試合開始/15:00
◆入場料/SRS席20,000円 RS席12,000円 S席8,000円 A席6,000円
◆チケット発売/下記の表を参照
◆会場アクセス/JR大阪城公園駅、地下鉄大阪ビジネスパーク駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/K-1事務局☎03-3796-2977

出場予定選手

天田ヒロミ(TENKA510)
大石亨(日進会館)
ノブ・ハヤシ(ドージョーチャクリキ)
富平辰文(SQUARE)
野地竜太(極真会館)
中迫剛(ZEBRA244)
武蔵(正道会館)
X

9・22『K-1 ANDY SPIRITS 2002 ~JAPAN GP 決勝戦~』チケット発売情報

〈一斉発売〉
8月10日(土)10:00~
チケットぴあ 【特電】☎06-6363-9933
ローソンチケット【特電】☎06-6369-1155
CNプレイガイド【特電】☎06-6776-1400
eプラス(http://eee.eplus.co.jp/west/)
8月11日(日)10:00~
チケットぴあ ☎06-6363-9999
ローソンチケット ☎06-6369-6633(Lコード:51865)
CNプレイガイド ☎06-6776-1199
eプラス

K-1ワールドシリーズ

K-1 WORLD GP 2002 開幕戦
10月5日(土) さいたまスーパーアリーナ

◆詳細未定 ◆会場アクセス/JR高崎線・宇都宮線・京浜東北線さいたま新都心駅より徒歩3分、JR埼京線北与野駅から徒歩7分 ◆お問い合わせ/K-1事務局☎03-3796-2977

出場予定選手

マーク・ハント
(ニュージーランド/リバプール・キックボクシングジム)
フランシスコ・フィリォ
(ブラジル/極真会館ブラジル支部)
アレクセイ・イグナショフ
(ベラルーシ/チヌックジム)
ステファン・レコ
(ドイツ/マスターズジム)
アーネスト・ホースト
(オランダ/ボスジム)
ジェロム・レ・バンナ
(フランス/ボーアボエル&トサジム)
ピーター・アーツ
(オランダ/メジロジム)
※2001年度ベスト8ファイター

一撃

一撃実行委員会

一撃
8月10日(土) 千葉・東京ベイNKホール

◆開場/12:00 試合開始/13:00
◆入場料/SRS席20,000円 RS席15,000円 S席10,000円 A席5,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/一撃実行委員会☎03-5960-7522、チケットぴあ、ローソンチケット
◆会場アクセス/JR京葉線舞浜駅よりディズニーリゾートラインに乗車、ベイサイドステーション下車、徒歩1分
◆お問い合わせ/一撃実行委員会☎03-5960-7522

決定対戦カード

〈スーパーファイト〉
ジョージ・アリアス vs マット・スケルトン
(ブラジル/アリアスジム) (イギリス/イーグルジム)

〈カラテマッチ〉
クレバノフ・レチ vs ロイド・ヴァン・ダム
(ロシア/極真会館) (オランダ/ドージョー・チャクリキ)

森口竜 vs グレート草津
(極真会館) (チーム・アンディ)

マルコス・コスタ vs 重虎
(ブラジル/極真会館) (K-NETWORK西日本本部)

スーパーチャージ・ヴィーモア vs 松本哉朗
(TEAM TBC) (新日本キック協会/藤本ジム)

ヴァイアチェスラブ・ネステロワ vs 山内哲也
(ロシア/TEAM TBC) (Jネットワーク)

マウリシオ・ダ・シルバ vs 虎
(ブラジル/TEAM TBC) (国士会館)

〈フレッシュマンファイト〉
赤石誠 vs 藤田雅幸
(TEAM TBC・極真総本部) (極真石川)

〈フレッシュマンファイト〉
黒田宗広 vs 井本大智
(K-NETWORK東日本本部・極真城西) (国士会館)

パンクラス

タイ武者修行帰りの渋谷の相手がGRABAKAの郷野に決定！

タイのイングラムジムで1カ月に及ぶムエタイ修行を積んだ渋谷修身の帰国第1戦目の相手が、GRABAKAの郷野聡寛に決定した！ キックに磨きをかけて帰ってきた渋谷は、郷野にムエタイ仕込みのヒザ蹴りを食らわし、武者修行の成果を見せつけられるか!? 一方、半年間ケガで欠場し、5月の窪田幸生戦で判定勝利し復帰を果たした郷野としても、今度は是非一本勝ちで完全復帰をアピールしたいところだ。また昨年末、初代ヘビー級王座に就いた髙橋義生が、約8カ月ぶりに参戦。UFCへの出陣も噂されているが、今回勝利し勢いをつけ、また世界のリングで闘う姿を見せてほしい！

渋谷修身vs郷野聡寛

PANCRASE 2002 SPIRIT TOUR
8月25日（日） 大阪・梅田ステラホール

◆開場/15:00 試合開始/16:00 ◆入場料/SS席8,500円 A席6,500円 B席5,000円 ◆チケット発売/発売中 ◆チケット発売所/P's LAB大阪☎06-6649-8530、チケットぴあ（Pコード：594-040）、ローソンチケット（Lコード：52745）、イープラス（http://eee.eplus.co.jp）、チャンピオン大阪☎06-6645-5186、バディ・スラム☎06-6645-1378、エース☎06-6636-5468、神戸住吉・富万☎078-811-6222、パンクラス☎03-5792-0815 ◆会場アクセス/JR大阪駅中央北口より徒歩10分 ◆お問い合わせ/パンクラス☎03-5792-0815

決定対戦カード

髙橋義生vs多田尾秀樹
（パンクラスism） （RJW/CENTRAL）

渋谷修身vs郷野聡寛
（パンクラスism） （パンクラスGRABAKA）

佐々木有生vsX
（パンクラスGRABAKA）

星野勇二vs窪田幸生
（RJW/CENTRAL） （パンクラスism）

冨宅飛駈vs芹沢健一
（パンクラス大阪） （RJW/CENTRAL）

吉信vs志田幹
（四王塾） （P'sLAB東京）

〈パンクラスゲート〉

武重賢司vs松井健二
（P'sLAB大阪） （ライルーツコナン）

〈パンクラスゲート〉

前田吉朗vs山田泰範
（P'sLAB大阪） （ピロクテテス新潟）

PANCRASE 2002 SPIRIT TOUR
9月29日（日） 神奈川・横浜文化体育館

◆開場/15:00 試合開始/16:30 ◆入場料/SS席16,000円 RS-A席7,500円 RS-B席5,500円 2F-A席10,000円 2F-B席6,000円 2F-C席4,000円 3F席4,500円 ※当日券は500円増し ◆チケット発売/発売中 ◆チケット発売所/チケットぴあ（Pコード:594-040）、ローソンチケット（Lコード:32966）、CNプレイガイド、eプラス、後楽園ホール、書泉ブックマート、大山アメリカン、レッスル渋谷、レッスル池袋、ビデオショップチャンピオン、水道橋・マニア館☎03-5276-0304、アイドール新宿☎03-3371-5211、ファイター☎03-3354-1903、フィットネスショップ水道橋、チケット&トラベルT-1☎03-5275-2778、格闘技・プロレス図書館 闘道館☎03-3512-2080、FIGHT COMPANY☎03-3325-5047、SSSアカデミー水道橋☎03-5212-7920、SSSアカデミー高島平☎03-5945-7166、イサミ尚武堂☎03-5214-6487、渋谷TOKYO文庫TOWER 6F☎03-5784-4900、ゴールドジムノース東京☎03-3917-9434、ゴールドジムサウス東京☎03-5460-3535、ゴールドジム行徳千葉☎047-390-3434、パンクラス ◆会場アクセス/JR関内駅南口より徒歩3分、市営地下鉄伊勢佐木長者駅より徒歩3分 ◆お問い合わせ/パンクラス☎03-5792-0815

PANCRASE 2002 SPIRIT TOUR
10月29日（火） 東京・後楽園ホール

◆開場/17:30 試合開始/18:30 ◆入場料/指定席5,000円 立見席3,000円 ◆チケット発売/9月8日（日） ◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、CNプレイガイド、eプラス、後楽園ホール、書泉ブックマート、板橋大山アメリカン、レッスル渋谷、レッスル池袋、チャンピオン、プロレスマニア館☎03-5276-0304、アイドール新宿☎03-3371-5211、ファイター☎03-3354-1903、フィットネスショップ水道橋☎03-3265-4646、チケット&トラベルT-1☎03-5275-2778、格闘技・プロレス図書館 闘道館☎03-3512-2080、FIGHT COMPANY☎03-3325-5047、SSSアカデミー水道橋☎03-5212-7920、SSSアカデミー高島平☎03-5945-7166、イサミ尚武堂☎03-5214-6487、渋谷TOKYO文庫TOWER 6F☎03-5784-4900、ゴールドジムノース東京☎03-3917-9434、ゴールドジムサウス東京☎03-5460-3535、ゴールドジム行徳千葉☎047-390-3434、パンクラス、パンクラスオフィシャルサイト ◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分 ◆お問い合わせ/パンクラス☎03-5792-0815

DEEP2001

滑川が、和田良覚の敵討ちに立ち上がる！

滑川康仁vsMAX宮沢

DEEP2001 6th IMPACT in ARIAKE COLOSSEUM
9月7日（土） 東京・有明コロシアム

◆開場/16:30 試合開始/18:00 ◆入場料/VIP席30,000円 SRS席20,000円，RS席10,000円 スタンドS席10,000円 スタンドA席8,000円 スタンド席6,000円 ※当日券は500円増し ◆チケット発売/発売中 ◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、CNプレイガイド、eプラス、後楽園ホール、書泉ブックマート、大山アメリカン、レッスル渋谷、レッスル池袋、フィットネスショップ水道橋、ビデオショップチャンピオン、プロレスマニア館☎03-5276-0304、ファイター☎03-3354-1903、チケット&トラベルT-1☎03-5275-2778、デポマート☎03-3515-6507、渋谷TOKYO文庫TOWER 6F☎03-5784-4900、BATTLE PLACE☎03-3881-7770、格闘技ショップ東京イサミ☎03-3352-4083、パンクラス☎03-5792-0815、DEEP2001事務局 ◆会場アクセス/新交通ゆりかもめ有明駅より徒歩8分、臨海副都心線国際展示場駅より徒歩5分、品川駅東口から都バスで有明テニスの森下車 ◆お問い合わせ/DEEP2001事務局☎052-339-0303

決定対戦カード

田村潔司vs美濃輪育久
（U-FILE CAMP.com） （パンクラスism）

ドス・カラスJrvs中野巽耀
（AAA） （フリー）

ジョン・ホーキvs雷暗暴
（ノヴァ・ウニオン） （アメリカ/フリー）

滑川康仁vsMAX宮沢
（フリー） （荒武者総合格闘術）

出場予定選手

髙阪剛（アライアンス）

三島☆ド根性ノ助（総合格闘技道場コブラ会）

上山龍紀（U-FILE CAMP.com）

矢野卓（烏合会）

U.F.O

世界最強伝説 UFO LEGEND
8月8日（木） 東京ドーム

◆開場/15:00 試合開始/17:00
◆入場料/VIP席88,000円 プレミアムシート50,000円 SRS席30,000円 RS席20,000円 S席10,000円 A席8,000円 B席5,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/キョードー東京☎03-3498-9999、チケットぴあ、ローソンチケット（Lコード:36657）、CNプレイガイド、e+（http://eee.eplus.co.jp）
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/キョードー東京☎03-3498-9999

決定対戦カード

小川直也vsマット・ガファリ
（UFO） （アメリカ）

菊田早苗vsアントニオ・ホドリゴ・ノゲイラ
（パンクラスGRABAKA） （ブラジル/ブラジリアン・トップ・チーム）

村浜武洋vsジェンス・パルヴァー
（大阪プロレス） （アメリカ）

坂田亘vsマリオ・スペーヒー
（EVOLUTION） （ブラジル/ブラジリアン・トップ・チーム）

ヴァリッジ・イズマイウvs村上和成
（ブラジル/カーウソン・グレイシーチーム） （UFO）

アントニオ・ホジェリオ・ノゲイラvsウラジミール・マティシエンコ
（ブラジル/ブラジリアン・トップ・チーム） （ベラルーシ／rAw）

出場予定選手

藤田和之（猪木事務所）

安田忠夫（猪木事務所）

横井宏考（アライアンス）

全日本キックボクシング連盟

小林が、再度ルンピニー王者に挑む！

今年3月にルンピニーのライト級王者ナムサックノーイと対戦、大量出血によるレフェリーストップでTKO負けを喫した小林聡が、今度はルンピニーのジュニアライト級王者サムゴー・ギャットモンテープと対戦する！　昨年9月には、ラジャダムナン王者にKO勝ちしている小林は、今度こそルンピニー王者に勝利して、2大ムエタイの殿堂を制覇できるか!?　また、大相撲では朝青龍が大関に昇進し、モンゴルブームが盛り上がりつつある昨今、全日本キックのモンゴル人ファイター花戸忍にも注目だ！

Golden Trigger

9月6日（金）　東京・後楽園ホール

◆開場/17:00　試合開始/17:30
◆入場料/RS席10,000円　S席7,000円　A席5,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、後楽園ホール、BoutReview、全日本キック電話予約☎03-3365-1171、全日本キック公認サイト
◆会場アクセス/JR総武線・都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/全日本キックボクシング連盟☎03-3365-1171

主な対戦カード

—5回戦—

小林聡 vs サムゴー・ギャットモンテープ
（藤原）　（タイ）

出場予定選手

浜川憲一（作真会館）

花戸忍（高橋道場）

前田尚紀（藤原）

MA日本キックボクシング連盟

SHIMOKITA GROUND ZERO PT4

8月11日（日）　東京・北沢タウンホール

◆開場/16:30　試合開始/17:00
◆入場料/SRS席8,000円（当日10,000円）　立見席3,000円（当日4,000円）
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/連盟事務局
◆会場アクセス/小田急線・京王井の頭線下北沢駅南口より徒歩5分
◆お問い合わせ/連盟事務局☎03-3485-7063

主な対戦カード

—5回戦—

隼人 vs 犬走健治
（PHOENIX）　（土浦ジム）

泉雄策 vs X
（山木ジム）

辻直樹 vs 森田晃允
（山木ジム）　（土道館橋本道場）

掣圏道

掣圏道アルティメットボクシング公式戦

8月11日（日）　北海道・網走市総合体育館

◆開場/13:00　試合開始/14:00　◆入場料/R席10,000円　A席5,000円　B席3,000円　◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、CNガイド　◆会場アクセス/JR網走駅から「農大」行き・「汐見団地」行きバスに乗車し、「総合グランド前」下車すぐ　◆お問い合わせ/掣圏道協会本部☎0166-27-5788

新日本キックボクシング協会

ADVANCE ATTACK～進撃～

9月22日（日）　東京・ディファ有明

◆開場/15:30　試合開始/16:00　◆入場料/SRS席15,000円　RS席10,000円　S席7,000円　A席5,000円　立見席4,000円（当日のみ）　◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/チケットぴあ、後楽園ホール、治政館　◆会場アクセス/新交通ゆりかもめ有明駅より徒歩10分、臨海副都心線国際展示場駅より徒歩5分、品川駅東口から都バスで有明テニスの森下車、徒歩3分　◆お問い合わせ/治政館ジム☎048-953-1880

主な対戦カード

—5回戦—

武田幸三 vs メッケンナー・ソーキングスター
（治政館）　（タイ）

鈴木敦 vs 遠藤心平
（尚武館）　（治政館）

小川和宏 vs 新宅大介
（治政館）　（伊原）

阿佐美義文 vs 鈴木祐作
（治政館）　（伊原）

小原祥寛 vs 白熊市原
（藤本）　（市原）

ROAD TO MUAY-THAI 2002

10月20日（日）　東京・後楽園ホール

◆詳細未定
◆会場アクセス/JR総武線・都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/伊原道場☎03-3461-4258

主な対戦カード

—5回戦—

庵谷鷹志 vs 鷹山真吾
（伊原）　（尚武会）

日本・タイ国際戦出場選手

深津飛成（伊原）

菊地剛介（伊原）

小出智（治政館）

石井宏樹（藤本）

松本哉朗（藤本）

北沢勝（藤本）

修斗

プロフェッショナル修斗公式戦

8月27日（火）　東京・北沢タウンホール

◆開場/17:00　試合開始/18:00　◆入場料/S席6,000円　A席5,000円　◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/KEEL CAFE ☎03-5725-7338、パレストラ東京　◆会場アクセス/小田急線・京王井の頭線下北沢駅南口より徒歩5分　◆お問い合わせ/パレストラ東京☎03-5984-3209

決定対戦カード

中山巧 vs 山崎剛
（パレストラ東京）　（Team GRABAKA）

藤原正人 vs 朴光哲
（パレストラ東京）　（SHOOTO GYM K'z FACTORY）

〈02年度新人王トーナメント／ミドル級準決勝〉

楠勇次 vs 弘中邦佳
（K&D）　（SSSアカデミー）

〈02年度新人王トーナメント／バンタム級準決勝〉

漆谷康宏 vs 端智弘
（RJW/CENTRAL）　（PUREBRED大宮）

〈02年度新人王トーナメント／ライト級準決勝〉

田村彰敏 vs 小松寛司
（格闘結社田中塾）　（総合格闘技道場コブラ会）

伊藤忍 vs 岡田廣明
（パレストラ東京）　（PUREBRED大宮）

プロフェッショナル修斗公式戦

9月16日（月・休）　神奈川・横浜文化体育館

◆開場/14:00　試合開始/16:00
◆入場料/1階SRS席15,000円　1階RS席10,000円　1階SS席7,000円　2階パノラマS席10,000円　2階パノラマ席8,000円　2階A席6,000円　2階B席5,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、CNプレイガイド、チケット&トラベルT-1 ☎03-5275-2778、KEEL CAFE ☎03-5725-7338、フィットネスショップ水道橋、後楽園ホール、書泉ブックマート、大盛堂書店☎03-5784-4900、チケット&トラベルT-1 ☎03-5275-2778、e-ticket
◆会場アクセス/JR京浜東北線関内駅南口より徒歩5分
◆お問い合わせ/サステイン☎03-5725-7338

決定対戦カード

〈フェザー級チャンピオンシップ〉

大石真丈 vs 池田久雄
（K'zファクトリー）　（PUREBRED大宮）

今泉堅太郎 vs ABKZ
（SKアブソリュート）　（パレストラ東京）

出場予定選手

桜井“マッハ”速人（ガッツマン修斗道場）

マモル（シューティングジム横浜）

ビトー・シャオリン・ヒベイロ（ブラジル／アリアンシ柔術）

ハビエル・バスケス（キューバ／ミレンニア柔術）

山本“KID”徳郁（PUREBRED大宮）

その他

J-DO

J-DO 第4回神戸大会
9月16日（月・休） 兵庫・神戸チキンジョージ

◆開場/18:00 試合開始/19:00
◆入場料/SRS席15,000円 RS席6,000円 立見席3,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/J-DOオフィシャルHP（http://www.j-do.jp）
◆会場アクセス/JR・阪急・阪神三宮駅より徒歩10分
◆お問い合わせ/Iam（アイエーエム）☎03-5464-5886

日本女子ボクシング協会

FIGHTING GIRLS PT3
9月7日（土） 東京・ディファ有明

◆開場/17:00 試合開始/18:00
◆入場料/SRS席22,000円（当日25,000円） RS席17,000円（当日20,000円） S席12,000円（当日15,000円） A席8,000円（当日10,000円） B席6,000円（当日7,000円） C席4,000円（当日5,000円） 立見席3,000円（当日のみ）
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/日本女子ボクシング協会
◆会場アクセス/新交通ゆりかもめ有明駅より徒歩10分、臨海副都心線国際展示場駅より徒歩5分、品川駅東口から都バスで有明テニスの森下車、徒歩3分
◆お問い合わせ/日本女子ボクシング協会☎03-3485-4446

出場予定選手

ライカ（山木ジム）

八島有美（ゴールドジム横浜馬車道）

空手

正道会館

第4回オープントーナメント全日本空手道選手権大会2002
9月1日（日） 大阪府立体育会館 第一競技場

◆開場/9:00 予選開始/10:00 開会式/13:00
◆入場料/2,500円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、ほか
◆会場アクセス/JR・近鉄難波駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/正道会館総本部ウェイト制全日本大会運営事務局☎06-6357-1654

Ticket Present！

9・1『第4回オープントーナメント全日本空手道選手権大会2002』の観戦チケットを、『SRS・DX』読者10組20名様にプレゼント！ 希望者はハガキに氏名、年齢、職業、住所、電話番号、今号の感想を明記して、下記のあて先までご応募を。締め切りは8月26日（月）必着。なお、当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

◆あて先／〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-14-12 神田NSビル8F SRS・DX編集部「9・1正道会館全日本空手道選手権大会チケットプレゼント」係

第15回オープントーナメント西日本新人戦空手道選手権大会
10月14日（月・祝） 大阪府立体育会館 柔道場

◆開場/9:00 予選開始/10:00 開会式/13:00
◆入場料/無料
◆会場アクセス/JR・近鉄難波駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/正道会館総本部☎06-6357-1654

ニュージャパンキックボクシング連盟

NKBトーナメントもいよいよ大詰め！

約1年間かけて行われたNKBトーナメントもいよいよ大詰め。今大会で全6階級の王者が決定することになる。フェザー級の決勝は、前NJKFバンタム級王者の桜井洋平と、優勝候補の楠本勝也を破り勝ち上がってきたTURBO。ライト級の決勝は、笛吹丈太郎とAVIS-SV01の対戦となる。最後に、頂上にのぼり詰めるのは誰だ!?

シュートボクシング協会

どついたるねん9
8月25日（日） 大阪府立体育会館サブアリーナ

◆開場/12:00 試合開始/13:00
◆入場料/SRS席10,000円 RS席7,000円 S席4,000円 ※小学生以下は2,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/ローソンチケット、龍生塾事務局☎06-6351-7994
◆会場アクセス/南海難波駅、地下鉄なんば駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/どついたるねん大会事務局☎06-6351-7994

主な対戦カード

—5回戦—
（SBプロ公式戦エキスパートルール）
及川知浩（龍生塾） vs 三原日出男（シーザージム）

〈SB・キック交流戦〉
伊賀弘治（龍生塾） vs 阿部重男（K-NET）

The age of "S" Vol.4
9月22日（日） 東京・後楽園ホール

◆詳細未定
◆会場アクセス/JR総武線・都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/シュートボクシング協会☎03-3843-1212

真樹道場

2002オープントーナメント 第3回全日本空手道選手権大会
9月22日（日） 愛知・豊田市体育館

◆開場/9:30 試合開始/10:00
◆入場料/自由席2,000円（当日券3,000円） 小学生1,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/真樹道場・愛知本部
◆会場アクセス/名古屋鉄道豊田市駅より徒歩10分
◆お問い合わせ/世界空手道連盟真樹道場・愛知本部☎0565-24-3861

士道館

第13回関東空手道選手権大会
9月22日（日） 東京・東村山市民スポーツセンター

◆試合開始/10:00
◆入場料/無料
◆会場アクセス/西武新宿線東村山駅より車で約5分
◆お問い合わせ士道館橋本道場☎043-530-8630

キックボクシング

DREAM RUSH 6
9月8日（日） 東京・後楽園ホール

◆開場/16:45 試合開始/17:00
◆入場料/SRS席12,000円 RS席10,000円 特別指定席7,000円 指定A席5,000円 指定B席4,000円 指定C席3,000円 立見2,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、ほか
◆会場アクセス/JR総武線・都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/ニュージャパンキックボクシング事務局☎03-5625-2371

主な対戦カード

—5回戦—

〈NKB統一トーナメント／フェザー級王者決定戦〉
桜井洋平（岩瀬） vs TURBO（TEAM O.J）

〈NKB統一トーナメント／ライト級王者決定戦〉
笛吹丈太郎（大和） vs AVIS-SV01（小国）

〈NKB統一ランキングライト級2位決定戦〉
ソムチャーイ高津（小国） vs 野崎勇治（東京北星）
ヌントラガーン（タイ） vs HIROSHI（サシプラパーJ）

〈NKB統一ランキングフェザー級2位決定戦〉
岩井伸洋（小国） vs 伊藤陽二（大阪真門）

〈NKB統一ランキングフライ級2位決定戦〉
佐藤友則（小国） vs 高嶺幸良（大阪真門）
孫悟空丸山（小国） vs 立嶋篤史（ASSHI-P）
飯田誠一（町田金子） vs 高野義章（健心塾）

日本キックボクシング連盟

2002破壊シリーズV
8月18日（日） 茨城・水戸市民体育館

◆開場/17:30 試合開始/18:00
◆入場料/RS席10,000円 1階指定席5,000円 2階自由席3,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/平戸ジムほか
◆会場アクセス/JR常磐線水戸駅より「日立」行きバス乗車、「市民プール入口」下車徒歩3分
◆お問い合わせ/平戸ジム☎029-243-2600

主な対戦カード

—5回戦—
中川裕也（渡辺） vs 中西和広（八王子FSG）
海老沢朋和（平戸） vs 吉田洸輝（八王子FSG）

アマチュア 空手

髙田道場

第4回髙田道場サブミッションレスリング試合

8月18日（日） 東京・髙田道場

◆試合開始/14:00 ◆入場料/無料 ◆会場アクセス/東急目黒線武蔵小山駅より徒歩3分 ◆お問い合わせ/髙田道場☎03-5749-5030

T.A.M.A

格闘技サミットトーナメント

9月1日（日） 東京・ニューシティーホール国立

◆開場/11:00 試合開始/11:30 ◆入場料/2,000円 ※当日は1,000円増し ◆チケット発売所/送料500円をプラスして、希望枚数×2,000円を現金書留で下記の住所まで郵送 〒185-0031 東京都国分寺市富士本1-23-5 長瀬正和 ◆会場アクセス/JR中央線国立駅より徒歩1分 ◆お問い合わせ/T.A.M.A.☎042-572-6795

エキシビジョンマッチ

長瀬正和（T.A.M.A.） vs チャモアペット・チョーチャモアン（タイ）
大塚裕一（T.A.M.A.） vs 港太郎（K.I.B.A.）
ジャッキーリン（T.A.M.A.） vs ランバー・ソムデート吉沢（タイ／M16ジム）

AX事務局

プロジェクトA

9月23日（月・祝） 東京・夢の島総合体育館 柔道場

◆詳細未定 ◆会場アクセス/地下鉄有楽町線・JR京葉線新木場駅より徒歩12分。または、地下鉄東西線東陽町駅から都バス「新木場駅行き」乗車し、「夢の島」下車、徒歩6分 ◆お問い合わせ/AX事務局☎03-3478-4605

合気道S.A.

第2回合気道杯争奪 実戦・リアル合気道選手権大会6

10月12日（土） 東京・都立多摩スポーツセンター会館 柔道場

◆開場/12:30 試合開始/13:00 ◆入場料/3,000円 ※当日は基本的に入場不可 ◆チケット発売所/観覧希望・氏名・年齢・住所・電話番号を明記し、現金書留で9月末日までに下記の住所まで郵送 〒193-0821 東京都八王子市川町128-280 櫻井文夫 ◆会場アクセス/JR青梅線東中神駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/合気道S.A.☎042-651-8418

勇健塾

第6回格闘技空手拳法選手権大会

9月15日（日） 香川・善通寺市民体育館 サブアリーナ

◆開場/10:00 試合開始/11:00
◆入場料/無料
◆会場アクセス/JR土讃線善通寺駅より車で5分
◆お問い合わせ/大会事務局☎0877-57-2208

日本グローブ空手道連盟

第13回グローブ空手オープン選手権大会

10月5日（土） 東京武道館 第一武道館

◆試合開始/12:00（予定）
◆入場料/無料
◆会場アクセス/地下鉄千代田線綾瀬駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/日本グローブ空手道連盟☎03-5625-2371

日本国際空手

第6回全日本空手道選手権大会

9月29日（日） 神奈川・川崎市とどろきアリーナ

◆開場/9:00
◆入場料/無料
◆会場アクセス/JR南武線武蔵小杉駅から1番乗り場より市バス「溝05、杉40」系統で「春日神社」下車または、2番乗り場より東急バス「宮内経由溝口」行で「等々カグランド入口」下車すぐ
◆お問い合わせ/大会事務局☎03-5393-9763

HYBRID WRESTLING 武∞限

武∞限 2002 DESTINY TOUR

8月25日（日） 沖縄・県立武道館2階 第2錬成道場

◆開場/16:00 試合開始/17:00
◆入場料/自由席1,500円 学生/1,000円（要身分証明書）
※当日券は500円増し
◆チケット発売所/チケットぴあ、犬神商会☎098-866-3538、IN YOUR FACE☎098-863-3115、SOUTH OF MARKET☎098-863-2606、WOOD CHUCK☎098-868-1732、RideHot☎098-936-2947、auショップ RAMS識名店☎098-853-4515、ISLAND BROTHERS Cafe☎098-860-8844、ARF☎098-856-5767、米市場 浮島通り店☎098-868-3629、0120-014-530、HYBLID WRESTLING 武∞限☎090-8293-5012
◆会場アクセス/那覇空港より徒歩15分
◆お問い合わせ/HYBLID WRESTLING 武∞限☎090-8293-5012

大誠塾

第10回新空手道千葉大会 "Raise"

8月11日（日） 千葉・船橋アリーナ

◆開場/16:00 試合開始/17:00 ◆入場料/SS席5,000円 A席3000円 B席2,000円 ◆チケット発売/発売中 ◆チケット発売所/チケットぴあ、ほか ◆会場アクセス/東葉高速鉄道船橋日大前駅より徒歩8分 ◆お問い合わせ/ファオフロント☎047-456-3777

決定対戦カード

久保坂左近（新空手健生館） vs 飯島浩二（健成会）
山中政信（フリー） vs 川崎康弘（新空手士心館）
小林悟（新空手勇心館） vs 山本優弥（新空手空修会館）
千葉友浩（TEAM-1） vs 寄本哲平（新空手大誠塾船橋）
青柳雅英（フリー） vs 李廣熙（韓国／作真会館）

禅道会

バーリ・トゥード2002・オープントーナメント リアルファイティング空手道選手権大会

9月15日（日） 南長野運動公園総合運動場体育館

◆開場/9:30 試合開始/11:00 ◆入場料/無料 ◆会場アクセス/JR信越線篠ノ井駅から川中島バス「松代行き」に乗車、東福寺下車から徒歩10分 ◆お問い合わせ/空手道禅道会長野支部☎026-293-6944

主要チケット発売所一覧

チケットぴあ ☎03-5237-9999
ローソンチケット ☎03-3569-9900
CNプレイガイド ☎03-5802-9999
オデッセー ☎03-3408-0331
渋谷東急文化チケットセンター ☎03-3406-1513
レッスル渋谷店 ☎03-3464-0078
レッスル池袋店 ☎03-3989-0056
板橋大山アメリカン ☎03-3962-6443
チャンピオン ☎03-3221-6237
書泉ブックマート ☎03-3294-0011
フィットネスショップ水道橋 ☎03-3265-4646
後楽園ホール ☎03-5800-9999
e+（イープラス） http://eee.eplus.co.jp ☎03-5749-9911

プロ団体連絡リスト

K－1事務局
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-18-22S＆T神宮前ビル3F
☎03-3796-2977

修斗
※各興行のプロモーターに問い合わせ

ワールドパンクラスクリエイト
〒106-0047 東京都港区南麻布4-2-25 2F
☎03-5792-0815

髙田道場
〒142-0062 東京都品川区小山3-6-6ワールドパレス武蔵小山1F＆B1
☎03-5749-5030

UFO
〒108-0071 東京都港区白金台3-19-5OK白金台ビル7F
☎03-5447-2121

ドリームステージエンターテインメント
〒107-0052 港区赤坂8-5-4ルーメリ赤坂103
☎03-5775-5700

S.W.A 撃圏道・ワールド・アソシエーション
〒150-0021 東京都昭島市大神町1-2-22
☎042-544-6979

マーシャルアーツ日本キックボクシング連盟
〒155-0031 東京都世田谷区北沢2-6-5
☎03-3485-7060

全日本キックボクシング連盟
〒169-0074 東京都新宿区北新宿1-6-21
☎03-3365-1171

日本キックボクシング連盟
〒124-0023 東京都葛飾区東新小岩5-2-7江戸屋ビル4F
☎03-3691-4536

新日本キックボクシング協会
〒150-0034 東京都渋谷区代官山町7-8
☎03-3780-1350

ニュージャパンキックボクシング連盟
〒130-0022 東京都墨田区江東橋2-14-1サガノビル2F
☎03-5625-2371

J－NETWORK
〒154-0024 東京都世田谷区三軒茶屋2-14-12三元ビル5F
☎03-3419-0536

K－U(キック・ユニオン)
〒195-0834 東京都八王子市東浅川町8-1
☎0426-66-9541

シュートボクシング協会
〒111-0033 東京都台東区花川戸2-2-8ワコー花川戸ハイツ1・2F
☎03-3843-1212

極真会館総本部道場（松井派）
〒171-0021 東京都豊島区西池袋2-38-1
☎03-5992-9200

バックナンバー インフォメーション

これ以前の号をお求めの方は、グレート・アントニオへお越しを！（ただし、完売した号もございますので、ご確認ください）

《4・25 68号》

●特集「『K-1vsPRIDE』ルール問題こそエンターテインメントだ！」/ミルコvsシウバ戦のルールはどうなる!?、関係者に聞く『ルール問題』、ギルバート・アイブル、ヴァンダレイ・シウバインタビュー　ほか
●大会詳報/3・30「DEEP2001」名古屋大会
●SRS・DXの注目/3・17「2H2H・SIMPLE IS THE BEST 4」オランダ大会、マルコ・ファス、ユセフ・トルコ、闘魂カメラマン原悦生インタビュー、PRIDE公認・BCGオープンセミナー情報
●大会レポート/3・25パンクラス後楽園大会、3・31修斗名古屋大会、3・30MAキック後楽園大会、4・7スマックガール、3・31SB後楽園大会

《5・9&5・23 合併号 69号》

●完全速報/4・21「K-1 BURNING 2002」広島大会
●SRS・DXの注目/ヴァンダレイ・シウバインタビュー、編集部トーク覆面座談会Special、郷野聡寛インタビュー、中井祐樹&主催者に聞く日本初のプロ柔術大会「G-lum」の見方
●4・28PRIDE.20横アリ大会最終情報/アレクサンダー大塚vsターザン山本対談、菊田早苗、パンクラス尾崎社長インタビュー
●5・11K-1ミドル級世界一決定戦直前情報/魔裟斗、小比類巻貴之、アルバート・クラウスインタビュー
●大会情報/4・12全日本キック後楽園大会、3・23極真パリ大会、4・14修斗下北沢大会

《6・13 臨時増刊号 70号》

●完全速報/4・28『PRIDE.20』横アリ大会
●直前情報/5・11『K-1 WORLD MAX 2002～世界一決定戦～』、黒崎健時インタビュー、ガオラン・カウイチットとは何者か？
●これからどうなる？　K-1vsPRIDE/セーム・シュルト、武蔵インタビュー
●SRS・DXの注目/5・11パンクラス直前情報…DDT橋本友彦インタビュー、ノゲイラ兄弟&マリオ・スペーヒーvsターザン山本対談
●大会レポート/4・21J-NETWORK後楽園大会、4・25木口道場下北沢大会、4・21極真全アジア空手選手権大会

《6・13&6・27 合併号 71号》

●特集/2002年マット界上半期総括座談会
●完全詳報/5・11『K-1 WORLD MAX 2002～世界一決定戦～』、初代王者アルバート・クラウスインタビュー、黒崎健時インタビュー
●直前情報/6・2『K-1 SURVIVAL 2002』富山大会…ボブ・サップ、中迫剛インタビュー
●GW前後の大会大特集/5・10「UFC37」ルイジアナ大会、5・11パンクラス大阪大会、5・2プロ柔術「Gl-um」、5・5修斗後楽園大会、5・6プレミアム・チャレンジ、5・6 スマックガール&5・4 AX、5・13 SB大阪大会、5・5北斗旗仙台大会、4・28 MAキック後楽園大会、5・4全日本キック下北沢大会、5・12ニュージャパンキック後楽園大会、4・29女子ボクシング下北沢大会

《7・11 臨時増刊号 72号》

●大会速報/6・2「K-1 SURVIVAL 2002」富山大会
●6・23『PRIDE.21』直前情報/桜庭和志インタビュー、大山峻護インタビュー
●大会詳報/5・25「K-1 WORLD GP 2002 inパリ」
●SRS・DXの注目/6・8～9極真全日本ウェイト制選手権大会プレビュー、6・17 J-DO東京進出、東孝 大道塾塾長インタビュー、7・7 S-cup直前情報…緒形健一の総合特訓に密着
●大会レポート/5・26新日本キック後楽園大会、5・28パンクラス後楽園大会、6・1スマックガール、5・31～6・2全日本ブラジリアン柔術選手権、5・30全日本キック後楽園大会

《7・11 73号》

●完全速報/6・23『PRIDE.21』さいたまスーパーアリーナ大会
●SRS・DXの注目/須藤元気インタビュー、BCGがパワーアップ！、シーザー武志インタビュー
●大会詳報/6・8～9極真全日本ウェイト制大会、6・9 DEEP2001ディファ有明大会
●大会レポート/6・13～14全日本選抜レスリング選手権大会、6・17 J-DO第1回東京大会、6・16全日本キック後楽園大会、6・16 IKUSA&6・9 ANGEL TORNADO

《7・25 74号》

●夏のイベント情報/8・28『Dynamite!』…桜庭和志vsターザン山本対談、吉田秀彦道場開き、石井和義インタビュー/8・8UFO東京ドーム大会、G1予想
●SRS・DXの注目/マット・ヒューム&シュルトセミナーinBCGほか
●6・23『プライド21』振り返り企画/田村潔司インタビュー、ターザン山本vsロシアン・トップ・チーム対談、ダニエル・グレイシーインタビュー
●7・14 K-1福岡大会直前情報/アイブル、セフォーインタビュー
●大会詳報/6・29修斗大阪大会、7・7S-cup横浜大会
●大会レポート/6・23 UFC37.5、7・7 ZERO-ONE両国大会　ほか

《8・8 75号》

●夏のイベント最新情報/8・28『Dynamite!』国立競技場大会…吉田秀彦インタビュー、ホイスインタビュー、"伝説の他流試合"木村政彦vsエリオ・グレイシーを検証/8・8UFO『LEGEND』東京ドーム大会情報
●大会詳報/7・14「K-1 WORLD GP 2002 in福岡」、8・17「K-1 WORLD GP 2002 inラスベガス」対戦カード情報
●SRS・DXの注目/8・10「一撃」特集…フィリォインタビュー、ロイドの師匠トム・ハーリックインタビュー/9・7「DEEP2001」有明コロシアム大会最新情報
●大会詳報/7・13 UFC38ロンドン大会、7・19大道塾「THE WARS 6」後楽園大会、7・21全日本キック後楽園大会
●大会レポート/7・5 WFAラスベガス大会、7・12 J-NET後楽園大会、7・14ニュージャパンキック後楽園大会、7・19修斗後楽園大会、7・20 THE BESTディファ有明大会

バックナンバー　通信販売方法

定価／各680円　送料／1冊＝110円、以下一冊増えるごとに50円増し。希望冊数×680円と冊数分の送料を、現金書留にて下記までお送りください。
住所、氏名、希望号数の明記をお忘れなく。発送まで1～2週間ほどかかりますのでご了承ください。

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 3-14-12 神田NSビル8F 『SRS・DX バックナンバー係』まで　お問い合わせは ☎03-3295-4445

次号予告 NEXT ISSUE

アー・ユー・レディ？

いよいよ"ダイナマイト"爆発寸前！ 8・28 Dynamite! 国立大会 最終情報&完全見所ガイド これを読んで、国立で燃え上がれっ！

大会詳報 8・8 UFO『LEGEND』東京ドーム大会
8・10『一撃』NKホール大会

現地緊急速報 8・17 K-1ラスベガス大会

8/22（木）発売

No.78は 8・28 Dynamite! 速報のため 9/4（水）緊急発売！

2002 9/12&9/26合併号 No.77 SRS・DX スペシャル・リング・サイド
毎月第2・第4木曜日発売　定価680円
発行/フジテレビ出版・ローデス　発売/扶桑社

浅草キッドの底抜けアントンハイセル

◎浅草キッドHP『キッドリターン』
http://www.asakusakid.com

ターザン出演の煽り番組が大波紋！ 8・8『LEGEND』はどうなった？

博士 これを話している時点では、まだ7月なのだが、ここにきてようやく8・8の全貌が明らかになってきたな。

玉袋 まだまだ予断を許さぬ状況ですよ！

博士 いい加減にもう確定してくれよ！

玉袋 『LEGEND』煽りの日テレの深夜番組を見たら不安になりましたよ！

博士 逆の意味でかなりの評判だった！ 煽るにしても、『ZONE』みたいなスポーツライクな煽りにできなかったのかね？

玉袋 小川のここまでの軌跡だけでも、素材なんていくらでもあるんだしね。それが芸人集めてボケ合戦！

博士 芸人のおまえが言うな！

玉袋 せっかくのターザン起用をまったく活かしてない！

博士 当人は2時間も『LEGEND』を定義づけしたらしいけど、使われた部分は、無責任な無気味な中年っていうキャラだけ！

玉袋 そもそも、ターザンを使ってなぜ俺たちに出演オファーをよこさない!!

博士 おまえは単に自分が出れなかったから文句言ってるだけだろ！ でも、オーちゃんも去年の猪木祭り、『プライド』、『Dynamite!』を断って、せっかくこのイベントに参加するんだから、ファンとしては、もっと小川の潜在能力の意味と価値を持たす闘いなんだと煽ってほしかった。

玉袋 そうそう、せめて司会は山田邦子で男闘呼組なんかをサブにおいてさ。

博士 それが一番駄目な煽り番組だったろ！ さぁ、仕切り直して、小川VSガファリの対決は柔道VSアマレスのオリンピック銀メダリスト対決だ。

玉袋 金ならまだしも銀じゃ売りになりますかね？

博士 元も子もないこと言うな！

玉袋 テレビ界では、前田吟の価値だって暴落してますからね。

博士 ぎんの字が違うだろ。

玉袋 ならば勝ったほうに金メダルあげればいいんですね。

博士 誰の金メダルやるんだよ！

玉袋 『プライド』のジャッジでおなじみのアマレスの金メダリストの小林さんのメダルでいいよ！

博士 勝手にあげるな！

玉袋 あの人は一度はメダルを無くした身ですから、多分くれると思いますよ。

博士 やかましい！ しかし、バーリ・トゥード初のゴールデンタイムの生放送！ いったいどうなるかまったく予想がつかない。

玉袋 パフィーのアメリカ公演みたいになるかもしれないですよ！

博士 そんなに糞味噌に言われるのかよ！ 総合キャスターに豪華な人間を起用したぞ！

玉袋 ダチョウのリーダー！

博士 だからそれが駄目だった煽り番組の司会だろ！ 坂口憲二だよ！

玉袋 相手のガファリは現役時代よりも相当ウェイトアップしてるんでしょ？

博士 オーバーウェイトって話もあるけど、それで動けたら、かなりの脅威だよ！

玉袋 ガファリは小川のファスティングダイエットに対抗して、いま必死に中国産のダイエット薬で体重調整してるようです。

博士 それじゃ死んじゃうだろ！ ガファリをやっつけて、その後はZERO—ONEがガファリを獲得したら面白いな。

玉袋 今の破壊王ならそれぐらいやりかねないですよ！ これが破壊王が描く、まさに「日本VSアメリカ」ですよ!!

博士 二次使用も楽しみなカード！ 勝っても負けても遺恨をZERO—ONEに！

玉袋 しかし菊田VSノゲイラも考えてみりゃ凄いカードですよね。

博士 寝技テクニックナンバー1、床上手決定戦だよ！

玉袋 ぜひ『プライド』で見たいカードですね。

博士 バカ、だから『LEGEND』で実現するんだよ！

玉袋 ノゲイラはもし菊田選手に負けることがあったら、「あれは弟だった」って言い張ればいいんですよ！

博士 当日弟も試合組まれているんだよ！ そしてオーちゃんと確執が生まれ、行方不明だった村上がブラジルにいた。

玉袋 あの派手な奥さんとの新婚旅行を兼ねた修行ですかね？

博士 もう別れたよ。村上の結婚には触れてやるなよ！

玉袋 村上選手はちょっと前には、うちの近所の公園でトレーニングしてたんですよ！

博士 まさに神出鬼没だ！ その村上の相手はイズマイウだ！

玉袋 キャラ的にかぶってますよ！

博士 どっちが本当の犬か？ 対決だよ！

玉袋 負けじと犬軍団の小原も参戦！

博士 小原参戦は『Dynamite!』だろ？

玉袋 村上にはぜひ鉄砲玉キャラで押していただいて、試合後に入場中の小川に問答無用のテロ攻撃を！

博士 興行成立しなくなるだろ！ 相当面白いけど、それはZERO—ONEでやってほしいよ！ 同じく日本人選手で坂田VSスペーヒーも決定！

玉袋 坂田もZERO—ONE参戦、そしてDEEPじゃVT初のタッグマッチを経験など最近増々盛んですよ！

博士 マット界を縦横無尽に暴れているよな。しかも、いまや、誰もが羨むモテモテ男らしい。

玉袋 絶好調男ですよ。

博士 スペーヒーは強いが、この前の『プライド』のダメージが残っているかもしれない！ 坂田は男を上げるチャンスだ！

玉袋 と、これを書いている時点で、まだ全カードが発表されてないので、今回はここまでということで。

博士 待て！ 字数が足りないだろ！

玉袋 参戦するのか、安田と藤田のカードがまだなんですよ！

博士 その2人絡みのカードが出れば、また盛り上がるかもしれない。

玉袋 でも、カードが決まっても安田は当日遅刻して試合は流れますよ！

博士 新日本プロレスの揉め事まで持ち込まないよ！ 東京スポーツじゃ藤田VS長州なんて騒いでたけどな。

玉袋 でも、やっぱりアントニオ猪木VS長州力が一番面白いですよ！

博士 マッチメイクを一度全部ひっくり返せなんて物騒なこと言い出してる猪木様だから、ありえるかもしれないぞ！

玉袋 元チャイナ参戦も、どうしても譲らないですからね！ こうなったら、日テレ、往年の名勝負、ザ・デストロイヤーVS徳光和夫なんかぶつけてきますよ！

博士 なんで「うわさのチャンネル」の名シーンになるんだよ！

玉袋 日テレだけに「マスクマン」も参戦するかもしれないですよ！

博士 そりゃ、俺たちが声当てている深夜番組だろ！

玉袋 TBSの『イノキ・ボンバイエ』の時だって、試合直前まで、猪木VS藤原紀香、猪木VSウルトラマンなど、プロレスの枠に捕われない夢のカードを水面下で考えていた猪木様だからな。

博士 俺は、ジュニア王座決定戦として、マジに一茂VS修造の一戦を組んでほしいけどね。

玉袋 とにかく、まだどうなるか分からない『LEGEND』！

博士 「いったいどうなっちまうんだろう?」っていうワクワク感を味わえるだけで、ある意味もう満足だよ！

玉袋 当日はテレビを録画して、会場に駆け付けますよ！ こんな気持ちで東京ドームに行くのは、大川隆法の初東京ドームイベントか、映画『エイトマン』の東京ドーム試写会以来久しぶりですよ！

博士 どっちも、野次馬根性で見に行ったイベントだろ！ ■

真夏の
プロ格興行戦争を
説くための
キーワードとは?

SRS・DX推薦課題図書
(文部省非公認)

プロレス者の夏休みの課題② ターザン山本を読もう!

岐路に立たされた猪木軍団の夏……

文◎ターザン山本

昨年のマット界は、いつも「猪木軍団」を中心に回っていたと言っても過言ではない。しかし、恐ろしく速いスピードで、そして過激に変化し続けるマット界において、いま、猪木軍団は大きな岐路に立たされている。小川直也、藤田和之、安田忠夫、彼ら猪木軍団は果たしてどこへ行ってしまうのだろうか——。

昨年、格闘技の世界を盛り上げた「猪木軍団」の藤田、安田、石澤

昨年、小川直也を除けば『猪木軍団』の活躍は、いろんな意味でめざましいものがあった。藤田和之、安田忠夫、石澤常光の3人のプロレスラーが、格闘技の世界を盛り上げてくれたからだ。

この〝盛り上げた〟という言い方はただ勝てばいいという話ではない。試合に勝ち負けは付いて回るもの。そうであるなら、いかにそれに対して強いインパクトを与えることができるか?

それが実を言うと、重要なテーマでもあるのだ。何が重要かと言うと、もちろん興行にとってである。あれは昨年の8月19日だった。さいたまスーパーアリーナでK—1戦士のミルコ・クロコップと、藤田和之が試合をし、ミルコが勝った。

あの試合を実現させたのは石井館長であり、A・猪木だった。つまりこの2人は面白いことを積極的にやろうとするタイプの人間なのだ。そうでなかったらあんなカードは実現していない。

石井館長には館長なりの計算と野望があったし、猪木さんのほうにももちろん計算はあった。大切なことは2人がミルコと藤田に試合をやらせたことだ。

選手に対してそういう強い権限を持っていることが、何よりも2人の最大の武器でもある。そういう力こそがプロデューサーであることの証明になるのだ。

あれは〝やらせ〟てやったことである。選手は〝やらせ〟ないとやらない人たちである。それがリスクを伴った試合であればあるほど、選手は二の足を踏むものなのだ。

なぜ、他流試合みたいな危険な試合をやる必要があるのか? 選手の側にはほとんどメリットがない。

石井館長と猪木さんはそれを分かっていながら無理矢理それをやらせようとする。そこに2人の偉大さがあるのだ。その場合、石井館長は選手とドライに交渉する。ビジネスマンとして接する。

ビジネスは「得か損か?」が基本になっている。そうであるなら〝得〟の部分を強調すればいい。それは石井館長にとって得意とするところでもある。

だが最後は問答無用しかない。力でねじ伏せるのだ。それぐらいの気持ちでいかないと、ファンやマスコミが期待する夢のカードは実現しない。

昨年の12月31日、大晦日に行われた『猪木祭り』では、ジェロム・レ・バンナが出て安田忠夫と試合をした。バンナは自分にとって未知の領域でもある総合系のリングに上がった。

それも全て石井館長の力。もし館長がいなくなったら、そういうことをやる人が、この世界からいなくなってしまう。つまらない世界になるだろう。

ミルコとバンナを『猪木軍』と闘わせた石井館長は、マット界における陰の功労者である。そのことはもっともっと評価されるべきなのだ。

「K—1」は選手が作ったものではない。選手は「K—1」というジャンルができたあとからついてきたもの。

「初めに石井館長ありき」。または「初めにプロデューサーありき」というのが正しい見方。これはプロデューサーが先に図面をデザインすることを意味している。あとはそのデザインされた図面にいい駒を集めるだけなのだ。

図面が良ければ自然と駒は集まってくるもの。「K—1」がそれを証明してみせた。だからマット界にプロデューサーと言える人は、石井館長一人だけだ。

『プライド』が不思議なのは「K—1」における石井館長のような存在が見当たらないこと。それに相当する人物がいないのだ。それであれだけのビッグイベントを毎回やってきたのは、ちょっと信じられない。奇蹟に近いものがある。

『プライド』のプロデューサーはいったい誰なのか? 少なくとも森下社長でないことだけは確かだ。そう考えると8・28国立の『Dynamite!』は『プライド』と石井館長が、合体して行うビッグプロジェクトなのだ。

『プライド』が石井館長をプロデューサーとして迎えた興行なのか? それともプロデューサーの石井館長が『プライド』と手を組んだ興行なのか?

答えはその両方である。両者の思惑が一致したのだ。これぞまさしくマット界では、史上最強のタッグと言える。

さあ、そこで問題となるのが駒をどうするかなのだ。石井館長は「K—1」で立ち技の打撃系選手を抱えている。『プライド』のほうは総合系のファイターをいっぱい持っている。それを激突させれば、刺激的なカードができる。

しかし、それだけでは決して十分とは言えない。では何が十分ではなく、何が不足しているのか? ズバリ言ってしまうと駒の一つとしてプロレスラーの存在が、絶対に必要になってくるのだ。

そこにプロレスラーがいなかったら他流試合の価値は半減する。プロレスラーが「K—1」ファイターや『プライド』の選手と試合をすると、それ自体がドラマになるからだ。

他流試合において、これに優る刺激はないというのが、私の主張でもある。どうしてそうなるのかというと、プロレスラーの場合、他流試合では勝てば勝ったでその喜びと興奮は大きくなる。

誰が喜んで興奮するかと言ったら、もちろんプロレスファン。逆にプロレスラーが負けた時、そのショックと失望感たるや、これまた凄いものである。

要するにプロレスファンは、勝っても負けても過剰反応するのだ。そこにプロレスファンの特異な体質を感じる。いいことである。過剰に反応することはそのジャンルが豊かな証拠なのだ。

じゃあ誰がプロレスラーとして「K—1」や『プライド』の外国人選手と闘うのか? 自分から率先して手を上げるプ

月20日の新日本札幌大会で、昨年暮れよりケガで長期離脱していた
和之は垣原賢人を相手に復帰。見事勝利で復帰戦を飾った

月19日の新日本札幌大会。安田忠夫は藤波辰爾とのG1入れ替え戦
利しG1出場を決めた
©日刊スポーツ

真夏のプロ格興行戦争を説くためのキーワードとは?

SPECIAL RING SIDE SRS・DX

『猪木軍』は8・28『Dynamite!』に殴り込みをかけてこそ価値がある

ロレスラーはいない。

全てなんらかの事情とか状況によって、やってきたかやらされてきたかのどちらかである。やらされたからと言って、そのレスラーの評価は落ちない。

〝やらされる〟というのは、ここでは〝選ばれた〟と考えるべきである。たとえば、ヒクソン・グレイシーと2度、東京ドームで試合をした髙田延彦は、自分から望んでヒクソンと闘ったのではなく、周りから押されて、担ぎ上げられた形でリングに上がった。それが〝選ばれたプロレスラー〟という意味なのだ。

髙田選手はみんなの期待を裏切って、2度とも敗れてしまった。普通に考えたらこれは屈辱的な記憶となる。だが時間が経つにしたがって、ヒクソンと試合をした髙田選手の評価は、微妙に変わってきた。

そこがまた面白いところでもある。私も当時は髙田選手のことを〝A級戦犯〟呼ばわりしたうちの一人である。

それに何がなんでもヒクソンに勝ってほしいという願望が強かった分だけ、髙田批判をしてしまったのだ。

そうなるとやっぱりプロレスラーをけしかけて、他流試合をやらせる人が必要になってくる。それができるのはこの人しかいない。そう、A・猪木。猪木さんである。『猪木軍団』とは元はと言えば、プロレスラーが他流試合をやるために猪木さんが作った軍団のことなのだ。

仮に猪木さんがいなかったら藤田選手と安田選手は、『プライド』や『猪木祭り』のリングに上がっていない。

他流試合用に猪木さんが新日本プロレスから選抜した選手が、要するに藤田選手、安田選手、石澤選手である。

だから『猪木軍団』という名前が付いた以上、彼らはプロレスラー同士で闘うことよりも、他の格闘家と闘うことを宿命づけられた男たちでもあるのだ。

もちろん、プロレスのリングでプロレスの試合をするという格闘技との二刀流も認められていた。ただ『猪木軍団』の本命は、あくまで他流試合にある。

言うなれば、新日本プロレスの中で作られた〝武装集団〟〝戦闘集団〟と言ったら分かりやすい。さすがに猪木さんは時代に敏感だ。『猪木軍団』とはエリート集団でもあったのだ。

藤田選手と安田選手はどちらかと言うと、新日本プロレスでは地味な部類に入り、スター扱いされていなかった。しかし、彼らの素質を猪木さんは、きっちりと見抜いていた。

どうすれば再生できるのか? 地味であるがゆえにプロレスではなく、2人をバーリ・トゥードのリングに上げる。猪木さんはそう考えた。この読みはぴたりと当たる。藤田選手はその期待に応え、『プライド』では、あのマーク・ケアーを破る金星をあげた。

藤田選手の評価は一変する。一方、安田選手も去年の12月31日の『猪木祭り』では、ジェロム・レ・バンナを倒すというミラクルな勝利をもぎ取った。

こうして『猪木軍』はマット界の中心部に躍り出ていった。なにしろ藤田選手と安田選手は、新日本プロレスのリングに帰って来た時、2人ともあっさりとIWGPヘビー級のチャンピオンになったからだ。もし彼らが『猪木軍』に入っていなかったら、新日本プロレスでは前座のポジションに甘んじていた。

IWGPのベルトにはたぶん挑戦すらできなかっただろう。そういう意味では猪木さんは人を見る目があった。

隠された才能を見抜いて、選手をスターにしていく。さすがというしかない。今や『猪木軍』に所属することは、レスラーとして上位概念になれるのだ。それを一番よく分かっているのが、藤田選手であり安田選手。

プロレス人生に新たな道を切り開いてくれた猪木さんには、2人とも感謝しても余りあるものがある。なぜなら、成功者になれたからだ。ところがここに来て、少し雲行きが怪しくなってきた。

『猪木軍』の動向に黄信号が点っている。非常ベルがガンガン鳴っていると言ったほうがいいかもしれない。

それはどういうことかと言うと、藤田選手と安田選手が新日本プロレスを守る側にされているからだ。はっきり言うと、8・28国立の『Dynamite!』に対抗するため、新日本プロレスは藤田選手と安田選手を、そこに出さないように画策してきた。企業防衛としてはこれは当然である。全然、間違ってはいない。

8・29新日本プロレスの日本武道館大会を〝藤田プロデュース〟にしたのは藤田選手を『Dynamite!』に出場させないための戦略。だが、それをやったら『猪木軍』は『猪木軍』でなくなってしまう。保守に回った『猪木軍』にはなんの魅力もないからだ。

猪木さんが率いる『猪木軍』は8・28

7月29日、全日空ホテルでNWFヘビー級王座決定トーナメントの記者会見が行われ、出場する安田忠夫、高阪剛、藤田和之、高山善廣が顔を揃えた

©日刊スポーツ

▲7月20日 藤田和之は

▲7月19日 で勝利しG

藤田選手なら8・28、8・29の大一番を2試合やってしまうだけのものを持っている

▼7月22日には『LEGEND』出場を決めた小川直也が決意の記者会見をピストン堀口ジムで行った

©日刊スポーツ

『Dynamite!』に殴り込みをかけてこそ価値がある。もともと『猪木軍』はそういう目的のもとに立ち上げられたはずではなかったのか？

藤田選手と安田選手が8・28『Dynamite!』に出て、『猪木軍』の力を10万人のファンに見せ付ける。それによって8・28『Dynamite!』が盛り上がったとしても、それはそれでよしとする。『猪木軍』や新日本プロレスにはそれぐらいの度量はあってもいい。

だが現実はまったくそれとは反対に新日本プロレスは『Dynamite!』潰しとして、藤田選手と安田選手を抱き込む作戦に出た。それをやってしまったら『猪木軍』は色褪せるだけ。

これまで作り上げてきた自らの価値観を失うことになる。それにこの流れだと天下のA・猪木が『Dynamite!』に何も関われなくなってしまう。

猪木さんそのものがプロデューサーとして保守の立場に回ったことになり、猪木さんもやばい。私が新日本プロレスのトップだったら『Dynamite!』にケンカを売ることよりも『Dynamite!』を利用する方向に持っていく。

ケンカをしても勝てる要素は、どこにもないからだ。それだったら敵の懐に飛び込むほうがまだましだ。仮に藤田選手と安田選手が『Dynamite!』に出場すれば、ファンの評価はここでまた上がる。少し冷静になって考えればすぐに分かることではないか？

ライバルの興行には協力できないというなら仕方がない。しかし、それをやったらもう『猪木軍』の価値は大暴落だ。

そのへんのことを猪木さんは、どう考えているのか？　聞いてみたい。猪木さんは何が"おいしい"ことなのか、よく分かっている人。藤田選手と安田選手のためにも『Dynamite!』に彼らを出そうという気持ちはないのだろうか？

もし藤田選手が『Dynamite!』や『プライド』に出ることがなく、新日本プロレスのリングに専念してファイトしていくとしたら、藤田選手もあぶない。彼は自分のことを分かっていない。

それはもしかすると"ただの人"になる可能性だって、ないとは言えない。藤田選手のキャラと存在感を考えたら、彼はバーリ・トゥード系の大舞台に出て力を見せ付けることが必須条件でもある。

高山善廣はそれを実に巧妙にやっているプロレスラーである。藤田選手はその株を今や高山選手に奪われつつある。

例えば8・29武道館で藤田VS高山戦がメインとして発表された。このカードをより強いものとして生かそうとしたら、藤田選手は8・28『Dynamite!』に出るべきである。

そして8・28国立と8・29武道館で2日連続して試合をすることを宣言する。もうそれだけで藤田選手は、高山選手に勝ったようなもの。それをやったら俄然、8・29藤田VS高山戦が生きてくる。

桜庭VSミルコ戦がファンの内で最大の注目カードになっているが、それに匹敵するぐらい藤田選手への注目は集まる。主役の座に躍り出る可能性だって十分にある。なぜ、それをやらないのか、私にはまったくもって分からない。

このままだと8・29藤田VS高山戦はそんなに大きなインパクトはない。藤田選手なら8・28と8・29の大一番を2試合やってしまうだけのものを持っている。

それをやるからプロレスラーと言えるのではないか？　そこにビッグチャンスが転がっているのに、なぜ、それに気がつかないのか？　それは今の人が"プロレス心"をなくしているからだ。

新日本プロレスは今まではプロレス界のメジャー団体だった。しかし今はリーダーシップとしてのパワーはもうない。メジャーでもブランドでもなんでもなくなった。メジャーと言えば、国立競技場で興行をやる『Dynamite!』のほう。

ファンも時代もすでにそういう認識を持ち始めている。この現実を新日本プロレスにぜひ分かってほしい。

過去の栄光を捨てろ。そんなものはなんの役にも立たない。それよりも目の前にある現実をたくましく生きろと言いたい。それにはプライドを捨てる。その勇気を持つんだ。かつて長州力は「ウチ（新日本プロレス）がコケたら、プロレス界はみんなコケる」というようなことを言った。しかし、それも今ではもう過去のことになりつつある。

新日本プロレスにとって代わるものとして「K―1」と『プライド』が出現し、今また『Dynamite!』という化け物が登場している世の中である。

8・28『Dynamite!』に対する新日本プロレスのスタンスを見ていると、そのスケール感のなさが目立って仕方がない。あれではダメだ。

時代の空気を読んだら藤田選手と安田選手は、絶対に『Dynamite!』に出るべき。8月28日は、対ミルコと1試合しかしない桜庭選手よりも、8月29日にビッグマッチを控えていて、2日連続試合をする藤田選手のほうが、プロレスラーらしくないか？

そうすることによってさっきも言ったが、8・29藤田VS高山にデッカイ光が当たるのだ。『Dynamite!』側にしても、藤田選手に出場されたら逆にそれは困るというもの。"やられた"という思いがどこかに出てくる。

さあ、猪木さん、この問題、どうにかしてください。猪木さんにしかできないことなんだから。『猪木軍』のためにもここはひとつ、大英断をお願いします！■

夏の大トリ！
9・7 DEEP
最新情報！

名勝負の予感あり!!
田村VS美濃輪戦決定！

田村潔司の真髄が見られるか!?

「美濃輪君とはバカさ加減が似てますね。格闘技バカであり。そのバカ同士（笑）」

聞き手◎中村カタブツ君（プチ）
撮　影◎乾晋也

9・7DEEP有明大会のメインで田村潔司VS美濃輪育久が決定した。ファン待望のカードに今から名勝負の予感がひしひしと伝わってくる。だが、田村自身は、だからこそ、難しいと語る。勝負に徹するのか、内容を重視するのか、その辺の葛藤が本人にはあるらしい。それは逆に、ファンにどれだけ極上の試合を魅せられるかを考えた発言にほかならない。やはり、名勝負の予感ありだ！

—早いですね、あっという間にまた次の試合が決まりましたけど。

田村　そうですね。前はボブ・サップ戦ですか。まあ、早いですかね。ＳＲＳのレギュラーですかね、僕は（笑）。

—お願いします（笑）。

田村　じゃあ、来月も待ってますよ（笑）。まず今回でしょ。それで、試合直前インタビューで、次に試合後インタビューと3回引っ張れますよね（笑）。

—じゃあ、とりあえず、その第1弾ということで（笑）。で、今回、この美濃輪戦を受けるにあたって、三つの条件が田村さんの中にあったんですよね。

田村　はい。

—「魅力ある選手、俺と色が似てる、俺がファンだったら見てて面白そうな試合」なんですが、まず、美濃輪さんの魅力はどの辺りに感じるんですか？

田村　魅力？　それは僕が言わなくても、見れば分かると思うんですよね。それが答えだと思うんですよ。

—田村さんなりにはどう思うんですか？

田村　う～ん……。

—では、色が似てるという部分は？

田村　バカさ加減が似てますね。何かをやるにはそれに向けてバカにならなきゃいけないと。ラーメン・バカみたいなものであり、格闘技バカであり。そのバカ同士（笑）。

—バカ同士って（笑）。

田村　バカじゃないと生き残れないと（笑）。

—でも、それは凄くそう思いましたね。昨日も美濃輪さんと話したんですけど、変わってましたね。

田村　変わってますよね。

—偏ってるんですよ。いびつというか、一つのことが突出してる。

田村　……なんか昔の僕を見てるような感じなんですかね。今は僕も試合展開の

内容を取るのか、結果を取るのか、その辺との葛藤ですかね

中で判定勝ちを取るとなったら、計算しながらやるんですけど、彼はその計算がないんで。

—まったくないんですよね。ただ、それで取りこぼしも多いんですけどね。

田村　でも、それで光ってるからいいんじゃないんですかね。今、格闘技ってまた変わってきてると思うんですよ。初期のＵＦＣが出てきた頃って凄い緊張感があったじゃないですか。だけど、今はそういう刺激もなくなってきて、お客さんはいかに面白い試合になるか、そこに重点を置いてると思うんですよ。だから、僕は『プライド』で負けはしましたけど、ここ最近、勝ち星ないですけど、でも、僕の場合は……。僕の場合は違うかな？　止めましょう、この話は（笑）。

—田村さんにはそろそろ勝ってほしいってのがありますからね（笑）。

田村　はい、はい。

—ただ、今格闘技の流れとしては試合内容を問われてますよね。そういう中で美濃輪戦っていうのは内容にこだわった試合になりそうなんで楽しみなんですよ。

田村　う～ん、僕もちょっとね、悩んでるんですよね。メインイベンターとしてはお客さんを内容でも結果でも満足させなきゃいけないんで、その辺との葛藤ですね。内容を取るのか、結果を取るのか。

—両方を取ってほしいですよね。

田村　理想はね。それは……。う～ん、難しいですね。

—プレッシャーはあるんですか？

田村　それはあんまりないですけど、勝ち負けで言うと全然プレッシャーはないんですけど、内容で言うとやっぱりメインは締めなきゃならないですからね。

—リングス時代みたいにですか？

田村　リングス時代とは違いますね。あの時は団体を背負っていたんで。今はジムの代表でもあるんですけど、ちょっと昔とは違った感覚ですよね。

—じゃあ、試合を楽しんでやる部分もあると。

田村　う～ん。難しいんですよね。相手の出方にもよるし。これは向こうもそう思ってると思うんですけど。だから、僕が例えば、流すっていう言い方は悪いかもしれないですけど、抜くところは抜く時ってあるんですね。そこで、ガッと来られちゃうと、僕が負けるだろうし。その辺の駆け引きですよね。たぶん、向こうは食ってやろうって気持ちが強いんじゃないですか？

—勝ちにはこだわるとは言ってましたね。

田村　ですよね。だから、僕が油断してるところを後ろから蹴り上げるような感じで。そういうタイプでしょ？

—いや、そんな邪悪じゃないでしょう（笑）。故意にはやらないと思いますけど、気付いたらやってるっていうタイプではあるとは思いますけど。でも、田村さんにはキャリアがあるから大丈夫だと思ってるんですが。

田村　だから、それが……難しい！　終わってみないと分からないですね。

—リングに立ってみないと分からないと。う～ん、彼と話したりしたことってありますか？

夏の大トリ！
9・7 DEEP
最新情報！

田村　パンクラスの菊田VS美濃輪戦ででですね。その時、僕は上山のセコンドについてて控室が同じだったのかな？　その時、ちょっとしゃべって。そのくらいですかね。

—しゃべった感じはどうでした？

田村　しゃべった感じは図太いと思いましたね。試合前なのに何の緊張感もなくて。普通、ああいうタイトルがかかってて、メインでトリってなると、ソワソワするじゃないですか。全然そういうそぶりもない。

—それは凄い心臓ですね。試合についてはどうでした？

田村　あれは面白かったですね。美濃輪選手が負けたけど、美濃輪選手も美濃輪選手が相手じゃないとあそこまで光らなかったと思うんで。どっちかというと地味じゃないですか、菊田選手は。

—そうですね（笑）。それにあの試合では菊田さんの怒りも引き出しましたからね。

田村　怒り？　仲悪いんですか？

—いやぁ、悪いというか。……たぶん話は合わないと思いますね。

田村　仲悪いんですね、じゃあね（笑）。

—いやぁ、よく分かりませんけれど、違うタイプというか。具体的には知りませんよ。

田村　つまり、仲悪いと判断してよろしいんですね（笑）。

—いやぁ、もう、だからねぇ、知りませんって。っていうか、そういう話になるとホントに嬉しそうな顔になりますね（笑）。

田村　アハハハ！　聞きたいですね、実際のところをね。グラバカとパンクラス、菊田派と鈴木派は仲悪いでしょうねぇ（笑）。

交渉術っていうのは元来、嫌らしいんですよ（笑）

—だから、知りませんって（笑）。っていうか、ホント嫌らしい攻め方してきますねぇ、試合ではそういうことをやろうと思ってるんですか（笑）。

田村　そうそうそう（笑）。

—ますます見たくなりますね（笑）。じゃあ、ある程度、田村さんが作っていく気持ちはあるんですか？

田村　いやいやいや、そんな余裕はないですよ。ダマし合いですよね。結構、この辺で駆け引きはあると思いますよ。

—それはもう始まってるんですか？

田村　始まってますね。僕もいい試合しますって言っときながらスパッと取るかもしれないし、スパッと取らないで流すかもしれないですね。どうせだったら、10分一本勝負じゃなくて、60分で何本取れるかっていうほうがいいですけど。それのが面白いでしょ？　60分だったら絶対に僕は勝ちますよ。最初は3本ぐらい連続で取られるんですけど、最後は15対5ぐらいで勝ちますね（笑）。

—それは見たいですね！　それが一番、田村さんの魅力が出ると思いますね、ホントに（笑）。

田村　そしたらね、結構、見せられて面白い試合になりますからね、気楽に。

—気楽にって（笑）。ところで、さっき、鈴木さんの名前が出ましたが、「鈴木VS上山戦をオファーすれば良かった」って紙プロの取材で発言してますよね。

田村　はいはい。

—あれにはどういう意図があるんですか？

田村　え！　面白くないですかね。

—面白いというか、なんてこと言い出すのかと思いましたけど（笑）。

田村　僕と美濃輪、鈴木VS上山って面白くないですか？

—いや、だって、鈴木さんと上山さんって、申し訳ないですけど格が全然違うじゃないですか。"この人、これをワザと言ってるのかなぁ"って思って（笑）。

田村　アハハハ！　ワザとじゃないですよ。無理なことだと分かってますから。でも、やっぱりオファーが来た時にこっちもなんか提示がしたいじゃないですか。

—嫌がらせですか（笑）。

田村　違う、違う。それが交渉ですよ。交渉術ですよ、術。

—術だったんですか（笑）。

田村　そんなことを言ったら、パンクラスさんもヒドいですよ、交渉術は。ヒドい？　違う。凄いですね。

—っていうことは自分の言ってることもヒドいというか、凄いと分かってるんですね（笑）。

田村　分かってますよ（笑）。だけど、交渉術っていうのはパンクラスさんって凄いですよ。というか、交渉術っていうのは元来、嫌らしいんですよ（笑）。

—ワハハハ！　嫌らしいですか（笑）。

田村　やっぱり、僕は選手としての顔のほかに代表としての顔があるから。だから、僕、何型ですかって聞かれる時に、「AB型の五重人格」って言ってますからね。色々な顔の使い分けをしないといけないですから、ホントに。実際ね、僕もどれがホントの自分か分からないんですよ。

—そうなんですか。

田村　はい。家でのんびり脱力でテレビ

だから、僕もあややに受け付けられないんですよ(笑)

を見たりする顔や、ジムに行ったら、ジム生に優しく「今日はどう?」って声かける顔もあるから、五重人格の使い分けは大変です。

――「今日はどう?」って優しく(笑)。

田村 「元気、ケガしてない?」って(笑)。いやいや、真面目にやってますよ。

――それを田村さんが言うと……。

田村 説得力あるでしょ?

――全然ないです(笑)。

田村 これはホントなんだけどなぁ(笑)。

――田村さんの人徳の部分って微妙ですよね(笑)。

田村 何を言ってるんですか! 僕は函館でジム生におみやげ買っていったんですから。「白い恋人」一箱、しかも皆で一箱(笑)。

――優しいですね(笑)

田村 そうでしょう。みんなで分けて食べてって。そういうところを見てほしいですよ(笑)。

――実にいい人なんですね(笑)。

田村 そうなんですね。単純で素直で。

――それは本当にそのとおりだと思いますね。ややこしいって言う人もいますけど、自分にもの凄く正直だとは思いますね、あまりにも(笑)。

田村 でしょ? 何がややこしいんだろう?

――それはたぶん、白い恋人の話を言わずにおれないところでしょうね(笑)。

田村 基本的に人間不信ですからね。

――人間不信になるようなことなんて何もないじゃないですか?

田村 いや、ありますよぉ。あのね、人ってね、ここまでって線引きしとかないと、土足で入ってくる人もいるから。逆にそういうことを全然思ってない人に対して言うと、ちょっと失礼に当たる時があるから、その辺の見分け方が難しいですよね。例えば、アイドルは誰が好きですか?

――え? あややですけど。

田村 僕と一緒だ(笑)。あややが来るでしょ。そしたら、なんか買ってあげたり、言うことを聞いてあげたいって気持ちになるでしょ。

――もう全部やってあげたい!

田村 そうでしょ! 全部やってあげるでしょう。そういうふうになるでしょ。だけど、あややにとってみれば、「私の人間性を好きになってるわけじゃないんですよ。外見で好きになってるだけだから」ってなるんですよ。だから、中村さんのことは受け付けないと思いますよ(笑)。

――ワハハハ! 受け付けないと思うけど、大きなお世話ですよ!(笑)。

田村 アハハハ! だから、僕もあややに受け付けられないんですよ(笑)。それが土足で踏み込むってことですよ。って何か、もうわけ分からなくなってきた!

――とすると、今の話の流れでいうと、田村さんはアイドルってことですね?

田村 う~ん、まあ、狭い世界で言えばそうですね。

――つまり、田村さんは格闘技界のあやや?(笑)。

田村 アハハハ! それはどうでもいいです(笑)。

――じゃあ、例えば、あややがこの試合を見に来たらどういう試合をします?

田村 う~ん、あややが来てたら。

――あややが来てたら(笑)。

田村 う~ん、勝ち負けよりも、あややとまず会う(笑)。

――まず控室に入れると。まったく、なんの話をしてるんだか(笑)。

田村 そっちが言い出したことですからね(笑)。

――う~ん、結局、どんな試合になるのかは肌を合わせてみないと分からないんですね。

田村 分からないですねぇ。

――でも、同じ色の2人とは言いながら、田村さんは格闘技の凄さ、濃い色を見せられるのかなと思ってますんで。

田村 その辺が出せればいいんですけど、若い勢いに飲まれちゃう部分もあるんですよね。

――そんなことないでしょ?

田村 やっぱり勢いには勝てませんよ。これは追われる者と追う者の違いはありますよ。だから、それをどういうふうにストップさせるかですね。

――田村さんは選手以外にいろいろやってますしね。

田村 そう。負けたらそれを言い訳にしようかなと(笑)。■

夏の大トリ！
9・7 DEEP
最新情報！

ようこそ！美濃輪育久の不思議な世界へ。

もはや理解不能！こいつなら勝敗を超越した試合ができるはず！

ホントに言ってることがどうにもこうにも理解できない。なんとなく分かるような気もするけど、やっぱり掴み所がない。だが、言ってることの底には何か一本野太い芯が通っているのは確かなのが美濃輪育久だ。彼の凄さを堪能してほしい。

聞き手◎中村カタブツ君（ブチ）

——いよいよ田村VS美濃輪戦っていう、ファン待望の一戦が実現しましたね！（笑）。

美濃輪　僕の中で凄い盛り上がってますね（笑）。お客さんが期待してくれるなら、どういうふうに期待してもらってもいいですね。もう、勝手に盛り上がってくれって。そのほうが楽しいじゃないですか。

——美濃輪さん自身も嬉しい？（笑）。

美濃輪　嬉しいですね（笑）。

——田村さんは美濃輪さんに「同じ色を感じる」って言ってたんですけど、美濃輪さんも感じますか。

試合では26年間の全てを見せたい！遠足にも行ったとか、全ての経験を

美濃輪　感じます。色で言うと赤じゃないですか？　ただ、違う赤だと思います。

——どの辺が違うと思います？

美濃輪　頭いいですね。

——本人もそんなようなことを言ってたような気もしますね（笑）。会って話したことはあるんですよね。

美濃輪　何度かお会いしてます。でも、会った瞬間にそういうふうに感じたわけじゃなくて、試合とか見て感じて、思いましたね。

——覚えてる試合とかあります？

美濃輪　いろいろ覚えてますね。

——Uインター時代も見てます？

美濃輪　見てますね。

——じゃあ、今度の試合では今の総合格闘技みたいな競技的なものを求めるのか、Uインターみたいな内容重視なのか、どっちですか？

美濃輪　え？　もう一回言ってください。

——簡単に言えば、結果重視か、内容重視かですね。

美濃輪　両方ですね。プロレスラーですから。

——でも、それ凄い難しいでしょ？

美濃輪　難しいから、やりたいですね。それが一番カッコいいっていう。

——う〜ん、なんかこの話をすると結論が出ないんですよね。結局は試合を見てくださいってことになっちゃうんですよね。

美濃輪　まあ、そうですよねぇ。

——そうなんですよぉ。……あれ？　歯、抜けちゃったんですか？

美濃輪　最初、入れ歯だったんですけど、排水溝に落としちゃったんですよ。また作ろうかと思ったんですけど、ガーッ！って口開けた時の、このスタイルでいってやろうかなと思いましたね。

——ちょっと怪奇派を目指してるんですか？

美濃輪　カイキ？

——せむし男とか、昔あったでしょ。プロレスの怪奇派。

美濃輪　は？　よく分かんないんですけど。

——ミイラ男とか。オカルト系の。

美濃輪　ああ、そういうんじゃないですけど。まあなくてもいいっていう。

——肉とか噛み切れます？

美濃輪　それは大丈夫ですね。ただやっぱり、笑うと見えちゃってるんで。女の子とかは引くかも分かんないですね。

——それでもあえて。

美濃輪　あえて。でも、あれですね。これを武器に使えますね。

——噛み付き？（笑）。

美濃輪　いや、ちょっと言いづらいんですけど……。

——じゃ、毒霧？（笑）。

美濃輪　毒霧じゃなくて……。あれですね、女性の●●を攻めるとか（笑）。

——は？　何を言ってるんですか！（笑）。試合の話かと思ったら、そっちの武器（笑）。

美濃輪　いや、歯の話からズレてったじゃないですか。ああ、もう違う話だなと思ったんで。

——いや、ビジュアル的に見せることを考えてるのかなと思ったんで「怪奇派ですか？」って聞いたんですけど（笑）。

美濃輪　そこまでは考えてなかったですね。でも、そういう武器もありじゃないですか。顔っていう。

——いや、そういう話をしてたつもりだったんですけど（笑）。まあ、だけど怪奇派は美濃輪ファンは望んでないでしょ？

美濃輪　いや、プロレスラーですから！（笑）。

——面白いなぁ、美濃輪さんって変わってますよね（笑）。

美濃輪　いや、みんな変わってますよぉ。僕が一番普通だと思ってますから。

——そう言えば、菊田戦の前でも全然緊張もなく、普通にしてたらしいですね。

美濃輪　緊張は普通にしてましたね。

——美濃輪さんにとっての普通ってどんな感じなんですか？

美濃輪　う〜ん、「よぉーし！」って感じですかね。「ヨッシャー！」って。

——素晴らしい普通ですね（笑）。

美濃輪　心の中で「よし、来たァー！」みたいな。やっぱり、試合も2カ月に一回とかじゃないですか。それまで練習とか、いろいろ悩んだり、いろんなことが起きるじゃないですか。それで試合の直前となったら、それはもう、「来たァー！」と思うじゃないですか。待ち遠しいものがやっと来たって感じで。「やったる！」と思うじゃないですか。

編集部・橋本　普通、試合の直前になって、「この練習で大丈夫かな、やり残したことないかな」とか、そういうこと考える人もいるじゃないですか。

美濃輪　それも考えますけど、僕は、たった2カ月間の練習をいかすんじゃなくて、僕の中では、今26歳なんですけど、26年間を見せるみたいな感覚でいます。そうすると楽になりますね。2カ月だと

漠然ってどんな漢字ですか?「よくある」ってことですか?

焦りますよね。「これとこれしかやってない」って。でも26年間だと全然気持ちが楽になるんですよ。「オレは遠足も行ったし」って。

——え? ん? 遠足も行ったから大丈夫?（笑）。

美濃輪 大丈夫だと思わないですか?

——いや、なんか、そんな気もしてきました（笑）。

美濃輪 だって、それを出すしかないじゃないですか。26年間の濃さは負けねぇぜって。それをぶつける気持ちは負けないっていうのでいきますね、試合は。

——素晴らしいです。本気ですね。

美濃輪 本気ですよ。

——ホントにいい! なんか爆発しがいがありますよね。

美濃輪 最初は僕も、1カ月、2カ月のことで考えてたんですけど、それを考えるとやっぱり不安になるんですよね。やり残したことが出てきますから。で、焦っちゃいますよね。となったら、過去の経験というのは大事だと思いますよ。

——ただ、今年の経験で言うとなんか負けてるじゃないですか。その辺の鬱憤は溜まってますか。

美濃輪 負けてねぇよって感じですね。負けた感じはしないですね。

——けど、佐藤（光芳）さんとの試合とか、あれは絶対勝たなきゃダメですよね。

美濃輪 それは周りからはそう思われるんじゃないですかね。でも、負けてないですよ。

——う～ん、まあまあ、気持ちは別として、結果として残していかないと。

美濃輪 結果として残したいっていうのはあったんですけど。

——内容重視をしすぎるんじゃないですか。

美濃輪 いや、両方求めてましたよ。求めた上での結果で、だから負けてない。

——でも、結果としては……。

美濃輪 負けですよ。でも、結果は結果なんで、判定なんで。僕が5分3Rのうちに極められなかっただけです。それだけの話です。だから負けてないです。

——でも、あの辺りの時期って『プライド』があってとか、いろんな流れがあったじゃないですか。それであぁいう結果になっちゃうと、その流れを断ち切っちゃうってところってあるじゃないですか。そういうことを考えますよね?

美濃輪 考えますね。勝っておいたほうがいいに決まってますね。

——だったら、第3Rで極めきれないかもしれないから、ポイントで押して判定でいいから、とにかく結果だけ残そうというのは考えないんですか?

美濃輪 それは、無理ですね。

——無理!（笑）。

美濃輪 結果だけ残そうというのは無理ですね。僕はできないですね。それだったらやらないほうがいいです。それだったらやってる意味がないですね。

——ということはあくまで内容を重視すると。

美濃輪 内容よりも結果ですね、もちろん。

——えぇ? 分からない（笑）。

美濃輪 僕の中では、判定負けや判定勝ちはドローというか。ある意味、自分の中での負けですね。

——では、田村さんとの試合でも自分の中の勝ちにこだわるんですね。

美濃輪 こだわります。内容での勝ちを常にいこうと思っています。勝ちにだけこだわってるのはできないですね。昔は勝ちにだけこだわってたんですけど。僕がネオブラッドで優勝した時とか、試合で一本勝ちした時も、勝ちにしかこだわってなかったですね。

——その時期というのは必要だと思いますか?

美濃輪 そうですね。その時期は必要だと思います。でも、やってるうちになんか違うなというのを思い始めて。

——それはやって楽しくなかったから?

美濃輪 楽しくなかったですね。嬉しいんですけど、なんか違うなっていうのがあったんですね。勝ちゃいいって考えだけでいいのかなって。勝たなきゃいけないんですけど、それは自分の求めているプロレスラーの道理じゃないんですね。

——とにかく一本を取ると。

美濃輪 一本しかないですね。

——とにかくそれしかない。

美濃輪 そうですね。それしか求めてないですね。判定勝ちでも喜べないですね。もし、判定勝ちで勝ったとするじゃないですか、それで自分が手を挙げている格好は格好悪いかなぁと思いますね。

——その姿勢って凄く好きなんですけど。

美濃輪 しせい?

——姿勢。結構、聞き間違えますよね（笑）。

美濃輪 いや、難しい言葉の意味が分か

らない時がありますね。あんまり勉強しなかったんで。だから、最近ちょっと国語辞典買いました。小学校とか中学校の時は漫画の本しか見てなかったんで、その中の漢字しか知らないですね。北斗百裂拳とか、闘魂とか。

――偏ってますね（笑）。でも、そういう偏りのある人って面白いと思うんですよ。最近、どんな言葉を覚えました？

美濃輪　最近は……。最近は革命ですね。

――え！　革命っていつも……。

橋本　記者会見の時、さんざん言ってたじゃないですか（笑）。

美濃輪　言ってたんですけど（笑）。ニュアンスでしか言ってなかったんですよ。実際どうなのかなと思って。

――凄い人ですね（笑）。好奇心は旺盛なほうですか。

美濃輪　好奇心があるだけですね。

――そういう好奇心は全部リング上から発生しているものですよね。

美濃輪　そこから気になって。で、歴史も全然勉強しなかったんですけど、最近『お～い！　竜馬』を読むようになって。

――吉田松陰とかハチャメチャな人ですよね。

美濃輪　吉田松陰さん？　分からないですね。

――『お～い！　竜馬』に出てきますよ。

美濃輪　僕まだあれなんですよ。竜馬が脱藩して勝海舟が出てきたくらいですね。勝海舟は、あの人はよく知ってますね、いろんなことを。

――知ってますか（笑）。

美濃輪　アメリカとかを知ってて、日本がこのままいったらどうなるのかとか、日本はもっと外国のものを取り入れないといけないとか、そういうことを知ってて。それを動かそうとした坂本竜馬はダメだって言われても一直線で。でも、勝

無意識のままにやれる行動が技だと考えてますね。そのほうがカッコイイ

海舟は焦らないですね、あの人。

――誰に気持ちが動きますか？

美濃輪　う～ん、竜馬かなぁ。

――それはダメだって言われても一直線に走っていきたいってことですよね。つまり、リング上の美濃輪さんは一直線で突っ走りたいってことですか？

美濃輪　そうですね。リング上では最強で最高のプロレスラーを求めてますから。

――やっとぼんやり見えてきました。なんか漠然としていたんで、何に興味があるかって話をずっとしてたんですよ。

美濃輪　ん？　漠然ってどんな漢字ですか？　「よくある」ってことですか？

――逆です（笑）。凄く捉えどころがない。はっきりしてない。

美濃輪　あぁ～。

――つうか、本当に勉強してないですね（笑）。

美濃輪　してないっすね。でも、関係ないですね（笑）。

――例えば、ドン・フライVS高山戦ってありましたよね。どう思いました？

美濃輪　あれは素晴らしいですね。

――でも、美濃輪さんのやりたいこととはまた別ものですよね。

美濃輪　別ものって言うか、もっと良いモノを、良いモノを求めちゃいますよね。

――あれに加えて技もあってってことですか。

美濃輪　技は僕はどうでもいいですね。自分の動きが技ですね。ドン・フライと高山さんがやった時の殴りってのも技だと思います。僕の中ではそれを技だと見ています。回転してスリーパーとかの一連の動作の技とかありますよね。それは僕はどっちでもいいですね。無意識のままにやれる行動が技だと考えてます。そのほうがカッコイイですね。

――素人考えで言わせていただきますけど、美濃輪さんは菊田さんに比べたら、やっぱり技術が足りないと思いました。失礼だと思いますけど。そしたら、その技術を学ぶ作業はされていくんですか？

美濃輪　そういう作業はしないですね。技は調べる必要はないですね。技は調べるところがないですよね。技ってなんですか？　って話になりますね。

橋本　タックルのパターンをもっと増やそうとか、マウントとった時に、こういう動きをできるようにしたいなとか、そういうことはないですか？

美濃輪　それは技じゃないですね、僕に言わせると。技、技……。少し言うと、心・技・体っていうのは、僕の中ではないですね。心・技・体っていうのは、違うなって思いますね。

――何が違うんですか。

美濃輪　強くなるために心・技・体が揃わなきゃいけないじゃないですか。でも、僕の中では違うと思う。僕の求めているのは、心・技・体揃えるんじゃなくて心・技・体を探したいですね。

――う～ん、なんだかよく分かりません。

美濃輪　勝つためには自分自身を見せるっていうか、死ぬためですかね。

――見せる？　死ぬ？

美濃輪　見せるってことは死ぬことになりますからね。これはもう言葉では言えないです。全てはリング上ですね。■

夏の大トリ！
9・7 DEEP
最新情報！

見よ、この魅惑のメンツ！
修斗、DEEPに本格参戦 三島☆ド根性ノ助&雷暗暴が出場!!

滑川康仁〈フリー〉vsMAX宮沢〈荒武者総合格闘術〉

三島☆ド根性ノ助vsX〈総合格闘技道場コブラ会〉

雷暗暴〈フリー〉vsジョン・ホーキ〈ノヴァ・ウニオン〉

ヤノタク出場決定！ 滑川は和田のカタキ打ち！

矢野卓見は強豪ブラジリアンとの対戦を予定とか

《その他のカード&出場選手》

田村潔司〈U-FILE CAMP.com〉VS 美濃輪育久〈パンクラスism〉

ドス・カラスJr〈AAA〉VS 中野巽耀〈フリー〉

髙阪 剛〈チーム・アライアンス〉

上山龍紀〈U-FILE CAMP.com〉

先日、田村VS美濃輪というドリームカードが発表された9・7『DEEP2001』有明コロシアム大会だが、ここにきて新たな対戦カード、出場選手の情報が入ってきた。

前回もお伝えした修斗との交流だが、今大会、いきなりトップクラスの2選手が出場。なんと三島☆ド根性ノ助と雷暗暴がDEEPのリングに上がることになった！

DEEPといえば、パンクラスとの深いつながりが知られるところ。しかもパンクラスと修斗はこの春、三島の参戦問題で大揉めに揉めた経緯がある。交流を持ちかけた佐伯代表も凄いが、受けた修斗側も偉い！ しかも、出場するのが三島だというのだから……。

雷暗暴は、村浜武洋を2度破ったジョン・ホーキとの対戦が決定。三島の相手は未定だが、もしかしてパンクラス勢と対戦、なんてことがあるかもしれない。

もう一つ、今回発表されたカードは滑川康仁とMAX宮沢の一戦である。宮沢は前回、6・9ディファ大会で和田良覚をKO。その時、和田のセコンドについていたのが滑川だった。つまり今回の試合は、滑川にとってリングスの同僚・和田のカタキ打ち。宮沢にとっても、真価が問われる重要な闘いとなるだろう。

ヤノタクこと矢野卓見も出場が決定。佐伯代表によれば、ブラジルの強豪選手との対戦で話が進んでいるという。

意外な選手あり正統派マッチありで、DEEP史上最高のカード編成となりそうな有明大会。これを見ないと夏は終われない！ ■

真夏の**極真**ニュース！

8・10『一撃』NKホール大会 最終情報！

今回の目玉はやっぱりコレ！ クレバノフとロイドの空手マッチを見逃すな！

クレバノフの上段回し蹴りかロイドのローキックか！

8・10『一撃』NKホール大会
［対戦カード］

★メインイベント/スーパーファイト
ジョージ・アリアス〈極真・ブラジル/アリアスジム〉 VS マット・スケルトン〈イギリス/イーグルジム〉

★セミファイナル/空手マッチ
クレバノフ・レチ〈ロシア/極真会館〉 VS ロイド・ヴァン・ダム〈オランダ/ドージョーチャクリキ〉

★第6試合
森口 竜〈極真会館〉 VS グレート草津〈チームアンディ〉

★第5試合
ロニー・セフォー〈ニュージーランド/アメリカン・プレゼント・ボクシングジム〉 VS 藤本祐介〈MONSTER FACTORY〉

★第4試合
マルコス・コスタ〈極真会館〉 VS 重虎〈K-NETWORK 西日本支部〉

★第3試合
スーパーチャージ・ヴィーモア〈ニュージーランド/TEAM TBC〉 VS 松本哉朗〈新日本キック協会/藤本ジム〉

★第2試合
ヴィアチェスラブ・ネステロフ〈極真・ロシア/TEAM TBC〉 VS 山内哲也〈Jネットワーク〉

★第1試合
マウリシオ・ダ・シルバ〈極真・ブラジル/TEAM TBC〉 VS 虎〈国士会館〉

▶一方、クレバノフの上段回し蹴りの破壊力も凄い！

◀あのフィリォでさえ、K—1の試合で手こずったほどロイドのローキックは強烈！

いよいよ目前に迫った8・10『一撃』NKホール大会。カードも出揃い、あとは当日を待つばかりだが、新たに決まったカードも含め、改めて見所を紹介しよう。

フランシスコ・フィリォ『一撃』プロデューサーも、前号のインタビューで言っていたが、やはり今回の一番の目玉カードは、クレバノフ・レチとロイド・ヴァン・ダムの空手マッチ。

クレバノフは6月9日の全日本ウェイト制大会で、外国人史上初となる優勝を果たし、6月29日のアメリカズカップでも、豪快な後ろ回し蹴りを連発、優勝こそ逃したものの、アメリカの観衆のド肝を抜く強さを見せており、今年もっとも注目されている"旬"の選手。

一方、ロイド・ヴァン・ダムはK—1でも、トップクラスの頑強なファイター。ローキックの強さには定評があり、K—1の試合ながら、フィリォさえもたじろがせたほど、その攻撃は重い。今までに空手ルールの試合は当然やったことはないそうだが、屈強なボディの持ち主だけに、"効かす"のは至難の技と言えそうだ。

クレバノフの上段回し蹴りはロイドをもなぎ倒すことができるのか。空手マッチである以上、クレバノフとしては負けられないところだが、空手ルールとはいえ、ロイドは簡単に勝てる相手ではない。もし、万が一逆にロイドが勝つようなことがあれば、来年の極真世界大会にロイドが参加！　なんてことも考えられるだけに、この試合を見逃すことはできない。

また、メインイベントのジョージ・アリアスとマット・スケルトンの試合も興味深い。アリアスは元々ボクシング選手だが、今回はキックルールでチャレンジする。普通に考えればK—1ファイターのマット・スケルトンのほうが有利だが、アリアスには一発でKOできるハードパンチがあるだけに、気の抜けない緊迫した一戦になりそうだ。

なかなか決まらなかったロニー・セフォーの相手は、昨年のジャパンGPでニコラス・ペタスと感情むき出しの壮絶な打ち合いで、一度はダウンを奪ったマッチョマン藤本祐介に決定。今年はジャパンGPに出られない藤本だが、鬱憤を晴らすようなファイトをすることだろう。

最後に決まったカードが、スーパーチャージ・ヴィーモアVS松本哉朗。松本は前回の『一撃』に続く参戦だが、前回は極真の人気者、鳥人ギャリー・オニールに圧勝しており、その実力は証明済み。ヴィーモアはまったくの未知の選手だけに、どんな試合になるのか、非常に興味深いところだ。

旗揚げ大会以上の盛り上がりが予想される8・10『一撃』NKホール大会。他のキックの大会とは異なり、独特の極真テイスト溢れる大会だけに、極真ファンは絶対にいくべし！

真夏の極真ニュース!

8・31〜9・1 第2回極真ワールドカップ ブラジル大会情報!

ニッポン、絶体絶命!?

ロシア&ブラジルを破って連覇なるか!?

地元開催で燃えるブラジル! サッカーワールドカップに続き カラテWC初栄冠狙う!

これが最大の難敵 ブラジルチーム&ロシアチーム

■ブラジル

選手名	所属
リュウジ・イソベ	ブラジル
エドワルド・タナカ	ブラジル
アンデルソン・ダ・シルバ	ブラジル
エヴェルトン・テセイラ	ブラジル
セルジオ・ダ・コスタ	ブラジル
ロドリゴ・コタケ	ブラジル
クラウベ・フェイトーザ	ブラジル

■ロシア

選手名	所属
アルトゥール・ババエフ	西ロシア
アルトゥール・ウネーゼフ	西ロシア
アーデム・ブースカ	東ロシア
セルゲイ・プレカノフ	東ロシア
クレバノフ・レチ	西ロシア
ローマン・スチェルバコフ	東ロシア
ザリム・テムロコフ	西ロシア

▲アメリカズカップ2連覇を果たし、今やブラジルのエース級に成長しつつあるテセイラ

◀6月の全日本ウェイト制重量級で外国人初の王者に輝いたクレバノフ。WCでも台風の目になるか

▲昨年の世界ウェイト制では数見肇を苦しめたプレカノフ。ロシアの2枚看板の一人

▲磯部清次師範の実子リュウジ・イソベ。華麗な蹴りには定評がある

▲今大会はリザーブのグラウベ。どのタイミングで投入されるのか!?

8月31日、9月1日の両日、ブラジルのサンパウロ・イブラプエラ体育館で、第2回極真ワールドカップが開催される。参加チームは、北中米、ヨーロッパ、ロシア、南太平洋、アフリカ、日本、アジア&中東、南米A、南米B、ブラジルの全10チーム。そして、優勝候補として名の上がってきているのが日本、ロシア、ブラジルの3チームだ。

前回98年4月に開催されたパリ大会では、エース数見肇などの活躍もあり、接戦を制して初優勝を果たした日本チームだが、今回は前回以上に厳しい闘いを強いられそうだ。

V2を狙う日本にとって、最大の壁になりそうなのが、開催国ブラジル。今回から世界大会優勝のフランシスコ・フィリォが総監督として指揮をとるカナリア軍団は、磯部清次師範が手塩にかけて育ててきた実力者揃い。弱冠20歳ながらアメリカズカップで、クレバノフ・レチを破って2連覇を達成したエヴェルトン・テセイラ、磯部師範の息子リュウジ・イソベを軸に万全の布陣で初栄冠を狙う。さらに、ここぞという時の切り札として、リザーブにはグラウベ・フェイトーザまで控えているから、日本にとってはかなり旗色が悪い。磯部師範が「今回は優勝できるチーム」と胸を張るのも頷ける。

このブラジルチームの他に、南米からはA、Bチームが出場。こちらのチームもフィリォが総監督を務めているが、ブラジルの強豪選手が配され、この2チームでさえも、決して侮ることはできない。

そしてもう一つの強豪チームがロシア。今、注目の的クレバノフ、昨年の世界ウェイト制で数見を苦しめたセルゲイ・プレカノフ、さらに今年のロシアンカップの重量級で優勝したザリム・テムロコフなど、こちらもブラジルに負けず劣らず、強力メンバーが揃っている。

果たして日本は、空手母国の面目を保つことはできるのだろうか?

さて、気になる日本チームは、昨年の世界ウェイト制軽量級王者の田ヶ原正文を筆頭に、今年あるいは昨年の全日本ウェイト制の王者を並べ、ロシア、ブラジルにも決してヒケを取らない布陣となっている。

重量級の木村は、6月末のアメリカズカップに続く連戦となるが、アメリカズカップではクレバノフに敗れて3位に甘んじているだけに、今大会に賭ける意気込みも半端ではないはず。来年の世界大会で、王座奪還が使命の日本にとって、今回の大会が重要であることは言うまでもないが、ブラジル、ロシアともかなりの実力者が出場してくるだけに、前哨戦的な意味合いの強いこの大会でしっかりと、ギャフンと言わせるくらいに叩いておきたいところだ。

頑張れ、ニッポン! ■

これがV2を狙う日本代表だっ!

数見も木山もいない!大丈夫かニッポン

御子柴直司(リザーブ2) 02年全日本ウェイト制軽重量級優勝

塩島 修(リザーブ1) 02年全日本ウェイト制軽量級優勝

近博和(無差別級) 02年全日本ウェイト制重量級準優勝

木村靖彦(重量級) 00、01年全日本大会準優勝

池田祥規(軽重量級) 01年全日本ウェイト制軽重量級優勝

伊藤 慎(中量級) 02年全日本ウェイト制中量級優勝

田ヶ原正文(軽量級) 01年世界ウェイト制軽量級優勝

K－1 ラスベガス大会 最終情報！

ジェロムがケガで出場を断念！ そこで…
ラスベガスでK－1VS『プライド』浮上 ベルナルドVSゲーリー、豪腕対決実現か

全米ESPN&フジテレビがゴールデンタイムで放送決定！

真夏の興行戦争の真っ只中、8・17米国ネバダ州ラスベガスのベラージオ・ホテルで「K―1ワールドGP・イン・ラスベガス」大会（フジ系）が行われるが、そのスーパーファイトの全容が固まってきた。

まず、8・17K―1ラスベガス大会の一番のコンセプトは、世界各地の予選優勝者8名が集結し、トーナメントを行うというもの。その優勝者1名が、10・5K―1ワールドGP開幕戦のキップを手にできる。優勝候補に挙げられているのは、昨年ミルコ・クロコップを倒している地元アメリカ代表のマイケル・マクドナルド、マイク・ベルナルドをもKOしているオーストラリア代表のアダム・ワット。そしてレミー・ボンヤスキーをKOした格闘技王国オランダ代表のエロル・パレスなどが挙げられているが、なにせマーク・ハントやアレクセイ・イグナショフなど、一夜でシンデレラ・ボーイが作られるところがK―1の面白いところ。本誌はその中でも、未知の強豪ピーター・ボンドラチェックに注目したい。

なお、前号で発表したセルゲイ・イヴァノビッチは、練習中の負傷により棄権。代わりに、スペイン大会優勝者のリカルド・デュエナスが出場する。

また、K―1ラスベガス大会のもうひとつの見所が、スーパーファイト戦。今年はジェロム・レ・バンナ、マイク・ベルナルド、ステファン・レコ、レミー・ボンヤスキーと、豪華メンバーが集まり、一時はバンナVSベルナルド戦、実現かという噂まで持ち上がった。

実際、石井館長はこのカードを本気で考え、水面下で交渉が行われていたが、一時は2人とも対戦をOKしたものの、バンナが体調不良でラスベガス大会をキャンセル。両者の対決はやはり日本で実現する展開となってきた。バンナは血液中の鉄分が不足しているのと、右足スネを痛めたのが原因で、10・5開幕戦へ万全を期すために、今回は大事をとる模様。

しかし、バンナ欠場でも、すぐに次の展開を考えるところが石井館長の凄いところ。3度のK―1王者になったアーネスト・ホーストを起用し、現在DSEを通じて『プライド』ファイターをオファー中。ベルナルド、ホースト、レコの3名と全面対決するプランに切り替えた。

その中で、『プライド』から名乗りを挙げたのが、ゲーリー・グッドリッジとなんとトム・エリクソン！

そこでマッチメイクされたのが、ベルナルドVSグッドリッジの豪腕対決。そしてホーストVSエリクソンの異色対決である。

パンチ主体のベルナルドなら、グッドリッジと非常に噛み合うファイトになるだろうし、あの〝ミスター・パーフェクト〟のホースト相手に、臆することなく手を挙げたエリクソンは偉い！ 男というものは、かくあるべきものだろう。

しかし、ひとつ難点があるのは、ネバダ州のアスレチック・コミッションは規定が厳しく、36歳以上のゲーリーとエリクソンに対してかなりのメディカル・チェックを求めているところ。日本のファンは見たいんだけどなぁ。

また、レコの相手には、現在シリル・アビディをKOしたクイントン・ランペイジ・ジャクソンや、武蔵からダウンを奪ったエベンゼール・フォンテス・ブラガにオファーしているとか。

なお、この模様は日本国内で翌18日午後10時30分からゴールデンタイム放送。全米でもESPNがゴールデンで生中継するという。■

SUPER FIGHT 予定カード

マイク・ベルナルド ＜南アフリカ／スティーブズジム＞	VS	ゲーリー・グッドリッジ ＜トリニダード・トバゴ／フリー＞
アーネスト・ホースト ＜オランダ／ヨハン・ボスジム＞	VS	トム・エリクソン ＜アメリカ／rAwチーム＞
ステファン・レコ ＜ドイツ／マスターズジム＞	VS	？

K-1 WORLD GP in Las Vegas
世界地区予選最終トーナメント

- マイケル・マクドナルド ＜アメリカ大会・優勝者＞
- リカルド・デュエナス ＜スペイン大会・優勝者＞
- ピーター・ボンドラチェック ＜イタリア大会・優勝者＞
- トニー・グレゴリー ＜フランス大会・優勝者＞
- アダム・ワット ＜オーストラリア大会・優勝者＞
- パヴェル・マイヤー ＜チェコ大会・優勝者＞
- アンドリュー・トムソン ＜アフリカ大会・優勝者＞
- エロル・パレス ＜オランダ大会・優勝者＞

SRS
SPECIAL RING SIDE

番組インフォメーション

8/9,8/16の見どころ

情報提供◎『SRS』アシスタントプロデューサー・金井由紀子

地域によって放送日時が異なります。また、この番組インフォメーションは8月1日現在のものです。都合により内容が変更になることもございますのでご了承ください。

『SRS』は金曜日深夜25:45～26:15（時間は変更することがあります）フジテレビ系で絶賛放映中。

8/9 & 8/16

海の向こうでK-1対『PRIDE』激突?!

2週にわたってK-1 ラスベガス大会直前特集！

8月9日（金）& 8月16日（金）25:45～26:15

灼熱地獄の8月、一獲千金という夢満載のカジノを横目に、映画『オーシャンズ11』の舞台にもなったベラージオホテルで、『K-1 WORLD GP 2002 in ラスベガス』が行われます。SRSでは、8・17開催のこの大会の直前情報を8月9日、16日の2週にわたりお届けします。今大会の一番の見どころは、1月から行われてきたK-1海外予選を勝ち抜いた8人のトーナメント。10・5『K-1 WORLD GP 2002 開幕戦』の出場権が賭かっているだけに熱い闘いが予想されます。個人的には、彫刻系男前のピーター・ボンドラチェックに大注目！　その他にも今年5月に『K-1 WORLD GP 2002 世界地区予選 USA大会』を制覇したマイケル・マクドナルドや、昨年はマイク・ベルナルドにも土を付けたアダム・ワットも出場、見どころタップリです！　また、注目のスーパーファイトには、昨年のラスベガス大会でピーター・アーツを破り見事トーナメント優勝を飾ったステファン・レコが登場！ 2週にわたるラスベガス大会特集を見て、予習バッチリで中継を見よう！

▲ホースト、バンナのスーパーファイトに注目だ！

必見！

8・17『K-1 WORLD GP 2002 in ラスベガス』中継

8/18（日）22:30～23:45

（関東地方の放送予定です。その他の地域の放送予定に関しましては、SRSホームページをご参照ください）

フジテレビでは『K-1 WORLD GP 2002 in ラスベガス』の中継を8月18日の夜10時半より11時45分まで放送します。“『プライド』の門番”ゲーリー・グッドリッジが電撃参戦しマイク・ベルナルドとの対戦が噂されているスーパーファイトはもちろん、10月5日（土）さいたまスーパーアリーナで行われる『K-1 WORLD GP 2002 開幕戦』出場を賭けたトーナメントの模様も余すことなくオンエアー！　前回の福岡大会に続く、プライド戦士の登場に、乞うご期待！

フジテレビ系列の番組から

◎CS721

8/11（日） 17:00～20:00　K-1 WORLD GP 2002 in 福岡

8/18（日） 11:30～15:30　K-1 WORLD GP 2002 in ラスベガス

SRSホームページのアドレスはこちら
http://www.fujitv.co.jp/

SRSのホームページでは、詳しい放送日程や最新・格闘技情報、『ロケ現場潜入日記』など内容満載です。また、人気コーナー『SRS FIGHT CLUB』では皆さんからの原稿を募集中です。エッセイ、観戦記、プチ情報などお送りください。『はせキョーのメッセージ』もあるよっ！

TV

日付	チャンネル	番組名	時間	内容・見所
8/8（木）	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	9：30～11：30	ZERO-ONE『火祭り02'』 7.28ディファ有明大会。再放送8/17・7：00～
	日本テレビ	『UFO LEGEND』直前特番	16：00～16：54	『UFO LEGEND』東京ドーム大会の事前番組。解説を務める船木誠勝が出演
	GAORA	角田信朗のすぽ魂	18：00～18：30	『愛と涙と感動の浪花男』角田信朗が様々なスポーツを紹介。GAORA独自のインタビュー映像やゲストを迎え内容盛りだくさんの30分。再放送8/9・25：00～、10・13：30～、12・17：00～、13・9：00～
	GAORA	バトルインフォメーション	18：30～19：00	『週刊格闘JAM』『info@闘龍門』などGAORAのプロレス・格闘技の情報が満載。再放送8/9・14：45～と27：30～、10・9：30～、12・17：30～
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	19：00～21：00 26：00～28：00	ZERO-ONE『火祭り02'』 7.30大阪府立体育会館第2大会。再放送8/9・9：30、17・9：00～
	日本テレビ	『UFO LEGEND』	19：00～21：30	『UFO LEGEND』東京ドーム大会を当日生放送。小川直也vsマット・ガファリほか
8/9（金）	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	19：00～21：00 26：00～28：00	ZERO-ONE『火祭り02'』 7.31後楽園ホール大会。再放送8/11・5：00～、17・11：00～
	スポーツ・アイ ESPN	PRIDE REVIVAL	22：00～23：00	これまでの『PRIDE』シリーズを毎月1大会ずつ放送。『PRIDE.2』②
	GAORA	K-2カラテエクストリーム	23：00～24：00	7.21『第67回新空手道交流大会』。再放送8/12・15：00～、18・19：30～
	BSフジ	PRIDE REVIVAL	23：00～24：00	スポーツ・アイ ESPNの『PRIDE REVIVAL』と同内容。『PRIDE.1』②。再放送8/16・23：00～
	フジテレビ	SRS	26：15～26：45	➲P69
8/10（土）	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	9：00～11：00	6.29・30に大阪府立体育会館で開催の極真会館（緑派）『第19回オープントーナメント全日本空手道選手権大会』を放送
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	13：00～15：00	ZERO-ONE『火祭り02'』 8.2荷揚町体育館大会。再放送8/17・13：00～
	Jスカイスポーツ2	SHOOT 3/60	14：00～15：00	15分のショートドキュメンタリー3本で構成する"60分3本勝負"の格闘技専門スポーツドキュメンタリー番組。再放送8/11・12：00～、12・18：00～、13・24：00～、14・27：00～、15・21：00～
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	15：00～17：00	ZERO-ONE『火祭り02'』8.4グランメッセ熊本大会。再放送8/17・15：00～
	Jスカイスポーツ1	シュートボクシング2002	15：30～17：30	7.7横浜文化体育館で開催のシュートボクシングの『ワールドトーナメントS-cup2002』を放送。再放送8/12・17：00～、13・24：30～
	スカイA	パンクラスハイブリッドアワー	16：00～18：00	7.28後楽園ホール大会・昼の部。再放送8/13・15：30～
	FIGHTING TV SAMURAI!	PRIDE王	17：00～17：30	東海テレビ『PRIDE王』と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!	PRIDE王	20：30～21：00	上記参照。再放送8/11・4：30～、12・8：30～と18：00～、13・23：30～、17・17：30～
	Jスカイスポーツ2	プロフェッショナル修斗	22：00～24：00	7.19後楽園ホール大会。再放送8/11・15：00～、12・19：00～、15・24：00～
	BSジャパン	格闘Xパンクラス	24：30～25：00	内容未定
	テレビ朝日	ワールドプロレスリング	25：40～26：40	休止
8/11（日）	スカイA	パンクラスアワー	14：00～16：00	パンクラスのあらゆる情報が全て分かる30分。8月は2週にわたって放送時間を拡大。『特別セレクションPart1』。再放送8/16・15：30～
	BS朝日	ワールドプロレスリング完全版	15：00～17：25	休止
	テレビ朝日	ワールドプロレスリングSP	15：30～17：25	8.11『G1クライマックス2002』決勝戦を生放送
	FIGHTING TV SAMURAI!	プライド侍！	19：00～21：00 26：00～28：00	➲Pick Up① 再放送8/13・9：30～、15・14：00～、
	テレビ東京	ハマラジャ	21：00～21：54	K-1中量級で活躍する魔裟斗が出演するバラエティ番組
	日本テレビ	プロレスリング・ノア中継	25：25～25：55	7.26代々木第二体育館大会を放送
8/12（月）	FIGHTING TV SAMURAI!	PRIDE王	18：30～19：00	8/10を参照
	FIGHTING TV SAMURAI!	O REI DO SHOOTO	19：00～20：00	海外で行われた修斗の大会を放送。内容未定。再放送8/13・13：00～、14・14：00～と23：30～
	TBSテレビ	ワンダフル	23：50～24：50	『格闘新世紀』／内容未定
	日本テレビ	最強魂	25：30～26：00	8.10『一撃』NKホール大会放送のため休止
	日本テレビ	『一撃』	26：00～27：00	➲Pick Up②
8/13（火）	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	19：00～21：00 26：00～28：00	7.27北沢タウンホールで開催の修斗『TRESURE HUNT 02'』を放送。再放送8/14・9：30～
	東海テレビ	PRIDE王	24：40～25：10	夏休み企画。佐藤江梨子がPRIDEガールにインタビュー。島田vsアレクトークショー
	テレビ東京	格闘Xパンクラス	26：35～27：05	山田学と髙橋義生がおでん屋を舞台にして、格闘技界の現状と舞台裏をトークする
8/14（水）	フジテレビ	すぽると	23：50～24：30	毎回、格闘技界の旬な話題を取り上げる
	TBSテレビ	闘魂筋肉	24：55～25：25	8.28『Dynamite！』特集
8/15（木）	GAORA	角田信朗のすぽ魂	18：00～18：30	8/8を参照。再放送8/16・25：00～、17・17：30～、18・13：00～、19・17：00～、20・9：00～
	GAORA	バトルインフォメーション	18：30～19：00	8/8を参照。再放送8/16・14：45～と27：30～、17・9：30～、18・12：30～、18・20：30～、19・17：30～
	GAORA	The Wars Ⅵ 7.17 後楽園ホール	23：00～25：00	大道塾が3年ぶりに開催した『The Wars Ⅵ』を放送。小川英樹vsドゥロ・ブノワほか。再放送8/19・10：00～
8/16（金）	Jスカイスポーツ1	SHOOT 3/60	22：00～23：00	8/10のJスカイスポーツ2を参照。再放送8/17・16：30～、19・11：00～、20・27：00～、21・9：00～、22・26：30～
	スポーツ・アイ ESPN	PRIDE REVIVAL	22：00～23：00	8/9を参照。『PRIDE.2』③
	Jスカイスポーツ2	シュートボクシング2002	26：00～28：00	8/10のJスカイスポーツ1を参照。再放送8/18・15：00～、19・19：00～、20・26：00～
	フジテレビ	SRS	26：15～26：45	➲P69
8/17（土）	CS日本	『一撃』	15：00～17：00	8/12日本テレビ『一撃』参照
	スカイA	パンクラスハイブリッドアワー	16：00～18：00	7.28後楽園ホール大会・夜の部。再放送8/20・15：30～
	FIGHTING TV SAMURAI!	PRIDE王	20：30～21：00	8/10を参照。再放送8/18・4：30～、19・8：30～と18：00～、22・15：30～
	BSジャパン	格闘Xパンクラス	24：30～25：00	8/13のテレビ東京と同内容
	テレビ朝日	ワールドプロレスリング	25：40～26：40	『G1クライマックス2002』激闘編。8月3日から8月11日まで繰り広げられた『G1クライマックス2002』の名勝負集

ON THE AIR 8/8～8/22

格闘技番組ガイド　TV&RADIO

Pick Up 1
『プライド侍！』
FIGHTING TV SAMURAI!
8月11日（日）/19:00～21:00
26:00～28:00（再放送あり）

月に一度、『プライド』ファンのお楽しみ番組『プライド侍！』。今回はゲストとして、『プライド』のルールディレクター・島田裕二と和術慧舟會の江宗勲が登場し、7月20日に行われた『THE BEST』を振り返る。メインを張った江宗勲のトークと、島田レフェリーの鋭い分析に期待だ！

Pick Up 2
『一撃』
日本テレビ
8月12日（月）/26:00～27:00

8・10『一撃』NKホール大会を放送。第2回目となる今回の注目カードは、K-1の「R.V.D」ことロイド・ヴァン・ダムと外国人選手として初めて全日本ウェイト制大会で優勝したクレバノフ・レチの一戦だ。空手ルールというロイド幻想でいっぱいの試合を、深夜といえども見逃すな！

PRIDEオフィシャルブロードバンドサイト『iTV2002 PROJECT』情報！

『プライド』シリーズの興奮をそのまま体感できる『プライド』オフィシャルブロードバンドサイト『iTV2002プロジェクト』。このサイトでは、『プライド』の最新の試合はもちろん、過去の大会も配信し、会場やビデオでは見られないオリジナルドキュメントも見られるぞ。また、『プライド』ショップやプレゼントなど、ファンにはたまらないコンテンツが盛りだくさん！　そして、あの史上最高のドツキ合い、ドン・フライvs高山善廣戦が行われた『プライド21』の模様も、遂に全試合配信開始だ！

◆HPアドレス/http://e-goraku.tv/
◆制作著作/株式会社フォーブリック
◆協力/株式会社ドリームステージエンターテインメント
◆映像協力/フジテレビ
◆お問い合わせ/株式会社プレスト　iTV2002プロジェクト事務局　☎03-5765-6315（月曜日～金曜日　10:00～18:00）

TV

日付	チャンネル	番組名	時間	内容・見所
8/18（日）	フジテレビ721	K-1 WORLD GP2002 IN ラスベガス	10：00～14：00	『K-1 WORLD GP2002 IN ラスベガス』を現地より生中継
	FIGHTING TV SAMURAI!	サムライ夏休みスペシャル	13：00～16：00	8.4に川崎市とどろきアリーナで開催の極真会館（緑派）『第8回全日本ジュニア空手道選手権大会』を放送
	スカイA	パンクラスアワー	14：00～16：00	8/11を参照。『特別セレクションPart2』。再放送8/22・18：00～
	BS朝日	ワールドプロレスリング完全版	15：00～17：25	休止
	TBSテレビ	格闘王8月号（仮題）	16：00～16：54	8.28『Dynamite！』の全対戦カードを国立競技場からお届けする予定
	テレビ東京	ハマラジャ	21：00～21：54	8/11を参照
	日本テレビ	プロレスリング・ノア中継	24：55～25：25	8.14北上市和賀多目的催事場大会を放送
8/19（月）	FIGHTING TV SAMURAI!	PRIDE王	18：30～19：00	8/10を参照
	FIGHTING TV SAMURAI!	O REI DO SHOOTO	19：00～20：00	8/12を参照。内容未定。再放送8/20・13：00～、21・14：00～と23：30～
	TBSテレビ	ワンダフル	23：50～24：50	『格闘新世紀』／内容未定
	日本テレビ	最強魂	25：30～26：00	プロスポーツ選手のパフォーマンス特集
8/20（火）	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	19：00～21：00 26：00～28：00	7.27後楽園ホールで開催の新日本キック協会『BREAK A WAY～開拓～』を放送。再放送8/21・9：30～
	FIGHTING TV SAMURAI!	PRIDE王	23：30～24：00	8/10を参照
	東海テレビ	PRIDE王	24：40～25：10	夏休み企画。視聴者が選ぶ『PRIDE』ベスト10
	テレビ東京	格闘Xパンクラス	26：35～27：05	内容未定
8/21（水）	FIGHTING TV SAMURAI!	パンクラスハイブリッドアワー	19：00～21：00 26：00～28：00	7.28後楽園ホールで開催の『PANCRASE2002 SPIRIT TOUR DAY&NIGHT』昼の部を放送。再放送8/22・9：30～
	フジテレビ	すぽると	23：50～24：30	毎回、格闘技界の旬な話題を取り上げる
	TBSテレビ	闘魂筋肉	24：55～25：25	8.28『Dynamite！』直前特集
8/22（木）	FIGHTING TV SAMURAI!	パンクラスハイブリッドアワー	19：00～21：00 26：00～28：00	7.28後楽園ホールで開催の『PANCRASE2002 SPIRIT TOUR DAY&NIGHT』夜の部を放送。再放送8/23・9：30～
	GAORA	バトルインフォメーション	25：00～25：30	8/8を参照
	GAORA	角田信朗のすぽ魂	25：30～26：00	8/8を参照

※BS、CS放送は加入しないと視聴できません。加入のお申し込みに関するお問い合わせは下記までご連絡ください。

■スカイパーフェクTV！
0570-039-888
（10：00～20：00）

■GAORA
〔スカイパーフェクTV！〕
0570-000-302
（月～金10：00～18：00）

■フジテレビ721＆739
〔スカイパーフェクTV！〕
03-5500-8888
（10：00～18：00　土日祝除く）

■WOWOW
0570-008-080
（9：00～20：00）

■スポーツ・アイ-ESPN
〔スカイパーフェクTV！〕
03-5474-3344
（月～金10：00～18：00）

■FIGHTING TV SAMURAI！
〔スカイパーフェクTV！〕
0570-039-888／03-5351-4055
（16：00～21：00）

■Jスカイスポーツ
〔スカイパーフェクTV！〕
03-5500-3488
（9：30～18：00）

■スカイ・A
〔スカイパーフェクTV！〕
06-6452-1161
（月～金10：00～18：00）

VIDEO & DVD
注目作品＆NEWリリース情報

〈新作紹介〉
It's HOT!

『PRIDE.20』

発売：プレスト　発行：フォーブリック　販売：BBJ
DVD:4,800円　ビデオ:9,800円/発売中

『プライド』、K－１本格開戦！

最強の格闘技は『プライド』か、K-1か？　格闘技界の2大ブランドが激突した一戦は、何度見ても興奮の嵐！　プライド代表は、2度も桜庭を葬った現ミドル級チャンピオン、ヴァンダレイ・シウバ！　対するK-1代表は『Dynamite!』で桜庭和志との対戦が決定した“プロレスハンター”ミルコ・クロコップ！　歴史に残るジャンルを背負ったこの一戦は、何度見ても緊張感が蘇るぞ！　『Dynamite!』まであとわずか。ミルコのファイトをビデオ＆DVDで再度チェック！

その他にも、ある意味『プライド』VS K-1以上にライバル意識が旺盛なブラジリアン・トップチームVSシュート・ボクセ・アカデミーの“ブラジルナンバー1格闘技集団は俺たちだ！決定戦”マリオ・スペーヒーVSムリーロ・ニンジャは、はっきりいって裏ベストバウトだ！　なんと試合開始早々にパンチの打ち合いを挑んでいったスペーヒーは、真っ向から応戦してきたニンジャの左フックがクリーンヒットしてしまい、そのままマットに崩れ落ちてしまった！　しかも、その瞬間にヒザを脱臼したのだ。それでもなお、闘い続ける姿には、格闘家としてのプライドを感じずにはいられない。脱臼していたにもかかわらず、最後まで闘いぬいた勇姿を確かめろ！

さらに、DVDには桜庭和志の特別映像がもりだくさん！　桜庭自ら、メインのシウバVSミルコ戦を実況解説！

その他にも、疑惑のヒザ蹴りで物議を呼んだ、アレクサンダー大塚、菊田早苗両選手の記者会見模様・試合前のインタビューを収録。アレクよ！　あのヒザ蹴りはなんだったのか！

〈おすすめの一本〉
Recommend

『PRIDE 2001 DIGEST The pride of PRIDE ベストバウトコレクション』

メディアファクトリー、フジテレビ映像企画部
DVD:4,800円　ビデオ:9,500円/発売中

激動の２００１年を感じとれ！

桜庭和志よ！　『Dynamite!』で復活なれ！　桜庭にとって、2001年は経験したことのない悔しさを味わった年ではなかったか。このベストバウトコレクションには、衝撃的な敗北を喫した『プライド13』のヴァンダレイ・シウバ戦から、PRIDEミドル級王座を賭け、リベンジ＆完全復活を狙った『プライド17』のPRIDEミドル級王座決定戦まで、桜庭和志2001年の全試合をダイジェストで収めている。また『Dynamite!』で対戦が決定しているプロレスハンター、ミルコ・クロコップのプライドデビュー戦となった一戦も、もちろん収録。対戦相手は、“アイ・アム・プロレスラー”髙田延彦！　さらに特典映像として、『プライド13』から『プライド18』までの判定以外のフィニッシュシーンを余すことなく大放出！　これは買いだぞ！

RENTAL RANKING (7/1～7/20調べ)

1. 『鬼塚勝也　王座の証明』 ポニーキャニオン
2. 『船木誠勝　ハイブリッド肉体改造法Ⅱ』 スパイク
3. 『地上最強の中国拳法・意拳』 メディアエイト
4. 『極真空手 試合イメージトレーニング・蹴り技で倒せ』 メディアエイト
5. 『地上最強の中国拳法・意拳Ⅱ』 メディアエイト

1位 『鬼塚勝也 王座の証明』
鬼塚のファイトを目に焼き付けろ！

デビュー戦より3試合連続1 RKO勝ちという、恐るべきボクシング技術と闘争本能を持ち合わせた鬼塚勝也の激戦の模様を収めたビデオが堂々のランキング1位を飾った！　若き王者が自らの拳で強さを証明する！

『フィットネスショップ格闘技　水道橋店』
東京都千代田区三崎町3-6-13寺本ビル2F
☎03-3265-4646

格闘技ショップ『フィットネスショップ格闘技』では、6月より格闘技ビデオレンタルをスタート！　このコーナーのランキングにご協力いただいているが、ビデオのほかにもTシャツをはじめとする各種グッズや、キック用のトランクス、サンドバッグ、サプリメントなどやる側用品も充実しているぞ。8月11日には『エンセン井上セミナーPART3』を開催。詳しくはお店にお問い合わせを！

SELL RANKING (7/1～7/20調べ)

1. 『プロフェッショナル柔術リーグ旗揚げ戦 GⅠ－um』 クエスト
2. 『中井祐樹 柔術バイブル』 クエスト
3. 『円心会館 ENSHIN METHOD 2』 クエスト
4. 『チャモアペットのスーパーテクニック・実戦編』 クエスト
5. 『SUPER GAME PLAN 戦略練習法』 クエスト

1位 『プロフェッショナル柔術リーグ旗揚げ戦 GⅠ－um』
大好評だった旗揚げ興行が早くも登場！

日本におけるブラジリアン柔術の第一人者・中井祐樹が、世界王者でもあるレオジーニョと激突した今大会は、ディファ有明に集まった観衆を大いに沸かせた。その他にも日本国内外から集まった柔術の強豪が参戦した旗揚げ戦の模様を前夜祭として行われた下北沢大会と共にお届けするぞ！

※表示価格は全て税別価格

GOODS
最新&売れスジグッズをご紹介!

〈新作紹介❶〉 It's HOT!

『マルチミネラルビタミン』
杏林予防医学研究所/7,000円（税別）

全ての日本国民のためのマルチサプリメント！

元気ですかッ〜!?『マルチ』なだけに自然素材の必要な成分が全て入り、そのうえ栄養バランスも整っている超優れもののサプリメントが登場！普段の食生活に自信のないアナタ！ストレスがたまりっぱなしのアナタ！大酒のみのアナタ！「あ〜、もうすぐ産まれそう〜」な妊娠中のアナタ！などなど、どなたにでもオススメできるサプリメントなのです。食事だけでは充分に摂れない栄養は、サプリメントで補う！これでアナタも元気ですよッ〜！

〈おすすめグッズ〉 Recommend

『ニーノ・"エルビス"・シェンブリTシャツ』
グレート・アントニオ/4,000円（税別）

エルビス！フォーエバー！

米国ではいまだ根強い“エルビス生存説”。今でもたまに「私はエルビスを見た！」という記事が雑誌をにぎわしたりしてますが、そんなアンタが見たのはニーノだったと断定！ヒクソン２世といわれる実力は脱帽モノですが、愛するがゆえのエルビスチックな入場コスチューム&モミアゲの完コピにも脱肛です！ちなみに８月16日は本家エルビスの命日。ニーノTを着て合掌、そして合唱！

グレート・アントニオ
西山千尋店長

「またまた今年もグレート・アントニオが津田沼パルコに出張オープンいたします！開催当日の8/11（日）には全日本プロレスの武藤敬司選手のトークイベントが決定！そして武藤選手のシャイニング・ウィザードが受けられる記念撮影用の超特大パネルも登場！また8/17（土）には山田豊文先生の「ファスティング講座」を行います。詳しくはグレート・アントニオのHPをご覧ください」

グレート・アントニオ
東京都千代田区神田錦町3-14-12神田NSビル1F　☎03-3462-1001
通信販売受付　☎03-3295-4450 or 0570-007800
HPアドレス http://www.great-antonio.jp
営業時間/11:00〜20:00（月曜定休）
通信販売受付/10:00〜18:00（月〜土曜）

GOODS RANKING (7/15〜7/30)

1. ケンドー・カシン『DON'T BLAZE Tシャツ』
全日本プロレス&グレート・アントニオ/4,000円（税別）
2. 『MUTO Tシャツ』
全日本プロレス&グレート・アントニオ/4,000円（税別）
3. 『ファスティング・ダイエット』
杏林予防医学研究所/18,000円（税別）
4. 『KOJIMA Tシャツ』
全日本プロレス&グレート・アントニオ/4,000円（税別）
5. 『ボブ・サップTシャツ』
K-1&グレート・アントニオ（税別）

1位 ケンドー・カシン『DON'T BLAZE Tシャツ』

全日ジュニアはまかしたぞ！

ついにグレート・アントニオが全日本プロレスとタッグを結成！カシンTシャツのフロント“DON'T BLAZE”のコピーはカシン選手が考えました（「怒らないで」っていう意味）。8.30（金）、8.31（土）の武道館大会にはコレを着て、楽しく激しくいざ出陣！

GAME INFORMATION

『UFC2 TAP OUT』PS2版が遂に発売されたゾッ!

褐色のサムライ、カーロス・ニュートンも加わった！

自分のキャラを育てて金網デビューだ！

9月にはゲームキューブ版も出るゾ！リコ・ロドリゲスとマット・セラが参戦だ

世界中のゲームファン、格闘技ファンを唸らせる至高の傑作『UFC2 TAP OUT』が、遂にプレイステーション２で発売されたぞ！ 日本人にとって“ぜひもの”の宇野薫、高阪剛はもちろんのこと、ティト・オーティズ、マーク・コールマン、ゲーリー・グッドリッジ、バス・ルッテン、マルコ・ファス、マーク・ケアーら一流かつ人気抜群のファイターが勢揃いしている上に、今回からカーロス・ニュートンも参戦。日本でも高い人気を誇るニュートンが使えるようになったのは、嬉しい限りだ。好評のエディットモードも搭載。しかもPS２版では、作るだけではなくナント育てることもできる。顔のパターンや衣装のバリエーションも前作以上に豊富になっているから、ぜひ自分だけの強くてかっこいいキャラクターを作り上げ、金網デビューさせようぜ！

◆タイトル/『Ultimate Championship 2 TAP OUT』
◆ハード/プレイステーション2
◆発売日/発売中（8/1発売）
◆価格/6,800円（税別）◆発売/カプコン

Et cetra

暑さを吹き飛ばしたテリー伊藤×ターザン山本のトークバトル！

去る7月31日（水）恵比寿ガーデンプレイス内にある、サッポロ・北海道生搾りのCMで有名なホワイトドームで、テリー伊藤とターザン山本のトークライブが開催された。このライブは昨年サッポロビール（株）の発泡酒『北海道生搾り』の発売を記念して開設されたホームページ『namashibori.com』で生放送され、今回で3回目となる。前回は日本プロレスの現状と未来について激論が繰り広げられたが、根っからのプロレス好きな二人だけに、今回も前回以上に爆弾発言が飛び交った！　いきなり天龍の全日復帰問題から始まり、ここでは書くことのできないプロレス団体のふところ事情など、ディープな話題ばかり！　そうかと思えば、追い詰められた国会議員問題をスパッと切るなど、この二人の頭の中は測定不可能！　天才とはこういうものなのか？　ちなみにテリー伊藤はプロレスラー高田延彦と高山善廣を評価していた！

▲この二人に中年という言葉は存在しない！

島田レフェリーがちびっ子クラスを設けたぞ！

アントニオ猪木＆石井館長推薦ジム・ＢＣＧでは9月より小・中学生を対象にしたクラスを新設するぞ。その名も『元気なクラス』！　礼節に始まり、K-1、PRIDEファイターのような強い身体や、いじめにも立ち向かうような強い心を持った元気でたくましいちびっ子を育成するぞ！　もちろん男の子も女の子もみんな参加できるよ。さらに兄弟割引もあるのだ！　また、8月から、毎週日曜日10時から『プレ元気なクラス』を行うので、参加を希望する方は事前に連絡して参加してね。こちらは参加費無料だよ！

またＢＣＧでは8月28日『Dynamite!』のチケットを販売中！　良い席は早めにゲット！

◆お問い合わせ／ＢＣＧ☎03-3560-7545

大阪発『DEEP2001』バスツアー決定！

9月7日（土）有明コロシアムで行われる『DEEP2001 6th IMPACT』の観戦バスツアーが下記の日程で決定！

◆料金・パンクラスP'sLAB会員20,000円

一般23,000円

※スタンドS（10,000円）、パンフレット付き

◆集合場所・P'sLAB大阪前（大阪市浪速区1-5-4ＭＫビル）

◆申し込み締切り・8月27日（火）18:00まで

◆お申し込み／お問い合わせ・DEEP2001事務局

☎（052）339－0303

博多で格闘技イベント『Real Deal』開催！

8月18日（日）福岡市博多区のベイサイドプレス博多にてリアルディールジム主催の格闘技イベント『Real Deal』が開催される！　前回まではキックボクシングルールだったが、今大会より総合ルールも採用決定！　この夏は九州の地で格闘技熱を高めてくれ！

◆日時／8月18日（日）

◆試合開始／16：00

◆会場／ベイサイドプレス博多（ベイサイドホール）

福岡市博多区築港本町13-6☎092-272-3939

地下鉄・呉服町駅より徒歩10分

ノゲイラ、スペーヒーのサイン会決定！

格闘技界を震撼させているブラジリアン・トップチームの写真集『Brazilizm』（ブックマン社）が8月10日に発売！　それを記念して、アントニオ・ホドリゴ・ノゲイラ、マリオ・スペーヒー両選手による発売記念サイン会が決定したぞ！

※当日までに書泉ブックマートで写真集を予約、または購入した方が対象。

◆日時・8月10日（土）14時～

◆場所・書泉ブックマート（神田神保町）

◆お問い合わせ・書泉ブックマート☎03（3294）0011

『空手古書展覧会2002』のお知らせ！

9月1日より、空手古書道連盟の主催による『空手古書展覧会2002』が開催。7年ぶりとなる今回は、日本の空手書籍のパイオニア『空手護身術』をはじめ、昭和10～60年代の空手技術書、多くの人々を震撼させた『空手バカ一代』の台湾版・韓国版など、貴重な古書や資料が60点展示されるぞ！

◆日時／9月1日（日）～9月30日（月）

12時～19時（14時～15時休憩、毎週水曜日定休日）

◆会場／日本武道具（東京豊島区池袋2-61-7 ＪＲ池袋駅から徒歩5～7分　☎03-3986-6221）

月刊『格闘K-マガジン』が10月号からリニューアル！

なんと『格闘Ｋ-マガジン』が「やる側の格闘技雑誌」から「闘う男の格闘技雑誌」へ生まれ変わるぞ！　メディアが大注目のK-1やプライドはもちろん、フルコンタクト空手、キックボクシング、パンクラス、修斗、柔術、女子総合格闘技、はたまた海の向こうのＵＦＣまで、格闘技全般を網羅！　発売日も毎月8日に変わり、月末に集中する格闘技大会の情報をいち早く盛り込むらしいぞ。これまでの実戦的技術解説は当然継続中なので、今までの読者の期待も裏切らないぞ！

第2回エキサイティングオープントーナメント 武道格闘空手ジュニア選手権大会結果！

7月7日（日）富士吉田市下吉田コミュニティーセンターで行われた武道格闘空手ジュニア選手権大会の結果を報告！

軽軽量級／優勝・横打晃汰（拳士館）
準優勝・渡邊優光（拳士館）
3位・天野敬介（拳士館）

軽量級／優勝・大坪啓史（拳士館）
準優勝・志村巧太郎（拳士館）
3位・横打昂則（拳士館）

中量級／優勝・宮下卓（拳士館）
準優勝・小泉友（拳士館）
3位・早川諒（拳士館）

重量級／優勝・鈴木理沙（拳士館）
準優勝・宮下英明（拳士館）
3位・萩原尚汰（宮川道場）

女子中量級／優勝・渡邊優妃（拳士館）
準優勝・渡辺智帆（拳士館）
3位・平井麻菜（拳士館）

中学無差別級／優勝・後藤勝也（拳士館）
準優勝・日原匠規（宮川道場）
3位・鈴木龍太郎（拳士館）

高校無差別級／優勝・青木隆明（禅道会）
準優勝・後藤純也（拳士館）
3位・高木航太（禅道会）

最優秀賞／後藤勝也（拳士館）

優秀賞／青木隆明（禅道会）
大坪啓史（拳士館）
横打晃汰（拳士館）

市長賞／鈴木理沙（拳士館）

議長賞／宮下英明（拳士館）

教育長賞／萩原尚汰（宮川道場）

館長賞／日原匠規（宮川道場）

特別賞／寺田皓成（フリー）
堀内晃汰（拳士館）
小俣勇也（拳士館）
桑本拓也（禅道会）

▲みんな！入賞おめでとう！

第6回ライトアマチュアシュートボクシング選手権東京大会結果！

7・14台東リバーサイドスポーツセンターにて行われたライトアマチュアシュートボクシング選手権東京大会の結果はこちら！

軽軽量級／優勝・福島高志（湘南ジム）
準優勝・井桁康徳（フリー）
3位・設楽昌孝（フリー）

軽量級／優勝・石橋正則（秀武会）
準優勝・碓氷裕昭（フリー）
3位・矢野雄久（クロスポイント吉祥寺）

中量級／優勝・五味慎一郎（湘南ジム）
準優勝・清水大佑（シーザージム）
3位・長谷川智之（子へびクラブ）

中重量級／優勝・佐怒賀丈実（クロスポイント古河）
準優勝・栗原秀和（フリー）
3位・赤坂修行（シーザージム）

重量級／優勝・林弘幸（TEAM KOUTANI）
準優勝・加藤海洋（クロスポイント古河）
3位・佐々木健（TEAM KOUTANI）

ベストファイト賞・五味慎一郎（湘南ジム）

敢闘賞・佐々木健（TEAM KOUTANI）

GOODS & TICKET
ショップガイド

東京イサミ　新宿駅南口徒歩3分

〒101-0061　東京都新宿区新宿4-2-21 相模ビル3F
☎03-3352-4083
毎週火曜日、祝日定休　営業時間　11:00～19:00

イサミ尚武堂（株）　水道橋駅西口徒歩1分

〒101-0061　東京都千代田区三崎町2-18-5 京三会館2F
☎03-5214-6487
年中無休　営業時間　11:00～19:00

チャンピオン　水道橋駅西口徒歩1分

〒101-0061　東京都千代田区三崎町3-8-1 西田ビル6F
☎03-3221-6237
年中無休　営業時間11:00～22:20

書泉グランデ　書泉ブックマート　地下鉄神保町駅

〒101-0051　東京都千代田区神保町1-21-6（書泉ブックマート）
☎03-3294-0011
営業時間（平日）10:30～19:00（日祝）10:30～18:30

レッスル渋谷　渋谷駅南口徒歩4分

〒150-0043　東京都渋谷区道玄坂1-17-2 第2野々ビル3F（1F茜屋）☎03-3464-0078
営業時間（平日）10:00～19:00（日祝）10:00～18:00

ファイター　地下鉄新宿3丁目駅　C4出口徒歩1分

〒160-0022　東京都新宿区新宿3-3-9-B1
☎03-3354-1903
毎月第3水曜日定休　営業時間11:00～19:00

アイドール　西武新宿駅徒歩5分

〒160-0023　東京都新宿区西新宿7-1-3　加藤ビル4F
☎03-3371-5211
毎週月曜日定休　営業時間　11:00～19:00

主要チケット発売所

チケットぴあ	☎03-5237-9999	渋谷東急文化チケットセンター	☎03-3406-1513
チケットセゾン	☎03-3250-9999	レッスル渋谷店	☎03-3464-0078
ローソンチケット	☎03-3569-9900	レッスル池袋店	☎03-3989-0056
CNプレイガイド	☎03-5802-9999	板橋大山アメリカン	☎03-3962-6443
オデッセー	☎03-3408-0331	チャンピオン	☎03-3221-6237
書泉ブックマート	☎03-3294-0011	フィットネスショップ格闘技	☎03-3265-4646
後楽園ホール	☎03-5800-9999		

格闘技オフィシャルホームページ

K-1　http://www.k-1.co.jp/
UFO　http://www.ufojp.co.jp/
極真会館（松井派）　http://www.kyokushin.co.jp/
リングス　http://www.rings.co.jp/
アントニオ猪木　http://www.inokiism.com/
大道塾　http://www.daidojuku.com/
パンクラス　http://www.so-net.ne.jp/pancrase/
UFC　http://www.ufc.tv/index1.asp
怪獣王国　http://www.monsterkingdom.com/
シュートボクシング　http://www.shootboxing.org/
日本武道伝骨法會　http://www9.big.or.jp/~koppo/
修斗　http://www.alles.or.jp/~shooto/index.html
新日本キックボクシング協会　http://www1.neweb.ne.jp/wa/kick/
全日本キックボクシング連盟　http://www.aj-kick.co.jp/
J-NETWORK　http://www.kickboxing.co.jp/
PRIDE　http://www.so-net.ne.jp/pride/
高田道場　http://www.takada-dojo.com/
http://www.takada-dojo.com/i/（iモード用）
誠道　http://www.seiken-do.com/
全日本新空手道連盟　http://www.shinkarate.net/

宇月田麻裕の 北斗占い®

Mahiro Utsukita

破軍 武曲 廉貞 文曲 貪狼 禄存 巨門

8/8〜8/21

★北斗占いとは★

古来インドの「北斗七星の信仰」が中国に伝来し、陰陽五行説と結合。そして、日本密教の１つとして発展していった。平安時代以降は、北斗七星の中の１つの星を、自分の守護星として、除災招福を祈願したものである。
この「北斗七星の信仰」を、宇月田麻裕が「北斗占い」として蘇らせた。
絶好調の星には、吉兆星が輝き、不調の星には凶兆星が現れる。

北斗本命星早見表（ホクトホンミョウジョウ）

貪狼星	巨門星	禄存星	文曲星	廉貞星	武曲星	破軍星
	1959	1958	1957	1956	1955	1954
1960	1961	1962	1963	1964	1965	1966
	1971	1970	1969	1968	1967	1978
1972	1973	1974	1975	1976	1977	
1984	1983	1982	1981	1980	1979	
	1985	1986	1987	1988	1989	1990
1996	1995	1994	1993	1992	1991	

★あなたの生まれ年で、本命星が分かります。
例）1972年生まれの人は貪狼星　※節分前の生まれの人は、前年の星になります

貪狼（タンロウ）……社交家タイプ。現実的で、交友関係の幅広く、交際の達人
巨門（キョモン）……研究家タイプ。話術に優れ、研究熱心に取り組みます
禄存（ロクゾン）……経済家タイプ。悠長な雰囲気を醸し出し、経済観念に優れています
文曲（モンゴク）……芸術家タイプ。あなたが奏でる芸術的センスは、全てを魅了します
廉貞（レンテイ）……聡明な自信家タイプ。聡明なうえに実行力が伴い、勝負強いです。
武曲（ブコク）……権威タイプ。情熱的で、権威を好み、リーダーシップを取っていけます
破軍（ハグン）……個性派タイプ。自立心、独立心があり、劇的な人生を歩みます

破軍星

全体運
吉兆星が輝きます。好調の波に乗り、実力が１２０％発揮できるチャンス！　こんな時は、夏のレジャーを楽しむのも良いけど、少しでも時間を有効活用していくとグット。試合や審査を受けたり、仕事では一発勝負に出てもＯＫ。

恋愛運
チャンスが多い時。ターゲットがいるならアプローチしてみては？　最初はあなたに関心がなくても、押しに負けて、交際がスタートする可能性もあり。

勝負運
新しく出会った人が勝運ＵＰの鍵に。

健康運
運動の前後のストレッチには時間をかけて。

金運
ネットオークションで格安の逸品をゲット。

★ラッキーカラー★ レッド
★ラッキーアイテム★ タオル
★ラッキースポット★ 行楽地

武曲星

全体運
太陽が沈みかけたら、あっという間に暗くなってしまうように、チャンスも迷っているうちにすぐに消えてしまうもの。「ここだ！」と思ったら、まずはチャレンジしてみるべき。そしてゲットしてからどうするか判断すればＯＫ。

恋愛運
交際を周囲から反対されたり、秘密がバレたりして、窮地に追い込まれるようなことが。特に携帯メールでマズいものは即削除しないと事態が悪化。

勝負運
あなたの瞬発力が決め手になる時。

健康運
毎日の軽い運動はスタミナキープの秘訣。

金運
予想以上にレジャー費を出費しそう。

★ラッキーカラー★ シルバー
★ラッキーアイテム★ ペンダント
★ラッキースポット★ 格闘技会場

廉貞星

全体運
ビジョンを持って果敢にチャレンジしていけば、太陽の輝きはあなたに味方してくれそう。もし目標が明確になりにくかったら、目標選手や憧れの実業家のポスターや記事を部屋に貼ると効果あり。成功をイメージすることが大切。

恋愛運
あなたが魅力的に映る時。なので自然と異性が近づいてきたり、理想的な人と巡り会える可能性もありそう。カップルは、浮気心が顔を出しそうな予感。

勝負運
スタミナの温存が勝負の分かれ目になりそう。

健康運
サングラス必需。目が太陽にやられそう。

金運
ごちそうしてもらったり、ラッキーの暗示。

★ラッキーカラー★ パープル
★ラッキーアイテム★ ポスター
★ラッキースポット★ フィットネスクラブ

文曲星

全体運
吉兆星と凶兆星が交互に現れます。不安定な運気になるけども、焦らずに状況を把握していけば、怖がることはないはず。逆に刺激を受けて、良い方向に進展する可能性だってある様子。まずは目の前のことを整理していこう。

恋愛運
この夏に交際がスタートしたばかりのあなたは、波乱をクリアできるかどうかが長続きの鍵。カップルは、新しい試みをすると刺激的な夏になる暗示。

勝負運
禄存の知恵を拝借すると勝負強くなる暗示。

健康運
ガラスの破片などで足を切りそう。要注意。

金運
株の流れを見ていくと投資のヒントあり。

★ラッキーカラー★ オフホワイト
★ラッキーアイテム★ オリエンタル系グッズ
★ラッキースポット★ プール

禄存星

全体運
太陽の光が当たらず、日陰に隠れてしまうような運気。なかなかスポットライトが当たらず、縁の下の力持ち的存在になりそうだけど、コツコツと努力して、目の前で起きる出来事を一つずつ解決していけば必ず認められるはず。

恋愛運
夏の恋はキケンがいっぱい。その場の雰囲気に流されてしまうと、泥沼の恋愛劇を演じてしまうかも……。「たかがエッチ、されどエッチ」なので要注意。

勝負運
有意義なネットワークを生かせば勝運ＵＰ。

健康運
性病に要注意。不特定多数のエッチはＮＧ。

金運
使う予定がないお金は貯蓄しておくと○。

★ラッキーカラー★ レインボーカラー
★ラッキーアイテム★ 書籍
★ラッキースポット★ カフェ

巨門星

全体運
迷いがなくなり、徐々に雲ひとつない青空のようにスッキリとした気分になれそう。また、目の前に立ちはだかっていた壁は、タイミングさえ合えば突破できるので、アンテナを張り巡らせて、チャンスをうかがっているとグッド。

恋愛運
カップルは複雑な恋模様から開放される暗示。落ち込んでいたフリーのあなたは、新しい恋愛に目が向く時。恋の種が落ちていそうなスポットに行って。

勝負運
色々なことをリニューアルすると勝運ＵＰ。

健康運
汚い部屋は不健康。清潔感漂う部屋に。

金運
笑顔が決め手。ごちそうしてもらえるかも……。

★ラッキーカラー★ コバルトブルー
★ラッキーアイテム★ 水着
★ラッキースポット★ 海辺

貪狼星

全体運
凶兆星が顔を出します。夏バテ気味になり、真夏の太陽に負けてしまうくらいパワーダウン。ムリしてアクティブに行動するよりも、インドアで、仕事や試合の戦略を練ったり、創作活動に専念してみると意外に良い結果が出そう。

恋愛運
この夏は、ハートが通じ合うようなしっとりとした恋をしてみては？　カップルは旅行に行くなら灼熱の海より、温泉宿など潤いを秘めたスポットが○。

勝負運
まだ勝負の時ではないので様子見をしよう。

健康運
スタミナ食を食べて体力の復活を図って。

金運
郵便やネットでラッキーな情報がありそう。

★ラッキーカラー★ モノトーン
★ラッキーアイテム★ カメラ
★ラッキースポット★ 知人の家

宇月田麻裕プロフィール　ヒューマンディレクターとして、ハッピネスファクトリーを主宰。独自の占術「北斗占い」を中心に、TBS「ワンダフル」出演をはじめ、雑誌、webなどで活躍中。NTT Vポータル tel 0570-0033-03「テレフォンナンバー占い」オープン。URL http://www.happiness-f.com/

ザッツ・ムチャリブレ⑧

プロレスファンの駆け込み寺を発見！

山本隆司

イラストレーション＝松本晴夫

今から5年前の8月14日は、私にとって忘れられない日だ。その日、午後10時15分、家に帰ったらカミさんと長女とネコ11匹が家から消えていなくなっていた。

見事な〝完全犯罪〟である。あとで気が付いたら、カミさんはタクシーで10分ちょっとの所に3階建ての新築の家に住んでいた。

まぁ、世の中なんて所詮こんなもの。あれ以来、私の人生はギャグだと思っている。すっかり吹っ切らせてもらった。〝ありがとう〟と言って感謝したいぐらいだ。

さて、その私も今年でプロレス記者生活が25年になる。4分の一世紀、プロレスについて書き続けてきたことになる。こういうのを〝腐れ縁〟というのだろう。

しかし、それもそろそろ限界にきつつある。プロレスよりも格闘技のほうに興味と関心をシフトチェンジするしかない状況になっているからだ。それはこの夏の大本命がプロレスの興行ではなくて、格闘技の一大イベント『Dynamite!』になっていることを見れば、一目瞭然ではないか？

そうなった時、一つの手として逃げるしかない。時代からの逃亡者になるのだ。べつに誰かに追われて逃げ回るわけではない。

自分で〝駆け込み寺〟を探すのだ。あった。それがあったのだ。プロレスファンである自分を癒してくれる場。どんなにそれが小さな世界、スモールワールドであっても、私にはそれが救いになる。

救いになってほしい。そうしてやっと見つけたのが「闘龍門」という団体だった。ウルティモ・ドラゴンがメキシコにルチャ・リブレの学校を作り、日本から海を渡ってメキシコに行った少年たちがレスラーとしてデビューして誕生した団体である。

何が面白いかと言うと校長のウルティモは「プロレスとは乱入である」と公言していることだ。

どうせプロレスをやるならこれぐらい居直ってほしい。そうしないと格闘技にはかなわない。

この校長は7月、九州サーキット中の熊本大会の日、スターレスラーのCIMAを深夜の2時に連れ出し、みんなでカブト虫を取りに行った。7匹取ったという。

そのカブト虫を巡業中、カゴに入れてずっと面倒を見たのは、もちろんカブト虫ファンの校長。私はそれを聞いて、ますます校長とCIMAを好きになった。

CIMAをインタビューすると「お金を貯めて、私がレスラーとして最初に月に行った人間になりたい」と言った。もう一人のスターであるマグナムTOKYOは「オレは人と同じことをやるのが大っ嫌い。非常識こそがオレの生きがいだ」と言ってはばからない。

この2人、「オレたちはプロレスラーになることが目的ではない。そんなもんなって当然。そいつらとオレを一緒にするな」と言うのだ。マグナムはさらに「CIMAを天才と言うなら、オレのことは異端児と呼べ！」と言った。

こうして私は今、「闘龍門」にのめり込んでいる。8月の終わりには私がプロデュースした『OH！CIMA』という本が出る。プロレスファンの駆け込み寺を発見。そこは私にとって「イッツ・ア・スモールワールド」なのだ。■

〜お客様は神様です〜

あぶもぐ

大阪場所

十三日目

ABNORMAL★MOGUTAN

親方◎小松モグタン

Rhodes records ®

LONDRES No.247 COL DEL CARMEN MEXICO D.F. TEL 5545999

Crazy Luke Williams from

THE SHEEPHERDERS

またまた、UFOを潜入取材してきました。今回は、ターザンが出演したUFOの緊急特番の収録現場。ターザンが、また1人で炎上していました。皆さん、見ましたか？　ターザンを1人で暴れさせて、煽りになったかどうかが心配ですが、この号の発売日が『UFO LEGEND』の当日。いったい、どうなるんだ、UFO！

（やざま優作・東京都小平市・30歳）
◆さすが！　鬼気迫るターザンは最高！

（小川徹・埼玉県八潮市・17歳）
◆エリオのイラストを描いてきた人が今までいただろうか？　ちなみにエリオは90歳だ！

（安田顔・石川県金沢市・？歳）
◆イメージキャラって、モデルは誰だ？

▶7月27日の深夜に日本テレビで放送された『UFO LEGEND』特番のターザンの様子です

ノゲイラの「8・8UFO出場か!?」の記事にはビックリしました。仮にも『プライド』のヘビー級王者が、他団体の興行に出るなんて、信じられないです。結局、ノゲイラみたいな外国人選手っていうのは、「条件」が良ければ〝戦場〟なんかどこだっていいってことなんでしょうね。そういう意味では、彼の頭の中に、「肩書き」や「義理」とか「人情」なんてものは初めからないんですよ！　それと、8・28国立の『ダイナマイト！』大会にはお父さんと2人で見に行きます。チケットが思ってたほど高くなかったので行くことに決めました。ところで、「国立競技場」って、いったいどこにあるんですか？　東京オリンピックが開かれた場所だということは知ってるけど、それ以外のことは分かりません。ですから、モグタンさんにお願いがあるんですけど……。できれば、国立までの行き方とか教えてもらえないでしょうか。地図など書いてもらえれば嬉しいのですが……。ワガママ言っているかなぁ……。でも、よろしくお願いします。

（はずきの果実・京都府京都市・16歳）

◆最寄り駅はこちら、①JR総武線　千駄ヶ谷駅下車　徒歩5分、②JR総武線　信濃町駅下車　徒歩8分　③地下鉄銀座線　外苑前駅下車　徒歩15分　④地下鉄大江戸線　国立競技場駅下車（A2出口）　徒歩1分。これで国立まで1人でも行けるだろう！　俺って親切だなぁ。地図も見てね！

国立へはこうやって行け

JR信濃町駅
JR総武線
国立競技場
明治公園
●日本体育・学校健康センター
■都営大江戸線 国立競技場駅
●東京体育館
JR千駄ケ谷駅

せっかく猪木さんに取材する機会があるのでしたら、発電機の話をもっと聞いてください。凄く気になっています。小川選手の了承なしでマット・ガファリ戦を発表するUFOの代表は無鉄砲ですねぇ。かつて、橋本真也が小川との再戦を勝手に発表され、マスコミを通じて知って激怒した話を思い出します。その時は藤波社長はしょうがないなと思ったのですが……。

（春名義行・兵庫県明石市・35歳）

◆猪木さんの永久電気に興味を持っている人がいるなんて、とっても嬉しいというか。私も、今年一番興味が湧いた話は猪木さんの永久電気です。ところで、UFOの川村社長の無鉄砲さは逆に痺れたけどな。

夏の大会は全部関東なんて、ずるい！　『プライド』も9月に大阪が予定されていたのに次の大会は名古屋だし、やるせないぐらい切ないです。谷川さんの力で森下社長に11月の東京ドームを大阪ドームでやるように言ってください。

（小田益久・大阪府大阪市・19歳）

◆ずるいと思わずに、ビッグイベントを関西に呼び込むぐらいの怨念をこの夏に溜めろ！

UFOの大会に出る、マット・ガファリ選手は急に試合が決まった印象があるけど、コンディションは大丈夫なの？　なにせ、40歳という年齢だから特にコンディションは大事な気がします。いい試合ができないのではないかと今から心配です。UFOのメインの試合が、やる気の薄そうな小川とこういう相手でいいのだろうかと疑問に思っていました。でもやるからには、頑張って面白くしてほしいです。

（上條信彦・福岡県田川市・31歳）

◆ちょっと太りすぎじゃないかって気がしないでもないけど、久々の未知の強豪って感じで、とっても楽しみだっ！　頑張れ、ガファリ！

座談会は良かったです。「月と太陽」の表現の仕方は良かったな～。ターザン山本は気持ち悪いし嫌いだけど、考えることは結構、共感・尊敬できます。K―1ジャパンの人に提言してください!!　「茶髪・派手なトランクスはやめろ！」と。弱くて、つまらん試合しかできない人間が、格好を気にするな。プロレスの前座のように、地味な頭・黒パンツでひたむきさと、一生懸命さを伝えろ。魅せる技術もないんだから。

（高木健治・京都府京都市・23歳）

◆尊敬できるなら、気持ち悪いとか言っちゃだめですよぉ！　でも、黒いショートタイツ姿の武蔵や中迫は見たいな！

ハッキリ言って、ターザンの話はつまんないです。たぶん、ほとんどの読者もそう思っていると思います。ターザンはハゲを帽子で隠しているところが、嫌です。かなり前から思っていました。

（添田正和・東京都足立区・19歳）

◆かなり前から思っているなら、早く言え！　まだまだ、ターザンの魅力が分からないのは、子供の証拠ですよぉ！　また、ターザンの勝ちですよぉ！

★作品募集

『あぶもぐ』では、読者の皆さんからのお便りをお待ちしております。相撲関係オンリーと言いたいところですが、べつになんの作品でも結構！　質問もOK！　強烈なぶちかましをお待ちしております。

あて先
〒101-0054
東京都千代田区神田錦町
3-14-12神田NSビル8F
SRS・DX編集部『あぶもぐ』係

『S—cup』が終わっても、勢いは止まらない！

9・22シュートボクシング最新情報!!

#1

元祖・他流試合男が里帰り！

キミは〝シュートボクサー〟平直行を知っているか？

▲あのマンソン・ギブソンとも激闘を繰り広げた平

◀当時から総合志向。投げを多用するのはもちろん、勢いにまかせて十字を極めた試合もあった

見よ、この輝かしい戦歴を！

平直行（たいら・なおゆき）

1963年12月15日、宮城県仙台市出身。右のようにバラエティに富みすぎの格闘技経験を持ち、さらにプロレスでもインディペンデント・ワールド・ジュニアのタイトルを獲得した、まさに格闘技の天才。VTにも早くから挑戦し、K-1のリングでヤン・ロムルダーに勝利しただけでなく、本場ブラジルでも試合を行っている。

〈格闘技遍歴〉

◎大道塾
◎シューティング
◎シュートボクシング
◎リングス
◎K-1
◎バーリ・トゥード
◎ブラジリアン柔術

総力を上げた一大イベント『S—cup』を終えたシュートボクシングだが、まだまだ勢いは止まらない！　9月22日に開催される後楽園大会でも、目が離せないカードが並ぶ。

　まず、なんといっても注目なのが、あの平直行のSB〝里帰り〟マッチ。現在は柔術＆総合格闘技道場『ストライプル』を主宰する平だが、プロファイターとして華開いたのが、このSBだったのである。

　最高位は世界ホーク級1位。マンソン・ギブソンやデル・〝アポロ〟・クックといった当時の世界トップファイターと渡り合い、マンガ『グラップラー刃牙』のモデルになったことでも有名だ。

　平は今年39歳。「最後はシーザー会長が見守るリングで締めたい！」と、古巣で立ち技での引退試合を行うことになったのだ。

　大道塾、シューティング、SB、そして総合、柔術と渡り歩いてきた平は、いわば元祖・他流試合男。SBのトップ選手でありながら総合志向を隠さず、正道会館主催の『格闘技オリンピック』に出場。そこからリングスマットに上がり、さらにアメリカでカーリー・グレイシーに入門、K—1でヤン・ロムルダーと素手のVTマッチをやったり、ブラジルでも試合を行ったことがある。

　平は常に時代の先端を走り、その節目に立ち会ってきたとも言える。飛び技や回転系の蹴りを鮮やかに使いこなす華のあるスタイルは、まさに天才。その現役生活のファイナル・カウントダウンを、しかと見届けよう。■

#2

後藤龍治、アンディ・サワー戦を志願！シーザー会長が出した条件は地獄の30Rスパー!!

▲シーザー会長が用意する“刺客”とは？

▲スパーリング地獄を乗り越え、サワー戦にたどり着けるか？

▲7・7『S－cup』で抜群の強さを見せたアンディ・サワー

さて、この9・22後楽園大会でメインイベントに予定されているのが『S－cup』でダントツの強さを発揮して優勝したアンディ・サワーの試合だ。

K－1ワールドMAXで優勝したアルバート・クラウスの兄弟子でもあり、今後SB外人勢のエースとしても活躍が期待されるサワー。そんな男に挑戦状を叩き付けたのが、後藤龍治である。

打撃、投げ、サブミッションと、全ての技術を高レベルで兼ね備え〝立ち技バーリ・トゥーダー〟と呼ばれる後藤だが、優勝を期待された『S－cup』では1回戦でダニエル・ドーソンに完敗を喫している。

それだけに、後藤としては一気に名誉を挽回するため、サワー戦を熱望したというわけだ。だが、1回戦で負けた後藤を、いきなり優勝者のサワーと対戦させるのには疑問符が付いてしまう。そこで、後藤の直訴を受けたシーザー会長は、サワー戦実現への条件を提示した。

それは「オレが用意した選手たちと30Rぶっ続けでスパーリングをやってみろ！その内容を見てサワー戦を決める」というもの。極真には100人組手があるが顔面ありでの30Rスパーはそれと同等の過酷さと言っていい。しかも相手のメンバーとしては、SBと関係の深い現役バリバリの選手、つまり小林聡や小野寺力といった面々が考えられる。果たして後藤は生き残ることができるのか？　地獄の30Rスパーの模様は、次号でお届けできる予定だ。■

#3

前田、森谷はタイトル戦 宍戸の相手は『S-cup』組か？

その他の出場メンバーも、続々と決定中だ。まずSフェザー級王者の前田辰也は、タイトル防衛戦（相手は未定）。このところ戦績が芳しくない前田だが、日本のレベルでは決して取りこぼしが許されない立場。ここでその地位を磐石にしておきたいところだろう。Sライト級タイトルを保持する宍戸大樹は、『S－cup』で土井広之のヒザを破壊したパトリック・ベンフキーか、サミー・スチアボとの対戦を予定。7月28日には豪州で試合を行い、WMCインターコンチネンタル王座を獲得するなど絶好調の宍戸。次もイキのいい試合が見られそうだ。そしてSバンタム級王者・森谷吉博も、8月に敗れた市政貴文とベルトを賭けたリマッチを行うことが決定している。■

▲5月の大阪大会でノンタイトルながら市政に敗れた森谷。今回はベルトを賭けてのリベンジ戦だ

▲宍戸大樹

▲前田辰也

最凶ヒール誕生か!?
ウィンディ、反則負けも承知の狂犬ファイト！

撮影◎吉澤晃

故意じゃないんで、悪いと思ってません！

反則をも包むマァ☆ティンの格闘LOVE

楽しかった！

マァ☆ティンのコメント

「終了のゴングが鳴った時、嘘やと思った。痛くて、凄い悔しかった。反則ってのも悔しいし、反則されたのも悔しいし、反則するのも嫌やし。だけど、それで終わってしまうというのが、嘘やと思った。もっと試合がしたかった。もっと練習して、ああいう状態を作らせないように、自分がすればいいだけのこと。また試合するのを約束しました。何がしたいって、闘いたいんで。もっともっと練習して、もっと強くなってきます！　ホンマに楽しかった！　その一言です！」

ウィンディのコメント

「2回連続の反則はマズイですね。こういう結果になってしまったんですけど、相手は怒っているわけじゃないし、面白かったって言ってくれてるんで。もう1回やって白黒はっきりさせたいですね。べつに負けたと思ってないし、相手も勝ったと思ってないと思うんで。危ないから顔面打撃なしというルールなんだと思いますけど、練習してれば絶対大丈夫。女の子だから顔はダメっていうのではなくて、倒そうとすれば顔は急所なんで、顔は殴ってもいいと思います」

再三のレフェリーの注意にもかかわらず、グラウンド状態で顔面への打撃を入れてしまったウィンディ。2R、亀状態の星野に蹴りを加えたところで遂にレッドカード。突然の幕切れに、客席もウィンディのセコンドに就いたパンクラス勢も呆然

▲試合後、会場は重苦しい空気に包まれたが、マァ☆ティンの「次は顔面（打撃）ありでお願いします！　楽しかった！」の一言で雰囲気は一変

▶ウィンディの勝ちへの執着心、打撃の威力と気迫は凄まじいものがあった

◀セミは、初の公式戦となる藤井恵（GIRL FIGHT ACC）が、ジェット・イズミ（J-NETWORK）とグラップリングルールで対戦。ジェットが断然不利かと思われたが、得意のレスリングで互角に渡り合い、終了間際にバックをとり（1P）足を掛けて制し（4P）、一気に5ポイントを加算、2Rポイント判定8－5で逆転勝ち！

★第7試合／メインイベント（5分3R・グラウンド30秒制限）
○星野育蒔（2R0分13秒、反則勝ち）ウィンディ智美●
〈米里倶人満〉　〈全日本キック・作真会館〉
※グラウンド状態での顔面キック

反則によるグラウンド状態での顔面打撃を受けたマァ☆ティンの試合後の第一声はなぜか「楽しかった！」だった。普通、1回のみならず、複数回の反則攻撃を受けたら、なかなかこんな言葉は出てこない。それが嫌味なくスラッと出てくるのがマァ☆ティンの魅力である。

前回、対戦が組まれながらも星野の右肩脱臼により流れてしまっていたウィンディ智美との一戦。この日リングに上がった星野の肩には、まだサポーターがガッチリと巻かれていた。ウィンディは総合2戦目とはいえ、キックの強豪。しかも星野戦が決まってからはパンクラスに出稽古に行き、総合技術のレベルアップを図り、試合に臨んできた。

ケガが癒えてない状態でも、いつもながらの物凄い集中力と勝負勘でぐんぐん有利なポジションを奪って攻め込んでいく星野に対し、ウィンディも恐ろしいまでに倒すことへの執念を見せ果敢に激しい打撃を打ち込んでいく。しかし、その勢いでグランドでも星野の顔面を捕らえてしまうこととなり、レフェリーはレッドカードを提示。注目のメインは唐突に止められてしまった。

お互いに最強を目指して闘っていたはずの2人の気持ちはスレ違い、残念ながら噛み合わないまま終わってしまったのだが、観客は格闘LOVEにあふれたマァ☆ティンのマイクにかろうじて救われた。（沖崎）

SRS・DX Editor's Talk

編集部トーク 裏事情

石井館長、プロレス界進出の真実！

A　最近、スポーツ紙、専門誌でやたらと〝飛ばし記事〟が目立つようになったなぁ。桜庭VSミルコにせよ、吉田のプロデビューにせよ、発表以前に一面を賑わせている。最近、驚いたのは、石井館長の全日本マット進出かという記事なんだけど……。

B　〝飛ばし記事〟が多くなったのは、ネットの影響とか、やはり専門誌が売れなくなった証拠だろう。昔、ターザン山本氏が週プロ編集長時代は、絶対にスクープ主義に走らなかった。スタッフには「モノの見方、〝視点〟で勝負しろっ！」と徹底させていたからね。そういう意味で、今、スクープに走ろうというのはそれだけ必死さを感じるね。ただ、俺は賛成できないけど。団体のほうもやりにくくって、仕方がないでしょう。

C　この世界は噂がすぐに出回りますし、あえて情報を遠隔操作しようとする体質が蔓延していますからね。石井館長と全日本マットのからみについても、ライバル団体が情報をリークしたという話ですけど。

A　で、その石井館長とゴールドバーグ、あるいは石井館長と全日本プロレスの関係の真実はどうなっているの？

B　本当のところ、石井館長とゴールドバーグはまだ一度も接触したことがないし、全日本プロレスの馬場元子社長と会ったことは一度もないよ。ただ、武藤とは一度、仕事抜きで会食してるけど、それも随分前のことだからね。

C　じゃあ、どうしてそういう話が出たんですか？

B　だから、石井館長は今、K—1創立10周年にして、さらに『Dynamite!』のようなイベントを総合プロデュースしたり、プロレス界をプロデュースしようという野望があるのは確か。今年はそういう意味で、転機だと思ってるみたいだね。ただ、石井館長自身はプロレス団体を経営しようという気持ちはまったくないよ。あくまでもプロデューサーとして何かできないか、そういうことを考えているんじゃないかな。

A　なるほど。

B　だから、K—1にもボブ・サップとか、サム・グレコとかWCWに上がってた選手がいるじゃない？　そういう選手を、全日本とか、新日本に上げるプロデュースの手伝いはあり得るんじゃないかな。ゴールドバーグについても、その中でつながりができないこともないだろうし。

C　以前、前田日明さんが「格闘家がある年齢を過ぎたら、プロレスのリングに上がるのもいいんじゃないか」と言ってましたけど、K—1にも『プライド』にもプロレスのリングに上がりたがっている人はたくさんいるってことですね。

A　逆に言うと、そういう選手を野放しにして自由にさせるよりも、管理してビジネス化していきたいって意向なんだろうね。

B　だから、石井館長がゴールドバーグの交渉権を持っているというのも正しくない。もし、今後そういう接点ができるとしても、石井館長はあくまでプロデュースする側になるだろうね。でも、まあいずれにせよ、ゴールドバーグが8・30全日本プロレス武道館大会になんらかの形で参戦してくるのは間違いなさそうだけど。

A　それにからんで言うと、最近は格闘家がプロレスに回帰していく現象が、なんとなく広がっているね。その代表的な例が小川のプロレス発言であり、復活NWFのベルトを賭けた『キング・オブ・グラジエーター』なんだけど。特に高山、藤田、安田だけじゃなく、TK（髙阪）が出たことで、その印象がより強くなっている。

C　ネット上では、TKが出ることで、あのトーナメントのみ、ガチンコでやるんじゃないかというファンの意見も出ているんですけど。

A　そういう意味じゃあ、8・8UFOの藤田VS安田にせよ、8・29の藤田VS高山にせよ、逆にファンから厳しい目で見られることになるだろうね。■

▶『Dynamite!』の総合プロデュースだけでなく、プロレス界進出まで噂されるようになった石井館長

◎本誌のHPが8月、新たにリニューアル。目玉はなんと言っても、動画で様々な記者会見、情報が見られることだ。ターザン山本の「ブロードバンド・ムチャリブレ」、私の「ブロードバンド一撃コラム」というコンテンツもあり、一週間のマット界で起こった出来事に対して動画で意見を述べている。たとえば、ターザン氏は先週、「マット界、8月興行戦争の行方」を占っている。ターザン氏曰く『Dynamite!』の石井館長プロデュースと、8・29新日本・武道館大会の藤田プロデュースは、全然意味が違うということだ。また「サダハルンバ通信」では、話題となっているノゲイラ問題、桜庭VSミルコ、吉田VSホイスのルール問題、なぜ安田VSレネ・ローゼが決まらなかったかをいち早くお届け。それに対して、BBSでは、ファンの皆さんからの意見も多数返ってきている。本誌のHPのウリである「Webゴング」では、真夏の興行戦争ではどのイベントに興味があるかをリサーチ。『Dynamite!』が圧倒的1位だったが、2位にはなんと『DEEP』が選ばれていた。しかし、同じようなアンケートを週プローモードでもやっていたが、1位に選ばれていたのが新日本のG1だったから驚いた。いったい、このファン層の違いはなんなんだろうか？　こういうところがまた、ネットの面白いところだ。さらに、本誌のHPではビッグイベントのチケット販売、そして『グレート・アントニオ』の通信販売もやっていて、自宅にいながら欲しいものが手に入る。まだ一度も見ていない方はぜひアクセスして、他のHPと見比べてほしい！　（谷川）

SRS・DX

次号の発売日は8月22日(木)です。

発行元：株式会社フジテレビ出版／株式会社ローデス
〒101-0054　東京都千代田区神田錦町3-14-12
神田NSビル8F　☎03-3295-4445
販売元：株式会社扶桑社
〒105-8070　東京都港区海岸1-15-1
☎03-5403-8888
発行人：柳沢忠之　編集長：谷川貞治

DESIGNER：梅村あゆみ、水町由美子、su・plex、溝口真穂
のじり、小林善夫、2in1、ナール企画、NORTON

9・22 大阪城ホール
K−1 JAPAN GP 決勝戦
～K−1日本一は誰だ!?～

今年のK−1ジャパンGPをなめるなよ!

今年のジャパンは面白くなる！ キーマンとなるのは極真・野地とXだっ!

武蔵
〈正道会館〉

X

天田ヒロミ
〈TENKA510〉

中迫　剛
〈ZEBRA244〉

ノブ・ハヤシ
〈ドージョーチャクリキ〉

野地竜太
〈極真会館〉

富平辰文
〈SQUARE〉

大石　亨
〈日進会館〉

今年のK－1ジャパン・シリーズは、王者から陥落した武蔵が、野地竜太やセーム・シュルト、ジョシー・デンプシーらと他流試合を行い、中迫がK－1王者マーク・ハントから生涯初のダウンを奪ったと思いきや、アーネスト・ホーストに秒殺KO負け、さらにボブ・サップと大乱闘を引き起こすなど、非常に面白い！　そこに極真の若武者・野地竜太が参戦。しかし、前年度王者のニコラス・ペタスが右足スネ骨折で戦線離脱というハプニングの連続で混迷を深めている。そんな中、9・22大阪城ホールで、いよいよK－1ジャパンGP決勝戦が開催。果たしてK－1日本一は誰の手に！　2号にわたって8選手を追う！

インタビュー◎中村カタブツ君（ブチ）
撮影◎山口比佐夫

1 狂ったか!? 大いなる開き直り宣言か!?

武蔵の仰天発言に乗れ!!

武蔵は日本で一番強い。だが、試合内容がとにかくつまらない。しかし、だ。これまでそれで何度も叩かれながら武蔵は頑固にファイトスタイルを変えようとしない。その理由は技術じゃないとパワーに勝る外国人に勝てないからだ。ジャパンGPを控えた現在でも、その視線は世界を見ている武蔵。ならばどんな内容でもいいからワールドGPで優勝してみせてくれないのだ。ついでにジャパンGPも全試合判定勝ちを狙ってみろだ、極端な話。ともかくワールドGPで優勝できるただ一人の日本人、武蔵には、思う存分やってみろと提案したい！

「それじゃあ、全試合KO勝ちを狙った判定勝ちで優勝します!!」

――武蔵さんにまず聞きたいのは中迫VSボブ・サップ戦のことなんですね。試合後の乱闘でリングに上がりかけながら、結局帰って来ちゃったじゃないですか。あれはどうしてですか？

武蔵 あれはもう収まっていたんで。あそこで僕まで変に上がってやったら、プロレス・チックで。

――あれは凄く武蔵さんらしいなと思って良かったんですよ（笑）。

武蔵 出遅れましたね（笑）。僕、あの時、解説をやらなきゃいけなかったんですね。で、オオ！　って言ううちに一瞬でバァーと人が入ってる状態だったんで。上がろうと思った時には入る意味はないなって感じだったですね。

――じゃあ、帰ろうかと（笑）。

武蔵 終わってるじゃんって感じで（笑）。

――この前のデンプシー戦でも、試合前にあれだけ挑発されてたのに、向こうが正攻法の試合で来たら、それに合わせちゃいましたしね。

武蔵 いやぁ、そのつもりはなかったです。絶対に反則で来ると思ってたし、何かやってきたらかまそうと思ってたし。一発頭突きも入れてやったし。コイツ、日本人をナメてるなってところがありありと見受けられたんで、シバイたるって、そういう気持ちは絶対あったんで。そこが一番悔しかったですね。

――そういう悔しさの部分が表に出づらいですよね。人がいいって言うのか（笑）。

武蔵 だから、なんていうのかなぁ、本当に腹が立ったら殴ってくると思うんで、じゃあ、来いよっていう部分ですよね。

――お客さんからすれば「武蔵、お前がいけよ」って言いたいところってあるじゃないですか（笑）。

武蔵 どうしてもファイタータイプではないんで（笑）。

――来てくれないと困るだろうと（笑）。

武蔵 そうそう（笑）。逆に来られたほうがこの野郎ってなるじゃないですか。そういうタイプなんで。

――自分から怒ったことはあんまりないんですか？

武蔵 怒る火種をくれよってなりますね。自分からキレることはなかったですね。

――これまでで一番腹が立ったことってなんですか？

武蔵 分かんないですねぇ。むっちゃ切れることはないんですけど、細かく怒ることはよくあるんで。時間に遅れたりとか、勝手に自分のモノを使われたとか、そういうのがカチンときますね。

――そういう時はどうするんですか？

武蔵 とりあえず、そいつのを勝手に使ったりとか、取ったりとか（笑）。

――ささやかな感じですね（笑）。

武蔵 キレてかかってきても、バッと下がってましたね（笑）。

――ちっちゃい頃から技巧派（笑）。だから、武蔵さんのもともとの性格を考えると、今みたいなファイタータイプ礼賛の時代では評価されにくいですよね。

武蔵 そうですよね（笑）。僕はファイタータイプでもないし。バンナVSハント戦みたいな闘いは絶対できないっていうか。逆にスピードとテクニックとハートで勝負だと思うんですよ。

――武蔵さんは常にそこは頑固に曲げないじゃないですか。

武蔵 そうですね。やっぱりこれしかないと思ってるんで。

――どんなにマスコミに叩かれても絶対変えないですよね。それに加えて中迫VSボブ・サップ戦でのリングに上がりかけの件と、デンプシー戦を見て、武蔵さんはこれ

どんな結果であろうと外国人に勝っていけばおのずと認めてくれると思う

でいいのかなって気がしてきたんですよ（笑）。

武蔵 う～ん。

――やっぱり技術的には日本で最高だと思うし、K―1全体でもかなり上だと思うんですよ。ただ結果が出ないのは外人との体格差が凄くデカイから。だったら、とかく勝ってくれればいいかなって思うんですよ。判定でもなんでもいいから勝ちに徹すればワールドグランプリでも優勝できる素材だと思うんですよ。

武蔵 うん！　そうですよね（笑）。だから、僕も何戦もやってきて、そんなに高い壁だって思うことはほとんどなくなってきてるんで。

――そもそも、その意識を持つまでが普通大変ですからね。

武蔵 そうです。だから、そろそろやらなきゃいけないと思うんですよ（笑）。

――ホント、そろそろって思うんですよ。で、これは僕の師匠にあたる人から言われて、そうだなって思ったんですけど、武蔵さんって試合前に「倒します」って言うでしょ。でも、最初から「判定勝ちします」って言っておけばムダに叩かれなくていいと思うんですよね。

武蔵 う～ん、はい。

――みんな面白い試合をしろとかどうのこうのって言いますけど、全部判定勝ちでもK―1GPで優勝できたら嬉しいだろって思うんですよ（笑）。

武蔵 優勝したら嬉しいですよね（笑）。

――だから、まず結果ありきだと思いますけどね。

武蔵 勝ち方にこだわることは大事かもしれないですけど、やっぱりまずは勝ちにこだわるってことからだと思ってます。

――ホントにそう思うんですよ！

武蔵 この前のアビディとランペイジの試合にしても結局、アビディの試合ってやるか、やられるかの面白い試合をするじゃないですか。この前だってそんな試合だったかもしれないですけど、結局負けないだろうって言われてる相手に負けちゃったわけじゃないですか。じゃあ、ああいう試合をしてるのはいいことなのかって言ったら、全然いいことじゃないと思うんですよ。結局、K―1ファンを裏切ってると思うんで。

――ガッカリしましたよね。

武蔵 K―1ファンはみんな勝つと思ってたと思うんですよ。だから、僕はまず勝ちにこだわって、その中で勝ち方にこだわっていきたいですね。

――「つまらなくて結構！」って言い切ってほしい気持ちもありますね（笑）。

武蔵 アハハハ！　そうですね（笑）。つまらない試合をするのはやっぱり良くないんですけど、俺流の闘いが面白いって言わせる試合をしてるつもりではあるんで、それをもっと見せていきたいですね。

――見せてほしいですね。

武蔵 素人にウケる試合って倒し合いだと思うんですよ。でも、それでは外国人には勝てないし、目指してるものに近付けないと思うんで。どんな形であろうと結果を出して外国人に勝っていけば、大差をつけていけばおのずと認めてくれると思うし。

――いっそのことジャパンGPは優勝するけども全試合判定勝ちで勝ってやるって宣言するのも面白いかもしれないですね（笑）。その流れでワールドGPも全試合判定勝ちでって繋げていって（笑）。

武蔵 まあ、トーナメントに関してはできれば倒さないとスタミナが（笑）。

――ジャパン選手相手だったら、全試合フルラウンド闘っても大丈夫でしょ（笑）。

武蔵 そうですね。ジャパン選手のレベルは上がってきてると思うんですよ。でも、勝ち方を見てもらわないと。これでドームにいけるのかっていうファンの不安を背負ってしまうような試合をしたくはないんですよ。だから、全試合KO勝ちを狙った判定勝ちで（笑）。

――ワハハハ！　いいですね（笑）。

武蔵 でも、全てのラウンドで山を作って、その回で倒せたら倒しにいきたいですね。

――ダメだったら流すと（笑）。

武蔵 デンプシー戦みたいに変に倒すっていうのだと力んじゃうんで、リラックスして闘えるように。

――だからこそ、全試合判定勝ち宣言はリラックスしますよ（笑）。

武蔵 アハハハ！　正直言って、これは単なる天狗的な過剰な考えかもしれないですけど、ホーストとか、ああいう技術でトップに君臨する選手と技術でやりあえるのは僕しかいないと思うんで。そういうものを見せていきたいですね。

――そういうものを見たいですね。

武蔵 それで世界の強豪に名を連ねたいですね。

――現時点で世界を狙える日本人は武蔵さんだけなんですよ。これまでの結果から言って。だから、武蔵さんの思うとおりに存分にやってほしいですね。最後にジャパンGPについてですが、具体的に注意する選手っていますか？

武蔵 特にはいないですね。全員外国人の強豪とやってるんでレベルは上がってると思うんで特に誰とやりたいって言うのは。誰とやりたいっていうよりは誰とやっても負けないっていう（笑）。

――その姿勢でいってください！（笑）。■

◀先日の福岡大会でのデンプシー戦でもファイトスタイルを変えなかった武蔵。何が起きるか分からない要素を含む他流試合においてもファイトスタイルを変えないのは、ある意味凄いことだ

2

ボブ・サップ戦を経験して ついに目覚めたか!?

中迫剛、いよいよ覚醒の時!!

「もっとキレて、もっとやって! 今年は暴れまくってやろうって」

これまでハートがないだとか、散々な言われ方をしてきた中迫。だが、今年に入ってハント戦、ホースト戦、ボブ・サップ戦と、良くも悪くもインパクト大の激しい闘いを経て、その意識はかなり変わった模様だ。いい感じでの開き直りが彼の中に芽生えているのである。今年の中迫は違う。たぶん違うと思う。本人いわく「温かい目で見てほしい」とのことだが、とにもかくにも今回の彼を見つめていて損はないだろう。中迫剛の意識の変化を感じてほしい。

——ということで、ジャパンGPのことをいろいろお聞きしたいわけですが、その前にボブ・サップ戦ですね。あれから時間も経ちましたけど、いま現在どういうふうに捉えてますか?

中迫　まあ、一つの経験にはなったなって思いますね。あんな経験、なかなかできないですから。

——僕はもっと怒っても良かったなって思うんですよ。

中迫　ですね。僕も結構、キレてたんですけど、もっとキレて、もっとやって。あそこまでやられたんなら、逆にこっちもあれぐらいやり返す勢いがほしかったなっていう。ただ、あれだけの人数に羽交い締めにされたら何もできないですよ(笑)。

——たしかにそうですね、5、6人で止めてましたからね(笑)。

中迫　で、知らぬ間に気持ちが落ち着いてしまって(笑)。

——そこで落ち着かないでくださいよ(笑)。でも、館長が下がれって言ってるんですからね。

中迫　そうですよね。どんなに興奮しても館長からああ言われると、収まらないとしょうがないなって言うのはありますからね。ただ、あとから考えると、あの場に上がっちゃえば喧嘩なんで。いろんな意味で経験になったと思うんですよ。

——もうとにかく怒りだしたら止まらないぐらいまでいってほしいですね。

中迫　俺を怒らしたらタチ悪いぞっていう勢いぐらいまでいかないと。

——タチ悪いんですか(笑)。

中迫　悪くないですけど(笑)。それぐらいのイメージを植え付けないとナメられるんだなって。ナメられたら終わりですね。

——なんかホントに一皮むけた感じですね。となれば、今度のジャパンでどういうものを見せてもらえるのかっていうのがが然楽しみになってきますね(笑)。

中迫　もう開き直っていこうかなって思ってるんで。日本一になるとか、そういうレベルを超越したところに目標を置いて暴れまくってやろうかなっていう。一番インパクトを残してやろうと思って。

——まあ、今年に入って中迫さんの試合って良いのも悪いのも両方ともインパクトあるんですよね(笑)。

中迫　あるんですよね(笑)。そういう意味では今年はそのままの勢いで、いいインパクトを残してジャパンGPを乗り切りたいなと。

——できればハント戦のインパクトを望みたいですね。

中迫　だから、いざとなったらイケる自分がいるんですけど、どっかで妥協しちゃう部分があるんで、そこをいかに吹っ切るかですね。

——それはもう常々言われてる部分ですよね。

中迫　そういう部分が見えるからハートがないとか言われるんですよ。

——ハートがないって失礼な話ですけど、僕も書いてますけど(笑)。

中迫　一番言われちゃいけないことですからね。でも、恵まれた環境でやっててそういう試合をしてれば、そう書かれても仕方ないとは思いますし。それにマスコミが書くことにいちいち腹を立ててたら、この職業はやってられないんで、それはもう自分の反省点としていい方向にもっていくしかないんで。

——結局、僕らがいくら叩いたところで、一試合いい試合をすれば全てがひっくり返りますからね。

あんだけボロクソに叩いていたSRSが540度変わりましたからね（笑）

中迫 そうなんですよね。いい試合をすれば変わるんだなっていうのは去年のジャパンとか、今年のマーク・ハントの試合とかで十分分かりましたから。あんだけボロクソ叩いてたSRSが540度変わりましたからね（笑）。

——ワハハハ！ そういうもんですよ（笑）。

中迫 ホント、一周半しましたから（笑）。それも見えないスピードで（笑）。それを肌で感じてるんで、それは気にしないで、自分のやることやれば周りはいいように書いてくれるし、ファンもついてくるし、いい結果も残せるって分かってるんで。それが分かったんで、それをいかに出すかっていうのが課題ですよね。

——もしかして、スネてた時代ってありました？（笑）。

中迫 スネてはいないですけど、こんな試合してたら書かれても仕方ないなって半分あきらめみたいなところがあったんで。俺は一生叩かれ続けるだろうなっていうのがあったんですけど。

——そんなバカな（笑）。

中迫 あったんですけど、もう自分次第だっていうのが分かったんで。決して武蔵にしろ、僕にしろ、根性がないわけじゃないんで。

——ないわけないですよね。

中迫 なかったら、このリングで試合できないんで。それをいかに見せるかっていうのが最近になってやっと分かってきたんで。それを今年の僕の集大成として今度のジャパンGPに出せればいいなと思いますね。

——具体的にやってみたい相手っていますか？

中迫 やっぱり、注意してるのは天田、武蔵ですね。

——天田さんはどの辺ですか？

中迫 前は手数だけだったんですけど、今はパンチ力もついてきてるんで、蹴りだけで対応しようとか、組んだら苦手だからとかいって、それだけに頼っちゃうとパンチでやられちゃうんで。

——じゃあ、パンチ勝負も考えていると。

中迫 そうですね。

——いいですね！ 昔はそういうこと考えました？

中迫 昔は相手の苦手なところを突くことばかり考えてましたね。でも、最終的には相手の得意な分野でも勝負できないと勝てないですよね。得意な部分でも五分だからこそ、他の部分が生きてくるんであって。他の部分で対抗しようとするとダメですね。逆に天田さんがいい例ですね、極端に言えば。蹴りとかができないから、自分はパンチだけでいくからって決めちゃってる部分があるんで、そういう強さもあるんで。そういう部分でも要チェックですね。

——武蔵さんは？

中迫 勝たせちゃいけないですよね、今回のトーナメントでは。なぜなら、もしニコラスが出れないとして、それで武蔵が勝ってしまえば、結局は武蔵かってことになっちゃいそうな気がするんで。この辺で一発、日本人のイメージを変えとかないとダメでしょうね。

——結局、そこですよね。外人のコメント聞いててもやっぱり日本人選手を軽く見てるのを感じられて無性に腹が立つんですよね。

中迫 そう言っていただけると嬉しいですよね。なんかもう、外国人が勝つのが当たり前だって言ってくる人ばっかりなんで。

——そうなんですか？ だって日本選手が負けると「チキショウ！」って思いますよ。みんな腹の底ではそう思ってると思いますよ。だから、頑張ってほしいんですよ。

中迫 いや、頑張りますよ、ホントに。

——じゃあ、期待してよろしいですか？

中迫 期待してください！ でもね、期待されると僕、ダメになるんで。

——ワハハハ！ じゃあ、どうしたらいいんですか（笑）。

中迫 温かく見てください（笑）。なんかやってくれるんじゃないかなって感じで見てくれるとか、逆にダメだなってぐらいで見てくれると期待を裏切るんで（笑）。

——そのぐらいで（笑）。ただ、武蔵さんとは妙に手が合うところってあるじゃないですか。

中迫 だから、お互いに普段からスパーしてるんで、ホントに分かってるんですよね、手の内が。やりにくいですよ、ホントの意味でやりにくいんですよ。だから、いかにこの2カ月で知らない部分を溜めとくかですね。

——だけど、単純に蹴って殴るっていう二つのことしかないじゃないですか。その中からさらにバリエーションを増やすとかって難しくないですか？

中迫 いや、なんぼでもありますよ。奥深いですよ。いかにハイキックを蹴るかって考えただけでも何十通りって出てくるわけじゃないですか。だから、まだまだ自分の中でも、もっともっと強くなれると思うんで。

——あと2カ月でも？

中迫 まだ2カ月あるんで、十分に磨ける時間はあると思います。

——分かりました。秘かに期待させていただきます（笑）。■

◀6・2の対ボブ・サップ戦ではサップの暴走を受け止めきれなかったことを反省する中迫。リング上では結局やったもん勝ちなのだ。その残酷な現実を目の当たりにした男がどう成長したかが見たい

3

期待度無限大！

ジャパンの起爆剤となれ!! 負けん気の塊、富平辰文!!!

負けん気で試合する富平辰文。彼の試合は常にやるか、やられるかのスリリングさが売り物だ。だが、前回の草津戦ではその負けん気が不発。本人としても不満なようだが、今度のジャパンGPでその思いを晴らせばいいだけ。それだけではない。インタビューをしてみると、ジャパンGPはこの男に注目してほしい！ 富平の腹のうちにはいろんな思いが溜まっていてもう爆発寸前。

「クソ！ 僕らがいい試合をしないから日本人選手が応援されないんです！」

——正道会館夏合宿の宴会途中での取材なんですが、もう酔いはさめてます？

富平 いや、もう大丈夫です（笑）。

——では、さっそく。この前の草津戦は面白かったですね、途中まで（笑）。

富平 はぁ、SRSさんにも書かれたんですけど、勝つことに精一杯になっちゃって。途中から勝ちに……。

——1R、2Rとは互いに感情がムキ出しになって良かったんですけどね。

富平 逆にヤバイ、ヤバイ、抑えなきゃって思ったんですよ。

——抑えないでいってほしかったですね。

富平 いやぁ、僕の中では一回ノブ選手に逆転KO負けしてるっていうのがあって。あの時、ポイントでは勝ってたと思うんですけど、倒しにいこうとか、もっと明確な差をつけてやろうとか、っていう色気が出ちゃったんで。

——でも、それは悪くないですよ。

富平 それで、なおかつ、いい加減になっちゃって（笑）。

——なんでですか（笑）。

富平 あれは試合の最中、賞金のことを考えちゃったんですよぉ。「これに勝ったらベスト4か、しかも次のニコラスはさっき腹でダウンしてるから弱ってるな。あれ？ これは決勝にいけるんじゃないか！」って。

——そんなことを試合中に考えてたんですか（笑）。

富平 インターバル中に（笑）。

——バカですねぇ（笑）。

富平 ホントにバカです、それであのざまですから（笑）。あそこで僕は予定が狂ったっていうのがかなりあるんで。あのあとケガとかして試合にも出れなくて。今でも夢とかに出ますからね。

——トラウマになってるんですか（笑）。

富平 トラウマですねぇ。だからこの間の草津選手との試合は、正直なところ勝てなかったら辞めようかなって思ってたんで。っていうか、彼に勝てなかったらしょうがないっていうか、ある意味。

——上を狙うにはね。

富平 上を狙う以上、あそこで負けちゃったらもう先がないんで、石にかじりついてでも勝ちたいって気持ちがホント強くて。それが結果的にマイナス作用で面白くない試合になっちゃったっていう。

——だけど、そう思って結果を残したのなら、それはそれでいいと思いますけど。

富平 いやぁ、良くないですよ。勝ち負けは大事ですけど、やっぱりお客さんにどれだけ残せるかだと思うんで。

——例えば、レイ・セフォーとかは面白い試合して勝ってますけど、ああいう試合はどうですか。

富平 いや、セフォーは足が痛いとか言って棄権するパターンもありますよ。そこがまた日本人と外人の価値観の差なんでしょうね。痛くても痛くないって言うのが日本人の美学みたいところってあるじゃないですか。そういうのがもの凄く誇りに思える部分だし、やっぱり日本が強くありたいですからね。

——そうなんですよ。日本が強くあってほしいんですよね。だから、ボブ・サップVS中迫戦みたいなのっていうのも素の感情として腹が立つんですよね。

富平 もの凄い腹が立ちますね。基本的には舐められてるってことなんで。アレにはなんていうか、あの僕……外人嫌いなんですよぉ。

——外人が嫌い（笑）。

富平 アメリカ人の友達でいいヤツ、いますけど、基本的に嫌いな種族なんで。僕らは、僕らっていうか、僕は戦争とか

野地君にはひがみ根性ムキ出しで。ノブ選手にはもう一回。あれはもう悔しくって！　もうホントに！

知らないですけど、負けちゃってるんで何も言えないですけど（笑）。

——ワハハハ！　戦後はまだ終わってない（笑）。

富平　だから、やってて一番思うのは試合で勝てない僕らが一番悪いんですけど……、やばいな酔っぱらってるな（笑）。

——いやいや面白いですよ（笑）。

富平　う〜ん、外人嫌いなんですよ（笑）。変に外人の真似する日本人とかも嫌いだし。日本にはいい文化がいっぱいあるじゃないですか。なのに変に向こうに合わせて。だから、戦争で負けた分頑張りたい……。何を言ってるんだ、俺は（笑）。

——ワハハハ！　まあ、まあ、だけど、戦争に負けた劣等感ってどっかでまだ残ってると思いますよ、日本人には。

富平　残ってると思うんですよ。だから、その分頑張りたいんですよぉ。まあ、だから、僕は国のために闘ってますよ。

——僕自身、ジャパンの選手って日本の代表だと思ってますから。

富平　だから、僕らの試合が不甲斐なかったりすると、腹が立つじゃないですか。それは分かるんですよ。僕らはみんなの代表であるって意識は常に持ってないといけないし。だからね、昔から外人に勝ちたいって言ってるんですけど、外人嫌いだとは言ってないんですけど（笑）。とにかく、元々肉体的に劣ってる部分もあるし、東洋人ってことでバカにされる部分もあるし。しかも、僕らもちょっと引いちゃってるところがあるんですよ、話かけられた時とか。日本語言う時もちょっとイントネーションを変えたりとか。オオサカァとか言ったり（笑）。

——その時点で負けてますね（笑）。

富平　なんのために試合をしてるかって言ったら、僕は余裕を持ちたいんですよ、心に。で、強かったら余裕が持てると思うんですよね。だから、僕が外人と余裕を持って話すには強くなりたい（笑）。

——ワハハハ！　外人と話すため？（笑）。

富平　余裕を持って話せるようになるために。だから外人に勝ちたい（笑）。

——異文化コミュニケーションがしたい（笑）。

富平　グローバルスタンダードを目指したい（笑）。

——面白いなぁ（笑）。

富平　実はグローバルスタンダードって言葉も嫌いで（笑）。

——腐った言葉ですよね（笑）。

富平　いいじゃねえか、日本人でって。私は地球人みたいなことを言うヤツ、大嫌いなんで。だから、僕はもうK—1を見に来て「レ〜イ！」とか言ってるヤツは大嫌い。

——日本人を応援しろよと（笑）。

富平　そう。俺とは言わないけど、日本人を応援しろよって（笑）。だけど、それは僕らが悪いんですよ。僕らがいい試合をしないから。それはもちろん分かってるんですよ。だから、それが嫌いというよりは、それができない自分たちの不甲斐なさを言ってるわけなんですよ。だけど、この話は今度のジャパンGPには全然関係ないんですけど（笑）。

——いやいや、大いに関係ありますよ（笑）。僕らが日本代表選手にどっか物足りなさを感じるのは、そういう意識が希薄なのかなって感じがするんで。

富平　それはないと思いますけど。基本はやっぱりみんなそうだと思うんですよ。

——だから、これは日本の代表を決めるんだ、世界に向かっていくんだっていう意地を見たいですよね。

富平　そうですね。それに去年はとんでもないことにニコラスが代表で、外人さんが代表になっちゃって。ホントに、あれは……。GPではニコラスを応援してましたけど、やっぱ心の中ではみんな引っかかる部分はあったと思うんで。

——今回はたぶんニコラスはケガで出られないとは思うんですが、具体的には誰と闘いたいっていうのはありますか？

富平　ノブ選手とはもう一回やりたいですね。あとは野地君。武蔵さんにも負けてるんで武蔵さんにも勝ちたいし、中迫さんも最近強いし、大石さんも……。

——みんなじゃないですか（笑）。1回戦は誰とやりたいですか。

富平　やっぱり優勝したいんで、経験が少ない野地君を選ぶかもしれないですね。僕は野地くんに負ける気もないし。本音を言えば、僕の場合はK—1に出るために極真を破門になるしかなかったんで、そういうひがみがあるんで（笑）。だから、そういうひがみ根性がムキ出しになると思うんで（笑）。

——それはいいですね（笑）。

富平　だけど、やっぱりノブ選手は選びたいですね。あれを払拭しないと。できたらやりたいですね。あれは結構、ホントに……、もうホントに！

——しかも外人かぶれだし（笑）。

富平　そう！　僕の感覚から言ったらオランダに行くなんか考えられないですよ、ホントに。オランダに行って外人に勝ったところで、それはもう日本産じゃなくなっちゃうじゃないですか。ノブ選手の実力は認めますけど、オランダに行って強くなったかもしれないけど、僕は日本って国にこだわりたいし。

——その話を聞いてるとホントに優勝してほしいですね（笑）。

富平　はい。優勝します！　■

▼昨年、8・19ノブ・ハヤシと対戦した富平は試合中のほとんどを優勢に進め、わずか残り10秒というところで逆転KO負けを喫した。あまりにも悔しいこの負けを今回、ぜひとも払拭してほしい

4

もしかしてジャパンの秘密兵器か!?
拳のパンチ力も言葉のパンチ力もド迫力！

ジャパン随一の楽天家、天田ヒロミのポジティブシンキング!!

「ボブ・サップVS中迫戦ですか？
特に感想はないです。
勝負したのは僕じゃないし（笑）」

まさに各人各様。ボブ・サップVS中迫戦についてはマスコミも関係者の間でもいろいろと物議をかもしたはずだった。だが、この天田ヒロミだけはどこ吹く風。堂々と我が道を行く姿勢に、非常に感動を覚えたものである。もしかしてもの凄く強い人なのか？ よく分からないけど、期待して見ていたい男だ。

――忙しいところ、すいません。

天田 はい。ただ、ホントに時間がないんで15分ぐらいでも大丈夫ですか？

――いえ、こちらのほうこそ、無理言ってますんで、もう。では、時間もないので、まず、今回のジャパンGPの意気込みからお願いします。

天田 そうですね、そうですね。今回は絶対優勝しなくちゃいけないなっていうふうには思ってますね。

――もちろん勝たなきゃいけないと思いますが、誰を警戒しますか？

天田 やっぱり武蔵ですね。今のところ武蔵ですかね。

――どの辺りを警戒しますか？

天田 どの辺りと言われても難しいんですが、まあ、避けるのがうまいんで、うまくパンチを当てていかないとまずいかなぁと。

――他の出場選手に聞くと、武蔵さんの場合は勝たせちゃいけない人だって言うんですね。

天田 ま、そうですね。いつまでも武蔵じゃないんで。

――特に、昨年のGPでニコラスさんが優勝したということで、まあ、今回はたぶんニコラスさんがケガで出られないと思うんで、余計に武蔵さんに勝たせるわけにはいかないというようなことなんですね。

天田 まあ、僕の代理で出たようなものなんで（笑）。

――ん？ どういうことですか。

天田 僕が欠場したからニコラスが出れたようなものなんで、ニコラスは僕の代理ですね（笑）。

――ああ、まあ、そういう言い方もできますね（笑）。あと、中迫さんが今年の要注意人物として天田さんの名前を挙げてるんですよ。

天田 はい。

――中迫さんは「前のパンチは手数だけだったんですけど、今はパンチ力もついてきてるんで」っていうふうに発言してるんですよ。

天田 そうですね、そうですね。ま、今年、パンチは手数よりも一発で倒せるパンチをずっと練習してたんで。それが今やっと形になってきてるんで。だから、今、当たれば倒せる自信は結構あるんで。今までテクニックにこだわっていたんですけど、力強さに変えたっていうか。ヘビー級の舞台になったら、小細工なんか

ボブ・サップ？デカイなぁって思いましたけれど

通用しないなって思って。

――じゃあ、練習方法も変えたというわけですね。

天田　そうですね。

――どんなふうに変えたんですか？

天田　いや、それを言ったらみんなにバレちゃうんで（笑）。それはなんとも言えないですけど（笑）。

――ボクシングジムに通ってるっていうのと関係あるんですか？

天田　まあ、今ボクシングの勉強をいっぱいしてます。ただ、ボクシングに対する考え方が今まで甘かったんで。

――甘かった？

天田　っていうのも、ミドル級のまんまのボクシングをしようとしてたんですよ。そこは間違ってたなっていうのに気付いたんで。

――ところがですね、そんなパンチ力が上がってる天田さんに対して、中迫さんはパンチ勝負も仕掛けていきたいと言ってるんですよ。どうですか、この発言については。

天田　いや、いいですよ、それは（笑）。パンチ勝負を仕掛けてくれれば僕のほうも凄く楽なんで（笑）。

――そうなったら完全に天田さんの舞台ですもんね。ただ、パンチ力だけに頼ってるモロさってあるのかなって思うんですよ。

天田　ああ……。ま、でも、大丈夫ですよ！（笑）。だって、KOは蹴りよりパンチのほうが多いですからね。

――ポジティブですね（笑）。じゃあ、蹴りは一切捨ててるって感じでいくんですか？

天田　う～ん、今のところはそう言っとかないと。ほら、作戦がもしかしたら変わってるかもしれないんで言えないじゃないですか（笑）。

――そうですね（笑）。だから、このインビューも作戦の一部だと思ってください（笑）。

天田　そうですね。だから、僕はもう蹴りは使わないです（笑）。

――徹底してますね（笑）。

天田　僕はもう職人ですから（笑）。

――それから、最後の質問なんですけど、今回、ボブ・サップVS中迫戦のことを皆さんに聞いてるんですけど、あの試合を見た感想を教えてください。

天田　うん、デカイなぁって思いましたけれど。

――まあ、たしかにデカイですね（笑）。

天田　デカイし、1R目をまともにやったらちょっとヤバイなって思いますけど、2R以降になったらたぶんスタミナが持たないなと。僕が勝負するんだったら、1Rじゃなくて2R目から行きますね（笑）。

――分かりました（笑）。え～と、では、試合後に関してはどうですか。試合後っていうか、あの試合内容については。

天田　ま、そうですね。ま、しょうがないんじゃないですか。

――ワハハハ！　しょうがない（笑）。

天田　しょうがないでしょ。あれしかできないわけですから。

――当然、怒りはあると思うんですけど、その辺の感情の部分ではどうですか。

天田　いや、べつに特にないです。

――特にない（笑）。ずいぶんさっぱりしてますね。

天田　いやぁ、べつに特にあれってものは感じなかったんで。はい。

――それはまたなぜですか（笑）。

天田　なぜと言われても？

――だって、部外者の僕が見てても腹が立つ部分があったんですよ（笑）。

天田　あ、まあ、K―1をバカにされたっていう部分はありますけれど、それ以外はあんまり関係ないですね。要はだから正当なルールだったら勝てるわけないからああしたんだなっていうだけですからね。

――また、随分ドライですね（笑）。

天田　はい（笑）。

――わりとカラッとした性格というか、ものにはこだわらないタチですか？

天田　そうですね。あんまりこだわらないですね（笑）。勝負したのは僕じゃないし（笑）。

――ワハハハ！

天田　それが一番大きなところですね（笑）。自分がやられたら怒るでしょうけど。

――面白い人ですね（笑）。それでは最後にジャパンGPを見る人たちに向けて何かメッセージをお願いします。

天田　ま、とりあえず、応援よろしくっていう。ま、当たり前の答えになっちゃいますね。

――いやぁ、つくづくジャパン勢は各人各様なのが分かりました。面白いですね（笑）。

天田　そうですか（笑）。

――はい。これからもよろしくお願いします（笑）。

天田　はい。お願いします（笑）。■

◀今年に入ってレネ・ローゼ、バンナと対戦した天田。ローゼは1RKO勝ち、バンナには1RKO負けと派手な試合をしている。パンチ一本に絞ったその闘いはハイリスク、ハイリターンということか

正道会館の夏合宿に、なんと400名集まる

武蔵、中迫、子安、富平らが集結 正道新体制が本格的に始動！

壮観！

▲400名の門下生が夏合宿に集まる空手団体なんて、そうザラにない。まさに壮観！

◀石井館長は盲腸の手術1週間で、抜糸もしないまま合宿に参加した

▲武蔵、富平、中迫らも子供たちに交じって早朝稽古。やはり、空手衣姿はいい！

子安キック！

▶恒例のスイカ割り。なんと、子安は子安キックで見事に割った！

▲最近、現役復帰まで噂される金泰泳も、サラリーマンを辞めて、正道会館一本の生活に

▲石井館長の号令で基本稽古。多忙を極める館長の稽古が直接受けられる貴重な時間だ

7月20～21日、愛知県蒲郡の三谷海岸で、正道会館恒例の夏合宿が行われた。参加した門下生はなんと400名！　この人数は日本の空手界の中でも、最も多い部類に入るだろう。そういえば、今年になって正道会館は新体制を発表している。石井館長を中心に、中本直樹本部長が館長代行を務め、中川敬介、後川聡之が副館長に就任。金泰泳は正道会館に復帰し、館長付に。そして、最高師範に角田信朗が任命された。〝常勝・正道〟の時代の若武者たちが、それぞれ組織の役職に就いたというわけだ。それでいて、K-1ジャパンでは武蔵や中迫らが、正道空手のほうでは子安、沢田、安廣らが選手の中核として支えはじめている。明らかに正道も、新時代を確実に築いていると言えよう。K-1では世界に勝てる日本人の育成、空手では極真をも破る選手育成をテーマに、新・正道が本格的に始動した！■

ダイナマ～～イッ！

◀初日、夜の宴会のあとは海岸で花火大会。武蔵「Dynamite！」と絶叫？

▶正道会館の中でも一番見ていて面白いのが、石井館長－角田最高師範の師弟愛だ！

▲400名で豪快に食事会。もう朝メシも昼のカレーライスもうまいこと、うまいこと

思い出の両国国技館の前で仕切る姿はさすがに様になっている

相撲最強説を実証するためにバーリ・トゥードに足を踏み入れた男

柔圭よ、全ての格闘家を寄り倒せ！

プロデビューとなった7・20『THE BEST』では、あのジョー・サンを投げでレフェリーストップに追い込んだ

祝 ジョー・サン戦勝利記念

柔圭×小松魔裟夫 四つ相撲対談

7・20『THE BEST』ディファ有明大会で、デビューした謎の格闘家柔圭。その正体は、かつては井筒部屋に所属していた三段目の力士だ。力士時代には寺尾の付き人を務めていたこともあって、現在も公私ともに可愛がられているという。しかし、その格闘技歴はとても興味を引くものがある。そこで、学生相撲くずれの小松魔裟夫が、ジョー・サン戦勝利を祝福しがてら、その正体を暴きに行った。

撮影◎乾晋也

意技下手投げ！　寺尾関のＴシャツが素敵だ

▲柔圭の徊

うちの親父が人を刺そうとするのを何回も見たことがありますよ（笑）

小松 さっき、撮影の時にも言ったんですけど、僕は学生時代に相撲をやっていたんですよ。そんなわけで、相撲出身の人が格闘技の大会に出ると、本当に嬉しいんですよね。

柔圭 そうですか（笑）。

小松 相撲の世界に入られたきっかけはなんだったんですか？

柔圭 先代の井筒親方（鶴ヶ嶺、逆鉾と寺尾の父親）の先輩にあたる力士の方がいらっしゃったんですけど、その先輩とうちの父親が田舎が一緒だということで仲が良かったんですよ。それで父親が、話を付けまして、私はそんなに相撲は好きじゃなかったんですけど。その当時、高校へ通っていたんですけど、ちょうど学校で試験を受けている時に、至急家に帰って来いと（笑）。で、何事かと思って家に帰ったら、親方が家に来ていたんですよ。それで、その日に連れて行かれちゃったんですよ（笑）。

小松 その日のうちにですか？（笑）。

柔圭 その日のうちに連れて行かれたんですよ、わけも分からずに（笑）。その時体重が68キロぐらいだったもんですから、先生とかがみんな反対したんですけど、父親が子供の頃から相撲部屋に入れるって決めてたみたいで、そのまま（笑）。

小松 それは厳しいですね（笑）。

柔圭 ヒマさえあれば、学校を休ませて相撲の巡業に連れて行かれていたんですよ（笑）。

小松 じゃあ、小さい頃からずっと相撲には親しまされていたというか。

柔圭 はい。実際は好きではなかったですよ、まわしをするのが恥ずかしくて。

小松 プロフィールを見たんですけど、凄いじゃないですか、格闘技歴が。相撲から、柔道、柔術、空手、戦陣組討（せんじんくみうち）と。しかも、段とかも凄いじゃないですか。一番最初に始めた格闘技っていうのはなんだったんですか？

柔圭 あのですね、うちの父親が自衛隊にいた関係で、そういうのを全部やってたんですよ。だから、物心ついた頃には柔道衣を着ていたという。で、小学校5年生ぐらいの時から、本格的に父親から空手を習い始めたんです。それとあとは、棒術だったりとかですね。

小松 あ、棒術まで！ お父さんは自衛隊にいたということなんですけども、いったい何者なんですか？

柔圭 陸上自衛隊のほうに6年か7年ぐらい、いたんでしょうかね、気が短いもんですから、上司を叩いたかなんかで、辞めてしまったらしくて（笑）。

小松 お父さんは気が短い方なんですか？

柔圭 種子島出身なんもんですから、異常に気が短くてですね。

小松 種子島の人は気が短いんですか？（笑）。

柔圭 あそこはケンカ祭りって、ケンカの時にみんな包丁を持ってやるぐらい気が短いんですよ。

小松 ワハハハハ、本当ですか？

柔圭 うちの親父が人を刺そうとするのを何回も見たことがありますよ（笑）。

小松 エエッ!?

柔圭 それぐらいおかしいっていうか（笑）。気が短い人は、異常に気が短いですよ。

小松 お父さんは、その時自衛隊を辞めて何をやってらしたんですか？

柔圭 トラックの運転手をやっていたんですけど、家にいるとスパルタ教育とでも言うんですかね、しごかれてましたね。近所でも有名な変わり者の親子みたいな感じで。鹿児島ってなんでもそうなんですけど、変わり者が多いんですよ。

▲夕暮れ時の国技館を前にして一番。柔圭は力士時代、突っ張りは得意ではなかったと言うが……

小松 そうなんですか？（笑）。鹿児島県の人に失礼ですよ。

柔圭 子供よりも親が熱心になって。子供が負けると、監督が見てようが平気で叩くという。

小松 お父さんは相撲がお好きだったんですか？

柔圭 自分がなりたかったんですよ。でも、身長と体重が足りなくてなれなかったらしいんですよ。それを息子に託すみたいな（笑）。

小松 ところで、柔圭さんの経歴の中で一番気になる戦陣組討っていうのは、いつ頃から始められたんですか？

柔圭 中学校1年の終わりぐらいですね。ちょうど引っ越したんですよ。引っ越しした先で、戦陣組討の先生みたいな人に教わったんですよ。

小松 引っ越しした先っていうのは、やっぱり同じ鹿児島県なんですか？

柔圭 そうです。で、最初の中学校の柔道部の先生が強かろうが弱かろうが、3年生を試合に出すという先生だったんですよ。そうしたら、私は1年生の時から部の中で一番強かったんですよ。で、違う学校の同級生は強いと試合に出ているわけですよ。それが悔しかったらしくて。私自身は柔道があまり好きじゃなかったんで、出られないなら出られないでいいと思っていたら、そのことで父親と先生がケンカになっちゃったんですよ。

小松 なりそうですよね（笑）。

柔圭 先生に内緒で昇段試験まで受けさせて（笑）。それがある日ばれてしまって、ちょっとおかしい父親なもんですから。それで引っ越しするはめになってしまったんですよ。

小松 引っ越しする理由まで格闘技がらみだったんですか（笑）。

寺尾さんのことは、最初の2年ぐらいは好きじゃなかったですけどね

▼現役時代の柔圭。最高位は三段目で、序二段の時に全勝した経験もある

柔圭　そこの中学校の先生も厳しい先生だったんですけど、一度も叩かれたことがないんですよ。先生が叩く前にうちの親父が私をめった打ちにするもんですから、先生も手が出せない（笑）。

小松　ワハハハハ。本当に凄いお父さんだ。

柔圭　だから、試合で負けたりすると、先生が「こっちに来い、絶対に動くなよ。親父さんが下で待っているから」って言うんだけど、うちの親父がススッとやって来て、捕まえたと思ったらボコボコボコって。

小松　うわぁ～、キツイですね（笑）。で、話は戻るんですけど、その時に戦陣組討に出会ったんですね。

柔圭　そうですね。その頃のうちの父親の口癖が、「おまえが大人になる頃にはもう一度戦争があるぞ」だったんですよ（笑）。自衛隊の時に幹部の人たちが、そういう話をしてたらしいんですよね。でも、子供ながらにそういうもんなのかなぁって。で、戦陣組討はピストルの使い方だったりとか、ナイフの扱い方とか、傭兵の技術だったもんですから、学んでおくべきなのかなって感じだったんです。

小松　戦陣組討というのは傭兵の技術なんですか。そもそもどういう格闘技なんですか？

柔圭　あのですね、相撲の源流をそのままの形で残しているようなものですね。骨法とかありますよね？　そういう部類なんですよ。そこから例えば殴ったり、蹴ったりっていうのを外して相撲ができたように、それを何もなくさずにそのまま引き継がれたものなんですよ。

小松　相撲の源流ですか！

柔圭　そうですね、昔の相撲みたいな感じですね。

小松　鹿児島に道場があったんですか？

柔圭　戦陣組討には道場っていうものが存在していなくて、傭兵を職業としている人たちがやっているんですよ。だから、自分たちが鍛えるためにやっているだけなんです。で、自分が家の近くの公園で空手の練習をしていたら、それが先生に気に入られて、親父に内緒で練習していたんですよ。で、はまり込んだら面白くてですね、それが。それがあまりにも面白かったんで、相撲部屋に入れられた時は、悲しかったですね（笑）。

小松　でも、そんなのを習っていたら、子供の頃は誰とケンカしても負けなかったんじゃないですか？

柔圭　負けなかったですね。小学校1年の時に、ケンカみたいな感じになったんですよ。そうしたら、相手がほうきを口の中に入れてきたんですよ。それで泣いて帰ったら、うちの父親にやり返してこいって言われたので、次の日、ほうきを持って、逆に相手の口の中に突っ込んでやって勝って、それ以来負けていませんね。子供ながらに目には目をじゃないですけど、方法なんか構ってられないんだなぁって思いましたね。なんせ、父親は頭に来たら鉄パイプで殴る人でしたからね（笑）。

小松　つくづく、凄いお父さんですね（笑）。

柔圭　22歳の時に、父親と相撲を取って、投げ飛ばしたんですよ。嬉しかったですね（笑）。子供の頃はどうやっても勝てなかったですからね。

小松　でも、その頃は現役のお相撲さんでしょう？

柔圭　そうです、そうです。周りで見ていた人たちはひどい息子だって思ったでしょうけど、長年の恨みじゃないですけど、投げ飛ばして宙に舞わせた時は嬉しかったですね（笑）。今は子供のためを思ってしてたって分かるんですけど、子供の頃は憎くて憎くてしょうがなかったですね。

小松　で、その相撲時代の話なんですけど、入門した当時から寺尾さんとは仲が

まさに武芸百般！　柔圭プロフィール

柔圭（じゅうけい）：1968年6月24日生まれ、鹿児島県出身。183センチ、84キロ。かつては井筒部屋に所属していた力士。最高位は三段目で、力士時代の四股名は鶴掌豊（かくしょうほう）。突っ張り相撲の寺尾関の付き人を長く務めた。幼い頃より父親の格闘技英才教育により相撲の他にも、空手三段、柔術三段、棒術三段、柔道二段（1999年大阪国際年齢別柔道大会優勝）、戦陣組討教士三段（1997年世界戦陣組討体重別ブラジル大会優勝）と、様々な格闘技に精通している。7・20『THE BEST』でプロデビュー。今後は、『プライド』への参戦も見据えている。

▶体質的になかなか太れず、最高でも78キロまでにしかなれなかった

アルティメットの大会に2回応募したんですけど、連絡もなんも来なかったんですよ(笑)

良かったんですか？

柔圭　相撲部屋に初めて連れて行かれた時に、部屋の隅っこに座っていたら、色の黒い相撲取りがやってきて、「おまえはタコ八郎に似ているな」って言われて、こいつ誰だろうなって思っていたら、後で聞いたら、寺尾さんだったんですよ（笑）。本当に、最初の2年ぐらいは好きじゃなかったですけどね。初めて付き人になった時に、「ああ、いい人だなぁ」って分かったんですよ。それまでは悪いイメージしかなかったもんで。

小松　親方の息子だし（笑）。付き人もやっていたんですよね？

柔圭　本当にですね、あの人だけには足を向けて寝られないですね。

小松　それほど感謝していると。

柔圭　後輩の面倒見がいいんですよ。でも、気性が激しいもんですから、嫌いな人は嫌いだと思いますよ。また、あの人目が悪いもんですから、メガネを外したら、にらんでいるような目になるんですよ。だから、ちょっと損するタイプですよね。で、人見知りするもんですから、なかなか人と打ち解けないんですけど、打ち解けるともの凄くいい人なんですよ。

小松　そんなに気性が激しいんですか？

柔圭　気性はもの凄い激しいですね。これは4・5年前に初めて聞いたんですけど、場所中に負けると突然部屋からいなくなっちゃうんですよ。それが凄い不思議だったんですけど、1人でタクシーに乗って海に行っちゃうらしいんですよ。知り合いの運転手さんに待っててもらって、ジーッと1人で考え事するらしいんですよ。そこまで、負けず嫌いが激しいから、あの人は今でも現役を続けているんだなって。本人も言っているんですけど、負けての悔しさがなくなったら辞めようって。

小松　それで十両に陥落しても現役にこだわっているんですね。

柔圭　今でも練習を見ていると頭が下がるというか。若い人以上に練習していますもんね。自分はあんまり練習しなかったんですけど（笑）。

小松　それで、6年半で相撲はやめられたんですよね。横綱になりたいとかって考えたことはなかったんですか？

柔圭　こんなこと言っちゃうと怒られちゃいますけど、6年半刑務所に入っていたって感じで。昨日もそのことで、寺尾さんに怒られたんですけど。今日で辞めるっていう断髪式の時に、パーティーを催してくれたんですけど、やめる嬉しさで泣いてしまって（笑）。

小松　そんなに嫌だったのか（笑）。相撲やめてからは何をやってたんですか？

柔圭　ボクシングジムに通ったり、趣味みたいに格闘技をやっていたんですよ。それで、29歳の時に、戦陣組討の世界大会があって、そこで優勝したんですよ。

小松　なんでも有りをやりたいっていうのは、相撲時代からあったんですか？

柔圭　そうですね、というよりも子供の頃からずっとやっていたんで。19歳の時に初めて戦陣組討の試合に出て、29歳の時にも出て、その間、アルティメットの大会に2回応募したんですよ。

小松　え？　本当ですか？

柔圭　でも、戦陣組討っていうのが全然メジャーじゃないんで、全然相手にされないで、連絡もなんも来なかったんですよ。寺尾さんの知り合いが手続きしてくれたんですけどね。その後、寺尾さんに呼ばれて再び上京したんですけど、東京に出てきて4年目の寺尾さんの誕生日の時に、寺尾さんが髙田さんに「こいつが出られる大会ないかな」って話をしてくれたら、トントン拍子で話が決まって。それが今回の『THE　BEST』だったんですよ。

小松　寺尾さんと髙田さんって仲がいいですもんね。『THE　BEST』に出た時は緊張しました？

柔圭　私は気が小さいんですよ。観覧車に乗ると足が震えるくらい、気が弱いんですよ。でも、試合は3つの頃からやっているせいか、緊張しないんですよね。

小松　あと、寺尾道場の由来はなんですか？

柔圭　どっかの道場に入っているわけじゃないし、かといって、フリーっていうのもおかしいし、寺尾さんから「なんか、道場名考えろよ」っていう話があったんですよ。それで、「髙田道場があるから、寺尾道場なんていいですよね」って言ったら、それがまた字画がいいんですよ。で、そのまま使っちゃおうってことになって。寺尾さんも格闘技の道場を持ちたいらしいんですよね。ただ、いろんなことがあって、難しいらしいんですけど。昔、ちらっと聞いたんですけど、ボクサーになりたかったらしいですね。

小松　寺尾さんなら何やってもできそうですもんね。

柔圭　NHKでパンチの重さを測ったら、マイク・タイソンが960キロぐらいで、寺尾さんが1トンだったんですよ。武蔵丸関が1・2トンで、ぶちかましが2・5トンだったんです（笑）。タイソンのパンチより強い衝撃を朝稽古で顔で受けるわけじゃないですか。我ながら、恐ろしい世界にいたんだと思って（笑）。

小松　いや、絶対にお相撲さんがバーリ・トゥードに出てきたら強いですよ。

柔圭　そうですよね。年末に元孝乃富士の安田さんが勝った時は、嬉しくて、涙流しながら、寺尾さんと万歳しましたよ。お相撲さんはみんな見ていたらしいんですよ。でも、相手のバンナが寺尾さんの大ファンだってことが分かって、それまでボロクソに言っていたのに、いいヤツだって言っていましたね（笑）。

小松　コロッと変わりましたか（笑）。

柔圭　バンナはフランス巡業で寺尾さんのファンになったらしいですよ。

小松　寺尾さんの相撲は、バンナが好きになりそうですもんね。今後は『プライド』にも上がりたいという希望はあるんですか？

柔圭　そうですね。シウバ選手とかヘンダーソン選手と対戦したいんですよ。

小松　シウバVS柔圭はいいカードですね（笑）。『プライド』でも、相撲の素晴らしさをアピールしてください。■

▲対談は両国国技館近くの『ちゃんこ道場』にて行った。ちゃんこ番はあまりやらなかったという柔圭だが、手つきは手慣れていた

禅道会・百瀬との再戦、
戦慄のKO葬で雪辱
やっぱり近藤は怪物だった！

本当のリベンジはこれからだ!!

こんなフィニッシュ見たことあるか!?

タックルを切ったままのパンチ連打で

相手の心を折る

前代未聞のフィニッシュシーン。コーナーを背にタックルをガブった近藤は、その形のままコツコツと百瀬の顔面を殴っていく

★DAY TIME第8試合・メインイベント/ライトヘビー級5分3R

○近藤有己（2R3分51秒、タップアウト）百瀬善規●

〈パンクラスism〉　〈禅道会〉

※グラウンドでのパンチ連打

◀数え切れないくらいのパンチを浴び、そのまま百瀬は沈没！　最後はタップして近藤の勝利となった

最初は、まったくフィニッシュの予感なんてなかった。

2Rのことだ。百瀬が正面からタックル。近藤が切り、コーナーを背にした状態でガブる。そしてコツコツとパンチ。

どっからどう見ても〝途中〟の攻防だった。普通なら、この後で百瀬がさらに押すか、引くかしてテイクダウンするとか、立ち上がって差し合いの展開になるとかするもの。近藤のパンチだって、次の局面を少しでも有利に運ぶための〝嫌がらせ〟のはず。

しかし。近藤が何十発とパンチを打っていくうちに、状況が変わってきた。パンチの回転が速くなり、リングサイドにベチッとかグシャッという音が響く。まるでマウントパンチなみだ。百瀬は鼻から大量出血している。そして……。

百瀬はグッタリとマットにつっぷしてしまった。タップアウト。近藤勝利。しかし、なんでこんなことが可能なんだろうか？

「ただ殴るんじゃなく、効く所を狙って打っているんで。嫌がらせではないですね。気持ちを折るような感じで」（近藤）

あんな体勢から、効かせるパンチを打てるもんなのか？　いや、実際できたのだ、それを狙ってやってしまったのだ。

もう一つの疑問は、なぜ百瀬がタックルを切られたまま固まってしまったのか、ということだ。どうして次の展開へ持っていこうとしなかったのか。それについては、近藤と2度闘ったグラバカの石川英司が教えてくれた。

「近藤選手は（パンチを）当てるのが異常にうまいんですよ。しか

PANCRASE HYBRID WRESTLING

PANCRASE 2002 SPIRIT TOUR DAY&NIGHT

7月28日★後楽園ホール

菊田はノゲイラ戦、美濃輪は田村戦へ そして近藤、キミは何をやりたい？

近藤のコメント

「相手の好きにさせないようにしました。前回より粘りが出てきましたね。落ち着いてできました。全体を見るような感じで。（最後は）ただ殴るんじゃなく、効く所を狙って。気持ちを折るような感じで。（今後は）なんでもかんでも出たいです。ＵＦＣも『プライド』も。パンクラスもそろそろタイトルマッチの季節ですし」

百瀬のコメント

「自分がタップしたことが悔しいです。今までの中で一番悔しい。チャンスがあれば、また自分から挑戦したいです。研究されてましたね。自分の得意なパターンに持ち込めなかったです。打撃に関しては前回より納得いっています。手応えがあったんで。そこから得意のテイクダウンに持っていくのが今後の課題ですね」

▲近藤は1Rに受けたパンチで左の目尻をカット。かなりの出血だったが、ストップされる前に試合を決めたのはさすが

▶1R、2度にわたって左ハイをヒットさせる

▶バックを取り、さらに足首を掴んでコントロールする百瀬。出だしの勢いでは優っていた

▶「倒されない技術が進歩した」と近藤。スタンドでの粘り、さらに寝技からの脱出は見事だった

▲前回は打撃の間合いを徹底して嫌った百瀬だが、今回は何度も打ち合うシーンが見られた。百瀬のパンチも当たっているのだが、やはり威力は近藤が上

▲ジャーマンの体勢で投げ捨てたりと、今回も百瀬の組み技の強さは光った

も休みなく連打してくる。で、自分から動くのがイヤになっちゃう。〝とりあえずこのままでいいや〟って。違う体勢になったら、もっと殴られる可能性がありますからね。だけど、そのままでも……」

やっぱり致命傷を負わされてしまうのである。怪物、としか言いようがない。近藤がここぞという場面で見せる拳の威力は、考えられないようなフィニッシュを生み出してしまう。

『プレミアム・チャレンジ』でまさかの敗北を喫した百瀬との再戦とあって、さすがの近藤にもプレッシャーはあったようだ。だが、終わってみれば相手の心を折る戦慄の勝利。改めてこの男の潜在能力の高さを知らしめられた。

ただ、だからといって〝近藤、リベンジ成功！〟と無邪気に喜んでいる場合でもない。はっきり言って、この百瀬戦はやらずもがなの試合だったのだ。失礼な言い方だけど、勝手にコケて、また勝手に立ち上がって、それで喜んでちゃしょうがない。近藤が設定すべきハードルは、もっと高くなきゃいけない。近藤が借りを精算している間に、菊田はノゲイラ戦、美濃輪は田村戦が決まった。パンクラスの外を見渡しても、時代はとてつもないスピードで動いている。

近藤の今後について、尾崎社長は「本人と、次どうするか話をします。どうしたいか直接聞いて決めたい」と言う。そんなのもっと早く聞いてやれよ！　とも思うが、それはまあいい。やっと、近藤が自分のための闘いに専念できる状況になったのだ。本当のリベンジは、これから始まる。

（橋本）

謙吾、前人未到の大記録!?達成 3試合連続でジャーマン被弾！

謙吾のコメント

「もう腕がパンパン。相手が嫌がっていたのでそのまま絞ったら、きれいに極まったので良かった。（コブラの印象は）パワーが凄い。2、3回投げられたけど、まさか連発されるとは思ってなかった。パワーと突進力はあるのでプチ・サップみたいっすね（笑）。ボブ・サップはもっと凄いんだろうけど。（新日本との対戦について）カードを組んでくれるならやりたい。やるなら相手は（鈴木）健想しかいないでしょう」

▼謙吾を持ち上げた後、普通にテイクダウンするかと思いきや、水車落としで投げ捨てたコブラ

▲フットボールとボディビルで鍛えた"プチ・サップ"ことコブラ。今回は敗れたが、このキャラは捨て難い！

▲ジャーマンを食らっても試合ではキッチリと結果を残す。会場を一気に沸かせた謙吾

次は新日本のリングで親友、鈴木健想と対戦か!?

▲ジャーマンで投げられ、相手の良さを引き出した上でストレート・アームバーを極めキッチリ勝利。謙吾なら新日本プロレスとの対抗戦でも面白い勝負を見せてくれることは間違いない！

▲ドスJr戦、橋本友彦戦と"総合格闘技でジャーマンを食らう男"というイメージがついてしまった謙吾。そして今回も……。投げられた瞬間には、一部のファンから「それでこそケンゴ！」との声も

★DAY TIME第7試合・セミファイナル/無差別級5分3R

○謙吾（1R2分31秒、アームバー）コブラ●

〈パンクラスism〉　〈アメリカ/IFアカデミー〉

この日、最も会場を沸かせた男は、間違いなく謙吾だった。対するのはフットボールやボディビルで活躍した経歴を持つコブラ。試合後に謙吾が「プチ・サップみたい」と形容するように、恵まれた体と怪力の持ち主だ。

試合は謙吾の右ローから始まったが、コブラはかまわず突進し、謙吾を捕まえるとそのまま水車落としを敢行！　とっさに立ち上がる謙吾に対し、コブラはさらにジャーマン2連発を決める!!

ドスJr戦、橋本友彦戦と2試合連続でジャーマンで投げられ"総合の試合で投げを食らう男"というイメージがついていた謙吾だが、まさか3試合連続とは。会場はもう、異様な盛り上がり！

しかしその雰囲気をさらに盛り上げたのが、誰あろう謙吾自身だった。コーナーでコブラの左腕を取ると、気合いとともに捻りあげ、アームバーでタップを奪ってしまったのだ！　ピンチの連続をしのぎ、相手の良さを引き出しての勝利とは、かくも魅力的なものなのかと、今更ながら再確認できた。

本誌パンクラス番の橋本がこの試合について「風車の理論？」とポツリ。そう、謙吾はプロレスに出ても違和感がないのだ。

こうなれば一部で報じられている謙吾の新日本プロレス参戦もガ然、楽しみになってくる。"3試合連続投げを食らって、でも3連勝"という総合では珍しい記録を作った謙吾。バツグンの受けっぷりは、プロレスでも光るはず。そしてラグビー時代からの親友、健想と2人で"明るい未来"を見ようじゃないか。

（太田）

PANCRASE HYBRID WRESTLING

PANCRASE 2002 SPIRIT TOUR DAY&NIGHT

7月28日★後楽園ホール

國奥、見違える動きで2階級制覇 これならUFC参戦もイケる!

▶〈準決勝〉昨年のネオブラッド準優勝者、ロデオ・スタイルの長岡を迎え撃った伊藤は、持ち前のレスリング力を全開。何度もテイクダウンして優位に立ち、試合終了間際にはマウントパンチで決定的なポイントを挙げ、3—0の判定で決勝進出を決めた

▼〈決勝戦〉下からも十字を取りにいくなど、いつになくアグレッシブな動きを見せた國奥。途中、頭部から出血したものの、最後も素早い動きから十字を極めて伊藤に勝利（1R4分59秒）

▲ミドル級に続きウェルター級のタイトルも獲得、パンクラス史上初の2冠を達成した國奥。表彰式では「次に闘いたい相手はＵＦＣウェルター級王者のマット・ヒューズです！」と宣言、リング下で尾崎社長にＵＦＣ参戦を直訴した

〈準決勝〉後輩の大石と対戦した國奥。延長までもつれる大接戦となったが、差し合いからのヒザなどで確実にダメージを奪って3－0の判定勝利

“國奥の試合＝膠着＆判定”というのが、最近のパンクラスでの常識だった。実力はグラバカ勢も認めるほどなのに、いつも國奥の試合はおとなしすぎた。いくら本人が「UFCに出たい」と言っても“あの試合では……”という反応が確実にあったのだ。が、今大会では見違えるようなアグレッシブな動き。決勝では久々の一本勝ちだ。これならUFCにも自信を持って送り出せるというもの。尾崎社長も全面バックアップを確約した。（橋本）

★トーナメント表★
《初代ウェルター級王者決定トーナメント》

- 伊藤崇文〈パンクラスism〉
- 長岡弘樹〈ロデオ・スタイル〉
- 大石幸史〈パンクラスism〉
- 國奥麒樹真〈パンクラスism〉

若い力がシノギを削る一日がかりの宴 ネオブラッド優勝は門馬秀貴!

★トーナメント表★
《ネオブラッド・トーナメント》

- 北岡悟〈パンクラスism〉
- 野沢洋之〈スタンド〉
- アライケンジ〈パンクラスism〉
- 小沢稔〈V-CROSS〉
- 門馬秀貴〈A3〉
- 大久保一樹〈U-FILE CAMP.com〉
- 中台宣〈パンクラスism〉
- 鈴木雅史〈UWFスネークピットジャパン〉

この日、昼と夜に分かれて開催されたのはウェルター級トーナメントだけではない。総合格闘技の未来を占うネオブラッド・トーナメントも開催されたのだ。優勝はＡ３の門馬秀貴。準決勝でまぶたをカットしていた北岡のタックルを読み、これ以上ないというタイミングでヒザを合わせてＫＯ勝利を奪った。パンクラスにとっては３年連続他流派に優勝をさらわれた形だが、門戸を開いて若手の台頭を促す方向性に間違いはない。（太田）

▲決勝で門馬に敗れた北岡だが、準決勝ではアンクルホールドでアライケンジからタップを奪う（延長2分8秒）など、その実力の高さを証明してみせた

▲スネークピットから初参戦の鈴木雅史はパンチの連打で中台宣をＫＯ（2Ｒ1分3秒）。セコンドには宮戸優光の姿も見えた

▶〈決勝戦〉タックルを狙って突っ込んできた北岡にカウンターのヒザ蹴りを決め、1Ｒ5秒というパンクラス秒殺記録でネオブラッド・トーナメントの優勝を飾った門馬

PANCRASE HYBRID WRESTLING

PANCRASE 2002 SPIRIT TOUR DAY&NIGHT

7月28日★後楽園ホール

鈴木みのるVS佐々木健介、ついに実現！

決戦は10・14新日ドーム！え、ルールは3カウントあり？

木村健吾も来場！

▲会場には新日本プロレスの広報部長・木村健吾の姿も

▲それぞれ、弟子がネオブラッド・トーナメントに出場した田村潔司と宮戸優光も会場に。ちょっとしたUWF同窓会といった感じの大会だった

▲夜の部の休憩明けに登場したみのる。「7月の10日、ここ後楽園ホールで、正式にオファーをいただきまして、よし対戦しようという話になりました」と、佐々木健介戦の決定を報告

かねてから噂のあった、10・14新日ドームでの鈴木みのるVS佐々木健介戦がついに実現に向かうことになった。すでに新日本サイドから正式なオファーがあり、この日のリング上で、みのるが対戦を宣言。かつて新日本の前座戦線を沸かせまくった2人の久々の再会となるが「ただの同窓会マッチにはしたくない」と、みのるはあくまで勝負にこだわるという。「決着がつくならルールはなんでもいい。3カウントも含めて」とみのる。ただしパンクラスのスタイルだけは崩したくない、という。場所が新日本のリングだけに、いったいどんな試合になるのか？　みのると健介、両者のモチベーションに疑問の余地はないが、焦点は“舞台設定”となりそうだ。（橋本）

みのる、健介戦を語る！

「ルールはなんでもいいですけど、できれば決着のつくルールを望みますね、僕は。（パンクラスルール？）自分の目指すプロレスがあってパンクラスにたどり着いたわけですから。で、現在こういう姿であるんで、これが僕のプロレスです。多少、ラウンド制じゃなくっても、30分一本勝負でも60分一本勝負とかでも、僕は構わないです。ヒジありがいいとか。交渉は社長のほうにお任せしてます。実現させて、そこで僕が作ってきた“鈴木みのるのプロレス”と“佐々木健介のプロレス”で勝負したいですね。僕の生の感情、生身の人間のこの体を佐々木健介という男にぶつけたいな、と。（完全決着がつくルールというのは3カウントも？）それも含めてですね」

▲渡辺大介（パンクラスｉｓｍ）は禅道会の山本孝夫と対戦。１Ｒにパンチとヒザのラッシュで山本の右目を腫れさせるが、２Ｒ目はグラウンド中心の展開に苦しむ。しかし最終３Ｒは跳びヒザや左右のパンチで山本を圧倒。判定勝利（２－０）

▲砂辺光久（ハイブリッドレスリング武∞限）は和知正仁（チームＲＯＫＥＮ）と対戦。「打撃で倒したかった」と語るとおり、バックブローやフックで和知を攻め立てる展開。グラウンドではやや分が悪い感があったものの、スタンドでの打撃がポイントとなり、判定（２－１）で勝利を奪った

▲初代ミドル級王者のネイサン・マーコート（コロラド・スターズ）は、梁正基（スタンド）を相手に堂々の横綱相撲。サイドポジションを取ったあと、もがいて逃げようとする梁の体をうまくコントロール。上四方固めからの三角絞めなどテクニックの高さをみせつけ、最後は腕ひしぎ十字固めでタップを奪った（１Ｒ１分３７秒）

▶ＫＥＩ山宮（パンクラスｉｓｍ）は美濃輪に勝った佐藤光芳（ＧＲＡＢＡＫＡ）のタックルを切り、終始グラウンドでいいポジションを奪う。ガードの隙間からコツコツとパンチを繰り出してドクターストップ勝利を奪った。試合終了後には「郷野選手にリベンジしたい」とコメント

小林聡

職業・キックボクサー
「この〝こだわり〟だけは外せない」

小林聡。30歳。今年でキックボクサー生活15周年を迎えた。未公認試合を加えれば、すでに50戦以上闘ってきたが、その間、格闘技者としての幸せを実感できたのは、「試合が終わった直後だけ」に過ぎない。それでもこの商売がやめられない。いや、やめるつもりもない。あるいはこんな予感もある。「満足できたらやめるかもしれないけど、いつまでたっても満足できないだろうな」。強い相手と闘って、どこまでも強い自分になりたい。9月6日、後楽園ホールでルンピニー・Jrライト級王者サムゴー・ギャットモンテープ（タイ）と闘う。もし、これに勝てば、ムエタイ2大スタジアム両方のチャンピオンに勝った、初めての日本人になる。

聞き手・構成◎宮崎正博
撮影◎中島ミノル

だって、キックやめて何するんスか？ やめちゃったら、オレ、格闘技好きのただのオッサンだもん

30歳。たしかに30歳になったんですけど、特別に意識するってことはないです。今、活躍している選手って30歳以上が多いじゃないですか。ただ、気になるというと、自分の場合はキックボクサー年齢も高いんですよね。公式には19歳でデビューになっていますけど、非公式には15歳からリングに上がってますから。だから、この間、15周年記念のTシャツを作ったんですよ。藤原ジムに来てからも、ちょうど5周年になりますしね。

その間、ずっと闘うことが楽しかったかと言われると……どうかな。楽しいと思えるのは試合が終わった一瞬だけ、せいぜい次の日までですかね。楽しいことなんてすぐに忘れちゃいますよ。じゃあ、なんで闘ってきたのかってよく聞かれるんですけど、一口に言えば満足できないから。それに、今やめたとしても、ボクには何も残らないと思うんですよ。もっと言うなら、他にすることないから（笑）。

だって、イチローだってそうだと思うんですよ。他にやるもの、やりたいものがないから野球をやっている。ボクにはキックしかないから、やってきただけっていう。もちろん、キックは好きですよ。

▲某有名ストリップ劇場の前で、一番好みの子は？　「キックに関係ない！（笑）」。小林の抗議は一切受け入れず（笑）、はいこのポーズ。この男には浅草って町がなぜかよく似合って見えた

でも、それだけじゃないですね。他にやることがないとしか言いようがない。だって、もし、やめたとして明日から何をすればいいんですかねぇ？　やめたらただの格闘技好きのオッサンですよ。仕事も何していいか分かんないし。

ただ、こういうのはありますね。試合の日の一瞬一瞬が好きという。計量やって、メシ食って、会場に行って、リングに上がる。そのひとつ一つに中毒になってるんですよね。それを味わいたくて、また試合したくなるし、そのためにまた練習するんです。はっきり言って、練習なんて全然面白くないですよ。減量も「なんでしなきゃいけないの？」とも思うし。試合するためと考えるから、耐えることができるんです。

試合の日だって、その時々はイヤですよ。計量終わって、一度家に帰って寝る前も「あと何時間か経ったら起きて、会場に行くんだ」と思うと気が重くなります。ほんと、リングに上がる前まではずっと怖いんですよ。緊張して何度もトイレに行きます。ファウルカップを1時間前につける人もいるけど、ボクはできないですねぇ。「小林選手、出番です」と言われてから、「もう1回行ってくる」とトイレに行くくらいですからね。

はい、むちゃくちゃ恐がりです。練習中のトイレも多いです。とくにうちのジムは緊張しますから（笑）。藤原（敏男）先生がいようがいまいが。だから、試合はもっと緊張します。リングに上がったら、いや、入場曲が鳴って、パーンと会場内に出た瞬間から変わりますけどね。「もうここからは、相手を倒すまで出れない」という気持ちになれます。

そういうリングの中の自分ってなんなんでしょうね。それが本当の自分かもしれないし、これまで作ってきた自分かもしれない。とにかく試合の前はパンフレットも見ないし、後輩の試合も見ないんですよ。相手のビデオも見ない。人に聞きますね。この前も、ジムで前田（尚紀）に見せて、どうだったのか聞きました。なぜ？　強く見えるんですよ、どうでもいい相手でも。ボクはどうしてもやられるほうに目がいっちゃうんです。「殴られたり、蹴られたり。今からこれやんの、オレ？　やだなぁ」って（笑）。

▶インタビューした喫茶店のカキ氷のメニューに『氷スイカ』。注文してみたら、「スイカそのままじゃないか」（小林）

いい試合って、酔っ払ってる気分なんですよ　テーパリットの時なんか、最高の酔い心地だった

でもほんと、キック以外にやることないんですよ。試合に備えて練習している時は、ああ、一日中ボーッとしてワイドショーでも見ていてぇ、と思うんだけど、いざ試合が終わって、ずっと休めるとなると、1週間くらいで「ヒマだなぁ」とか思い出して。「やることねえなぁ」とか言って自然に走ってたり、ジムに向かってたりするんですよね。

減量はそうですね、この間、4カ月試合が開いたら、一瞬70キロになって、『ワールドMAX』に出ようかなと思ったりして（笑）。やっぱりライト級はきついです。実際、闘う時は相手の体重なんてどうでもいいし。スカボロスキーがボクとの試合でオーバーウェイトした時も、「ああ、そう」ってくらいでした。自分自身もあまり体重を落としすぎると、蹴りに力が入らないような気になるんで。思い切りメシ食って、思い切りトレーニングしたほうがいいのかな、とか考えますね。もともと飲み食いを制限するのは好きじゃないんです。減量のためにカロリー計算なんかしたら、頭から煙が出てきちゃいますよ（笑）。そんなことするくらいだったら、吐きますね。食って吐いてって、自由自在にできます。これ、職業病ですかね。体そのものがキックボクシング仕様になってるんです。

それでもライト級にこだわりがあるとしたら、ムエタイを壊したいという気持ちかな。ライト級以下で勝たなければ、意味はないと思うんで。ただ、タイのライト級あたりの選手も体重がきついらしいんで、62キロくらいで闘ってくれるなら、わざわざライトまで落としてタイトル挑戦というのは考えていませんね。

そんなボクのキックボクシング生活だけど、いい試合ができたなと思うのは酔っぱらった時かな。いやいや、本当にお酒で酔うわけじゃなくて（笑）。酔ってると妙に感覚が鋭くなるじゃないですか？　イギンに逆転勝ちしたのもそう。テーパリットを倒した時も。自分じゃ「酔ってねぇよ！」って状態だったんでしょうけど、あとで見たら、酔拳でした（笑）。まあ、相手が倒れた時に蹴ったりとか、しっかり計画的な犯行もしているんですけど。その場その場で頭は動いているんです。でも、リングに上がったら、誰もが酔ってるんだと思いますよ。体がボーとして、自然に反応するというか。うん、ボクは酔いたいからこそ、強い相手と闘いたい。会場も酔って、自分も酔ってという感じになりたいですね。

そういう時のほうが、いい動きができるんです。金沢（久幸）とやった時は、全然酔っぱらっていなかったから、力みすぎて全然ダメだった。ナムサックノーイの時は、シラフのうちに終わらされてしまったし。今度の相手（サムゴー）は酔っぱらわせてくれるんじゃないかって気がするんですよね。ビデオを見ても強いし、ムエタイ雑誌の選手名鑑を眺めていても、みんな同じように見えるのに、アイツだけはキャラクターが立ってて。野生の臭いを感じさせるというか、目がこっちに訴えてくるような、そんなふうに見えるんです。そりゃ、もちろん、ナムサックノーイともう一度やりたい気持ちもあります。何もさせてもらえなかったから。今度こそ、いい酔い方ができるような展開に引き込む自信もあるけど、今、そういうことを言っても仕方ない。サムゴーのほうがもっと強いと思うし。

強い相手とばかりで大変？　うん、そりゃ大変かな。でも、快感でもあります。どうせやるなら強いのとやって勝ったほうが、得るものも大きいし。カルい相手と闘う時も必要でしょうけど、なんか「サブーッ」と思っちゃうんですよね（笑）。それに、自分の中にはいつまで体がもつか分からないという気持ちがあるんですよ。頑丈と思いつつも、練習もしんどいし、そんなに打たせないタイプじゃない。だから、闘えるうちに、巨大な敵を常に選んでいきたいんです。

引退後のことですか？　何をやっていくのか考えられないですね。よく人に聞かれるんですけど、「そりゃ、オレが一番知りてぇよ」って（笑）。結婚したからと言っても、彼女はパートナーって感じでもないしなぁ。ただ一緒に暮らしている人（笑）。勝っても負けても全然普通なんですよ。テーパリットに勝った時も変わらない。キックのビデオを見ていても、「私、別の番組見たいから」（笑）。だから楽なんですね。今度、誰とやるのかも聞かない。でも、ちゃんと人に聞いて、知っていてくれるんですね。

今はとにかく闘うことだけ。職業・キックボクサーという肩書きにこだわり続けたい。そして疲れ切ってしまうまで、闘ってみたい。それだけなんです。■

▲『野良犬劇場』にかかったこれまでの最高傑作はこれ。現役ラジャ王者テーパリットをものの見事にノックアウトに屠った

武田幸三よ、この血みどろの地の底から再び這い上がるのだ！

3R、KOを狙って懸命に攻める武田。しかし、左目は腫れ、顔面を3カ所にわたってカットして、ストップも仕方なかった

★第12試合/メインイベント（3分5R）
○ブーヌン・サックホームシン（3R1分11秒、TKO勝ち）武田幸三●
〈タイ〉　〈日本/治政館〉
※ヒジ打ちによる出血でドクターストップ

撮影◎吉澤晃

痛恨のＴＫＯ負けである。絶対に勝てる試合だった。対戦相手のブーヌンのコメントを待つまでもなかった。ローキックを初回から効かせていた。２Ｒ、右のクロスカウンターでは、タイ人の意識を半ば吹っ飛ばした。その後の連打で、完全にのばしてしまうまで、あともう一歩のところまで追いつめていたのだ。

それでも武田幸三は勝てなかった。これがキックボクシング、いやムエタイの怖さである。

３Ｒだった。ヒジ打ちが一閃する。ブーヌンが最初から狙っていたやつだ。力と力の真っ向勝負では勝ち目は薄いと見て取ったか、さかんに武田の顔を切りに出てきていた。結果としてこれが図星だった。左顔面を鮮血に染めた武田は、いよいよ早い決着にはやるが、仕留めることはできない。ほどなくドクターチェックが入り、即座に試合続行不能という結論が出されるのである。

「まだまだボクはローカルな存在だということです。今のレベルじゃ、これが精一杯でしょう」

左まぶた、さらに額に2カ所傷口が開き、それに左目下が腫れ上がっていた。無惨に傷ついた控室の敗者は、一言自分を蔑んだあと、「でも、試合は面白かったですか？」と口を開いた。誰かが「面白かったよ」というと、とりあえず満足そうな表情を作った。

武田がこの一戦に描いたテーマは、「面白い試合をして勝つ」だった。強さを見せつけるだけでなく、常に観客の熱狂を呼び起こしたい。プロなら誰でも実現してみたいことだ。そして確かにブーヌンをシ

7.27★後楽園ホール　新日本キック

Break a way! 〜開拓〜

KO再起の予感が一瞬のうちに暗転　顔面から血を吹きドクターストップ食らう

ブーヌンのコメント

「ローキックで効かされていたんでね。ヒジ打ちを合わせて、カットを狙っていったんだ。武田のパンチ？　そんなに強くはなかったな。何発かもらって確かにクラクラしていたけど、ローキックのほうが強かったよ。国際式はやっていないよ。試合はムエタイしかやっていない。やっぱりチャンピオンになりたいと思っているね」

武田のコメント

「3Rはもちろん倒しにいっていました。2R後半は惜しかったから、いつものパターンですよ。スイッチは入っていました。相手は強かったです。ヒジもそうだけど、前蹴りで左目が見えにくくなっていて。ヒジを狙ってきているのは分かったけど、うまく反応できませんでした。今のレベルじゃ、これが精一杯じゃないですか」

▼ブーヌンの前蹴り。顔面を直撃したこのキックで、武田は視界を失ったという

ムエタイが本気になっている　誰もが武田の首を狙ってきている

▶2R以降、ブーヌンは露骨にヒジを狙って、武田はこれを避けきれない

◀2R、武田のハードパンチが立て続けに当たって、KO寸前にまで追い込んだが、仕留め切れなかった

◀流血の武田に無情のドクターストップがかかる。これで2連敗。本場王座復活の道は遠のいた

◀起死回生のヒジ打ちで勝利を手にしたブーヌンは、当然ながらこの上機嫌

▼シャープなローで攻め立てる武田。確実にタイ人を痛めつけていたのだが・・・・

▶フライ級王者の深津飛成は、ヴィラットノーイを相手に苦戦。4Rにパンチの連打でダウンこそ奪ったものの、判定勝ちにとどまった

烈な打ち合いに招き入れて、試合は常にスリリングだった。そういう意味では、武田は一つの目標を達成したことにもなる。

だが、勝負の世界はやはり勝ってなんぼなのである。そのことも彼自身は、すでに十分に感じ取っているはずだ。この5月、ラジャダムナンのウェルター級王座に続き、ジュニアミドル級の2階級制覇を狙ったが、サゲッダーオにたった58秒で失神KOに打ち取られた。ブーヌン戦は大事な再起戦だった。この試合の後には、再び大望に挑む青写真ができあがっていた。12月、新日本キック恒例のタイ遠征で、サゲッダーオと再戦する話も進んでいた。そのために9月にもチューンナップバウトが、すでに発表済みになっていた。それもこれもこの敗北で白紙に戻されたのである。

ただ、もう一度しっかりと確認できたこともある。本場タイが打倒・武田に本気になっているということだ。ムエタイ戦士がこぞって、実績を作ろうと、武田の首を狩ろうとしている。この日本の超合筋を打ち破れば、栄光のチャンピオンベルトも見えてくるのだ。だから、19歳のノーランカー、ブーヌンも本気だった。どんな形であれ、勝利を奪い取ろうと、ヒジを最初から連発したのだ。

これからも続々と難敵がやってくることだろう。そのひとり一人が必死である。そんな中で作ったこのテーマ。「面白い試合をやって、なおかつ勝つ」。武田にとって荊の修行道が続くはずだ。そしてこれに打ち克ってこそ、栄冠は再び君に輝くのだ。

（宮崎）

久々に実感したぞ、石井宏樹キミこそ次期スーパースターだ

キックが鋭い。それ以上にパンチが切れる井場を2度倒してあっさり初回KO

石井のコメント

「今日は嬉しかったです。どうしても勝ちたかったし、それも1Rで決めることができたんで、はい。今回は赤の髪で決めてきましたが、次回はどうなるのか。期待しておいてください」

石井ってこんなに強いのか。赤く染めた髪を振り乱して、井場を一蹴し去った

▶しかし、なんというパンチの切れ味だ。井場は瞬く間に追い込まれていった

▲無残に打ちのめされた井場は、しばらく立ち上がることもできなかった

▶ランキング1位とチャンピオンの差がこれほど大きいなんて。井場は思い知らされたはずだ

▼これは最初のダウン。右ストレートで崩れ落ちた井場はよく立ったが、今度は左フックでフィニッシュされた

★第11試合/日本ライト級タイトルマッチ（3分5R）
○石井宏樹（1R2分43秒、KO勝ち）井場洋貴●
〈王者/藤本ジム〉 〈挑戦者/治政館〉
※左フック。井場は右ストレートでもダウン1

ものの見事なKO劇だった。14カ月前のノンタイトル戦では、そのタフネスと、粘り強さに直面して苦しんだ井場に対し、今度はまったく問題にしなかった。まず左ジャブに始まってワンツー、右ストレートと、実に美しいボクシング技術で圧倒する。ローを返すのがやっとの井場に、フェイントをかけてからの左フック。棒立ちになったところに、間髪おかずコンビネーションパンチに畳み掛ける。最後は右ストレートだ。打たれ強いはずの井場の体が、あっけなくマットに弾けて落ちる。よく立ち上がったが、ダメージは深い。石井はさらに右パンチで追い立て、とどめは左フックだ。大の字になった挑戦者を見て、レフェリーはすぐにKOを宣した。

そうだったのだ。やっと思い出した。石井ってこんなに凄かったのだ。鷹山真吾を葬ってライト級チャンピオンになった頃、その資質の高さにワクワクした。パンチはもとより、キック、ヒザ、ヒジと縦横無尽に使い分ける。無尽蔵に湧き上がってくるそのアイディアの一々に、我々はすっかり興奮させられたものだ。あれから2年、石井は確かに実績を上げている。タイのピカー、ムアンファーレックと引き分けを演じたこともある。きっと、地力もしっかりついていたのだろう。けれど、印象度のほうは、ジリジリと減退傾向にあったのは、やはり否めない。

本当の強さを身に付けるのと、その魅力を存分に開花させることは、必ずしも比例しない。でも、石井ならやってくれるんじゃないか。私は確信したのだ。（宮崎）

7.27★後楽園ホール　新日本キック

Break a way! ～開拓～

やればできるじゃないか!! 菊地剛介、王者対決で激勝

ラスト1秒のハイキック 小出智はもんどりうって倒れこむ

▲しかし、強烈なハイキックだった。小出はピクリとも動かなかった

▲「いつもつまらない試合ですいません」。いや、今日みたいだったら、誰からも文句は出やしない

テンポのいい攻めがすばらしい。菊地は小出を一方的にやりこめた

★第9試合（3分5R）
○菊地剛介（5R判定3-0）小出智●
〈伊原道場〉　〈治政館〉
※採点…50-46、50-47、50-46。小出は5Rに左ハイキックでダウン

こんなに強くて、うまくて、面白い菊地を見たのはいつ以来だろう。とにかく素晴らしかった。1階級上の小出との王者対決、本来より2階級も重いフェザー級オーバーの体重で登場したが、そんなハンディはまったく感じさせない。菊地は強敵を相手にやりたい放題だ。序盤から、的確で切れのいいローで揺さぶっていく。パンチが武器の小出は、粘っこく接近して左フックでやり返すのだが、逆に菊地の右ヒザ、パンチの格好のターゲットになった。最終ラウンドも残りわずか、劣勢を覚悟した小出が強引に出てくるところに、狙いすました左ハイ。小出が失神したところで、ゴングが鳴った。「今日はたまたま当たっただけ」。いや、たまたま当たったわけじゃない。勝負をはっきりと意識しあえるライバル対決が、菊地の本来の力を引き出したのだ。控室のコメント拒否はプロとしていただけないが、こういう闘いをやっていれば、その希な才能に誰もが気づくはずだ。（宮崎）

マジに強いぜ、松本哉朗！『一撃』の景気づけに一撃しちゃった

▼ロープを枕に深々と眠ったタイ人を見て、ドクターがレフェリーのカウントを中止させた

▲最初から頼りなげなラムソンクラームをパンチ、ヒザ、ヒジと松本は自在に攻めまくる

しめて69秒の早業。松本は涼しい表情で勝ち名乗りを受けた

汗もかかずに無傷の11連勝目「今日の相手は弱かった」（松本）

★第8試合（3分5R）
○松本哉朗（1R1分09秒、KO勝ち）ラムソンクラーム・スワンアハーンジャヴィー●
〈日本/藤本ジム〉　〈タイ〉

欧米のリングにはこんな言葉がある。『ワンパンチ・フィニッシャー』。読んだままそのとおり。ただの一発で試合を終わらせる、ホンモノのハードパンチャーのことを言う。この夜の松本はまさにその呼び名にふさわしかった。試合開始直後から攻め立てる。右ストレート、アッパー、右ヒジの連打から、今度は首を取って左右のヒザを突き上げる。ヒョロヒョロと細長いラムソンクラームに抵抗する力はない。そして、コーナーに追いつめられた、その一瞬後には、タイ人の体は硬直したまま横たわっていた。松本の強烈なパンチが決まったのだ。レフェリーはカウントを開始するが、ドクターが慌てて駆け寄って即刻試合中止の合図を送るほどの強烈なシーンだ。11戦全勝9KOと不敗のレコードを伸ばした松本は「相手が弱かった」。でも、まんまとこういうKOを演出できるのも、底力があってこそだ。8月10日には『一撃』に再登場する。本当に楽しみになってきた。（宮崎）

格闘技エンターテインメントSMACK GIRL

～SUMMER GATE 2002～

8・4★ディファ有明

スマック史上最高の名勝負誕生!! しなし、因縁の再戦を打撃で制す!!

撮影◎吉澤晃

“この夏、赤と黒のエクスタシー”って感じですかね（篠代表）

サブミッションを得意とするしなしだが、今回は打撃で勝負。2R目には顔面パンチの連打でスタンド状態でダウンを奪った

しなしのコメント

「周りから勝って当たり前と見られていたので緊張しました。吉住さんは、まだキャリアは浅いみたいですけど、とてもセンスがある選手なので勝てすとてもうれしかった。剣道をやっているみたいなんで、目がいいなと思いました。自分は目が悪いというか、打撃のセンスがないので。今日は打撃でいこうと思ってたので、ダウンが奪えて良かったです」

吉住のコメント

「かなり打撃をやってきたみたいで、ちょっとやられてしまって。もっとタックルとか行けば良かったなぁと。もっと頭使わないといけないと思いました。良かった点は、十字を極めれそうになったところで、悪かった点は、いっぱい殴られちゃったところです。まだ本当に弱いんで、弱いっていうか頭悪いんで、ちゃんと考えて行動に移したいと思います」

さようなら、中山香里…総合引退試合を勝利で飾れず

▶第5試合は、プロレスラー中山香里（ファイヤージェニック）の総合引退試合。アニメ声&ロリ顔のLay−ho（ボディプラント）が、顔面にパンチを打ち込み試合を優位に進める。中山もグラウンド状態に持ち込み、何度か腕を取りにいく場面もあったが、極め切れず、そのまま終了。3R判定3−0でLay−hoが勝利。

▶試合後は中山は泣き崩れ、Lay−hoももらい泣き。客席もしんみりしながら、中山の引退試合は幕を閉じた

▲本人も、セコンドに就いた吉住兄も揃って「頭が悪い」と言ってはいるが、格闘技センスはピカイチ！　普段の顔はハタチの幼稚園の先生！

▲1R目にはグラウンド状態での顔面打撃でイエローをもらう場面もあった住吉だが、しなしの投げを回転し凌ぎ、バックに回り込みそのままチョークを狙ったり、腕十字を極められても関節の柔らかさで逃げ切るなど、デビュー2戦目とは思えないテクニックを見せた

★第7試合・メインイベント／SGS公式ルール・5分3R

○しなしさとこ（3R判定3−0）吉住“SARA”絹代●

〈GIRL FIGHT AACC〉　〈東京元気大学GGG〉

※グラウンド状態での顔面打撃により、吉住にイエローカード1枚

　時間差式バトルロイヤルやタッグトーナメントなどで〝企画モノのスマック〟と言われがちだが、今回は全試合公式ルールによるシングルマッチを揃え、持ち味が企画モノだけではないということを見せつけた！

　メインのしなしさとこVS吉住絹代は、7・7シュートボクシング『S−cup』オープニングマッチの再戦。プロでのキャリアはまだ1年とはいえ、アマチュアで高い実績を残し、総合では負けなしだったしなしに対し、吉住はプロどころかアマでも試合経験ゼロという新人中の新人。初戦では、しなしの圧勝かと思われたが、吉住の大健闘により、しなしは総合初のドロー。吉住はデビュー戦にして、しなしのライト級エースの地位を脅かす存在となった。

　今回こそは圧勝し、キャリアの違いを見せつけたいしなしだったが、またもや吉住に苦戦。庭であるはずのグラウンドでも攻め込まれる場面もあったが、打撃に活路を見い出しダウンを奪ったしなしが判定勝利。

　息もつかせぬスピーディーな技術戦を制したしなしの評価がますます上がったのは言うまでもないが、剣道3段の技術からくる間合いのうまさと勘で総合の技術を補い、しなしと互角に渡りあった吉住の評価も間違いなく上がったと言える。

　しなしの独壇場だったライト級戦線も、新星・吉住の誕生で、盛り上がりを見せそうな予感だ！　（沖崎）

CASHING INFORMATION

ついに日本登場

ナ・ナ・ナント！
今、驚異の急成長で話題の

3大特典
●お電話1本だけのお気軽お申し込みです
●楽々審査ですぐに銀行へお振込みします
●融資限度額は常識を覆す破格の金額です

TV ショップ・リース

当社はオンライン審査なしで融資をお約束します

100万円迄
実質年利2.65～10.55％（遅同）

キャンペーン 99万円迄 金利1％（期間限定実施中）

スピード審査 即日振込致します
＊当社独自の査定ですので安心してお申し込み下さい
＊長期大口のキャッシングもOK！

初めての方でも簡単 秘密・プライバシー厳守
＊年中無休で土日祝もお申込み受付中
＊必要書類は身分証など１点だけです
＊担保や保証人はいりません
＊会社員・公務員・主婦はもちろん、自営・パート・フリーターでもOK（要定収入）

お待ちしていま～す

●返済プラン

金額＼支払回数	36回	60回	84回
50万円	14,463円	8,907円	6,528円
100万円	28,927円	17,813円	13,056円

返済方法：元利均等（実質年率2.65％）
50万円以上要担

TV ショップ・リース
株式会社テレショップリース　業務部
本店所在地：東京都港区東新橋2-10-10
東京都貸金業登録店　都知事(1)24317
※当社は紹介屋とは一切関係ありません。
直接お申込み下さい。（ご利用は計画的に）

■年中無休 8:30～18:00 日本全国来店不要■
フリーダイヤル 0120 0120-575-804
ご融資に関するご質問などは… 03-5777-5804

期間限定 年利0.9% 特別融資中

この広告をご覧になった方のみ、毎朝先着20名様へ必ずご融資させて頂きます！
※上限100万円。実施期間：ご好評につき平成１４年１２月末日まで延長。このチャンスをお見逃しなく。

大口フリーローン＆レディスローン
100万円までOK！

100万円までなら 3カ月無利息キャンペーン

（実質年利）Rate 2.4～9.8%（遅同）

消費者金融、信販等のご返済は実質年利2.4～9.8%で応相談

来社不要、即日融資、担保・保証人不要
新規オープンとして特別ご融資。

元金フリーらくらく返済例（金利2.4%の月々払い例）
東京都渋谷区幡ヶ谷2-20
東京都知事登録第(1)24259

30万円／　225円＋元金フリー
50万円／　375円＋元金フリー
100万円／　750円＋元金フリー

●自営・主婦・パートOK（要定収入）
●自宅会社への催促・TEL一切なし
●即日振り込み融資
●絶対秘密厳守
●何でも相談承ります。
●すべて自社直接融資です。
●※身分証は1点でOK。50万円以上要担

外資系企業だからできる充実したキャッシングサービス

安心と信頼を皆さまへ
Time Life
株式会社 タイムライフ
0120-412-975
直通 03-5776-1160 受付 8:30～6:00 土日祝日も休まず営業中

新規OPENにつき

保証人不要・担保不要・来店不要で特別融資中！！
※この広告をご覧になった方だけのスペシャル特典です！

実質年率 2.9%

融資上限 100万

保証人 担保不要

■即決！50万円迄はスピード振込み
■今すぐ借りてご返済は3ヶ月後から
■大口 100万円 迄の余裕の融資枠
■大口のお申込みは本日中にお振込み

■男性・女性カード会員同時募集です。
■会社員、主婦、パート、フリーター、バイト、飲食業など、職種は問いません。（要定収入）
■必要書類は身分証１点だけです。
■保証人・担保などは一切必要ありません。
■当社独自の信用査定です。
■長期大口返済プランをご提案しております。
■全国ネットで対応しております。
■自社貸付です。紹介業務は行いません。

返済プラン

融資額	支払月額（各々元金不要）
50万	金利のみ　417円＋元金フリー
100万	金利のみ　833円＋元金フリー

（金利2.9%の場合）

お申し込みはフリーダイヤル（携帯・PHS利用可）
0120-5404-73
年中無休（土日祝も営業）営業時間 9:00～18:00迄 03-5404-7367

●融資額：1～400万円迄
●実質年率：2.90～11.80%（遅同）
●資金使途：目的自由
●返済方法：口座振替・口座振込み
●申込資格：満20歳～60歳まで
●遅延損害金：実質年率11.80%
●返済方式：元利均等・自由返済
※金融情勢やお客様の現状などにより融資保証が受けられない場合があります
50万円以上要担

レジャー資金から長期大口ローンまで
CUBE
振込みローン専門店「キューブ」
営業所：東京都渋谷区神宮前3-15　貸金業登録：東京都知事(1)23031

広告取扱：㈱ファーストコミュニケーションズ　03-5759-5623／Eメール home@firscom.net

ファイナンス情報

全日本プロレス×グレート・アントニオ

猛ハッスル！

DON'T BLAZE.

KENDO KASHIN with GREAT ANTONIO

FRONT　BACK

●ケンドー・カシン“DON'T BLAZE” Tシャツ
（カラー白・黒／サイズXS・M・L・XL）
¥4,000（税別）

I NEED ALL THE CROWNS I CAN GET!

FRONT　BACK

●MUTO Tシャツ
（カラー白／サイズXS・S・M・L・XL）
¥4,000（税別）数量限定

TO THOSE OF US WITH REAL UNDERSTANDING.. WRESTLING IS THE ONLY PURE ART FORM!

FRONT　BACK

●KOJIMA Tシャツ
（カラー白／サイズXS・S・M・L・XL）
¥4,000（税別）数量限定

Soul of Man Takayama Yoshihiro Private School with Great Antonio

FRONT

●高山善廣“アパッチ男塾”キャップ
¥2,800（税別）

BACK

●高山善廣“アパッチ男塾”Tシャツ
（カラー白・黒／サイズXS・M・L・XL）
¥4,000（税別）

FRONT　BOB SAPP　BACK

●ボブ・サップTシャツ
（カラー白／サイズXS・M・L・XL）
¥4,000（税別）

●ニーノ・“エルビス”・シェンブリTシャツ
（カラー白／サイズXS・M・L・XL）
¥4,000（税別）

ご注文方法

ご注文は電話 or サイト受付のみです

『グレート・アントニオ』通販専用NAVIダイヤル
☎ **0570-007800** ※携帯電話からは掛かりません。
☎ **03-3295-4450** ※携帯電話でも掛かります。
【受付曜日・時間】月曜日～土曜日 AM10:00～PM6:00
http://www.great-antonio.jp
【24時間受付】

商品お渡し方法

代金引換でのお受け取りとなります。
◎商品代金のほかに送料約700円（ゆうパック）、代引手数料約250円（いずれも地域によって異なります）がかかります。
◎お届けはご注文をいただいてから、5日前後で（株）ジャンボ（大阪）より郵送いたします。（ご注文が集中した場合は、お時間をいただく事があります。ご了承ください）

ご注意

◎代金、送料の先払いはお受けできません。
◎サイズ交換等の返品・交換はお受けできません。不良品等の理由による返品・交換の場合は、商品到着後10日以内にお電話にてご連絡ください。（期日を過ぎた場合は、受け付け致しかねます）
◎『グレート・アントニオ』店頭および『SRS・DX』編集部では、ご注文を受け付けておりません。

ACCESS MAP

とうふパン専科
グレート・アントニオ

OPEN 11:00～20:00（月曜定休）
東京都千代田区神田錦町3-14-12
神田NSビル1F
TEL 03-3219-9550

○神保町駅（半蔵門線/都営新宿線/都営三田線）より徒歩5分
○小川町駅（都営新宿線）より徒歩5分
○淡路町駅（丸ノ内線）より徒歩6分
○竹橋駅（東西線）より徒歩8分

STAFF募集のお知らせ

“利害を超越して、誰もできないこと、誰もやらないことを夢としてそれに挑戦する!!”事を基本理念としているグレート・アントニオでは、爽やかで、きわどい柑橘系のスタッフを募集しております。「命のやり取りならズバリ言って、誰にも負けない！」という自信があり、「グレート・アントニオのためなら、それこそ腕一本、足一本は折られる覚悟！」のある方は、ドシドシご応募ください。

【募集人数】若干名（男女問わず）
【募集職種】販売・企画・営業などいろいろ
【給与】委細面談にて決定
【応募方法】各欄できるだけ詳しく記入した履歴書を郵送してください。書類選考後、面接をおこないます。（募集に関する電話でのお問い合わせはご遠慮ください）
履歴書郵送先…〒101-0054　東京都千代田区神田錦町3-14-12神田NSビル9F（株）ローデス『グレート・アントニオスタッフ募集』係まで。

たっつぁん万座ビーチ

いよいよ夏の興行戦争が開戦！
どうなっちゃうの!? この夏は!!

読者プレゼント

【高田道場提供】

黄色の桜庭39Tシャツは『プライド21』の解説時に本人が着用していたモデル！

桜庭和志応援セット

2名様

※発売になったばかりの「桜庭39Tシャツ（イエロー）」&「桜庭和志せんす」&「桜庭マルTシャツ」をセットでプレゼント！

【FIGHTING TV サムライ提供】

『FIGHTING TV サムライ』が、
スカイパーフェクTV! 2でも放送開始！

『FIGHTING TV サムライ』オリジナル限定Tシャツ

5名様

FRONT BACK

【フォーブリック提供】

あのシウバVSミルコの激闘が蘇る！

『PRIDE.20』ビデオ&DVD

2名様 2名様

【メディアファクトリー提供】

キミのベストバウトはどの試合？

『PRIDE 2001 DIGEST』DVD

3名様

※2001年に開催された「PRIDE.13」から「PRIDE.18」のベストバウト15試合を完全網羅。特典映像として、「PRIDE.13」から「PRIDE.18」の判定以外のフィニッシュ・シーンが全て収録されている。価格4,800円（税抜）

【本誌編集部提供】

編集部に眠っていたお宝の数々を大放出！

ギルバート・アイブルのイエローカード

1名様

※6・23『PRIDE.21』でアイブルが配り歩いていたイエローカード！

武蔵人形

1名様

※7・14 K-1福岡大会の前日会見で、ジョシー・デンプシーが首をもぎ取ってしまった武蔵人形を編集部で修復！

ニーノ・"エルビス"・シェンブリ タンクトップ

1名様

FRONT BACK

※7・20「THE BEST」で本人も着用していたタンクトップ。今のところ販売の予定はないとのこと

8・10『一撃』枡&うちわセット

1名様

※オフィシャルショップのオープンを記念して関係者に配られた枡と、道行く人に配られたうちわをセットで

8・28『Dynamite!』桜庭和志セット&ターザン山本セット

1名様 1名様

※「SRS・DX74号」の巻頭対談で2人が着用したレアすぎる一品！

応募方法

ハガキには必ず応募券を貼ろう！

右ページ下の応募券を官製ハガキに貼って、

❶郵便番号・住所・電話番号
❷お名前
❸年齢・ご職業
❹希望プレゼント名
❺今号で面白かった記事とその理由（複数可）
❻今号で面白くなかった記事とその理由（複数可）
❼本誌に対するご意見・ご感想

を書いて、ビシバシ応募してください！

あて先は 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-14-12 神田NSビル8F SRS・DX編集部『たっつぁん万座ビーチ⑯』係まで

締め切り…2002年8月29日（木）当日消印有効。

男の子から、男へ。

キーワードは「無痛」「無傷」「安心」。
過去20万人の治療実績を誇る
上野クリニックの技術と安心が
一冊の本になりました。
あなたの下半身の悩みにしっかり、
まじめにお答えします。

第１章　日本人の3人に2人は包茎です。

包茎は病気ではありませんが、病気を起こす根源になるとともに、心理的なコンプレックスの原因にもなるのです。解決の第1歩は24時間無料相談ができる東京上野クリニックのフリーダイヤルから。

第２章　包茎は百害あって一利なし。

包茎で大損した男の実話集。●包茎は早漏のもと。●包茎は雑菌の溜まり場、性病の巣。
包茎治療で得した男の実話集。●ムスコが一皮むけたら人間も一皮むけた。●いつでも「気持ちいい」セックスができる。

第３章　最新の技術「無痛」治療法。

綿密な研究を重ね、東京上野クリニック独自の最新技術「無痛4段階麻酔システム」を開発。手術を受けた方から「痛くなかった」という声が、その成果を実証しています。●まず確実な基礎麻酔から。●深部冷却法を採用することで痛みをシャットアウト。●日本一の極細針を使用することで針を刺したことすら感じさせません。●すぐ切れてしまう局部麻酔だけではなく「背面神経ブロック」により、手術中・手術後も完全無痛を配慮します。

第４章　ていねいな手作業「無傷」の仕上がり。

東京上野クリニック独自の手術法により「無傷」を実現。それはひとりひとりに合わせた「複合曲線作図法」を行っているから。●東京上野クリニックでは手術跡が残りにくい特殊な高周波メスを使用しています。●東京上野クリニックでは美容形成用の特殊糸と極細針を使い、他にはない独自の方法で縫合。

第５章　男の性を尊重した「安心」の提供。

●東京上野クリニックは、オール男性によるプロフェッショナル集団です。
●東京上野クリニックは、男性泌尿器専門の形成外科であり、女性美容形成はいっさい行っておりません。
●東京上野クリニックでは、24時間対応のフリーダイヤルシステムを完備しています。
●東京上野クリニックでは、「生涯再診無料」という安心保証システムを導入しました。
●東京上野クリニックでは、来院すら他人にわからない完全予約制による無料診断システムを導入しています。

第６章　早めの対応が肝心な性病治療。

●包茎は尿道炎やコンジローム、包皮炎などの原因をつくりやすくします。●たいていの性病は早めの治療ですぐ完治。迷わずすぐに相談を。
●東京上野クリニックは、包茎治療と同じく、性病検査についても24時間受け付けております。

第７章　男女とも快感をアップする法。

●「余分な包皮」のカットは女性を歓喜させます。●カリに摩擦感が生まれない「余分な包皮」は、セックスの快感を大きく妨げます。

第８章　男をさらに磨く改造計画。

●東京上野クリニックでは、独自の方法で開発したコラーゲンによる亀頭増強法を提案いたします。
●東京上野クリニックでは、敏感な亀頭を強化して早漏を抑えます。

第９章　もうひとつの男を磨く道。それは育毛。

●日本人の4人に1人は薄毛に関する悩みを抱えています。●東京上野クリニックでは、その人にあった治療法をセレクトします。
●東京上野クリニックは、豊富な育毛法を提案します。

第10章　もうひとつの男を磨く道。それは脱毛。

●いま、スベスベ肌の男性がなぜモテる。●東京上野クリニックのレーザー脱毛なら、「無痛」「無傷」「安心」。
●東京上野クリニックのレーザー脱毛で得した男の話。

（以上：全て目次より）

MEN'S BODY POWER UP
一生に一度の男の手術
24時間直接電話相談 0120-508-550
メンズ総合テープ案内 0120-087-008
24時間無料電話相談
一生に一度の男の手術
無痛！無傷！安心！
東京上野クリニック

「MEN'S BODY POWER UP」
定価648円（税別）判型：A5判　ページ数：80頁

発行所 株式会社双葉社
〒162-8540 東京都新宿区東五軒町3番28号

ご紹介できる全国の上野クリニック一覧

地域	電話	住所
札幌	011-252-6000	中央区北4条西2 アイビル4F
仙台	022-723-3000	青葉区中央1-6-27 仙信ビル7F
新潟	025-241-4000	新潟市花園1-4-6 柳都ビル2F
大宮	048-642-1000	さいたま市宮町2-11 ハシモトビル7F
東京	03-3274-4000	中央区八重洲1-8-16 新槇町ビル14F
上野	03-3876-7000	台東区根岸1-8-18 高松ビル4F
渋谷	03-5784-3000	渋谷区宇田川町33-8 塚田ビル7F
新宿	03-3343-4000	新宿区西新宿1-3-15 栃木ビル7F
横浜	045-323-5000	西区北幸2-10-50 北幸山田ビル2F
千葉	043-221-8000	中央区富士見1-2-11 勝山ビル6F
浜松	053-452-6000	浜松市鍛冶町140-3イズムハママツCビル5F
名古屋	052-562-5000	中村区名駅3-26-21 新香取ビル6F
京都	075-352-5000	下京区新町通七条下ル東塩小路町593クリスタル駅前ビル1F
大阪北	06-6456-3000	北区梅田1-2 駅前第2ビル2F
大阪南	06-6634-3000	中央区難波3-5-11 東亜ビル8F
岡山	086-224-9000	岡山市本町6-36 第一セントラルビル3F
福岡	092-415-6000	博多区博多駅東1-12-7 第13岡部ビル2F
鹿児島	099-812-3800	鹿児島市中央町3-26 西駅M.Nビル5F

この本についてのお問い合わせは
TEL/03-5543-3700

泌尿器科・形成外科・性病科
東京上野クリニック

24時間無料電話相談
0120-508-550
携帯・PHSからもご利用できます。

メンズ総合テープ案内
0120-087-008
携帯・PHSからもご利用できます。

メール相談もできる男のHP　http://www.ueno.co.jp　携帯アドレス　http://www.ueno-c.com

SRSDX 8・22 No.76

マット界、真夏の興行戦争を説くキーワードは？

7.28 パンクラス後楽園ホール大会詳報

平成12年4月25日第3種郵便物認可　平成14年8月22日発行　第4巻・17号・通巻76号
編集人・谷川貞治　発行人・柳沢忠之　発行所・(株)フジテレビ出版／
(株)ローデス　〒101-0054　東京都千代田区神田錦町3-14-12
神田NSビル8F　電話／03-3295-4445
発売所・(株)扶桑社 〒105-8070 東京都港区海岸1丁目15番1号

定価680円 本体648円

雑誌21584-8/22　T1121584080680　Printed in Japan